

(仮称) コミュニティ施策の基本的考
え方に関する検討の取組状況について

平成30年4月
川崎市

はじめに（これまでの経緯と本資料の目的）

「区役所改革の基本方針」（平成28年3月策定）に基づき、「区における課題の解決を図るための市民が共に支え合う地域づくりのしくみ」に関して調査審議することを目的として設置された附属機関である「川崎市共に支え合う地域づくり検討委員会」から、平成29年3月に報告書が提出されました。

この報告書では、区民会議の目的である「参加と協働による地域の課題解決」について、必ずしも既存の区民会議の枠組みを前提とせず、既存の市民活動支援施策やコミュニティ施策等とのあり方を整理した、「参加と協働による地域の課題解決の新たなしくみ」の検討の必要性について、提言がなされました。

この報告書を踏まえ、川崎市では、平成29年8月に、「（仮称）今後のコミュニティ施策の基本的考え方」検討方針を策定しました。

この検討方針では、小さな範囲での顔の見える関係づくりなどの地域レベルの取組論点、区の間支援組織による地域での様々な活動支援に向けた区域レベルの取組論点、さらに全市的な中間支援機能の機能強化などの市域レベルの取組論点、町内会・自治会に対する行政依頼事務の見直しなど個別の取組論点など、現時点で想定される検討すべき論点について、明らかにしたところです。

本資料は、検討方針策定後の検討の取組状況として、これまでの施策や市民意識などについて、活動の振り返りや様々な方の声を聞くことで明らかになった課題等について取りまとめ、今後の検討につなげることを目的とするものです。

目次

はじめに

第1章	2017（平成29）年度の検討取組状況.....	1
1	地域レベルの取組	1
	（1）小さい範囲での顔の見える関係づくりや市民創発を促す場のあり方.....	1
	（2）既存事業との連携のあり方	2
2	区域レベルの取組	5
	（1）区域レベルの中間支援、「新たなしくみ」に関する区民会議やまちづくり 推進組織のあり方検討	5
3	市域レベルの取組	12
	（1）市レベルの中間支援機能強化	12
4	個別の検討項目	14
	（1）町内会・自治会に対する行政依頼事務の見直しと現状に寄り添った活動支 援	14
	（2）行政の役割と連携体制の強化	15
第2章	今後に向けて	16
	検討スケジュール	16
資料編	19
	（資料編1）平成29年度かわさき市民アンケート報告書（抜粋） 市民自治の実 態等について.....	21
	（資料編2）区民会議委員へのアンケート調査結果	31

(資料編 3) 平成 29 年度町内会・自治会アンケート.....	39
(資料編 4) まちづくり推進組織関係者ワークショップの実施結果.....	167
(資料編 5) 区民会議意見交換会の実施結果.....	207

第1章 2017（平成29）年度の検討取組状況

「（仮称）今後のコミュニティ施策の基本的考え方」検討方針（以下「検討方針」といいます。）において、150万人都市である川崎市のコミュニティ施策を検討するには、エリアの範囲が広大であり、論点も多岐にわたることから、地域レベルの取組、区域レベルの取組、市域レベルの取組、それ以外の個別論点として整理し検討するとしてを受け、平成29年度の検討状況について、次の項目ごとに取りまとめを行いました。

1 地域レベルの取組

少しでも多くの方が地域に関心を持ち、実際の活動への参加が求められています。地域への関心を高めていくためにはどのような取組が有効か、まずは市民の意識を探るために市民アンケートを実施しました。

（1）小さい範囲での顔の見える関係づくりや市民創発を促す場のあり方

地域への関心を高めていくためにはどのような取組が有効か、市民アンケートの分析により今後の検討につなげていきます。

市民自治の実態等に関する市民アンケート（資料編1）

（出典：平成29年度第1回かわさき市民アンケート報告書（全体版））

インターネット調査 有効回収数 1,500 標本

ア 自身にとっての「地域」の範囲とは

→半数近く（46.7%）が「町内会・自治会の範囲」と回答。次いで、「お住まいの区域」（15.1%）、以下「小学校の校区」（12.8%）、「同じ集合住宅（アパート、マンション）」（12.6%）、「向こう3軒両隣程度」（6.3%）の順でした。

⇒地域の範囲として、約8割の方が「小学校の校区より狭い範囲」と感じることが伺えます。

イ 住んでいる地域の課題とは

→「住民同士の関係の薄れている」（24.6%）がトップ。以下、「治安や防犯、交通安全に不安がある」（18.9%）、「自然災害に対する備えに不安がある」（16.9%）、「住民同士が交流する場や機会がない（不足している）」（16.5%）の順でした。

⇒住民団体の希薄化が地域の一番の課題として認識されています。

ウ 地域の課題解決に有効な取組

→「行政からの支援」（25.5%）、「地域住民の意識の向上」（2

5. 3%)、「地域住民と行政との協力・連携」(22.4%)、「住民同士の交流の活性化」(21.8%)の順でした。

⇒行政からの支援はもとより、住民意識の向上や住民と行政の協力、住民同士のつながりの希薄化が地域の一番の課題として認識されていることが伺えます。

エ 社会活動・地域活動への関心度

→28.8%の方が関心がある(「非常に関心がある」と「やや関心がある」の合計)と回答し、また、34.3%の方が「どちらともいえない」と回答しています。

⇒今後、社会活動・地域活動につながる可能性のある「関心がある」、「どちらともいえない」と回答された方は、6割を超えています。

オ 社会活動・地域活動への継続的な参加状況

→14.9%の方が継続的に社会活動・地域活動に「参加している」と回答しています。

⇒社会活動や地域活動に関心があるという方が約30%である一方で、継続的な参加をしている市民は約15%となっています。

カ 市民活動・地域活動に対して行政が支援すべきだと思う項目

→「活動場所の提供」(35.3%)、「活動費の助成」(32.5%)、「情報提供の充実」(30.1%)、「人材育成・確保」(26.1%)の順でした。

⇒「場所」「資金」「情報」「人材」という市民活動の4つの資源の中でも、場所に関する意見が最も多くなっています。

(今後の検討)

上記の結果から、「地域への関心を高める取組」、「交流のきっかけづくり」、「実際の活動につなげるための取組」など、少しでも多くの方が地域への関心を高め、地域でのつながりをつくり、実際の活動を創発するための施策について検討してまいります。

(2) 既存事業との連携のあり方

今後、連携が求められる地域包括ケアシステムの構築や地域防災力の向上に向けた取組推進など、既に地域の方との協力により進められている施策の現状について取りまとめました。

ア 地域包括ケアシステムにおける地域マネジメントの推進

(ア) これまでの取組

地域包括ケアシステム構築に向け、川崎市地域包括ケア推進ビジョンの策定を皮切りに、地域みまもり支援センターの設置、川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会の発足や各区ネットワーク会議の設置、地区カルテ等の整備による地域情報の整理を進め、各地域における地域マネジメントの推進・強化に取り組みます。

平成27年3月	: 川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンの策定
平成27年5月	: 川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会の発足
平成28年4月	: 「地域みまもり支援センター」の設置（組織体制の整備）
平成28年8月～	: 各区ネットワーク会議の設置、川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会参加団体の拡充
平成29年3月	: 「地区カルテ」等の枠組みの整備（仕組みの構築）
平成29年4月～	: 各区における地区カルテの整備・状況に応じた更新

特に、各区地域みまもり支援センターがモデル的に実施している事業等において、地域住民の主体的な活動の立ち上げ支援などが進められています。

（イ）平成29年度の取組

- ・地区カルテの整備による行政組織内における小地域単位ごとの地域情報の整理
- ・生活レベルでの小地域における住民との課題共有と課題解決に向けたモデル事業の実施

＜参考となる事例＞

- ・中原区大戸地区において、地区カルテを活用したモデル事業
- ・多摩区生田地区、中野島地区における多世代交流の促進を目指したモデル事業
- ・幸区におけるご近所支え愛モデル事業

（今後の検討）

平成30年度以降を地域包括ケアシステム構築に向けた第2段階として位置づけており、更なる地域力の向上のための地域マネジメントの強化に向け、これまでの各区の取組を参考としつつ、地域への働きかけのノウハウの整理や、住民の意欲を引き出すスキルを持った職員の育成等に取り組む必要があると考えます。

具体的には、中原区における取組結果を参考としつつ、「地域住民の主体的な活動につなげるための働きかけの手法の整理」「職員のスキルアップ」等を進めます。

こうした取組については、参加と協働による地域課題の解決の「新たなしくみ」の構築に向けた取組と一体的に連携を図り、進めていく必要があると考えられます。

イ 自主防災組織による地域防災活動

各区役所を中心に、関係機関、団体と連携した自主防災組織による地域防災活動の取組概要は、次のとおりです。

＜平成29年度開催実績＞

- ◇川崎区 川崎小学校、田島支援学校桜校
- ◇幸区 御幸小学校、河原町グラウンド・体育館
- ◇中原区 大戸小学校、上丸子小学校
- ◇高津区 久本小学校、橘小学校
- ◇宮前区 犬蔵中学校、鷺沼小学校
- ◇多摩区 生田中学校及び近隣の公園等、中野島小学校
- ◇麻生区 あさおふれあいの広場等（川崎市総合防災訓練）、王禅寺ふるさと公園

また、円滑に避難所運営をするため、避難所毎に自主防災組織が中心となる「避難所運営会議」を設置し、避難所運営訓練を実施することで、お互いの顔の見える関係の構築や、地域での連携強化を図りました。

＜平成29年度避難所運営会議及び訓練の開催実績＞

- 避難所運営会議 144ヶ所／175ヶ所中（82.3%）
- 避難所運営訓練 119ヶ所／175ヶ所中（68.0%）

（今後の検討）

年2回、各区において総合防災訓練を行い、本市防災対策の実効性を高めるため、各区において、より実践的な防災訓練に取り組み、各区の地域防災力と市民の防災意識の高揚を図りました。

引き続き、更なる市民・企業・行政の協働による地域防災体制の充実に向けて、次年度以降も継続して実践的な防災訓練を開催するとともに、自主防災組織への支援強化やすべての市民を対象とした啓発事業の充実強化を図るなど、安全・安心なまちづくりを推進していきます。

2 区域レベルの取組

(1) 区域レベルの中間支援、「新たなしくみ」に関する区民会議やまちづくり推進組織のあり方検討

ア 区民会議の成果と課題等の認識調査

区民会議委員へのアンケートや意見交換会を通じて、これまでの区民会議の成果や課題について振り返りを行いました。

(ア) 区民会議委員へのアンケート調査（資料編2）

第6期の区民会議委員（以下「第6期委員」といいます。）及び第1～5期の委員長、副委員長、書記、部長、副部長（以下「委員経験者」といいます。）に、これまでの区民会議に関するアンケートを実施しました。

アンケートは設問と自由記入による回答方式とし、第6期委員77名、委員経験者108名、合計185名から回答を得ました。主な意見は次のとおりです。

(成果について)

成果と感じたことの項目の回答（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は、第6期委員は「地域課題を抽出することができた」（85%）が最も多く、次に、「区や地域に興味をもつきっかけができた」（81%）であり、次に「団体や個人との交流になった」（79%）の順でした。

また、委員経験者も同様の順番（それぞれ88%、86%、84%の順）で多く、成果と感じる委員が多いという結果となりました。

その他自由記入の意見は105件あり、「知識の取得や気がつかない部分を知ることができたなど、学習になった」（34件）、「様々な人・団体との交流やつながりができた」（28件）、「地域課題解決の実践や解決につながる取組ができた。」（26件）などの意見が多くありました。

(課題について)

課題と感じたことの項目の回答（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は、第6期委員は「他の会議との重複感があった」（29%）が最も多く、次に、「委員構成に偏りがあった」（28%）であり、その次に「回数が多くて負担だった」（13%）の順でした。

また、委員経験者は、「任期があり、課題解決まで見届けられなかった」（43%）が最も多く、次に「提言が実践に結びつかなかった」（41%）であり、次に「委員構成に偏りがあった」（38%）の順でした。

その他自由記入の意見は108件あり、「委員の経験や見識・認識の差に課題があった。」（14件）、「委員の構成・選定に課題があった。公募の委員

が少ない。」（12件）、「地域課題解決の実践に結びつかなかった」（11件）などの意見が多くありました。

（イ）区民会議意見交換会（資料編5）

「区民会議の成果と課題」と、区民会議の枠組に捉われない「ミライのコミュニティ」の2つのテーマについて、区民会議委員を対象としたワークショップを行いました。主な意見は次のとおりです。

○テーマ1「区民会議の成果と課題を確認しよう」

（成果）

- ・様々な人や団体と知り合い、ネットワークができた
- ・地域の活動などを経験できた
- ・区の魅力や課題を知ることができた
- ・課題解決の提言ができた
- ・提言が施策につながった
- ・提言だけでなく実践までできた
- ・いろいろな課題解決ができた
- ・行政の取組に市民として参加できた
- ・イベントができた

（課題）

- ・PR不足、課題が区民に届かない
- ・実践につながらなかった（つながらないか心配、提言後どうなるのか、フォローアップの必要性）
- ・課題が偏りがち（テーマが似る）
- ・若者が参加しない（世代のバランスが悪い）。ただ、働く人は時間的余裕がない
- ・課題解決には時間がかかる。2年では時間が足りない
- ・実行に移すしくみが必要。お金も足りない
- ・行政がどう実行するか不透明

○テーマ2「ミライがこんなコミュニティになったらいいなを語ろう」

- ・多くの方に地域活動に参加してもらおう工夫として、「自分も力になれる」と思える活動テーマを投げかける。防災をテーマにすると若い世代も地域に関わるきっかけができる（面白い、あまり拘束されない、などが必要）
- ・入口をオープンにして誰でも参加できるように呼びかけを強化する
- ・働く世代等が地域参加するインセンティブをつくる。現役世代に参加して欲しいが、多くの期待はムリなので、少数でもやりたい人を発掘する

- ・まちづくりをする単位として、小さい単位で行う（小学校から中学校くらいの単位を考える）。小さな単位での課題解決を充実させるためのコーディネート機能・ファシリテーターが必要
- ・地域の施設が小さな単位で必要。こども文化センター、いこいの家、空家の活用・しくみづくり
- ・多世代が交流できる場づくりが必要。地域の中で気軽に悩みや相談事を話し合える、傾聴し合える場を充実させる
- ・町内会の活動に現役の市職員が少しだけ仕事として参加・応援してくれるとよい
- ・コミュニティが基本。互助で活性化（若い人や子どもなどの多世代で）。隣近所のちょっとおせっかいな関係（雪かきなどもきっかけに）が必要。「つながり」に100点も0点もない。みんながそう思っているコミュニティに
- ・自己犠牲で地域活動は担っていけないのではないか
- ・まちづくり横ぐし組織（各団体を横ぐしにできるようなしくみ）。地域で活動している団体が一体感をもって活動
- ・「提言」の課題解決を予算つきで一般公募する。テーマ限定で課題解決のプラットフォームをつくる

（今後の検討）

区民会議について、「区の地域課題の抽出」、「課題解決に向けた取組」、「知識の取得・学習」、「交流のきっかけ」など、一定の成果を委員が実感していることを確認できました。その一方で、「認知度不足」、「課題解決に向けた実践のしくみ」、「具体的な課題解決まで時間を要する」、「若い世代の参加」など、課題も同時に実感していることが確認できました。

この内容は、アンケートとワークショップで共通する部分が多く、多くの委員が実感していることと考えられます。

未来のコミュニティづくりについては、「若者の参加」、「ゆるやかな場」、「コーディネート」、「実感できる小さな範囲での活動」、「多世代交流」、「インセンティブ」などが必要との意見がありました

こうしたことを踏まえ、多様な市民の参加による、身近な地域での具体的な課題解決の取組を促進する新たなしくみについて検討を行ってまいります。

イ まちづくり推進組織の現状と取組の振り返り

（ア）まちづくり推進組織の現状

a 概要

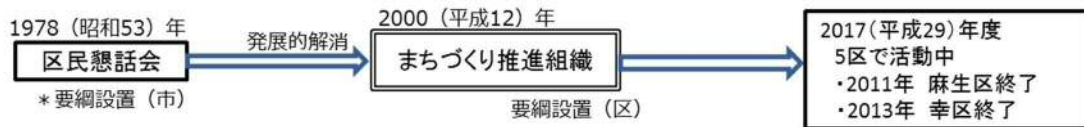
まちづくり推進組織は、平成5年から平成9年にかけて各区において

策定された「区づくり白書」の理念に基づき、区民の合意形成を図りながら行政のパートナーシップのもと、魅力あるまちづくりを目指すことを目的として、それまで各区において設置されていた「区民懇話会」を発展的に解消する形で平成12年度までに各区に設置された組織です。

b 現状

参加と協働による区における課題の解決を目的として調査審議を行う区民会議が開始された平成18年以降も、まちづくり推進組織は継続されてきましたが、市の条例により一律的に設置されている区民会議と異なり、区において要綱により設置されている組織であり、市として一律的な見直しや検証は行われてきませんでした。現状においては、次のような特徴を持つ組織となっています。

- ・区によって中間支援を目指す組織や、エリアを区切って町内会・自治会と連携している組織があるなど運営方法が異なる。
- ・幸区、麻生区においては発展的に解消しており、現在活動を行っているのは他の5区である。
- ・活動の予算は、地域課題対応事業により執行している。
- ・事務局は、区の地域振興課が担当している。



(イ) まちづくり推進組織の活動の振り返りと今後について

まちづくり推進組織の現状の調査と合わせて、平成29年度は、各区委員を対象とし、これまでの活動の振り返りや、今後のまちづくり推進組織の活動に留まることのない、未来のコミュニティのあり方についての3回のワークショップを行いました。

また、幸区、麻生区についても過去にまちづくり推進組織で活動していた人に参加していただき、7区でまちづくり推進組織に関係する市民が一堂に介した形での初めてのワークショップとなりました。

川崎のコミュニティのミライを考えるプロジェクト「まちづくり推進組織の歴史とこれから」

- 第1回 2017年11月 6日(月) 13:30~17:00 高津区役所第1・2会議室
 - 第2回 2017年11月27日(月) 13:30~17:00 高津区役所1階 保健ホール
 - 第3回 2018年 1月17日(水) 13:30~17:00 中原区役所501会議室
- (参加者 のべ 123名)

ワークショップでは、これまでの活動の振り返りと、まちづくり推進組織の枠組に捉われないこれからのまちづくりについて、バックキャストिंगによるアイデア出しを行い、次のとおり意見をいただきました。

a 「活動の振り返り」主な意見

(a) 成果について

- ・互いの活動について学び合うための交流につながった
- ・各区で様々なプロジェクトを通じた実践による課題解決につながった
- ・各区で市民活動支援コーナーの設立・運営や市民活動見本市を行った

など

(b) 課題について

- ・担い手の高齢化が進んでおり、新たなメンバーの参加が少ない

など

b 「未来のコミュニティのあり方」主な意見

- ・若い人、働いている人、子育て世代のライフスタイルが多様になっているので、まちづくり活動の敷居を低くすることが必要
- ・部局間（行政内部）での情報共有・連携をもっとやって欲しい
- ・地域レベルの小さな活動を支援する区ごとの中間支援が必要
- ・活動エリアはより小さく～中学校ぐらいのエリアに拠点があると良い

など

20年後のミライのコミュニティのあり方について様々な意見交換を行った結果、ミライのコミュニティのあり方を示すキーワードを集めて整理すると、以下のようなミライ像が浮かび上がりました。

① コミュニティ活動の単位は小さくなる

- ・区より小さな単位／小中学校区や地区社協単位ぐらいを目安に拠点がある
- ・身近な顔の見える関係での互助活動が充実していてつながりあえる
- ・地域単位で、気軽に集まれる多様な拠点がある
- ・農地がコミュニティで活用できている

② 区ごと／地域ごとの活動を支援するしくみがある（地域活動の中間支援）

- ・地域レベルの小さな活動を支援、インキュベートするしくみがある
- ・専門性の高いスキルをもったコーディネーターによる支援がある
- ・ボランティアだけではなく仕事として有償で取り組むことができる
- ・地域課題を解決するプラットフォームやしくみがある

③ 既存の地域組織と連携するしくみが生まれる

- ・町内会・自治会や地域の様々な組織との連携やネットワークがある
 - ・市民と市の協働による新しい地域運営のしくみによるコミュニティ運営が生まれる
 - ・ラウンドテーブル（様々な主体が集まり情報を共有する）
 - ・既存の地域組織の法人化など、新しい時代に対応した組織の再編が進む
 - ・大学との連携による地域の活性化が進んでいる
- ④ 多世代がまちに関わるしくみがある（特に若い担い手が地域で活躍する環境）
- ・活動を体験する機会があり、関心があること、できることで地域貢献できる
 - ・元気なシニアが健康で永く活動できる
 - ・現役世代がまちに関わり、地域でビジネスを生み出す土壌がある
 - ・子育て世代に選ばれるまち
 - ・地域の中学生在が地域の中心になれるまち
 - ・多世代で交流できる場がある
- ⑤ 7区をつなぐ場がある
- ・地域交流会議など7区の活動が一同に会する機会がある
 - ・まちづくりを横串にできる組織がある
- ⑥ 情報共有ツールが進化する
- ・情報提供の新しいデバイスを通して、まちづくりの情報が市民に届きやすくなると同時に、コミュニティ内のコミュニケーションも補完される
 - ・外国人や障がいを持った人も隔たりなくコミュニケーションが取れるようになることで、コミュニティ活動が活性化する
 - ・情報の公開が伝わりやすくなっている

（今後の検討）

ワークショップには、まちづくり推進組織に長く関わってこられた方が多く参加しましたが、こらからのまちづくりに向けては、時代の変化に対応した市民参加のしかたを考えていく必要があるという認識を持っていることが分かりました。

地域を取り巻く社会環境の大きな変化に対して現行制度のまま対応出来るのか、とりわけ委員の高齢化が進んでおり、新たなメンバーの参加が少ない、担い手不足という課題は、まちづくり推進組織だけでなく、多くの市民活動団体が抱えているものであると考えられます。

今後、整備が求められる区における中間支援組織についても、「小さな単位でのまちづくり」「幅広い世代の参加」「身近な活動の場」「様々な活動や取組を後押しする区における中間支援」などが必要とされており、「新たなしくみ」を検討していく中で、まちづくり推進組織のあり方についても合わせて検討してまいります。

3 市域レベルの取組

(1) 市レベルの中間支援機能強化

ア かわさき市民活動センター

(ア) 区役所との連携強化の推進

- ・ 区役所との情報共有
- ・ 研修会への講師派遣
- ・ 各区担当の明確化
- ・ 人的交流を促進することによるより一層の信頼関係の構築

(イ) 中間支援組織のネットワーク化の推進

- ・ 区役所地域振興課による「中間支援ネットワーク会議」準備会を年2回開催
- ・ 市内中間支援組織、区役所地域振興課、地域みまもり支援センター、その他関係所管課による「中間支援ネットワーク会議」を年2回開催し情報共有を推進

(ウ) 市拠点としての機能の検討

- ・ 各区役所における市民活動支援コーナー担当者及び運営団体代表者ヒアリングを実施し、市民活動センターに、求められる機能等について協議

(エ) 市民活動支援における成果指標の検討

- ・ 市民活動支援における成果指標のあり方について検討を実施

(今後の検討)

かわさき市民活動センターは、全市拠点として、区役所、市内中間支援組織等と連携し、それぞれの強みを活かし、より効率的、効果的な支援に結びつけるコーディネートが求められていると考えられます。また、区域を超えた市民活動団体の情報共有・連携の支援等、区における中間支援機能の検討に併せた、今後、全市拠点として強化すべき機能の検証が必要不可欠なものと考えられます。

イ 川崎市市民自治財団

(ア) 川崎市市民自治財団の役割を踏まえた機能強化の方向性の検討

川崎市市民自治財団は各種自治組織に対し必要な援助を行う役割を担っています。このため、本市と財団の役割を改めて検証するとともに、機能強化の方向性について検討しました。

(イ) 総合自治会館の移転を見据えた検討

総合自治会館は、2020(平成32)年度に小杉町3丁目東地区再開発ビルへの移転することになっています。当該施設は駅に隣接し、商業施設等との複合ビルとなることから、その特性を踏まえた機能強化の方向性について、検討

を進めました。

(ウ) 周辺施設と連携した取組みの検討

総合自治会館が立地する武蔵小杉駅周辺地域には、かわさき市民活動センターをはじめとした各種施設が立地していることから、これらの施設と連携した取組等について、協議を進めました。

(今後の検討)

町内会・自治会長アンケートにおいては、町内会・自治会が地域における主体的な活動に取り組んでいきたいとの意向があることから、町内会・自治会に寄り添った活性化支援が求められていると考えます。引き続き、全体的な検討と合わせて、川崎市市民自治財団が担うべき役割を踏まえた機能強化について検討する必要があると考えております。

4 個別の検討項目

(1) 町内会・自治会に対する行政依頼事務の見直しと現状に寄り添った活動支援（資料編3）

647の町内会・自治会の会長を対象に、行政依頼事務に関する負担軽減や町内会・自治会の活動について、アンケート調査を実施し493団体から回答をいただきました。（回答率 約76%）

ア 負担軽減について

- ・行政の町内会への依存度については、約63%の方が「頼りすぎ」、「やや頼りすぎ」と感じています。
- ・一方で、約59%の方が、負担に感じる事業を「今後も継続していく」と考えており、継続していただける理由としては、「社会的に必要」が約78%と最も多く、次いで「行政との関係が大切」が約53%、「責任がある」が約32%、「謝礼等が収入源」が約15%となっています。

イ 町内会・自治会の活動について

- ・今後さらに力を入れたい活動は、「防災活動」が約33%と最も多く、次いで「お祭り等親睦を深めるイベント」が約22%となっています。
- ・町内会・自治会の運営上の問題は「役員の高齢化」が約70%と最も多く、次いで「役員の固定化」（約38%）、「イベント参加者が少ない」（約36%）、「新規加入者が少ない」（約35%）、「地域のつながりの希薄化」（約35%）となっています。
- ・行政からの支援について、「足りない」「やや足りない」と感じている方が約47%となっています。
- ・必要な支援については、「加入促進に関する協力」が約35%と最も多く、次いで、「資金支援」が約33%、「専門知識を持った人材による運営支援」が約27%、「相談体制の強化」が約25%となっています。

(今後の検討)

町内会・自治会への行政依頼委事務は、社会的な責任や行政との関係性から、多くの方が引き続き継続していくと考えています。しかしながら、約62%の方が頼りすぎ、やや頼りすぎと考えていることを重く受け止め、負担軽減に向けた取組みを進めることが必要と考えられます。このため、当面の間、チラシ配布等について、市民文化局と事前調整することとし、必要性等について一層の検証を進め、具体的な取組に結びつけていくことが求められていると考えます。

町内会・自治会に対する支援は、約46%の方が行政からの支援が足りない、やや足りないと考えている中でも、約24%の方が、新たに取組みたいことがある

と答えています。町内会・自治会が地域における主体的な活動のより一層の活性化を考えていることを踏まえ、町内会・自治会の皆さんの御意見を踏まえて、自助、互助の取組を進めていくための環境整備などの必要な支援について検討を進めることが求められていると考えます。

(2) 行政の役割と連携体制の強化

ア 行政の取組状況の把握

- ・全庁的な協働に関する調査を行い292件の事業について回答があり、そのうち約70%を区役所の事業が占め、様々な地域イベントや、防災、教育、環境、福祉など幅広い事業を行っていることが分かりました。
- ・区役所等の各部署において、それぞれの施策の目的別に、地域の協力を得ながら事業が進められていますが、町内会・自治会アンケートやまちづくり推進組織関係者によるワークショップなどから、行政内における所管同士の連携を求める声があがっています。

(今後の検討)

各部署での事業やそれぞれが把握する地域の状況等について、より一層の情報共有や意思疎通が求められていることから、今後の検討作業を通じて、担当部署間の連携強化を進めます。

第2章 今後に向けて

- ・多くの市民が防犯や防災よりも住民関係の希薄化を課題として感じるなど地域づくりの土台の部分を心配していますが、一方で、社会活動・地域活動に関心を持ちながらも、実際の活動への参加につながらないといった現状があります。
- ・市では地域包括ケアシステムの構築や地域防災の推進を最重要施策として位置づけ、市民サービスの最前線である区役所を中心として、全庁一丸となって取り組んでおり、町内会・自治会は、地域づくりを進める取組の主要な推進主体となっています。
- ・しかしながら、町内会・自治会については、行政からの依頼事務の大きな負担や担い手の高齢化などといった課題を抱えています。
- ・また、同じ地域において、行政の様々な部署が事業を進めていますが、そうした情報について、より一層の庁内共有が求められます。
- ・さらに、区単位で行われている区民会議をはじめとする取組は、一斉に展開するには有効であり、これまで交流のきっかけや課題発掘など様々な成果がありましたが、一方で、扱うテーマも市民にとって身近な地域の課題ではなく、広域的なものにならざるを得ず、参加人数や活動期間も限定的で広がりを持ちにくいなどの課題もあります。
- ・こうしたことから、これまでの行政区単位を基本とする市民協働のまちづくりや課題解決の取組を更に発展し、より小さな単位で取組が始まっている地域防災の強化や地域包括ケアシステムの構築などを後押しするため、行政主導で進める市民参加のしくみから、多様な主体の連携により、市民創発によって解決するしくみへと転換し、より小さな単位において、市民が自分事として感じる身近な「地域の課題」を解決していくことが求められています。

<検討スケジュール>

2018（平成30）年度	4月下旬	「（仮称）今後のコミュニティ施策の基本的考え方」検討の取組状況について 公表
	6月～	市民参加の取組（ワークショップなど） 有識者からの意見聴取
	11月下旬	「（仮称）今後のコミュニティ施策の基本的考え方」素案の公表
	12月中	パブリックコメント手続きの実施

3月下旬 「(仮称)今後のコミュニティ施策の基本的考え方」公表

2019(平成31)年度以降 「(仮称)今後のコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく取組推進

資 料 編

(資料編 1) 平成 29 年度かわさき市民アンケート報告書 (抜粋) 市民自治の実態等について.....	21
(資料編 2) 区民会議委員へのアンケート調査結果	31
(資料編 3) 平成 29 年度町内会・自治会アンケート	39
(資料編 4) まちづくり推進組織関係者ワークショップの実施結果	167
(資料編 5) 区民会議意見交換会の実施結果.....	207

平成 29 年度 かわさき市民アンケート 報告書（抜粋）

市民自治の実態等について

- ◆調査対象 川崎市在住の満18才以上の男女個人
- ◆調査方法 インターネット調査
- ◆標本抽出 インターネットモニター登録者から抽出
- ◆調査期間 平成29年9月1日（金）～9月15日（金）
- ◆有効回収数 1,500標本

川崎市市民文化局コミュニティ推進部協働・連携推進課

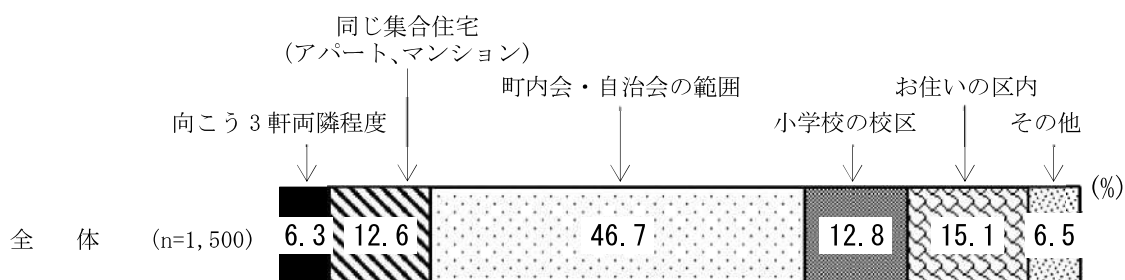
3 市民自治の実態等について

3-1 地域の範囲

◎ 「町内会・自治会の範囲」が46.7%

Q1. あなたにとって、「地域」とは、次のうちどの範囲をさすものですか。

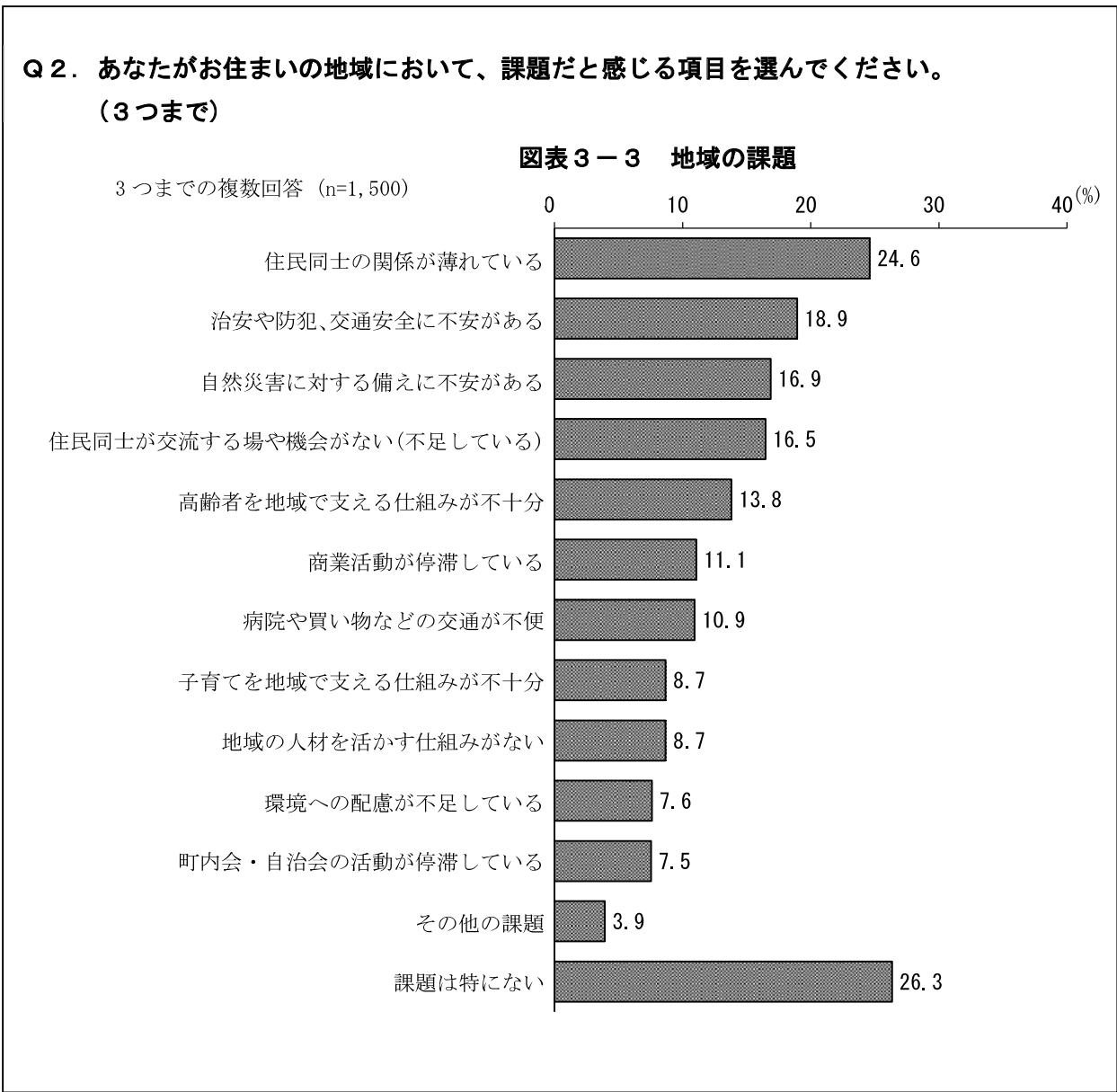
図表3-1 地域の範囲



自身にとっての「地域」の範囲について、半数近く(46.7%)の方が「町内会・自治会の範囲」と回答している。2番目に高いのは「お住いの区内」で15.1%、以下、「小学校の校区」(12.8%)、「同じ集合住宅(アパート、マンション)」(12.6%)、「向こう3軒両隣程度」(6.3%)の順となっている。

3-2 地域の課題

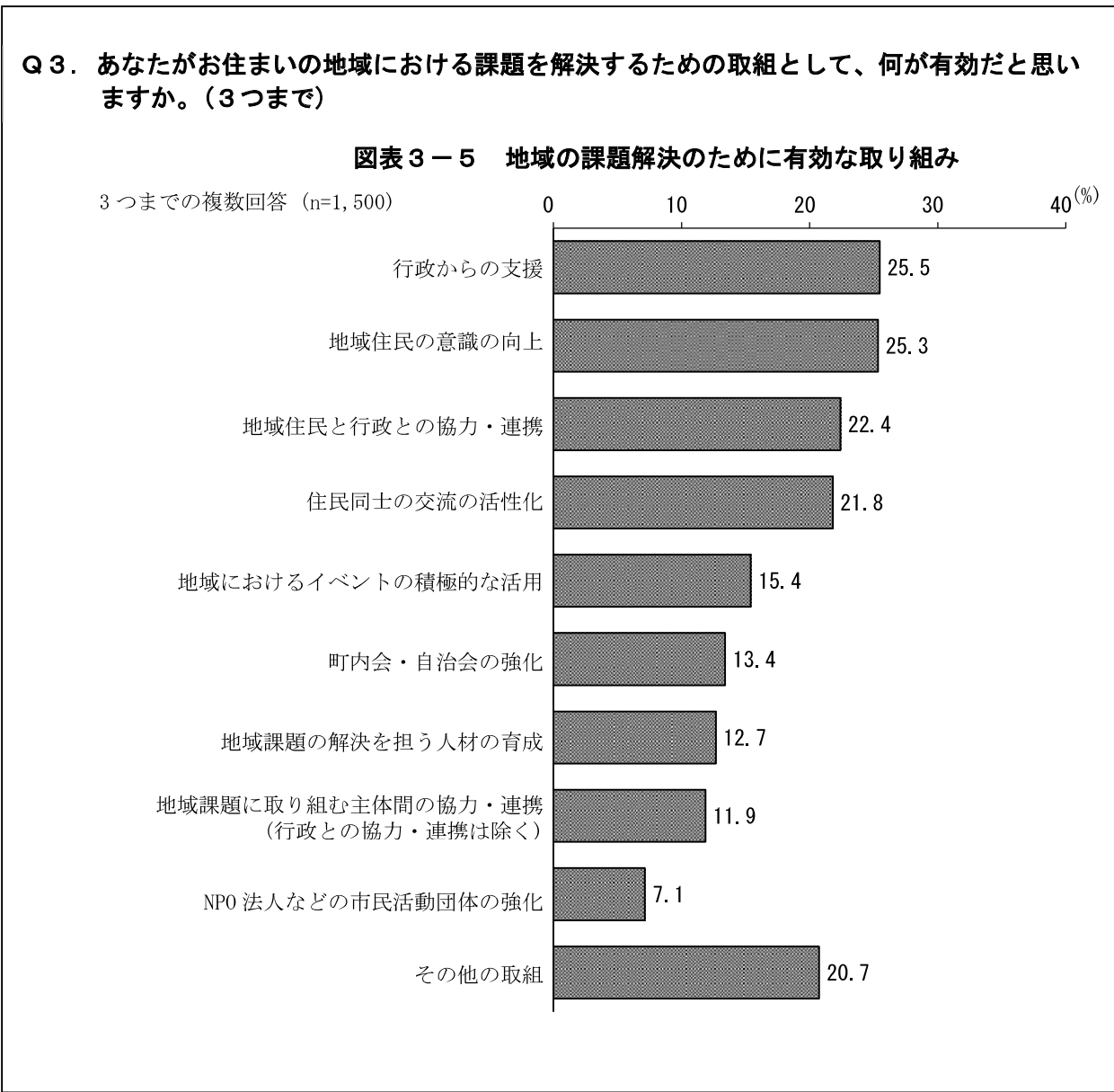
◎ 「住民同士の関係が薄れている」が24.6%



お住まいの地域の課題について、「住民同士の関係が薄れている」(24.6%)が最も高く、次いで、「治安や防犯、交通安全に不安がある」(18.9%)、「自然災害に対する備えに不安がある」(16.9%)、「住民同士が交流する場や機会がない(不足している)」(16.5%)の順となっている。

3-3 地域の課題解決に有効な取り組み

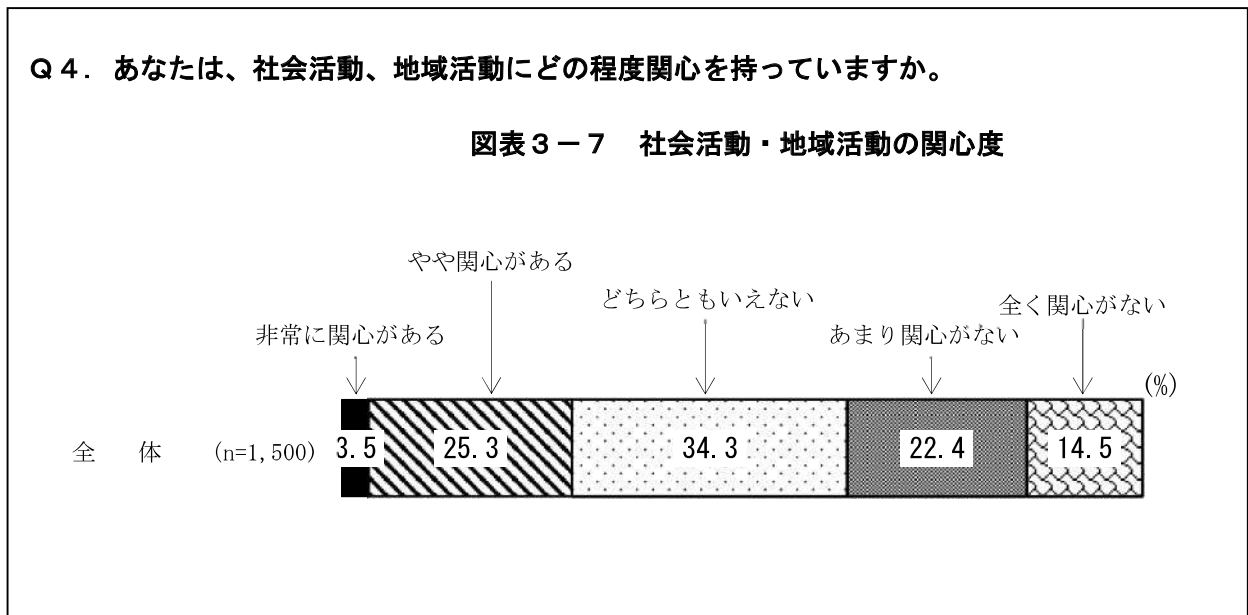
◎ 「行政からの支援」が25.5%、「地域住民の意識の向上」が25.3%



お住まいの地域において感じている課題解決に有効な取り組みとしては、回答割合が高いものから順に、「行政からの支援」(25.5%)、「地域住民の意識の向上」(25.3%)、「地域住民と行政との協力・連携」(22.4%)、「住民同士の交流の活性化」(21.8%)となっている。

3-4 社会活動・地域活動への関心度

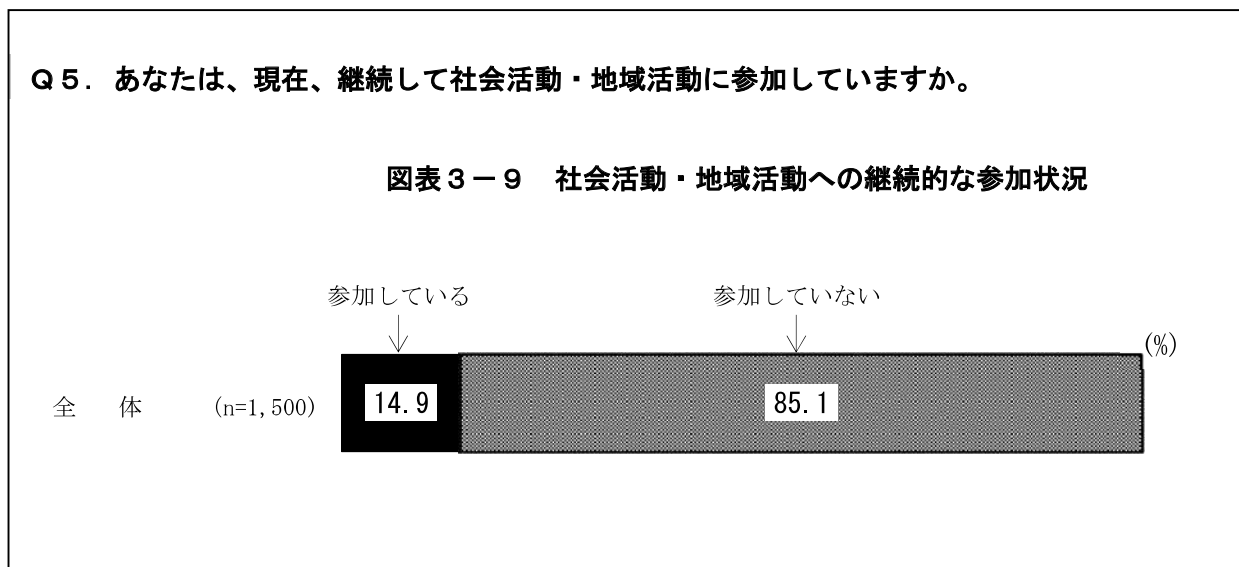
◎ 「非常に関心がある」と「やや関心がある」を合計した＜関心がある＞が28.8%



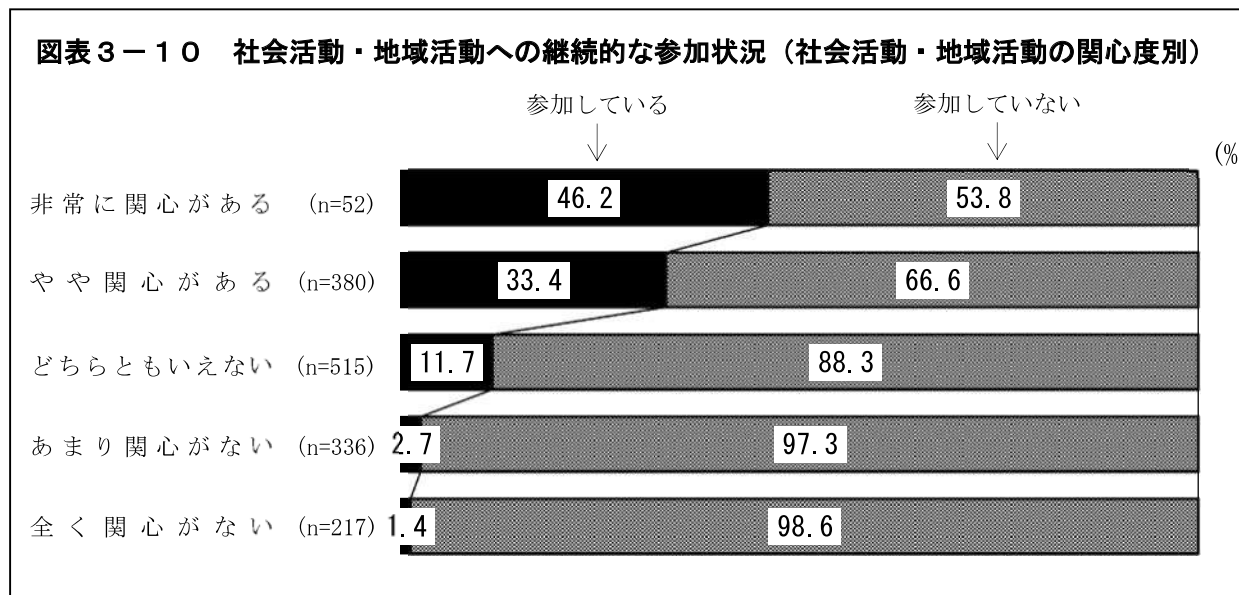
社会活動・地域活動に対して、28.8%の方が＜関心がある＞（「非常に関心がある」と「やや関心がある」の合計）と回答している。

3-5 社会活動・地域活動への継続的な参加状況

◎ 「参加していない」が85.1%



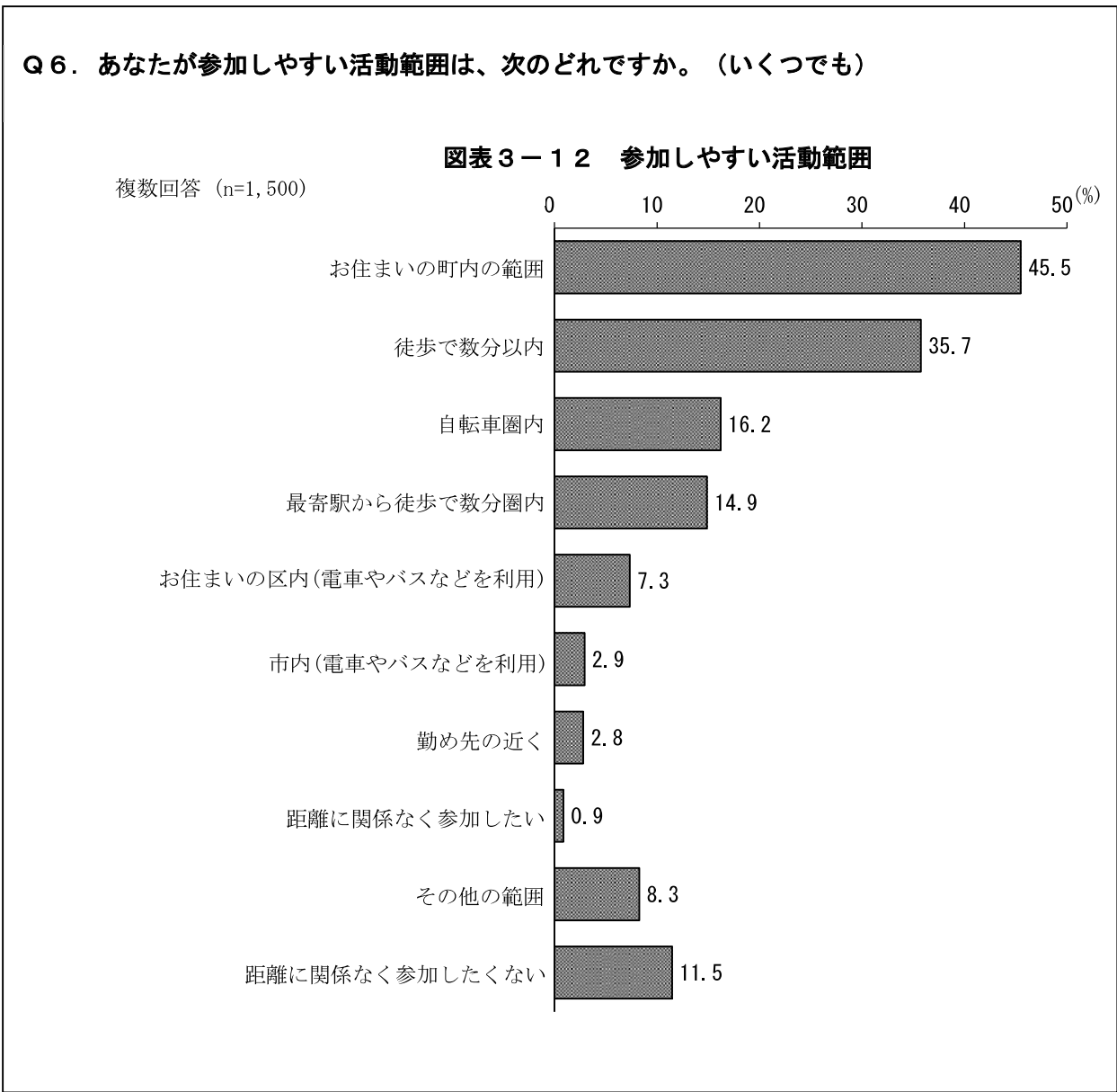
現在、継続的に社会活動・地域活動に「参加している」と回答した人の割合は14.9%となっている。



社会活動・地域活動に「非常に興味がある」人では46.2%、「やや興味がある」人では33.4%が、現在、社会活動・地域活動に「参加している」と回答している。

3-6 参加しやすい活動範囲

◎ 「お住まいの町内の範囲」が45.5%



参加しやすい活動範囲は、「お住まいの町内の範囲」(45.5%)が最も高く、次いで、「徒歩で数分以内」(35.7%)、「自転車圏内」(16.2%)、「最寄駅から徒歩で数分圏内」(14.9%)の順となっている。

なお、「距離に関係なく参加したくない」が11.5%となっている。

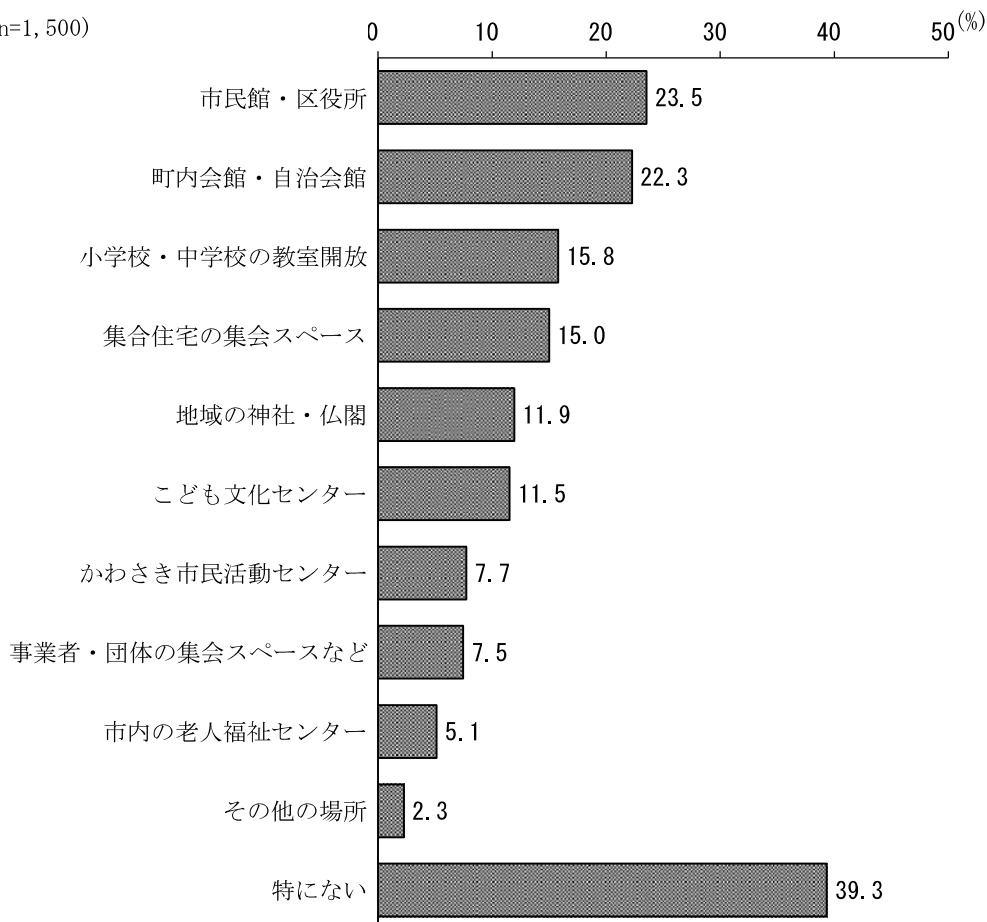
3-7 地域で活動を行う場合に、気楽に使える場所

◎ 「市民館・区役所」が23.5%、「町内会館・自治会館」が22.3%

Q7. あなたが、地域で活動を行う場合に、気軽に使える場所は次のどれですか。
(いくつでも)

図表3-14 地域で活動を行う場合に、気楽に使える場所

複数回答(n=1,500)



地域で活動を行う場合に、気楽に使える場所としては、「市民館・区役所」(23.5%)が最も高く、次いで、「町内会館・自治会館」(22.3%)、「小学校・中学校の教室開放」(15.8%)、「集合住宅の集会スペース」(15.0%)の順となっている。

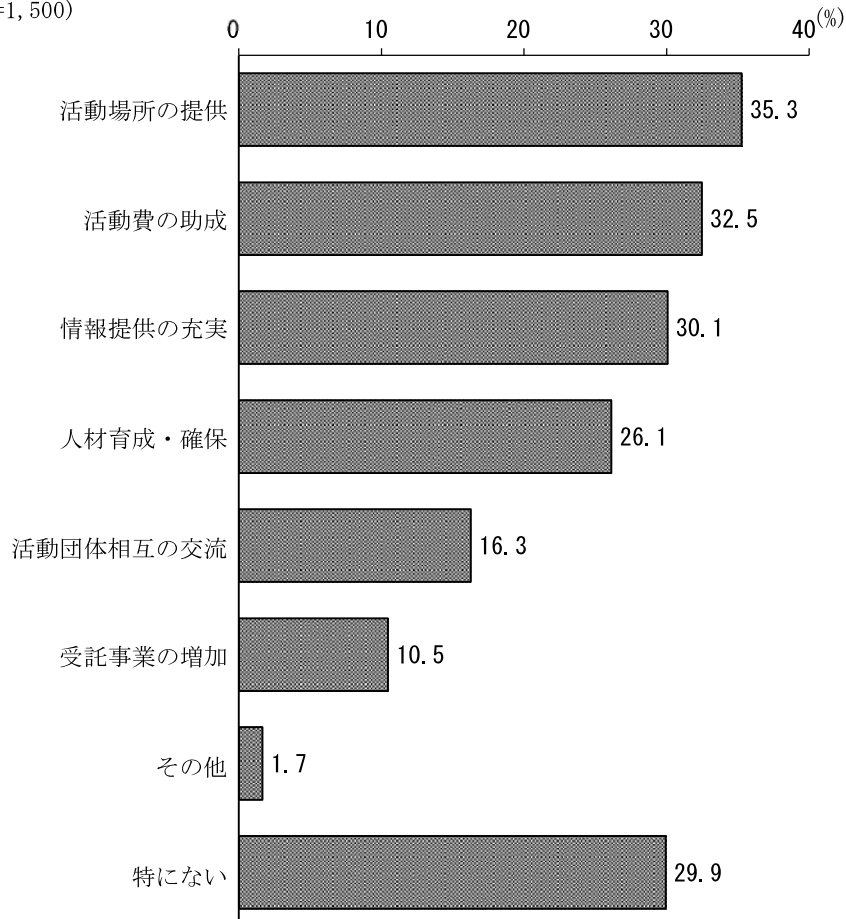
3-8 市民活動・地域活動に対して行政が支援すべきだと思う項目

◎ 「活動場所の提供」が35.3%

Q8. 不特定の第三者の役に立つような公益性が高い社会活動・地域活動に対して、行政が支援すべきだと思う項目はどれですか。(いくつでも)

図表3-16 市民活動・地域活動に対して行政が支援すべきだと思う項目

複数回答(n=1,500)



不特定の第三者の役に立つような公益性が高い社会活動・地域活動に対して、行政が支援すべきだと思う項目を聞いたところ、回答割合が高いものから順に、「活動場所の提供」(35.3%)、「活動費の助成」(32.5%)、「情報提供の充実」(30.1%)、「人材育成・確保」(26.1%)となっている。

区民会議委員へのアンケート調査結果

実施期間：平成29年12月～平成30年1月

対象：第6期区民会議委員及び区民会議委員を経験された方（第1～5期委員長、副委員長、書記、部会長、副部会長）

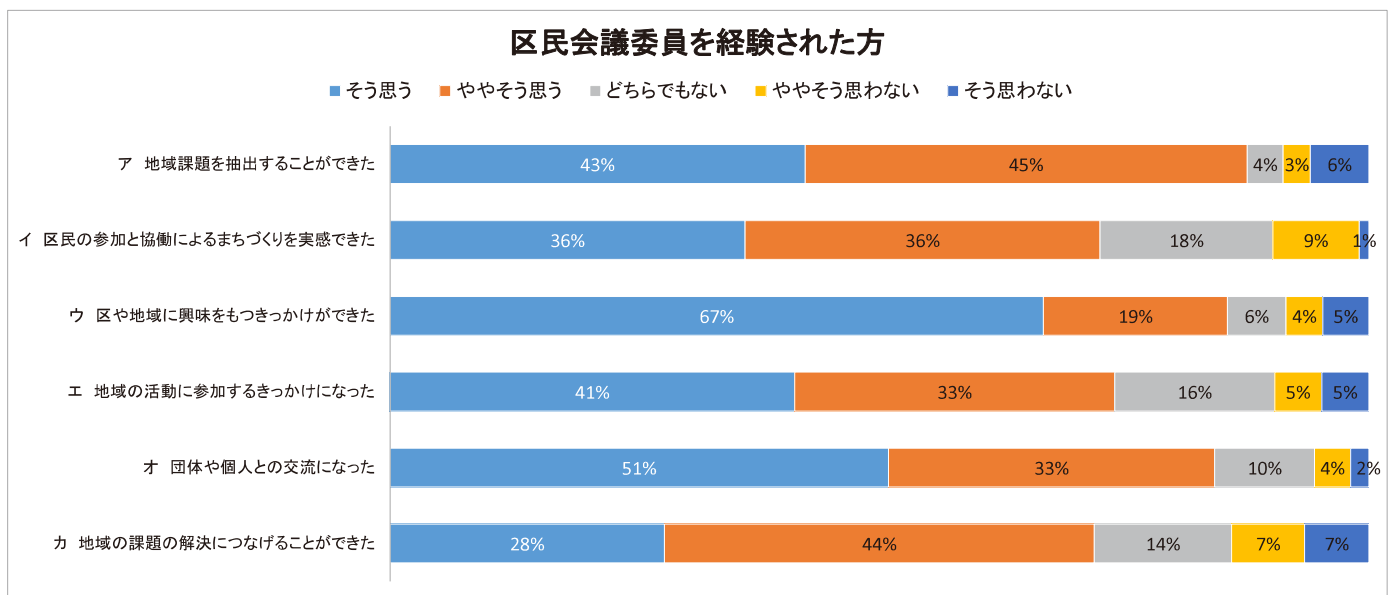
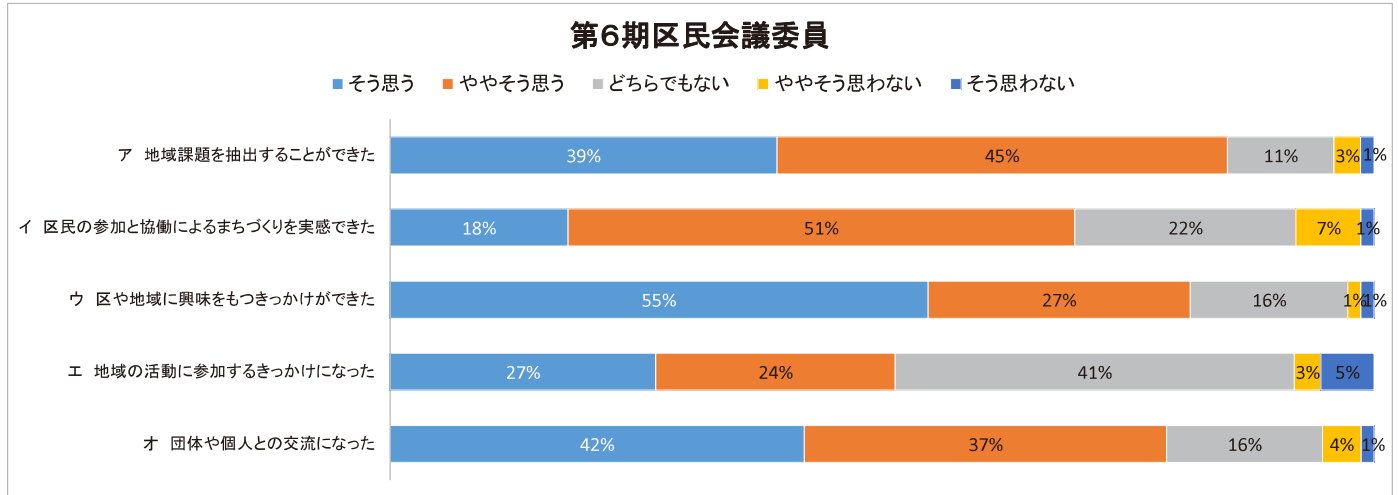
川崎市市民文化局コミュニティ推進部区政推進課

アンケート結果

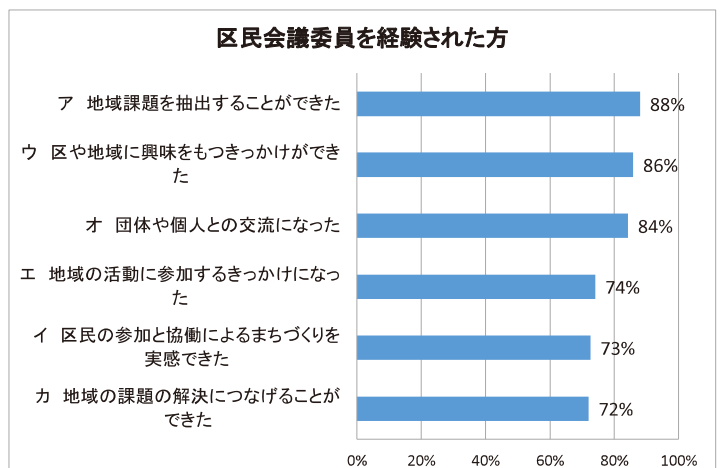
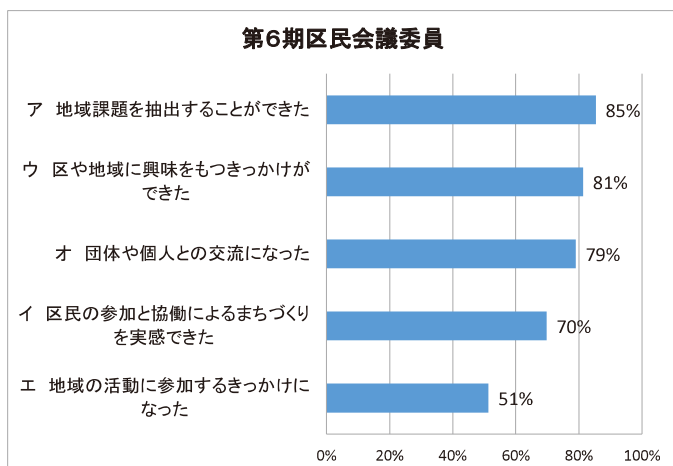
(アンケート回答者数) 第6期区民会議委員・・・77人 区民会議委員を経験された方・・・108人

※本文中の「百分率」は小数点第1位を四捨五入しているため、数値の合計が100にならない場合があります。

【①よかった、楽しかった、成果と感じたこと】



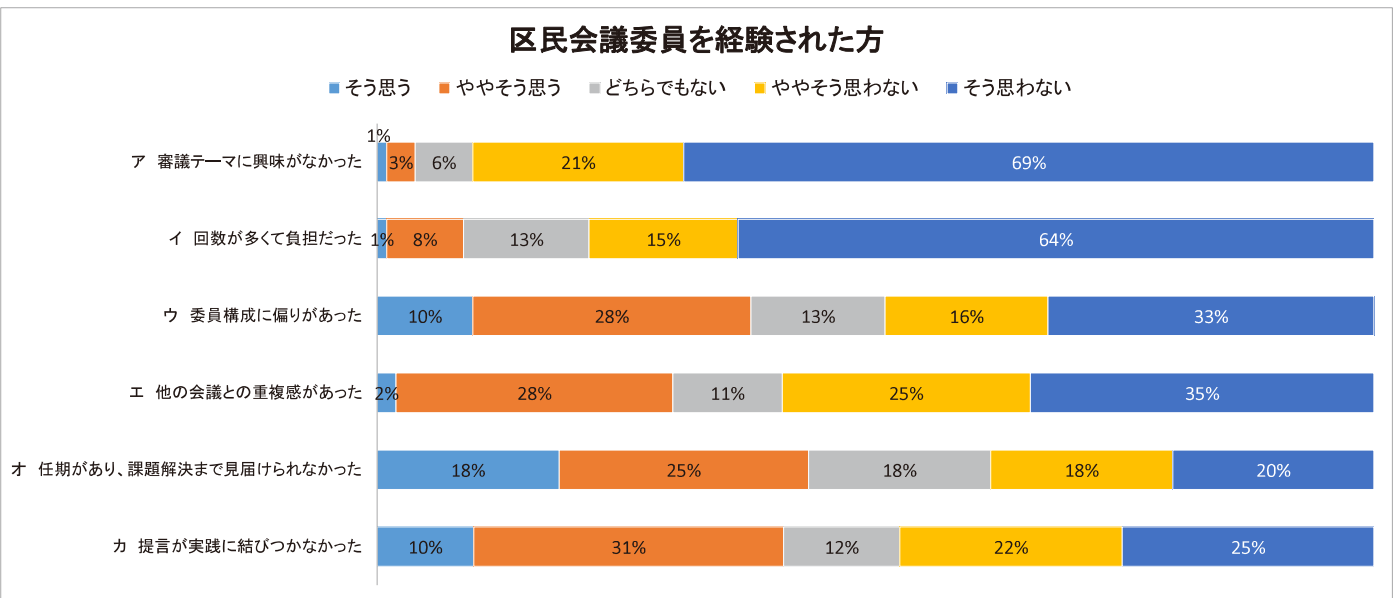
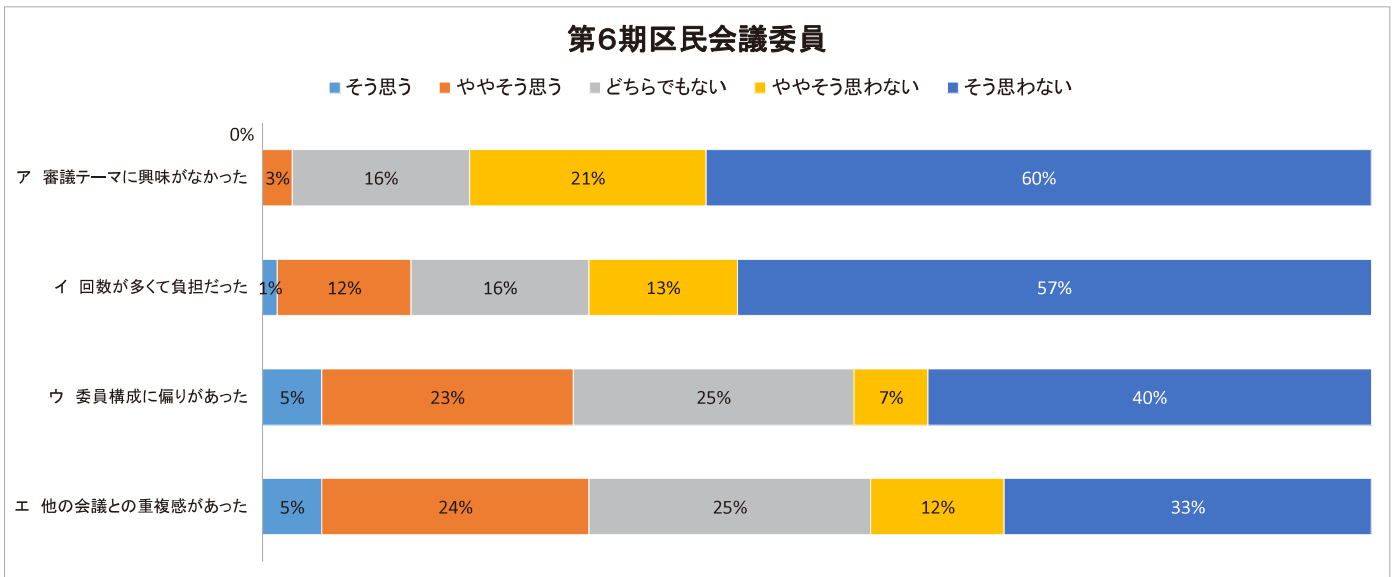
【上記のうち、「そう思う、ややそう思う」と回答した方の割合】 (数値が高い順)



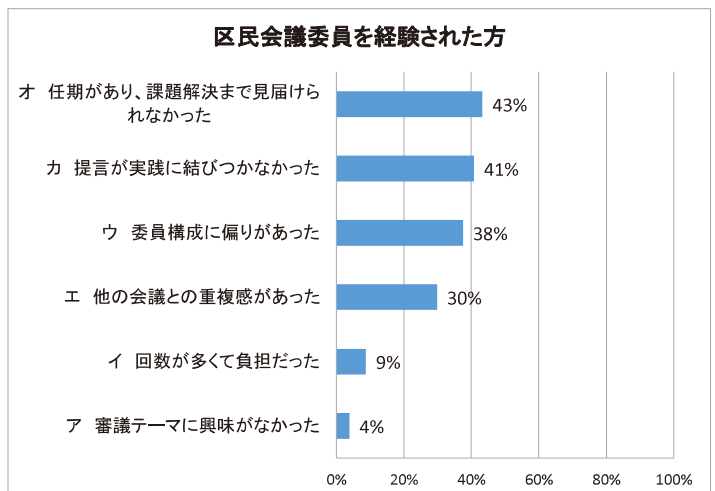
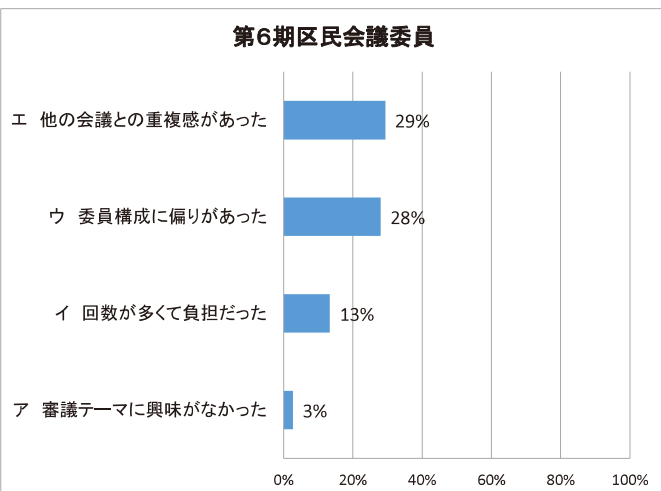
(その他よかった、楽しかった、成果と感じたこと) 105件

- ・知識の取得や気がつかない部分を知ることができたなど、学習になった。(34件)
- ・様々な人・団体との交流やつながりができた。(28件)
- ・地域課題解決の実践や解決につながる取組ができた。(26件)
- ・様々な立場や考え方の人とまちづくりや地域課題について考えることができた。(2件)
- ・区民会議の活動が有意義で楽しかった。(1件)
- ・地域のことを考えている人や団体がたくさん存在することを再認識した。(1件)
- ・委員のみなさんの協力が得られたこと。(1件)
- ・フラットな関係でテーマについて深い議論が行えた。(1件)
- ・地域の各団体の協力が得られた。(1件)
- ・区に興味をもつことができた。(1件) など

【②よくなかった、大変だった、課題と感じたこと】



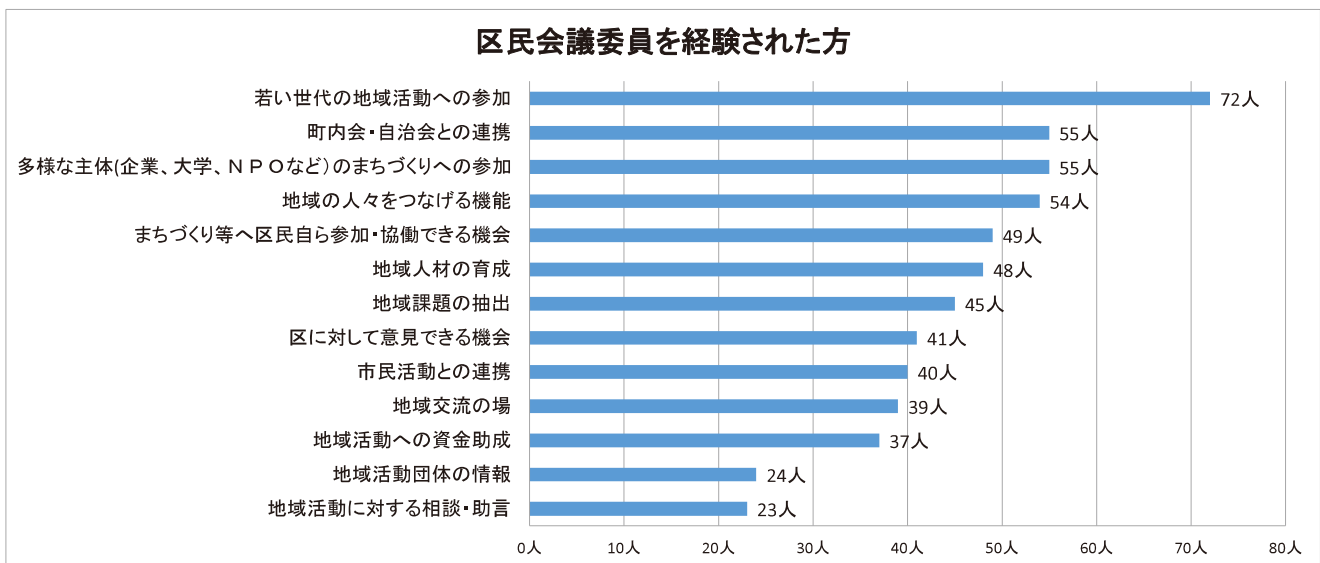
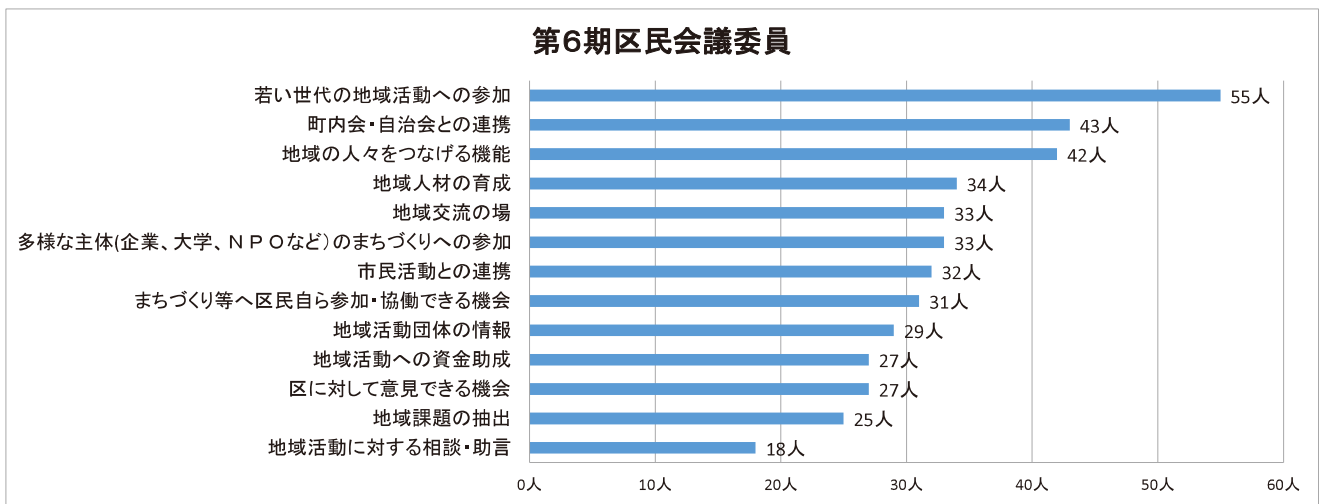
【上記のうち、「そう思う、ややそう思う」と回答した方の割合】（数値が高い順）



【その他よくなかった、大変だった、課題と感じたこと】 108件

- ・委員の経験や見識・認識の差に課題があった。(14件)
- ・委員の構成・選定に課題があった。公募の委員が少ない。(12件)
- ・地域課題解決の実践に結びつかなかった。(11件)
- ・委員の年齢層が高かった。もっと若い世代の委員や声を聞く機会が必要である。(8件)
- ・意見の集約など進行(運営)に難しさや負担、課題があった。(7件)
- ・委員の任期が短い。前期との継続性に苦労した。(6件)
- ・会議の曜日や時間帯が合わなかった。(6件)
- ・会議の回数や時間の制約があり、なかなか進展が見られなかった。(6件)
- ・認知度が低い。傍聴者が少ない。(4件)
- ・審議テーマの選定に疑問を感じた。(4件)
- ・他の区や会議との意見交換ができなかった。(4件)
- ・活動の成果がもの足りなかった。(2件)
- ・他の会議との重複感があった。(2件)
- ・行政主導になりすぎているように感じた。(2件)
- ・推薦団体にとらわれすぎている感じがした。(2件)
- ・事務局・コンサルタントの負担が多いと感じた。(2件)
- ・予算が不足していた。(1件)
- ・参与の位置づけがあいまいだった。(1件)
- ・もう少しインフォーマルな会合があればよいと思った。(1件) など

【③地域の課題を解決する仕組みとして、これからの区に必要なと思われる機能・手段・役割】



(その他自由記入欄) 91件

- ・多様な主体が協働・連携できる仕組み(12件)
- ・若い世代が気軽に地域活動に参加できること(8件)
- ・世代や専門性にとらわれずに参加できること(8件)
- ・上記全ての項目が必要(6件)
- ・地域をコーディネートできる人材や機関の育成が必要(6件)
- ・町内会・自治会へのバックアップや連携が必要(5件)
- ・区民が気軽に立ち寄れる交流の場が必要(4件)
- ・情報発信や情報共有(4件)
- ・地域活動への資金助成(3件)
- ・区民が気軽に相談できる人や機能(1件)
- ・地域住民が地域の課題を共通認識できる仕組み(1件)
- ・近所から行政へ繋ぐネットワーク機能(1件)
- ・有識者が区の課題と解決に向けて議論すること(1件)
- ・その他、区民会議の成果や課題に関する意見、行政に対する意見・要望(21件) など

【④その他のご意見】

(区民会議のよかったところ)

- ・様々な人や団体とのつながりができた。
- ・区で活動している方が集まっている会議なので、とても勉強になった。
- ・地域の課題を考え、提案する良い機会になった。
- ・楽しく暮らせる区を改めて考える機会となった。 など

(区民会議の課題・問題点)

- ・活動を知る人が少ないことが残念だった。
- ・成果がもの足りなかった。
- ・地域課題解決の実践には至らなかった。
- ・委員の年齢層が高かった。もっと若い世代の委員がいた方がよい。
- ・委員構成に偏りがあった。公募や一般市民の方が参加しやすいように考える必要がある。
- ・他の会議や地域活動と重複しているところがあった。
- ・行政主導と思われることがあった。
- ・審議テーマの選定に疑問があった。
- ・各委員はすばらしい意見を持っているが、推薦団体を通しての発言がなかった。 など

(これから必要なこと)

- ・若い世代が参加しやすい仕組み、工夫が必要である。
- ・世代や専門性を問わず幅広いメンバーが参加できるとよい。
- ・行政・各団体が各種情報の発信力を高めることが必要である。
- ・区よりも小さい単位でのコミュニティ、地域課題解決を話しあう場が必要である。
- ・町内会・自治会との連携が必要である。
- ・各団体が行っていることをコーディネートしてくれる組織があるとよい。
- ・区ごとに地域課題の特性があるため、それに即した課題解決に向けた仕組みづくり、中間支援組織との連携が必要である。
- ・行政が行う課題と市民が行う課題を明確にすべきである。
- ・区で活動している団体、グループの把握を行い、区が様々なサポート、支援することがこれまで以上に大事だと思う。(場所、資金、講師、研修会、PR等々)
- ・7区で集まって区ごとの違いを把握し、その解決策を再度議題として議論する場が必要である。
- ・区民会議で審議した事案を継続して続けるしくみになってほしい。
- ・区民会議から形を変えても地域課題を解決するための何らかの仕組みや場が必要である。
- ・地域課題の把握・解決するためには何らかのしくみは必要である。 など

(その他)

- ・区民会議を休止することが残念である。
- ・区民会議を休止することに賛成である。
- ・今後機会があれば、地域の課題の解決やしきみ作りなどに参加・協力したい。
- ・各委員や事務局に対するお礼
- ・行政に対する意見・要望 など

平成29年度町内会・自治会アンケート 調査報告書 【概要版】

調査の概要

- ◆調査対象 市内647町内会・自治会会長
- ◆調査の区分 全数調査
- ◆調査方法 郵送方法
- ◆調査期間 平成29年12月8日～平成30年1月16日
- ◆回収状況 有効回収件数 493件 有効回収率76.2%

	合計	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
回収数	493	83	52	59	85	53	78	83
配布数	647	97	70	78	107	70	101	125
回収率	76.2%	85.6%	74.3%	75.6%	79.4%	75.7%	77.2%	66.4%

- ◆調査内容
 - ①調査回答者
 - ②町内会・自治会に対する行政からの依頼事務について
 - ③町内会・自治会の活動について
 - ④町内会・自治会と行政のあり方について

調査回答者の属性

世帯数							
調査数	～50世帯	～100世帯	～500世帯	～1,000世帯	～1,500世帯	～2,000世帯	2,000世帯超～
493	40	37	167	132	61	24	32
100.0%	8.1%	7.5%	33.9%	26.8%	12.4%	4.9%	6.5%

会長歴							
調査数	～1年	～2年	～5年	～10年	～15年	～25年	25年超～
493	200	41	93	93	34	19	13
100.0%	40.6%	8.3%	18.9%	18.9%	6.9%	3.9%	2.6%

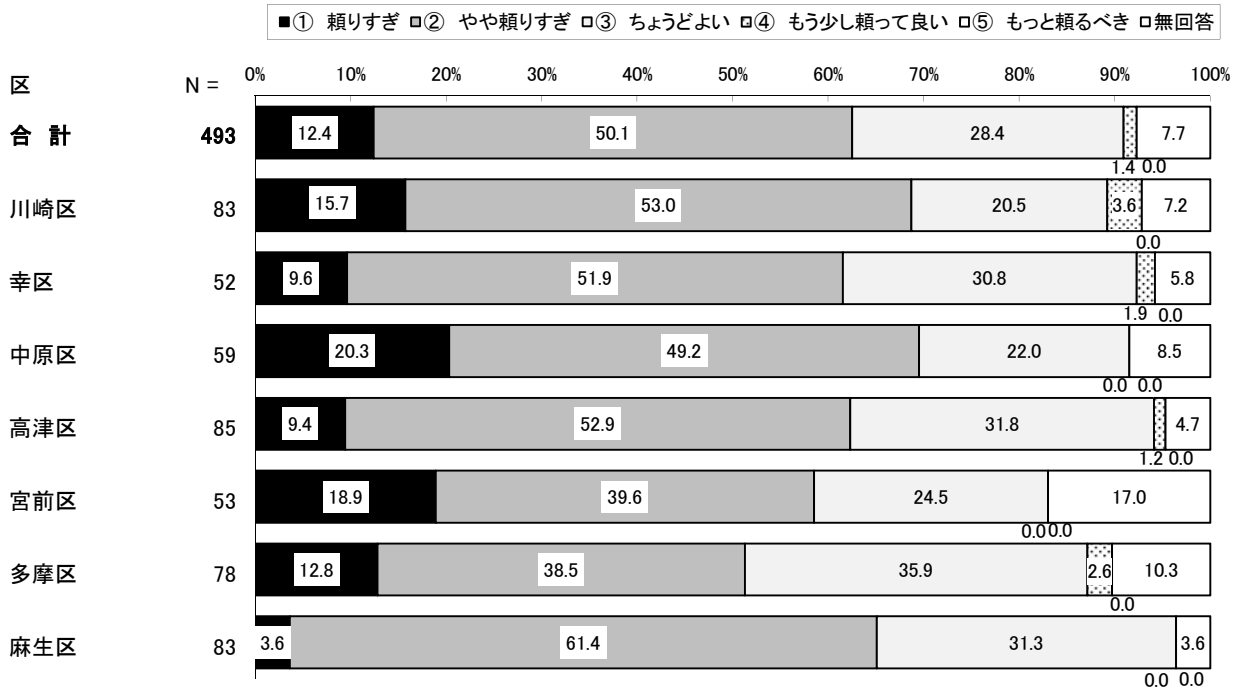
会長の年齢					
調査数	60歳未満	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
493	51	126	237	64	15
100.0%	10.3%	25.6%	48.1%	13.0%	3.0%

性別			
調査数	男	女	無回答
493	437	51	5
100.0%	88.6%	10.3%	1.0%

会長の職業						
調査数	会社員	自営業	公務員	無職	その他	無回答
493	82	110	4	220	63	14
100.0%	16.6%	22.3%	0.8%	44.6%	12.8%	2.8%

調査項目

【調査項目 1】 行政の町内会への依存度



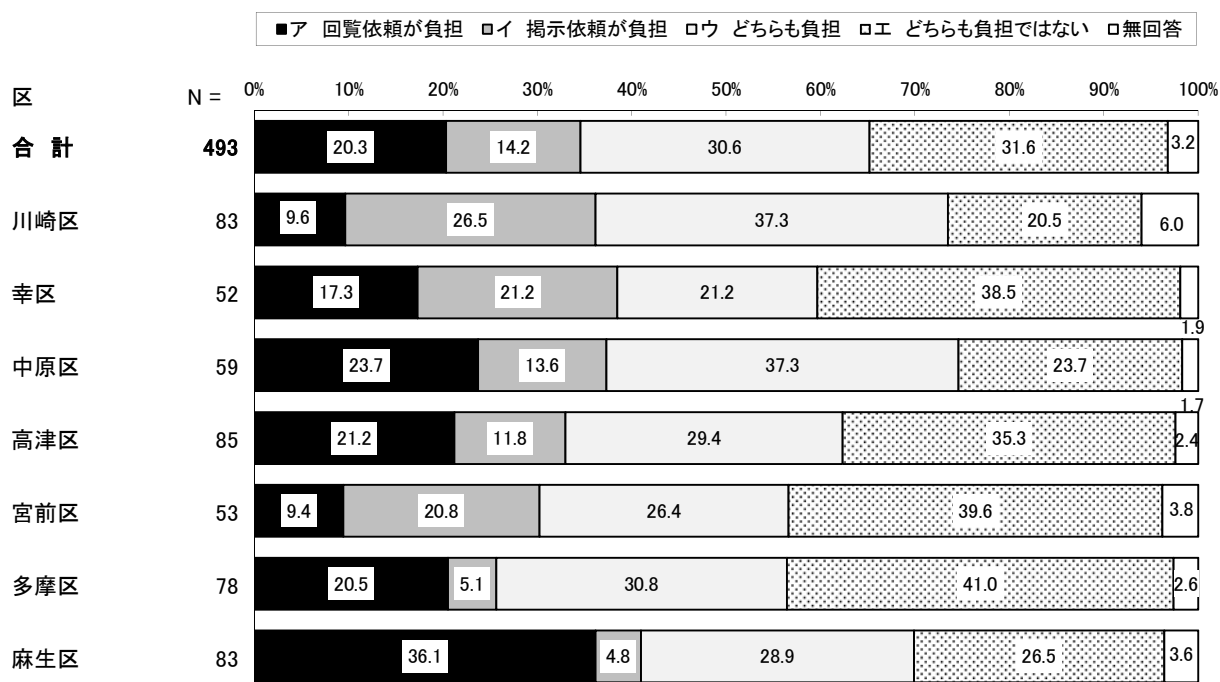
	1-(1) 行政の町内会への依存度						
	調査数	① 頼りすぎ	② やや頼りすぎ	③ ちょうどよい	④ もう少し頼って良い	⑤ もっと頼るべき	無回答
合計	493	61	247	140	7	-	38
	100.0%	12.4%	50.1%	28.4%	1.4%	-	7.7%
川崎区	83	13	44	17	3	-	6
	100.0%	15.7%	53.0%	20.5%	3.6%	-	7.2%
幸区	52	5	27	16	1	-	3
	100.0%	9.6%	51.9%	30.8%	1.9%	-	5.8%
中原区	59	12	29	13	-	-	5
	100.0%	20.3%	49.2%	22.0%	-	-	8.5%
高津区	85	8	45	27	1	-	4
	100.0%	9.4%	52.9%	31.8%	1.2%	-	4.7%
宮前区	53	10	21	13	-	-	9
	100.0%	18.9%	39.6%	24.5%	-	-	17.0%
多摩区	78	10	30	28	2	-	8
	100.0%	12.8%	38.5%	35.9%	2.6%	-	10.3%
麻生区	83	3	51	26	-	-	3
	100.0%	3.6%	61.4%	31.3%	-	-	3.6%

◇全体を見ると、「頼り過ぎ」（12.4%）、「やや頼り過ぎ」（50.1%）の合計が62.5%となる。

◇「頼り過ぎ」を見ると、中原区（20.3%）が他区と比べると最も高い。

◇「ちょうどよい」を見ると、多摩区（35.9%）が他区と比べると最も高い。

【調査項目 1】チラシ等の回覧依頼とポスター等掲示依頼の負担

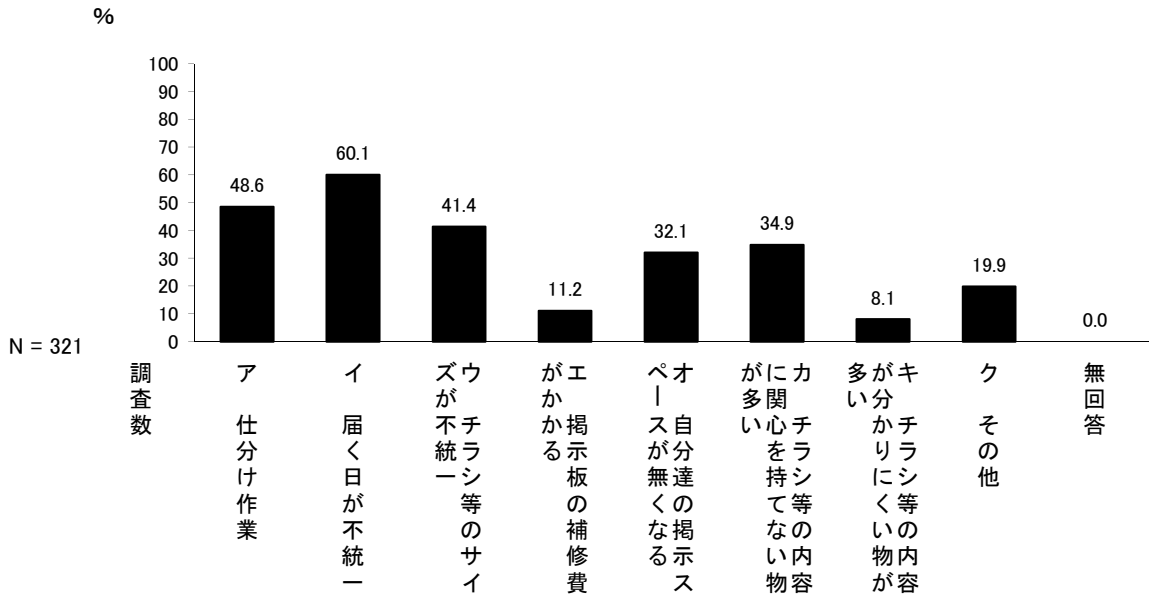


	1-(4) チラシ等の回覧依頼とポスター等掲示依頼の負担					
	調査数	ア 回覧依頼が負担	イ 掲示依頼が負担	ウ どちらも負担	エ どちらも負担ではない	無回答
合計	493	100	70	151	156	16
	100.0%	20.3%	14.2%	30.6%	31.6%	3.2%
川崎区	83	8	22	31	17	5
	100.0%	9.6%	26.5%	37.3%	20.5%	6.0%
幸区	52	9	11	11	20	1
	100.0%	17.3%	21.2%	21.2%	38.5%	1.9%
中原区	59	14	8	22	14	1
	100.0%	23.7%	13.6%	37.3%	23.7%	1.7%
高津区	85	18	10	25	30	2
	100.0%	21.2%	11.8%	29.4%	35.3%	2.4%
宮前区	53	5	11	14	21	2
	100.0%	9.4%	20.8%	26.4%	39.6%	3.8%
多摩区	78	16	4	24	32	2
	100.0%	20.5%	5.1%	30.8%	41.0%	2.6%
麻生区	83	30	4	24	22	3
	100.0%	36.1%	4.8%	28.9%	26.5%	3.6%

◇全体を見ると、「回覧依頼が負担」(20.3%)と「どちらも負担」(30.6%)の合計が約4割、「掲示依頼が負担(14.2%)」と「どちらも負担」(30.6%)の合計が約4割となっている。

◇「回覧依頼が負担」と「どちらも負担」の合計割合を見ると、宮前区(合計35.8%)が最も低く、次いで、幸区(合計38.5%)が低い。

【調査項目 1】チラシ等の回覧依頼とポスター等掲示依頼を負担に感じる点



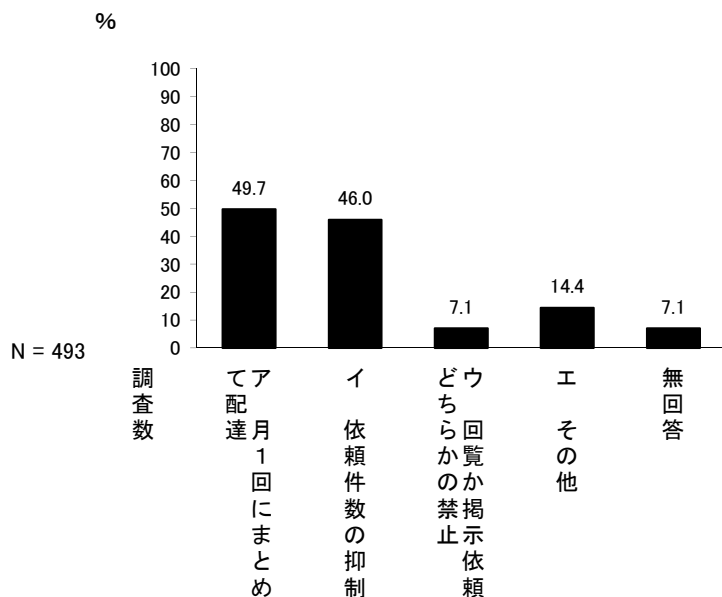
合 計		321	156	193	133	36	103	112	26	64	-
		100.0%	48.6%	60.1%	41.4%	11.2%	32.1%	34.9%	8.1%	19.9%	-
区	川崎区	61	22	43	34	5	23	22	2	10	-
		100.0%	36.1%	70.5%	55.7%	8.2%	37.7%	36.1%	3.3%	16.4%	-
	幸区	31	15	12	11	6	14	10	4	8	-
		100.0%	48.4%	38.7%	35.5%	19.4%	45.2%	32.3%	12.9%	25.8%	-
	中原区	44	24	29	23	10	20	16	2	11	-
		100.0%	54.5%	65.9%	52.3%	22.7%	45.5%	36.4%	4.5%	25.0%	-
	高津区	53	20	38	21	3	16	12	5	8	-
	100.0%	37.7%	71.7%	39.6%	5.7%	30.2%	22.6%	9.4%	15.1%	-	
宮前区	30	13	16	12	6	16	9	-	4	-	
	100.0%	43.3%	53.3%	40.0%	20.0%	53.3%	30.0%	-	13.3%	-	
多摩区	44	27	25	20	4	7	19	2	7	-	
	100.0%	61.4%	56.8%	45.5%	9.1%	15.9%	43.2%	4.5%	15.9%	-	
麻生区	58	35	30	12	2	7	24	11	16	-	
	100.0%	60.3%	51.7%	20.7%	3.4%	12.1%	41.4%	19.0%	27.6%	-	

◇全体を見ると、「届く日が不統一」(60.1%)が最も高く、次いで、「仕分け作業」(48.6%)、「チラシ等のサイズが不統一」(41.4%)、「チラシ等の内容に関心を持ってない物が多い」(34.9%)の順に高い。

◇区別を見ると、川崎区、中原区、高津区、宮前区では「届く日が不統一」の割合が最も高く、幸区、多摩区、麻生区では、「仕分け作業」の割合が最も高い。

◇宮前区では「自分達の掲示スペースが無くなる」も同率で割合が高い。

【調査項目 1】効果的な回覧や掲示依頼に対する負担軽減策

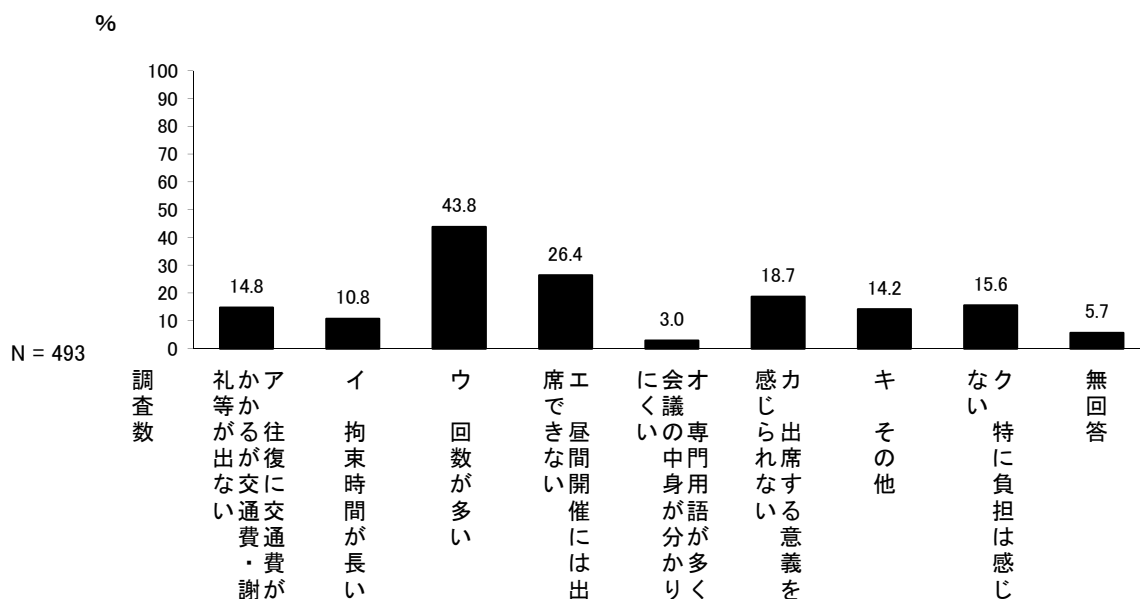


合 計		493	245	227	35	71	35
		100.0%	49.7%	46.0%	7.1%	14.4%	7.1%
区	川崎区	83	44	36	5	9	8
		100.0%	53.0%	43.4%	6.0%	10.8%	9.6%
	幸区	52	31	23	3	5	4
		100.0%	59.6%	44.2%	5.8%	9.6%	7.7%
	中原区	59	24	34	6	8	4
		100.0%	40.7%	57.6%	10.2%	13.6%	6.8%
	高津区	85	37	45	6	12	7
	100.0%	43.5%	52.9%	7.1%	14.1%	8.2%	
宮前区	53	28	24	3	8	4	
	100.0%	52.8%	45.3%	5.7%	15.1%	7.5%	
多摩区	78	38	30	6	14	6	
	100.0%	48.7%	38.5%	7.7%	17.9%	7.7%	
麻生区	83	43	35	6	15	2	
	100.0%	51.8%	42.2%	7.2%	18.1%	2.4%	

◇全体を見ると、「月に1回にまとめて配達」(49.7%)、「依頼件数の抑制」(46.0%)が他の項目より圧倒的に高い。

◇区別を見ると、中原区、高津区では「依頼件数の抑制」の割合が区内で最も高い。

【調査項目1】会長に対する会議等への出席依頼を負担に感じる点

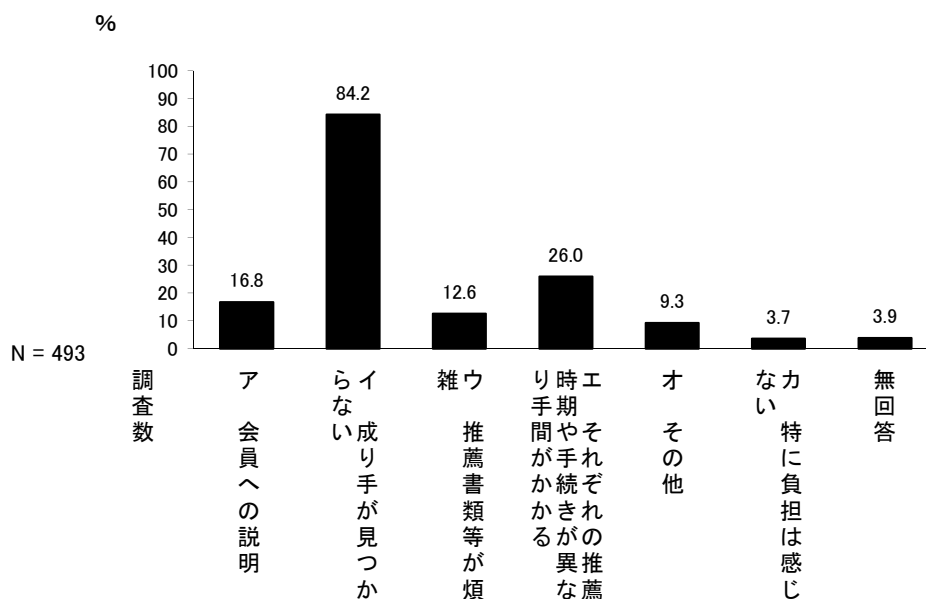


合 計		493	73	53	216	130	15	92	70	77	28
		100.0%	14.8%	10.8%	43.8%	26.4%	3.0%	18.7%	14.2%	15.6%	5.7%
区	川崎区	83	20	8	36	13	2	14	8	15	5
		100.0%	24.1%	9.6%	43.4%	15.7%	2.4%	16.9%	9.6%	18.1%	6.0%
	幸区	52	7	6	26	12	2	10	8	11	3
		100.0%	13.5%	11.5%	50.0%	23.1%	3.8%	19.2%	15.4%	21.2%	5.8%
	中原区	59	5	7	32	11	3	11	9	9	1
		100.0%	8.5%	11.9%	54.2%	18.6%	5.1%	18.6%	15.3%	15.3%	1.7%
	高津区	85	13	8	30	28	-	10	10	17	8
	100.0%	15.3%	9.4%	35.3%	32.9%	-	11.8%	11.8%	20.0%	9.4%	
宮前区	53	9	6	27	13	1	10	6	6	3	
	100.0%	17.0%	11.3%	50.9%	24.5%	1.9%	18.9%	11.3%	11.3%	5.7%	
多摩区	78	13	7	31	24	5	22	10	9	3	
	100.0%	16.7%	9.0%	39.7%	30.8%	6.4%	28.2%	12.8%	11.5%	3.8%	
麻生区	83	6	11	34	29	2	15	19	10	5	
	100.0%	7.2%	13.3%	41.0%	34.9%	2.4%	18.1%	22.9%	12.0%	6.0%	

◇全体を見ると、「回数が多い」(43.8%)が最も高く、次いで「昼間開催には出席できない」(26.4%)、「感じる出席する意義を感じられない」(18.7%)の順に高い。

◇「昼間開催には出席できない」を区別に見ると、高津区(32.9%)、多摩区(30.8%)、麻生区(34.9%)は3割を超えており、他区より高い。

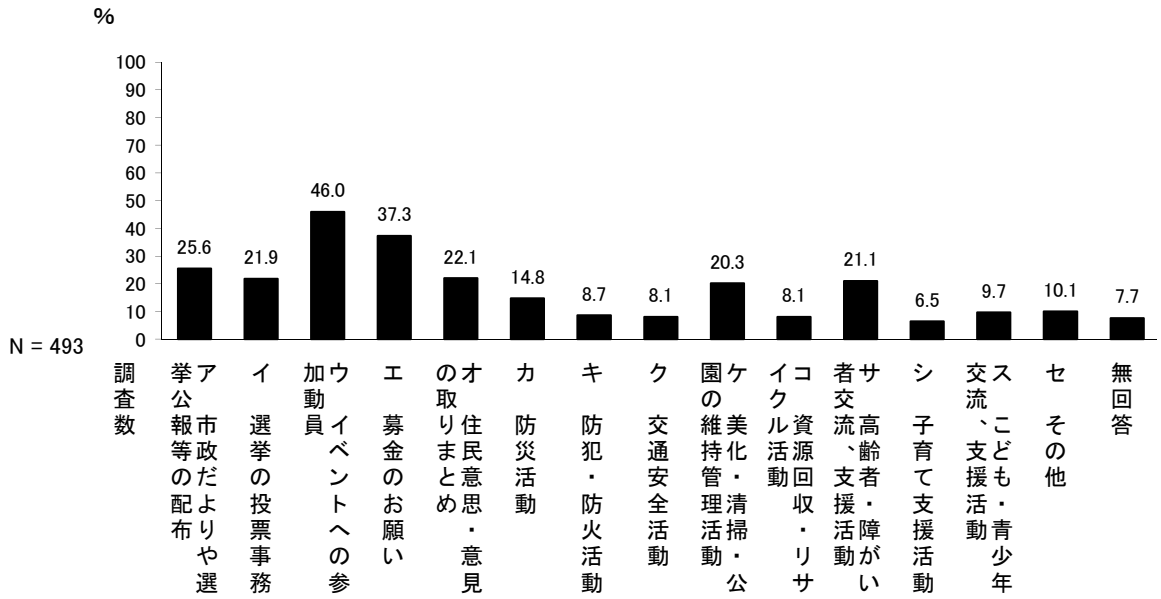
【調査項目 1】各種委員の推薦依頼について負担に感じる点



合 計		493	83	415	62	128	46	18	19
		100.0%	16.8%	84.2%	12.6%	26.0%	9.3%	3.7%	3.9%
区	川崎区	83	15	68	14	21	8	5	2
		100.0%	18.1%	81.9%	16.9%	25.3%	9.6%	6.0%	2.4%
	幸区	52	13	44	14	19	6	2	-
		100.0%	25.0%	84.6%	26.9%	36.5%	11.5%	3.8%	-
	中原区	59	9	51	10	18	4	-	1
		100.0%	15.3%	86.4%	16.9%	30.5%	6.8%	-	1.7%
	高津区	85	10	75	4	20	8	5	4
		100.0%	11.8%	88.2%	4.7%	23.5%	9.4%	5.9%	4.7%
宮前区	53	9	45	3	17	6	1	3	
	100.0%	17.0%	84.9%	5.7%	32.1%	11.3%	1.9%	5.7%	
多摩区	78	13	65	8	16	3	4	5	
	100.0%	16.7%	83.3%	10.3%	20.5%	3.8%	5.1%	6.4%	
麻生区	83	14	67	9	17	11	1	4	
	100.0%	16.9%	80.7%	10.8%	20.5%	13.3%	1.2%	4.8%	

◇全体を見ると、「找不到成り手が見つからない」(84.2%)が圧倒的に高く、次いで「それぞれの推薦時期や手続きが異なり手間がかかる」(26.0%)が高い。

【調査項目 1】 その他の行政と関わりある活動等を負担に感じる点

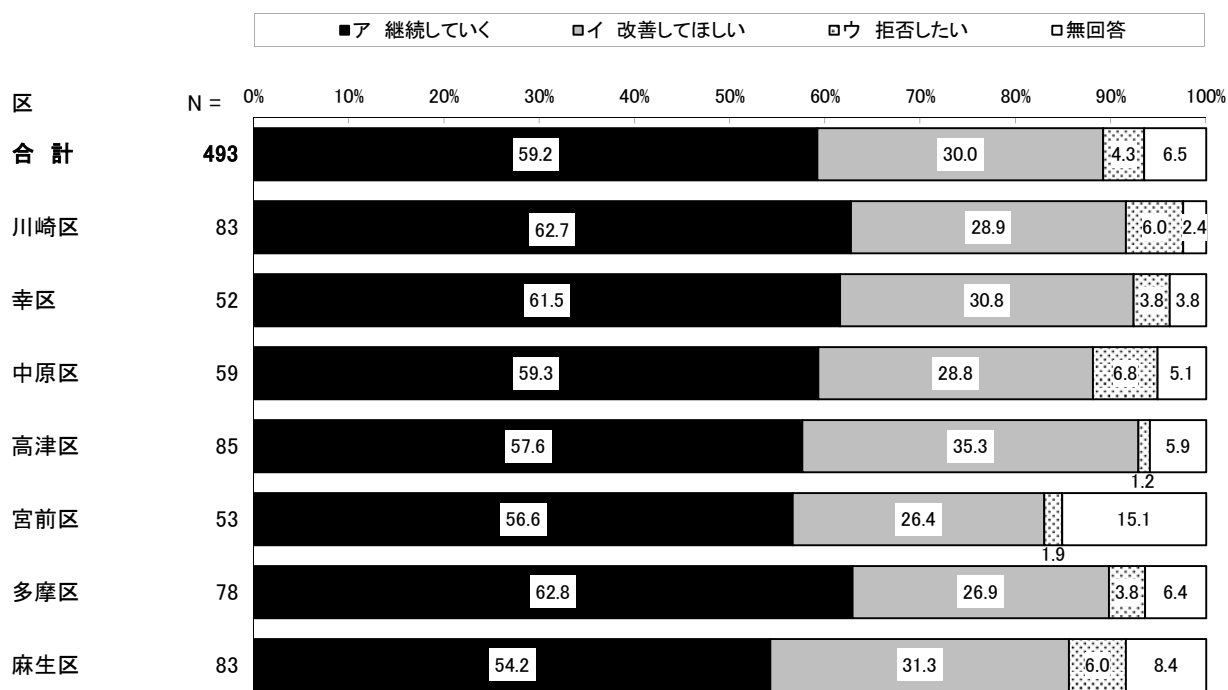


合計		493	126	108	227	184	109	73	43	40	100	40	104	32	48	50	38
		100.0%	25.6%	21.9%	46.0%	37.3%	22.1%	14.8%	8.7%	8.1%	20.3%	8.1%	21.1%	6.5%	9.7%	10.1%	7.7%
区	川崎区	83	18	20	43	39	22	16	9	14	19	6	19	7	5	7	4
		100.0%	21.7%	24.1%	51.8%	47.0%	26.5%	19.3%	10.8%	16.9%	22.9%	7.2%	22.9%	8.4%	6.0%	8.4%	4.8%
	幸区	52	16	9	23	28	16	6	5	5	10	10	11	3	6	7	1
		100.0%	30.8%	17.3%	44.2%	53.8%	30.8%	11.5%	9.6%	9.6%	19.2%	19.2%	21.2%	5.8%	11.5%	13.5%	1.9%
	中原区	59	19	13	33	23	13	10	6	4	16	3	12	4	3	6	4
		100.0%	32.2%	22.0%	55.9%	39.0%	22.0%	16.9%	10.2%	6.8%	27.1%	5.1%	20.3%	6.8%	5.1%	10.2%	6.8%
	高津区	85	18	16	41	21	15	10	4	2	15	6	18	5	5	8	5
	100.0%	21.2%	18.8%	48.2%	24.7%	17.6%	11.8%	4.7%	2.4%	17.6%	7.1%	21.2%	5.9%	5.9%	9.4%	5.9%	
宮前区	53	12	8	19	13	7	7	4	5	9	4	10	5	8	4	8	
	100.0%	22.6%	15.1%	35.8%	24.5%	13.2%	13.2%	7.5%	9.4%	17.0%	7.5%	18.9%	9.4%	15.1%	7.5%	15.1%	
多摩区	78	21	17	41	28	19	12	9	8	15	6	18	3	11	9	5	
	100.0%	26.9%	21.8%	52.6%	35.9%	24.4%	15.4%	11.5%	10.3%	19.2%	7.7%	23.1%	3.8%	14.1%	11.5%	6.4%	
麻生区	83	22	25	27	32	17	12	6	2	16	5	16	5	10	9	11	
	100.0%	26.5%	30.1%	32.5%	38.6%	20.5%	14.5%	7.2%	2.4%	19.3%	6.0%	19.3%	6.0%	12.0%	10.8%	13.3%	

◇全体を見ると、「イベントへの参加動員」(46.0%)が最も高く、次いで「募金のお願い」(37.3%)、「市政だよりや選挙公報等の配布」(25.6%)、「住民意思・意見の取りまとめ」(22.1%)、「選挙の投票事務」(21.9%)の順に高い。

◇幸区、麻生区では「募金のお願い」がそれぞれ53.8%、38.6%となっており区内で最も高い。

【調査項目 1】負担が大きいと感じる事業等の継続意思



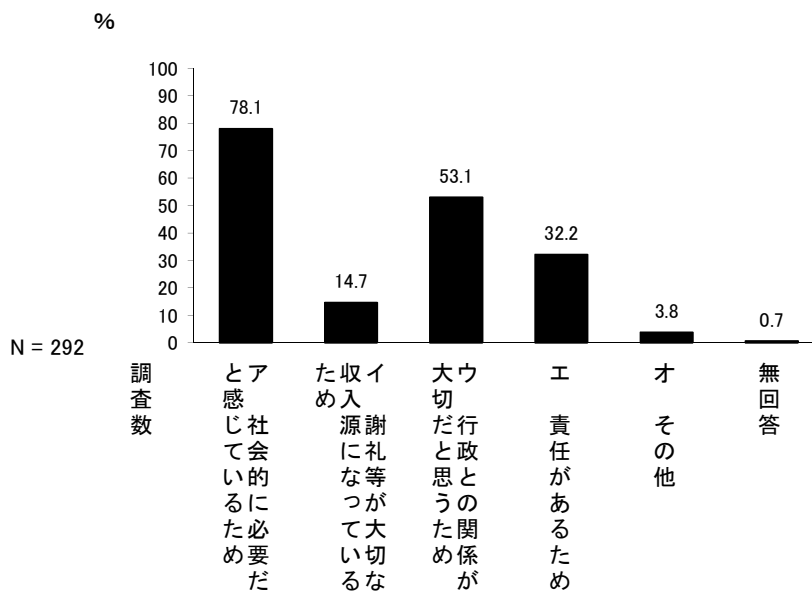
	1-(11)負担が大きいと感じる事業等の継続意思					10年前			
	調査数	ア 継続していく	イ 改善してほしい	ウ 拒否したい	無回答	調査数	継続していく	改善してほしい	拒否したい
合計	493	292	148	21	32	270	137	145	35
	100.0%	59.2%	30.0%	4.3%	6.5%	100.0%	50.7%	53.7%	13.0%
川崎区	83	52	24	5	2	47	20	21	6
	100.0%	62.7%	28.9%	6.0%	2.4%	100.0%	42.6%	44.7%	12.8%
幸区	52	32	16	2	2	30	17	18	6
	100.0%	61.5%	30.8%	3.8%	3.8%	100.0%	56.7%	60.0%	20.0%
中原区	59	35	17	4	3	36	27	19	2
	100.0%	59.3%	28.8%	6.8%	5.1%	100.0%	75.0%	52.8%	5.6%
高津区	85	49	30	1	5	35	35	26	3
	100.0%	57.6%	35.3%	1.2%	5.9%	100.0%	100.0%	74.3%	8.6%
宮前区	53	30	14	1	8	33	12	15	3
	100.0%	56.6%	26.4%	1.9%	15.1%	100.0%	36.4%	45.5%	9.1%
多摩区	78	49	21	3	5	45	11	25	9
	100.0%	62.8%	26.9%	3.8%	6.4%	100.0%	24.4%	55.6%	20.0%
麻生区	83	45	26	5	7	44	15	21	6
	100.0%	54.2%	31.3%	6.0%	8.4%	100.0%	34.1%	47.7%	13.6%

◇全体を見ると、「継続していく」(59.2%)が最も高く、「拒否したい」(4.3%)が最も低い。

◇10年前と比べると、「改善してほしい」、「拒否したい」の割合が減り、「継続していく」の割合が増えている。

◇「継続していく」を区別に見ると、多摩区(62.8%)が最も高く、次いで川崎区(62.7%)が高い。

【調査項目 1】負担が大きいと感じる事業を継続する理由

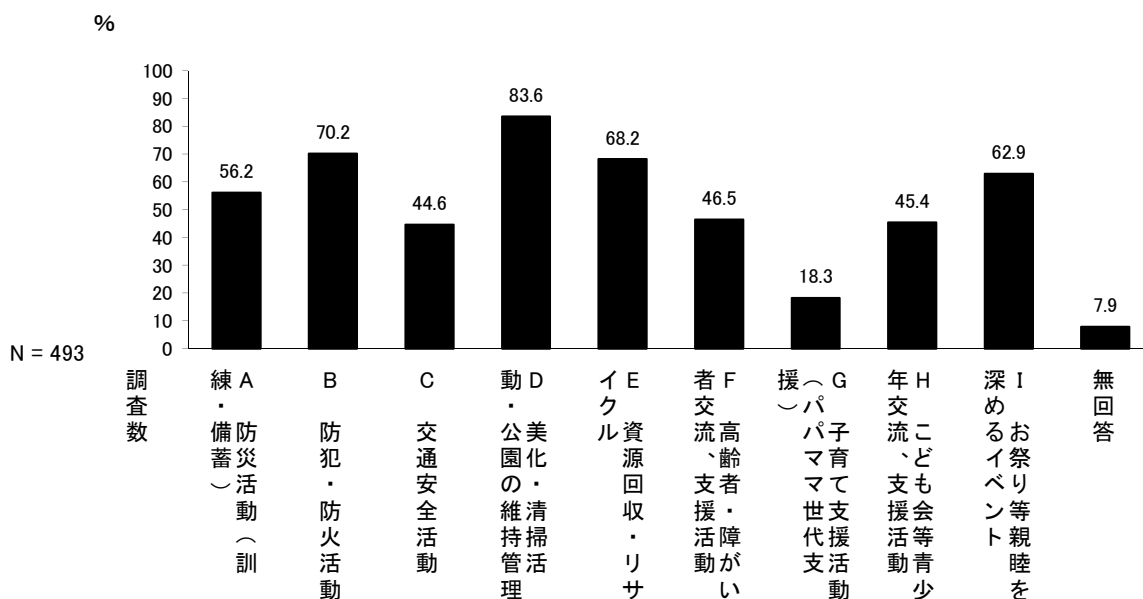


合 計	292	228	43	155	94	11	2	
	100.0%	78.1%	14.7%	53.1%	32.2%	3.8%	0.7%	
区	川崎区	52	37	11	28	14	—	1
		100.0%	71.2%	21.2%	53.8%	26.9%	—	1.9%
	幸区	32	26	8	22	6	2	—
		100.0%	81.3%	25.0%	68.8%	18.8%	6.3%	—
	中原区	35	28	6	18	16	—	1
		100.0%	80.0%	17.1%	51.4%	45.7%	—	2.9%
	高津区	49	39	5	30	16	2	—
		100.0%	79.6%	10.2%	61.2%	32.7%	4.1%	—
宮前区	30	23	2	12	12	1	—	
	100.0%	76.7%	6.7%	40.0%	40.0%	3.3%	—	
多摩区	49	39	7	21	18	3	—	
	100.0%	79.6%	14.3%	42.9%	36.7%	6.1%	—	
麻生区	45	36	4	24	12	3	—	
	100.0%	80.0%	8.9%	53.3%	26.7%	6.7%	—	

◇全体を見ると、「社会的に必要だと感じているため」（78.1%）が最も高く、次いで「行政との関係が大切だと思うため」（53.1%）の順に高い。

◇宮前区では、「行政との関係が大切だと思うため」と「責任があるため」が40.0%と同じ割合となっている。

【調査項目2】自分の町内会・自治会単独で活動している



合 計		493	277	346	220	412	336	229	90	224	310	39
		100.0%	56.2%	70.2%	44.6%	83.6%	68.2%	46.5%	18.3%	45.4%	62.9%	7.9%
区	川崎区	83	34	60	59	66	62	41	21	43	66	7
		100.0%	41.0%	72.3%	71.1%	79.5%	74.7%	49.4%	25.3%	51.8%	79.5%	8.4%
	幸区	52	33	41	34	45	36	34	15	33	41	2
		100.0%	63.5%	78.8%	65.4%	86.5%	69.2%	65.4%	28.8%	63.5%	78.8%	3.8%
	中原区	59	32	57	27	56	37	34	17	44	45	-
		100.0%	54.2%	96.6%	45.8%	94.9%	62.7%	57.6%	28.8%	74.6%	76.3%	-
	高津区	85	52	61	28	69	55	32	8	34	57	6
	100.0%	61.2%	71.8%	32.9%	81.2%	64.7%	37.6%	9.4%	40.0%	67.1%	7.1%	
宮前区	53	28	32	20	42	33	25	7	25	33	6	
	100.0%	52.8%	60.4%	37.7%	79.2%	62.3%	47.2%	13.2%	47.2%	62.3%	11.3%	
多摩区	78	49	50	29	67	60	28	12	27	37	8	
	100.0%	62.8%	64.1%	37.2%	85.9%	76.9%	35.9%	15.4%	34.6%	47.4%	10.3%	
麻生区	83	49	45	23	67	53	35	10	18	31	10	
	100.0%	59.0%	54.2%	27.7%	80.7%	63.9%	42.2%	12.0%	21.7%	37.3%	12.0%	

◇全体を見ると、「美化・清掃活動・公園の維持管理」(83.6%)が最も高く、次いで「防犯・防火活動」(70.2%)、「資源回収・リサイクル」(68.2%)、「お祭り等親睦を深めるイベント」(62.9%)、「防災活動(訓練・備蓄)」(56.2%)の順に高い。

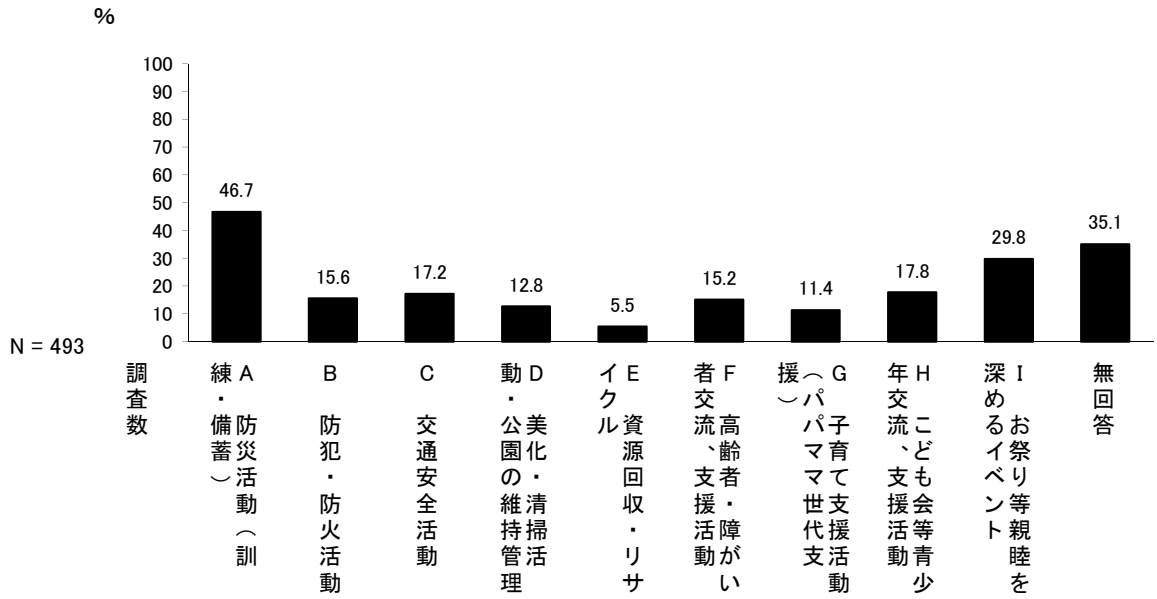
◇区別を見ると、中原区では「防犯・防火活動」(96.6%)が最も高い。

◇「交通安全活動」を区別に見ると、川崎区(79.5%)、幸区(65.4%)の順に他区に差をつけて高い。

◇「高齢者・障がい者交流、支援活動」を区別に見ると、幸区(65.4%)が他区に差をつけて最も高い。

◇「子ども会等青少年交流、支援活動」を区別に見ると、中原区(74.6%)、幸区(63.5%)の順に他区に差をつけて高い。

【調査項目 2】近隣の町内会・自治会と連携して活動している



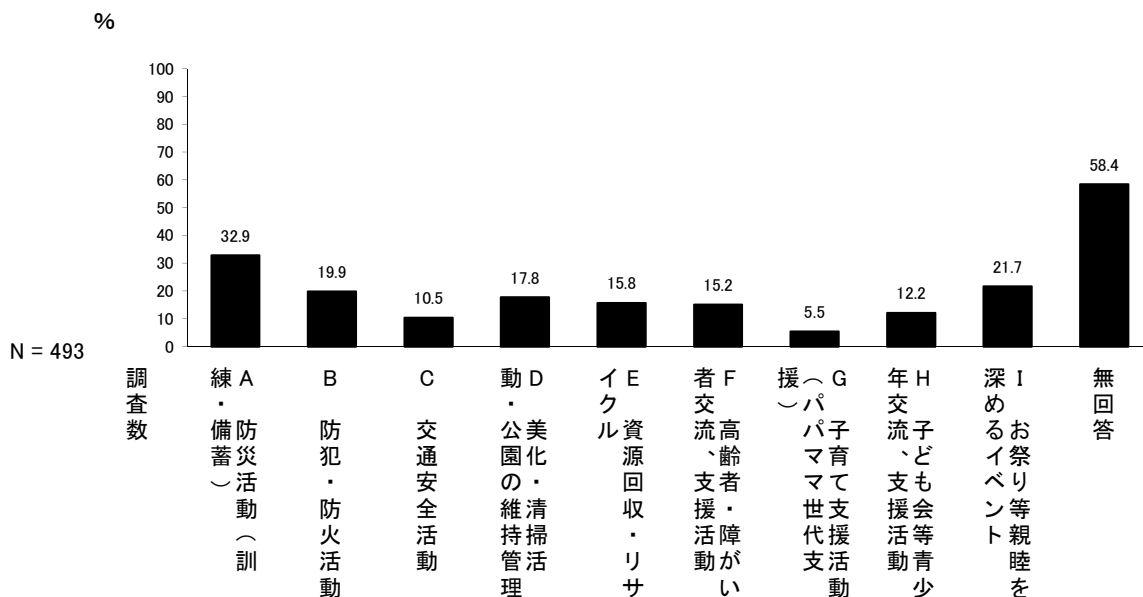
合 計		493	230	77	85	63	27	75	56	88	147	173
		100.0%	46.7%	15.6%	17.2%	12.8%	5.5%	15.2%	11.4%	17.8%	29.8%	35.1%
区	川崎区	83	46	15	16	10	2	15	6	19	24	22
		100.0%	55.4%	18.1%	19.3%	12.0%	2.4%	18.1%	7.2%	22.9%	28.9%	26.5%
	幸区	52	29	15	13	7	3	13	12	17	26	10
		100.0%	55.8%	28.8%	25.0%	13.5%	5.8%	25.0%	23.1%	32.7%	50.0%	19.2%
	中原区	59	37	7	16	7	4	18	24	17	29	9
		100.0%	62.7%	11.9%	27.1%	11.9%	6.8%	30.5%	40.7%	28.8%	49.2%	15.3%
	高津区	85	37	7	10	10	4	8	5	8	19	32
	100.0%	43.5%	8.2%	11.8%	11.8%	4.7%	9.4%	5.9%	9.4%	22.4%	37.6%	
宮前区	53	30	12	17	9	3	13	6	10	12	13	
	100.0%	56.6%	22.6%	32.1%	17.0%	5.7%	24.5%	11.3%	18.9%	22.6%	24.5%	
多摩区	78	29	13	8	7	5	4	1	12	21	39	
	100.0%	37.2%	16.7%	10.3%	9.0%	6.4%	5.1%	1.3%	15.4%	26.9%	50.0%	
麻生区	83	22	8	5	13	6	4	2	5	16	48	
	100.0%	26.5%	9.6%	6.0%	15.7%	7.2%	4.8%	2.4%	6.0%	19.3%	57.8%	

◇全体を見ると、「防災活動（訓練・備蓄）」（46.7%）が最も高く、次いで「お祭り等親睦を深めるイベント」（29.8%）、「子ども会等青少年交流、支援活動」（17.8%）、「交通安全活動」（17.2%）の順に高い。

◇「防災活動（訓練・備蓄）」を区別に見ると、麻生区（26.5%）、多摩区（37.2%）の順に低い。

◇中原区では、「高齢者・障害者交流、支援活動」（30.5%）、「子育て支援活動（パパママ世代支援）」（40.7%）が他区より高い。

【調査項目 2】現在の活動を今後さらに力を入れたい



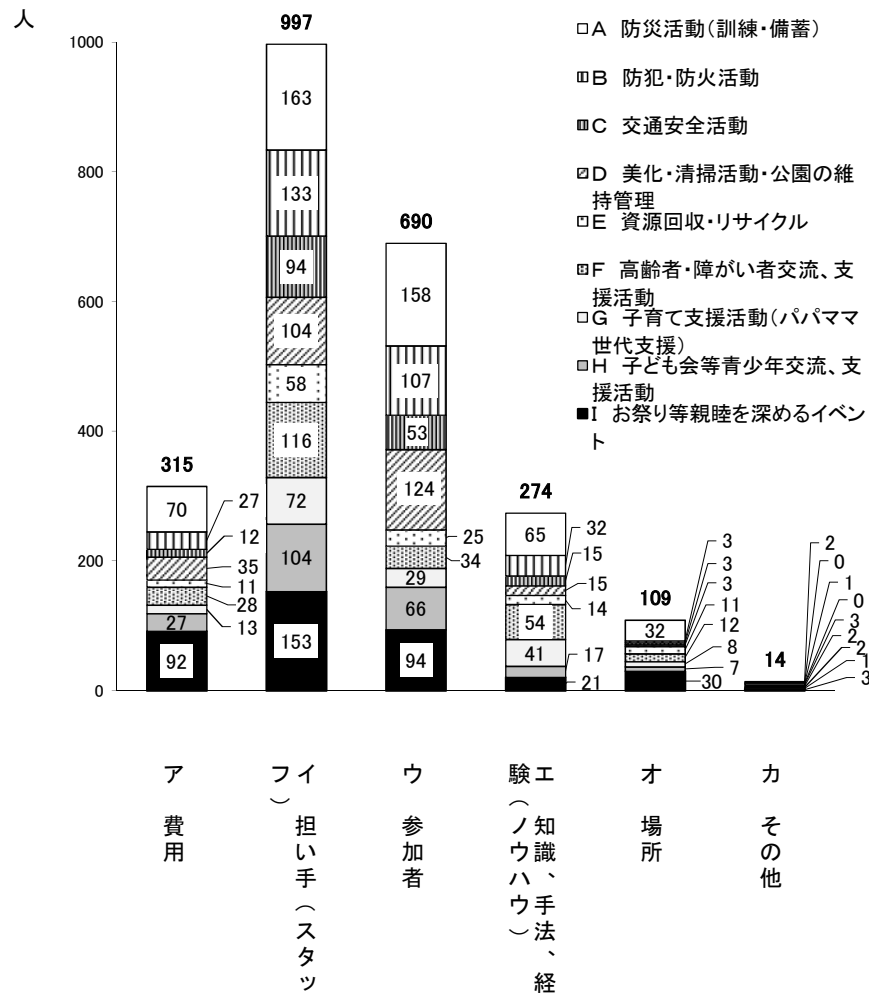
合 計		493	162	98	52	88	78	75	27	60	107	288
		100.0%	32.9%	19.9%	10.5%	17.8%	15.8%	15.2%	5.5%	12.2%	21.7%	58.4%
区	川崎区	83	28	19	13	21	15	15	7	15	30	45
		100.0%	33.7%	22.9%	15.7%	25.3%	18.1%	18.1%	8.4%	18.1%	36.1%	54.2%
	幸区	52	19	14	9	12	14	16	5	10	15	24
		100.0%	36.5%	26.9%	17.3%	23.1%	26.9%	30.8%	9.6%	19.2%	28.8%	46.2%
	中原区	59	22	14	5	10	5	5	4	7	11	33
		100.0%	37.3%	23.7%	8.5%	16.9%	8.5%	8.5%	6.8%	11.9%	18.6%	55.9%
	高津区	85	29	19	10	15	17	10	2	10	17	48
		100.0%	34.1%	22.4%	11.8%	17.6%	20.0%	11.8%	2.4%	11.8%	20.0%	56.5%
宮前区	53	13	5	3	5	3	9	4	7	6	36	
	100.0%	24.5%	9.4%	5.7%	9.4%	5.7%	17.0%	7.5%	13.2%	11.3%	67.9%	
多摩区	78	30	16	7	14	16	12	4	7	18	44	
	100.0%	38.5%	20.5%	9.0%	17.9%	20.5%	15.4%	5.1%	9.0%	23.1%	56.4%	
麻生区	83	21	11	5	11	8	8	1	4	10	58	
	100.0%	25.3%	13.3%	6.0%	13.3%	9.6%	9.6%	1.2%	4.8%	12.0%	69.9%	

◇全体を見ると、「防災活動（訓練・備蓄）」（32.9%）が最も高く、次いで「お祭り等親睦を深めるイベント」（21.7%）、「防犯・防火活動」（19.9%）、「美化・清掃活動・公園の維持管理」（17.8%）の順に高い。

◇川崎区では「お祭り等親睦を深めるイベント」（36.1%）が最も高い。

◇「高齢者・障がい者交流、支援活動」を区別に見ると、幸区（30.8%）が最も高い。

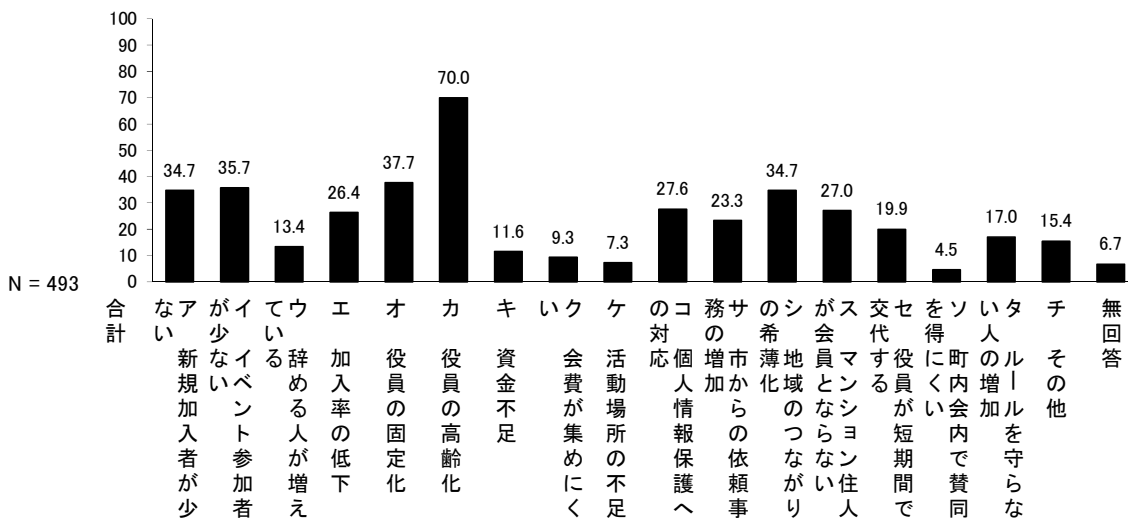
【調査項目2】活動を進める上で不足する点や問題点



	ア 費用	イ 担い手 (スタッフ)	ウ 参加者	エ ノウ知識、 ハウ手法、 経験	オ 場所	カ その他
A 防災活動(訓練・備蓄)	70	163	158	65	32	2
B 防犯・防火活動	27	133	107	32	3	-
C 交通安全活動	12	94	53	15	3	1
D 美化・清掃活動・公園の維持管理	35	104	124	15	3	-
E 資源回収・リサイクル	11	58	25	14	11	3
F 高齢者・障がい者交流、支援活動	28	116	34	54	12	2
G 子育て支援活動(パパママ世代支援)	13	72	29	41	8	2
H 子ども会等青少年交流、支援活動	27	104	66	17	7	1
I お祭り等親睦を深めるイベント	92	153	94	21	30	3

- ◇全体を見ると、「担い手(スタッフ)」の合計が最も高い。
- ◇「美化・清掃活動・公園の維持管理」を見ると、「参加者」が最も合計が高くなっている。
- ◇「高齢者・障がい者交流、支援活動」「子育て支援活動(パパママ世代支援)」について見ると、「知識、手法、経験(ノウハウ)」の合計がそれぞれ2番目に高くなっている。

【調査項目2】 その他町内会・自治会運営での問題
%



区	合計	新規加入者が少ない	イベント参加者が少ない	辞める人が増える	加入率の低下	役員の固定化	役員の高齢化	資金不足	会費が集めにくい	活動場所の不足	個人情報保護への対応	市の増加からの依頼事務	地域のつながりの希薄化	マンション住人が会員とならない	交代する役員が短期間で	町内会内で賛同を得にくい	人の増加を抑制する	その他	無回答
川崎区	83	52	29	12	45	36	67	13	16	3	17	27	36	34	8	1	12	10	5
幸区	52	23	16	9	12	30	36	7	5	4	19	13	15	17	7	3	15	8	2
中原区	59	29	26	10	20	32	51	7	12	6	25	23	29	20	11	7	13	9	1
高津区	85	23	34	15	18	34	59	7	1	3	21	13	25	22	19	3	13	9	7
宮前区	53	11	19	5	3	11	33	7	3	3	17	6	11	11	15	2	9	5	6
多摩区	78	14	26	3	14	23	52	11	6	10	19	17	29	16	18	6	13	14	4
麻生区	83	19	26	12	18	20	47	5	3	7	18	16	26	13	20	-	9	21	8

◇全体を見ると、「役員の高齢化」(70.0%)が他より圧倒的に高く、次いで「役員の固定化」(37.7%)、「イベント参加者が少ない」、「新規加入者が少ない」、「地域のつながりの希薄化」(34.7%同率)の順に高い。

10年前									
合計	役員の高齢化固定化	役員の成り手がいない	人手が足りない	資金不足	ルールを守らない人の増加	加入率の低下	施設の不足	その他	無回答
570	315	324	82	87	123	151	59	30	90
100.0%	55.3%	56.8%	14.4%	15.3%	21.6%	26.5%	10.4%	5.3%	15.8%

◇10年前の調査では「役員の固定化・高齢化」(55.3%)となっており、今回の調査と比較すると、「役員の高齢化」(70.0%)は割合が増え、「役員の固定化」(37.7%)は割合が減っている。

◇10年前の調査では「人手が足りない」(14.4%)だったが、今回の調査では「イベント参加者が少ない」(35.7%)となっており、割合が増えている。

◇区別を見ると、どの区も「役員の高齢化」の割合が最も高いが、特に川崎区(80.7%)、中原区(86.4%)は他区よりも高い。

◇川崎区では、「新規加入者が少ない」(62.7%)が「役員の高齢化」に次いで高い。

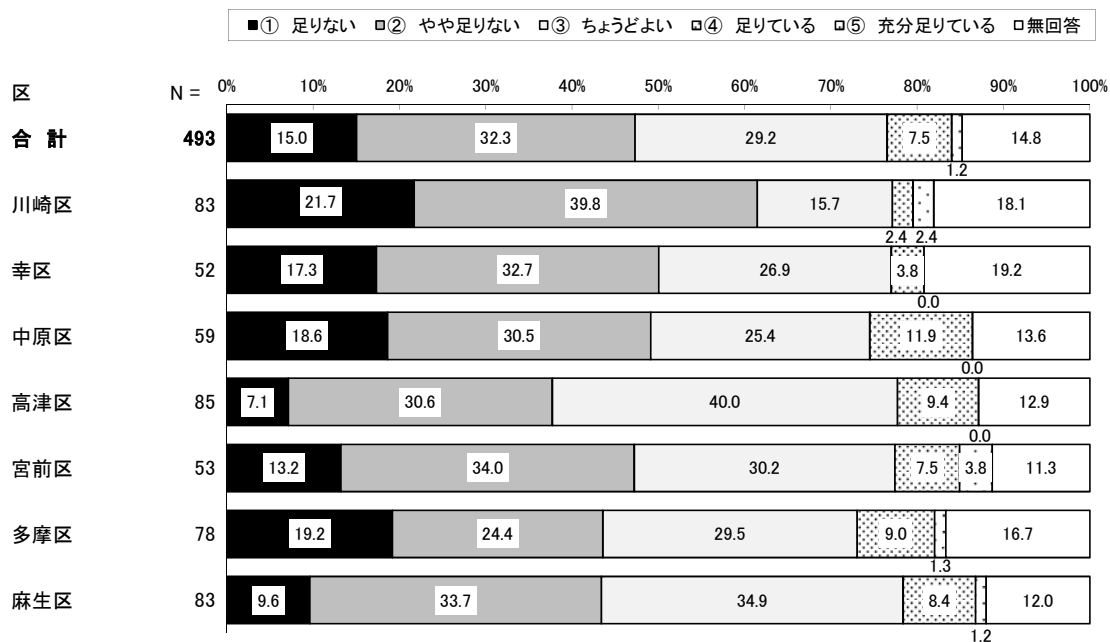
◇多摩区、麻生区では「地域のつながりの希薄化」がそれぞれ37.2%、31.3%となっており「役員の高齢化」に次いで高い。

◇「加入率の低下」を区別に見ると、川崎区(54.2%)は他区よりも大幅に高い。

◇「会費が集めにくい」を区別に見ると、中原区(20.3%)、川崎区(19.3%)の順に他区より高い。

◇「マンション住人が会員とならない」を区別に見ると、川崎区(41.0%)は他区よりも高く、麻生区(15.7%)は低い。

【調査項目2】行政からの町内会・自治会への支援



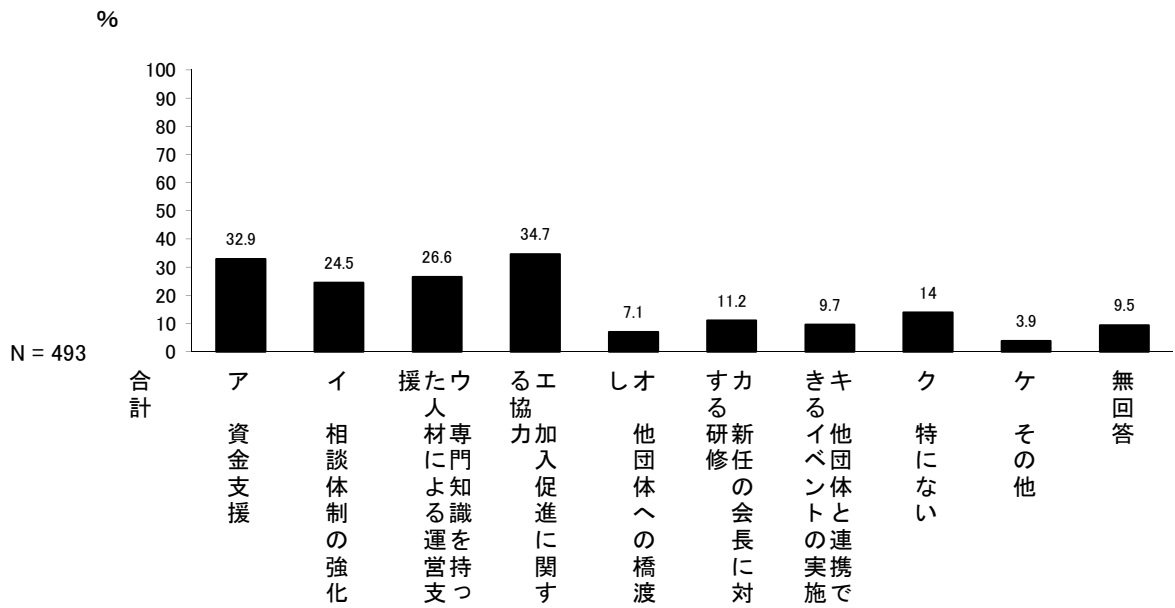
	2-(1)行政からの町内会・自治会への支援						
	調査数	① 足りない	② やや足りない	③ ちょうどよい	④ 足りている	⑤ 充分足りている	無回答
合計	493	74	159	144	37	6	73
	100.0%	15.0%	32.3%	29.2%	7.5%	1.2%	14.8%
川崎区	83	18	33	13	2	2	15
	100.0%	21.7%	39.8%	15.7%	2.4%	2.4%	18.1%
幸区	52	9	17	14	2	-	10
	100.0%	17.3%	32.7%	26.9%	3.8%	-	19.2%
中原区	59	11	18	15	7	-	8
	100.0%	18.6%	30.5%	25.4%	11.9%	-	13.6%
高津区	85	6	26	34	8	-	11
	100.0%	7.1%	30.6%	40.0%	9.4%	-	12.9%
宮前区	53	7	18	16	4	2	6
	100.0%	13.2%	34.0%	30.2%	7.5%	3.8%	11.3%
多摩区	78	15	19	23	7	1	13
	100.0%	19.2%	24.4%	29.5%	9.0%	1.3%	16.7%
麻生区	83	8	28	29	7	1	10
	100.0%	9.6%	33.7%	34.9%	8.4%	1.2%	12.0%

◇全体を見ると、「足りない」(15.0%)、「やや足りない」(32.3%)の合計が47.3%、「ちょうどよい」(29.2%)、「足りている」(7.5%)、「充分足りている」(1.2%)の合計が37.9%となっている。

◇「足りない」、「やや足りない」の合計割合を区別に見ると、川崎区(61.5%)が最も高い。

◇「ちょうどよい」、「足りている」、「充分足りている」の合計割合を区別に見ると、高津区(49.4%)が最も高い。

【調査項目2】2-(2) 町内会・自治会への支援の手法や主体



合 計		493	162	121	131	171	35	55	48	69	19	47
		100.0%	32.9%	24.5%	26.6%	34.7%	7.1%	11.2%	9.7%	14.0%	3.9%	9.5%
区	川崎区	83	38	14	17	46	4	14	8	6	3	11
		100.0%	45.8%	16.9%	20.5%	55.4%	4.8%	16.9%	9.6%	7.2%	3.6%	13.3%
	幸区	52	20	13	16	25	3	5	4	5	4	5
		100.0%	38.5%	25.0%	30.8%	48.1%	5.8%	9.6%	7.7%	9.6%	7.7%	9.6%
	中原区	59	22	8	17	25	5	7	7	6	1	2
		100.0%	37.3%	13.6%	28.8%	42.4%	8.5%	11.9%	11.9%	10.2%	1.7%	3.4%
	高津区	85	16	22	20	28	2	10	7	18	1	9
		100.0%	18.8%	25.9%	23.5%	32.9%	2.4%	11.8%	8.2%	21.2%	1.2%	10.6%
宮前区	53	18	17	16	12	4	3	4	6	1	7	
	100.0%	34.0%	32.1%	30.2%	22.6%	7.5%	5.7%	7.5%	11.3%	1.9%	13.2%	
多摩区	78	29	25	20	13	7	10	12	13	5	7	
	100.0%	37.2%	32.1%	25.6%	16.7%	9.0%	12.8%	15.4%	16.7%	6.4%	9.0%	
麻生区	83	19	22	25	22	10	6	6	15	4	6	
	100.0%	22.9%	26.5%	30.1%	26.5%	12.0%	7.2%	7.2%	18.1%	4.8%	7.2%	

◇全体を見ると、「加入促進に対する協力」(34.7%)が最も高く、次いで「資金支援」(32.9%)、「専門知識を持った人材による運営支援」(26.6%)、「相談体制の強化」(24.5%)の順に高い。

◇宮前区、多摩区では「資金支援」がそれぞれ34.0%、37.2%となっており区内で最も高く、「相談体制の強化」がそれぞれ32.1%となっており区内で2番目に高い。

◇麻生区では「専門知識を持った人材による運営支援」(30.1%)が最も高い。

参考 単純集計表

(1) 行政の町内会への依存度						
調査数	① 頼りすぎ	② やや頼りすぎ	③ ちょうどよい	④ もう少し頼って良い	⑤ もっと頼るべき	無回答
493	61	247	140	7	-	38
100.0%	12.4%	50.1%	28.4%	1.4%	-	7.7%

(2) 1月あたりの行政等からのチラシ等の回覧依頼件数							
調査数	ア 1件以下	イ 2～5件	ウ 6～10件	エ 11～15件	オ 16～20件	カ 21件～	無回答
493	9	164	185	90	24	12	9
100.0%	1.8%	33.3%	37.5%	18.3%	4.9%	2.4%	1.8%

(3) 1月あたりの行政等からのポスター等掲示依頼件数							
調査数	ア 1件以下	イ 2～5件	ウ 6～10件	エ 11～15件	オ 16～20件	カ 21件～	無回答
493	42	332	88	18	5	3	5
100.0%	8.5%	67.3%	17.8%	3.7%	1.0%	0.6%	1.0%

(4) チラシ等の回覧依頼とポスター等掲示依頼の負担					
調査数	ア 回覧依頼が負担	イ 掲示依頼が負担	ウ どちらも負担	エ どちらも負担ではない	無回答
493	100	70	151	156	16
100.0%	20.3%	14.2%	30.6%	31.6%	3.2%

(5) チラシ等の回覧依頼とポスター等掲示依頼を負担に感じる点									
調査数	ア 仕分け作業	イ 届く日が不統一	ウ チラシ等のサイズが不統一	エ 掲示板の補修費がかかる	オ 自分達の掲示スペースが狭くなる	カ チラシ等の内容に関心を持っていない物が多い	キ チラシ等の内容が分かりにくい物が多い	ク その他	無回答
321	156	193	133	36	103	112	26	64	-
100.0%	48.6%	60.1%	41.4%	11.2%	32.1%	34.9%	8.1%	19.9%	-

(6) 効果的な回覧や掲示依頼に対する負担軽減策					
調査数	ア 月1回にまとめて配達	イ 依頼件数の抑制	ウ 回覧か掲示依頼どちらかの禁止	エ その他	無回答
493	245	227	35	71	35
100.0%	49.7%	46.0%	7.1%	14.4%	7.1%

(7) 1月あたりの会長に対する会議等への出席依頼件数							
調査数	ア 1回以下	イ 2～5回	ウ 6～10回	エ 11～15回	オ 16～20回	カ 21回～	無回答
493	43	314	101	19	5	3	8
100.0%	8.7%	63.7%	20.5%	3.9%	1.0%	0.6%	1.6%

(8) 会長に対する会議等への出席依頼を負担に感じる点									
調査数	ア 往復に交通費がかかるが交通費・謝礼等が出ない	イ 拘束時間が長い	ウ 回数が多い	エ 昼間開催には出席できない	オ 専門用語が多く会議の中身が分かりにくい	カ 出席する意義を感じられない	キ その他	ク 特に負担は感じない	無回答
493	73	53	216	130	15	92	70	77	28
100.0%	14.8%	10.8%	43.8%	26.4%	3.0%	18.7%	14.2%	15.6%	5.7%

(9)各種委員の推薦依頼について負担に感じる点							
調査数	ア 会員への説明	イ 成り手が見つからない	ウ 推薦書類等が煩雑	エ それぞれの推薦時期や手続きが異なり手間がかかる	オ その他	カ 特に負担は感じない	無回答
493	83	415	62	128	46	18	19
100.0%	16.8%	84.2%	12.6%	26.0%	9.3%	3.7%	3.9%

(10)その他の行政と関わりある活動等を負担に感じる点									
調査数	ア 市政だよりや選挙公報等の配布	イ 選挙の投票事務	ウ イベントへの参加動員	エ 募金のお願い	オ 住民意思・意見の取りまとめ	カ 防災活動	キ 防犯・防火活動	ク 交通安全活動	ケ 美化・清掃・公園の維持管理活動
493	126	108	227	184	109	73	43	40	100
100.0%	25.6%	21.9%	46.0%	37.3%	22.1%	14.8%	8.7%	8.1%	20.3%

(10)その他の行政と関わりある活動等を負担に感じる点						
調査数	コ 資源回収・リサイクル活動	サ 高齢者・障がい者交流、支援活動	シ 子育て支援活動	ス こども・青少年交流、支援活動	セ その他	無回答
493	40	104	32	48	50	38
100.0%	8.1%	21.1%	6.5%	9.7%	10.1%	7.7%

(11)負担が大きいと感じる事業等の継続意思				
調査数	ア 継続していく	イ 改善してほしい	ウ 拒否したい	無回答
493	292	148	21	32
100.0%	59.2%	30.0%	4.3%	6.5%

(12)負担が大きいと感じる事業を継続する理由						
調査数	ア 社会的に必要だと感じているため	イ 謝礼等が大切な収入源になっているため	ウ 行政との関係が大切だと思うため	エ 責任があるため	オ その他	無回答
292	228	43	155	94	11	2
100.0%	78.1%	14.7%	53.1%	32.2%	3.8%	0.7%

(1)①自分の町内会・自治会単独で活動している									
調査数	A 防災活動(訓練・備蓄)	B 防犯・防火活動	C 交通安全活動	D 美化・清掃活動・公園の維持管理	E 資源回収・リサイクル	F 高齢者・障がい者交流、支援活動	G 子育て支援活動(パパママ世代支援)	H 子ども会等青少年交流、支援活動	I お祭り等親睦を深めるイベント
493	277	346	220	412	336	229	90	224	310
100.0%	56.2%	70.2%	44.6%	83.6%	68.2%	46.5%	18.3%	45.4%	62.9%

(1)①自分の町内会・自治会単独で活動している	
調査数	無回答
493	39
100.0%	7.9%

(1)②近隣の町内会・自治会と連携して活動している									
調査数	A 防災活動(訓練・備蓄)	B 防犯・防火活動	C 交通安全活動	D 美化・清掃活動・公園の維持管理	E 資源回収・リサイクル	F 高齢者・障がい者交流、支援活動	G 子育て支援活動(パパママ世代支援)	H 子ども会等青少年交流、支援活動	I お祭り等親睦を深めるイベント
493	230	77	85	63	27	75	56	88	147
100.0%	46.7%	15.6%	17.2%	12.8%	5.5%	15.2%	11.4%	17.8%	29.8%

(1)②近隣の町内会・自治会と連携して活動している	
調査数	無回答
493	173
100.0%	35.1%

(1)③現在の活動を今後さらに力を入れたい									
調査数	A 防災活動(訓練・備蓄)	B 防犯・防火活動	C 交通安全活動	D 美化・清掃活動・公園の維持管理	E 資源回収・リサイクル	F 高齢者・障がい者交流、支援活動	G 子育て支援活動(パパママ世代支援)	H 子ども会等青少年交流、支援活動	I お祭り等親睦を深めるイベント
493	162	98	52	88	78	75	27	60	107
100.0%	32.9%	19.9%	10.5%	17.8%	15.8%	15.2%	5.5%	12.2%	21.7%

(1)③現在の活動を今後さらに力を入れたい	
調査数	無回答
493	288
100.0%	58.4%

(1)④A 防災活動(訓練・備蓄)							
調査数	ア 費用	イ 担い手(スタッフ)	ウ 参加者	エ 知識、手法、経験(ノウハウ)	オ 場所	カ その他	無回答
493	70	163	158	65	32	2	242
100.0%	14.2%	33.1%	32.0%	13.2%	6.5%	0.4%	49.1%

(1)④B 防犯・防火活動							
調査数	ア 費用	イ 担い手(スタッフ)	ウ 参加者	エ 知識、手法、経験(ノウハウ)	オ 場所	カ その他	無回答
493	27	133	107	32	3	-	298
100.0%	5.5%	27.0%	21.7%	6.5%	0.6%	-	60.4%

(1)④C 交通安全活動							
調査数	ア 費用	イ 担い手(スタッフ)	ウ 参加者	エ 知識、手法、経験(ノウハウ)	オ 場所	カ その他	無回答
493	12	94	53	15	3	1	369
100.0%	2.4%	19.1%	10.8%	3.0%	0.6%	0.2%	74.8%

(1)④D 美化・清掃活動・公園の維持管理							
調査数	ア 費用	イ 担い手(スタッフ)	ウ 参加者	エ 知識、手法、経験(ノウハウ)	オ 場所	カ その他	無回答
493	35	104	124	15	3	-	306
100.0%	7.1%	21.1%	25.2%	3.0%	0.6%	-	62.1%

(1)④E 資源回収・リサイクル							
調査数	ア 費用	イ 担い手 (スタッフ)	ウ 参加者	エ 知識、 手法、経験 (ノウハウ)	オ 場所	カ その他	無回答
493	11	58	25	14	11	3	407
100.0%	2.2%	11.8%	5.1%	2.8%	2.2%	0.6%	82.6%

(1)④F 高齢者・障がい者交流、支援活動							
調査数	ア 費用	イ 担い手 (スタッフ)	ウ 参加者	エ 知識、 手法、経験 (ノウハウ)	オ 場所	カ その他	無回答
493	28	116	34	54	12	2	333
100.0%	5.7%	23.5%	6.9%	11.0%	2.4%	0.4%	67.5%

(1)④G 子育て支援活動(パパママ世代支援)							
調査数	ア 費用	イ 担い手 (スタッフ)	ウ 参加者	エ 知識、 手法、経験 (ノウハウ)	オ 場所	カ その他	無回答
493	13	72	29	41	8	2	392
100.0%	2.6%	14.6%	5.9%	8.3%	1.6%	0.4%	79.5%

(1)④H 子ども会等青少年交流、支援活動							
調査数	ア 費用	イ 担い手 (スタッフ)	ウ 参加者	エ 知識、 手法、経験 (ノウハウ)	オ 場所	カ その他	無回答
493	27	104	66	17	7	1	354
100.0%	5.5%	21.1%	13.4%	3.4%	1.4%	0.2%	71.8%

(1)④I お祭り等親睦を深めるイベント							
調査数	ア 費用	イ 担い手 (スタッフ)	ウ 参加者	エ 知識、 手法、経験 (ノウハウ)	オ 場所	カ その他	無回答
493	92	153	94	21	30	3	292
100.0%	18.7%	31.0%	19.1%	4.3%	6.1%	0.6%	59.2%

(2)今後縮小又は廃止(休止)したい活動			
調査数	ア ない	イ ある	無回答
493	326	65	102
100.0%	66.1%	13.2%	20.7%

(3)今後具体的に新たに始めたい活動			
調査数	ア ない	イ ある	無回答
493	267	118	108
100.0%	54.2%	23.9%	21.9%

(4)その他町内会・自治会運営での問題									
調査数	ア 新規加入者が少ない	イ イベント参加者が少ない	ウ 辞める人が増えている	エ 加入率の低下	オ 役員の固定化	カ 役員の高齢化	キ 資金不足	ク 会費が集めにくい	ケ 活動場所の不足
493	171	176	66	130	186	345	57	46	36
100.0%	34.7%	35.7%	13.4%	26.4%	37.7%	70.0%	11.6%	9.3%	7.3%

(4) その他町内会・自治会運営での問題									
調査数	コ 個人情報保護への対応	サ 市からの依頼事務の増加	シ 地域のつながりの希薄化	ス マンション住人が会員とならない	セ 役員が短期間で交代する	ソ 町内会内で賛同を得にくい	タ ルールを守らない人の増加	チ その他	無回答
493	136	115	171	133	98	22	84	76	33
100.0%	27.6%	23.3%	34.7%	27.0%	19.9%	4.5%	17.0%	15.4%	6.7%

(1) 行政からの町内会・自治会への支援						
調査数	① 足りない	② やや足りない	③ ちょうどよい	④ 足りている	⑤ 充分足りている	無回答
493	74	159	144	37	6	73
100.0%	15.0%	32.3%	29.2%	7.5%	1.2%	14.8%

(2) 町内会・自治会への支援の手法や主体									
調査数	ア 資金支援	イ 相談体制の強化	ウ 専門知識を持った人材による運営支援	エ 加入促進に関する協力	オ 他団体への橋渡し	カ 新任の会長に対する研修	キ 他団体と連携できるイベントの実施	ク 特にな	ケ その他
493	162	121	131	171	35	55	48	69	19
100.0%	32.9%	24.5%	26.6%	34.7%	7.1%	11.2%	9.7%	14.0%	3.9%

(2) 町内会・自治会への支援の手法や主体	
調査数	無回答
493	47
100.0%	9.5%

(1) 防災や環境の観点から会館に導入したい設備				
調査数	ア 太陽光発電設備(太陽光パネル)	イ 蓄電池(太陽光発電設備で発電した電気をため、夜間や災害時に活用できるもの)	ウ 特に考えていない	無回答
493	66	97	197	184
100.0%	13.4%	19.7%	40.0%	37.3%

(2) 設備を導入したい理由					
調査数	ア 電気代が削減できるから	イ 緊急時の一時避難所となっているから	ウ 環境に配慮した取組である再生可能エネルギーの利用が重要だから	エ その他	無回答
112	35	76	55	7	4
100.0%	31.3%	67.9%	49.1%	6.3%	3.6%

町内会・自治会アンケート調査 報告書 【概要版】

平成30年3月

発行 川崎市市民文化局コミュニティ推進部市民活動推進課

〒210-0007

川崎市川崎区駅前本町11番地2

電話 044-200-2479

平成29年度町内会・自治会アンケート 調査報告書

平成30年3月

川崎市市民文化局コミュニティ推進部市民活動推進課

目次

1	町内会・自治会アンケート調査の概要	P3
2	調査回答者の属性について	P4
	(1) 世帯数	
	(2) 会長歴	
	(3) 年齢	
	(4) 性別（区別）	
	(5) 性別（会長歴別）	
	(6) 会長の職業	
3	調査項目 1	P10
	(1) 行政の町内会への依存度について	
	(2) 行政等からのチラシ等の回覧依頼件数	
	(3) 行政等からのポスター等掲示依頼件数	
	(4) チラシ等の回覧依頼とポスター等掲示依頼に対する感じ方	
	(5) 上記の負担に感じる点	
	(6) 回覧や掲示依頼に対する負担軽減策について、どのような策が効果的か	
	(7) 会長に対する会議等への出席依頼の件数	
	(8) 会長に対する会議等への出席依頼について、負担に感じる点	
	(9) 各種委員(民生委員・児童委員、スポーツ推進委員、国勢調査員、青少年指導員、美化推進委員、廃棄物減量指導員等)の推薦依頼について、負担に感じる点	
	(10) その他の行政と関わりある活動等について、負担に感じる点	
	(11) 負担が大きいとを感じる事業等について、今後どうしたいか	
	(12) 行政依頼事務を継続する理由	
	(13) 行政依頼事務の改善して欲しい内容	
	(14) 行政依頼事務を拒否したい理由	

4 調査項目 2 P40

- (1) 町内会・自治会の活動について
 - ア 単独の町内会・自治会で活動している内容
 - イ 近隣の町内会・自治会と連携して活動している内容
 - ウ 今後さらに力を入れたい活動
 - エ 活動を進める上で不足する点や問題点
 - オ 今後、縮小又は廃止(休止)したい活動
 - カ 今後、新たに活動したい内容
 - キ 町内会・自治会を運営する中での問題点
- (2) 町内会・自治会に対する支援について
 - ア 行政からの支援に対する感じ方について。
 - イ 今後、どのような支援が望ましいか
- (3) 町内会・自治会会館への太陽光パネル等の設備導入について
- (4) 特色ある活動事例

5 調査項目 3 P90

町内会・自治会と行政のあり方について

6 単純集計表 P95

7 アンケート調査票 P101

《 1 アンケート概要 》

1 調査目的

町内会・自治会の現在の課題等を把握し、負担軽減策や必要とされる支援のあり方の検討を図るため。

2 調査対象

川崎市内の647町内会・自治会会長

3 調査内容

- (1) 調査回答者
- (2) 町内会・自治会に対する行政からの依頼事務について
- (3) 町内会・自治会の活動について
- (4) 町内会・自治会と行政のあり方について

4 調査の区分

全数調査（全区分に対し調査を実施）

5 調査方法

郵送方法

6 調査期間

平成29年12月8日～平成30年1月16日

7 回収状況

有効回収件数493件 有効回収率76.2%

【区別回収状況】

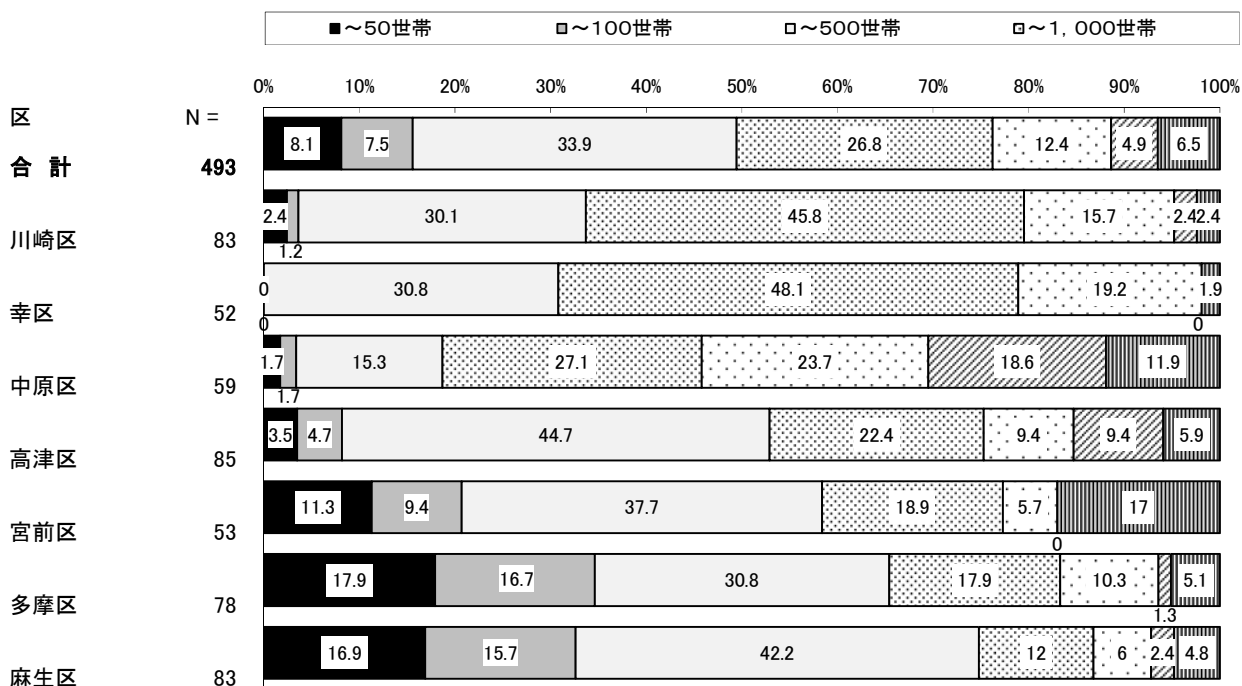
全市	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
493	83	52	59	85	53	78	83
647	97	70	78	107	70	101	125
76.2%	85.6%	74.3%	75.6%	79.4%	75.7%	77.2%	66.4%

8 その他

「世帯数」「会長歴」については平成29年度住民組織調査に基づく

《2 調査回答者の属性について》

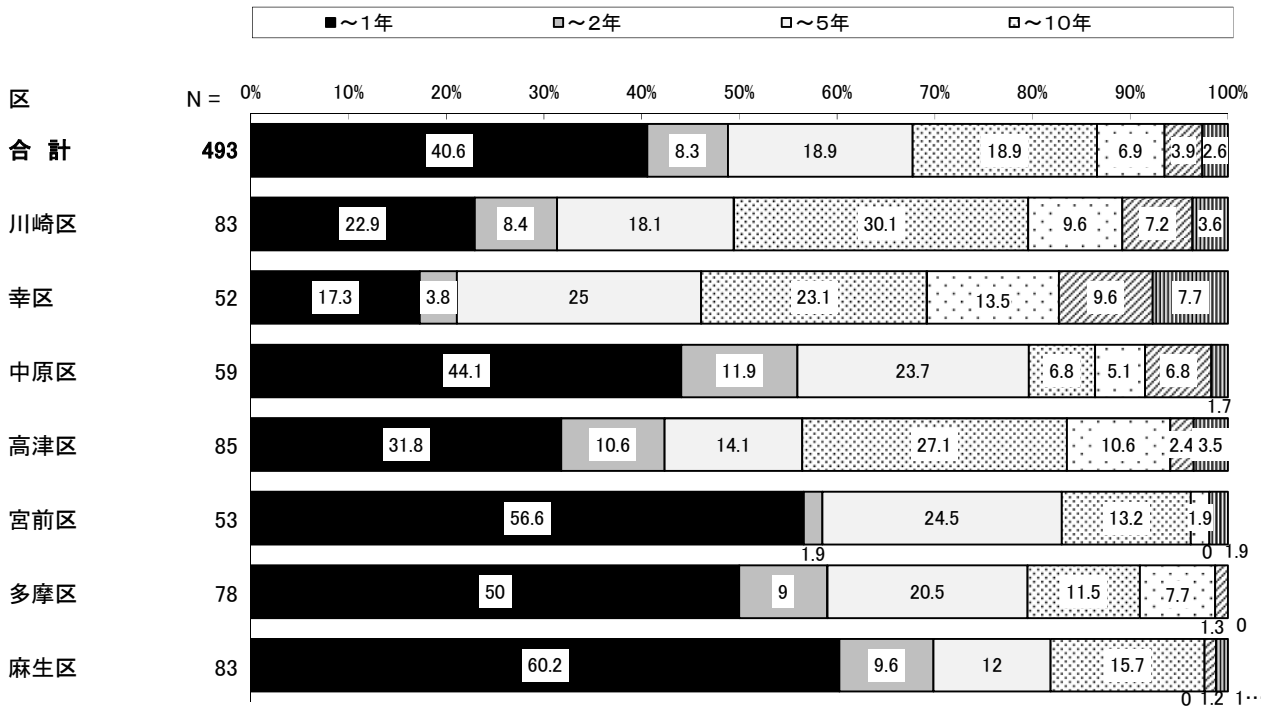
(1) 世帯数



	世帯数							
	調査数	~50世帯	~100世帯	~500世帯	~1,000世帯	~1,500世帯	~2,000世帯	2,000世帯超~
合計	493	40	37	167	132	61	24	32
	100.0%	8.1%	7.5%	33.9%	26.8%	12.4%	4.9%	6.5%
川崎区	83	2	1	25	38	13	2	2
	100.0%	2.4%	1.2%	30.1%	45.8%	15.7%	2.4%	2.4%
幸区	52	-	-	16	25	10	-	1
	100.0%	-	-	30.8%	48.1%	19.2%	-	1.9%
中原区	59	1	1	9	16	14	11	7
	100.0%	1.7%	1.7%	15.3%	27.1%	23.7%	18.6%	11.9%
高津区	85	3	4	38	19	8	8	5
	100.0%	3.5%	4.7%	44.7%	22.4%	9.4%	9.4%	5.9%
宮前区	53	6	5	20	10	3	-	9
	100.0%	11.3%	9.4%	37.7%	18.9%	5.7%	-	17.0%
多摩区	78	14	13	24	14	8	1	4
	100.0%	17.9%	16.7%	30.8%	17.9%	10.3%	1.3%	5.1%
麻生区	83	14	13	35	10	5	2	4
	100.0%	16.9%	15.7%	42.2%	12.0%	6.0%	2.4%	4.8%

◇川崎区、幸区では、「~1,000世帯」がそれぞれお45.8%、48.1%と区の中で約半数を占めている。
 ◇多摩区、麻生区では、「~50世帯」、「~100世帯」では多摩区、麻生区の割合が他区と比べると高い。

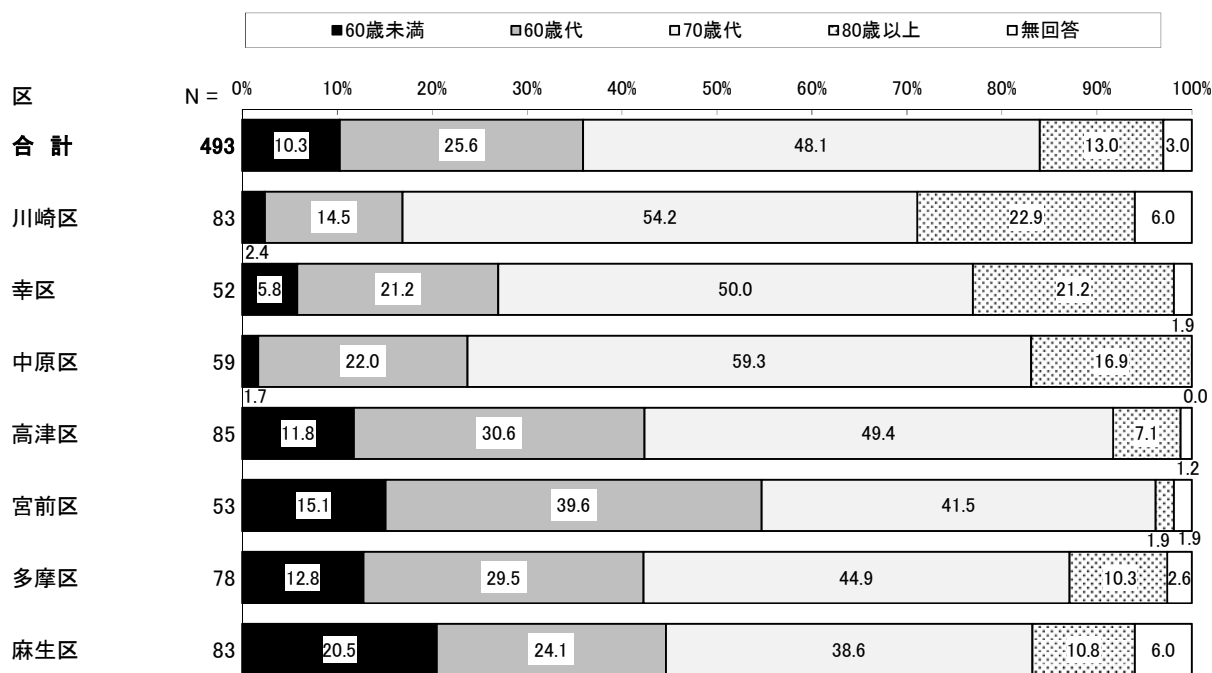
(2) 会長歴



	会長歴							
	調査数	~1年	~2年	~5年	~10年	~15年	~25年	25年超~
合計	493	200	41	93	93	34	19	13
	100.0%	40.6%	8.3%	18.9%	18.9%	6.9%	3.9%	2.6%
川崎区	83	19	7	15	25	8	6	3
	100.0%	22.9%	8.4%	18.1%	30.1%	9.6%	7.2%	3.6%
幸区	52	9	2	13	12	7	5	4
	100.0%	17.3%	3.8%	25.0%	23.1%	13.5%	9.6%	7.7%
中原区	59	26	7	14	4	3	4	1
	100.0%	44.1%	11.9%	23.7%	6.8%	5.1%	6.8%	1.7%
高津区	85	27	9	12	23	9	2	3
	100.0%	31.8%	10.6%	14.1%	27.1%	10.6%	2.4%	3.5%
宮前区	53	30	1	13	7	1	-	1
	100.0%	56.6%	1.9%	24.5%	13.2%	1.9%	-	1.9%
多摩区	78	39	7	16	9	6	1	-
	100.0%	50.0%	9.0%	20.5%	11.5%	7.7%	1.3%	-
麻生区	83	50	8	10	13	-	1	1
	100.0%	60.2%	9.6%	12.0%	15.7%	-	1.2%	1.2%

◇全体を見ると、「~1年」(40.6%)が最も高く、次いで「~5年」「~10年」(18.9%同率)となっている。

(3) 年齢



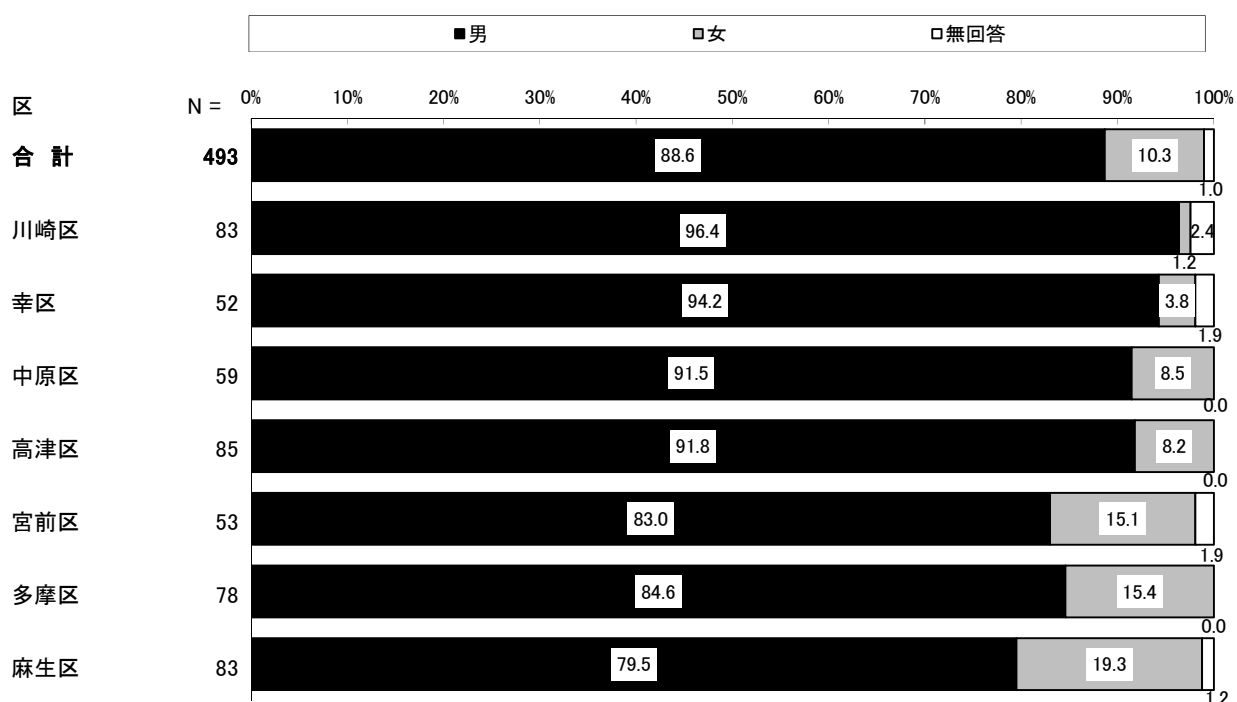
	会長の年齢					
	調査数	60歳未満	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
合計	493	51	126	237	64	15
	100.0%	10.3%	25.6%	48.1%	13.0%	3.0%
川崎区	83	2	12	45	19	5
	100.0%	2.4%	14.5%	54.2%	22.9%	6.0%
幸区	52	3	11	26	11	1
	100.0%	5.8%	21.2%	50.0%	21.2%	1.9%
中原区	59	1	13	35	10	-
	100.0%	1.7%	22.0%	59.3%	16.9%	-
高津区	85	10	26	42	6	1
	100.0%	11.8%	30.6%	49.4%	7.1%	1.2%
宮前区	53	8	21	22	1	1
	100.0%	15.1%	39.6%	41.5%	1.9%	1.9%
多摩区	78	10	23	35	8	2
	100.0%	12.8%	29.5%	44.9%	10.3%	2.6%
麻生区	83	17	20	32	9	5
	100.0%	20.5%	24.1%	38.6%	10.8%	6.0%

◇川崎区、幸区、中原区では70歳以上の比率が高い。

10年前				
合計	60歳未満	60歳代	70歳代	80歳以上
554	122	185	218	29
100.0%	22.0%	33.4%	39.4%	5.2%

◇10年前と比較すると60歳未満・60歳代の割合が減り、70歳代・80歳以上が増えている。

(4) 性別（区別）



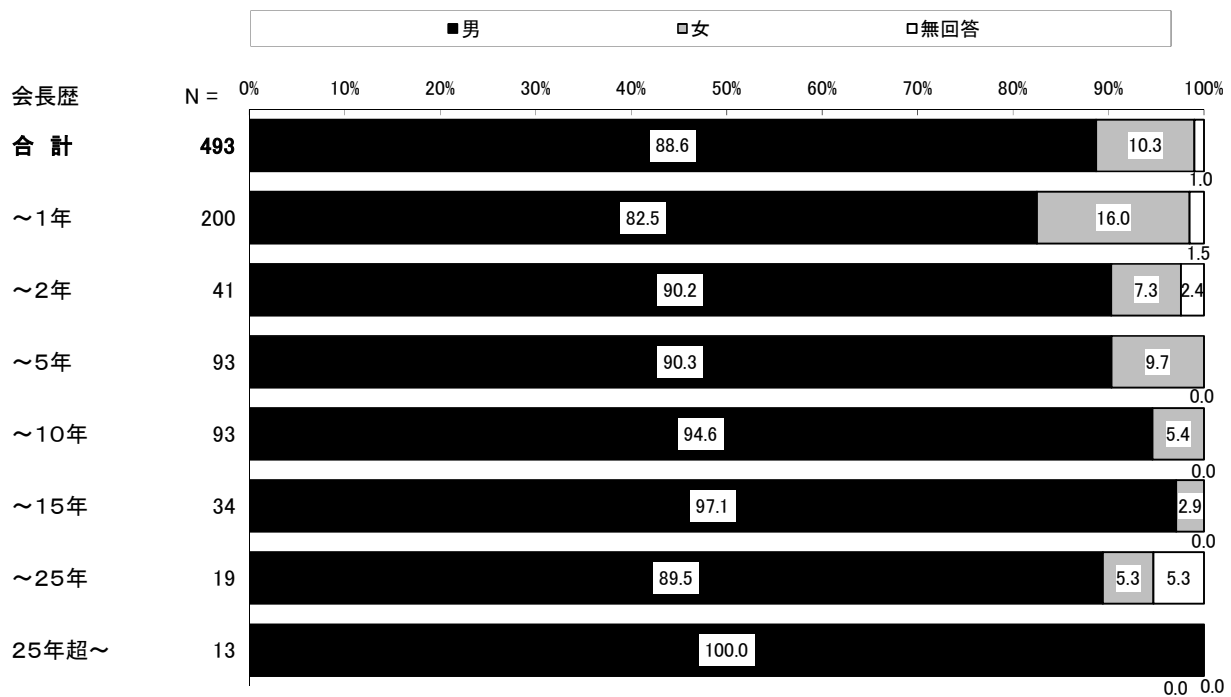
	調査数	性別		
		男	女	無回答
合計	493	437	51	5
	100.0%	88.6%	10.3%	1.0%
川崎区	83	80	1	2
	100.0%	96.4%	1.2%	2.4%
幸区	52	49	2	1
	100.0%	94.2%	3.8%	1.9%
中原区	59	54	5	-
	100.0%	91.5%	8.5%	-
高津区	85	78	7	-
	100.0%	91.8%	8.2%	-
宮前区	53	44	8	1
	100.0%	83.0%	15.1%	1.9%
多摩区	78	66	12	-
	100.0%	84.6%	15.4%	-
麻生区	83	66	16	1
	100.0%	79.5%	19.3%	1.2%

10年前		
男	女	無回答
90.0%	8.0%	2.0%
98.9%	1.1%	0.0%
98.2%	1.8%	0.0%
94.6%	2.7%	2.7%
90.7%	8.2%	1.0%
91.8%	8.2%	0.0%
87.8%	9.8%	2.4%
77.0%	18.6%	4.4%

◇全体を見ると、女性会長（10.3%）に対して男性会長（88.6%）となっており、男女比は10年前とあまり変化が無い。

◇男性比率を区別に見ると川崎区（96.4%）が最も高く、女性比率を区別に見ると麻生区（19.3%）が一番高くなっており、こちらも10年前と同じ傾向にある。

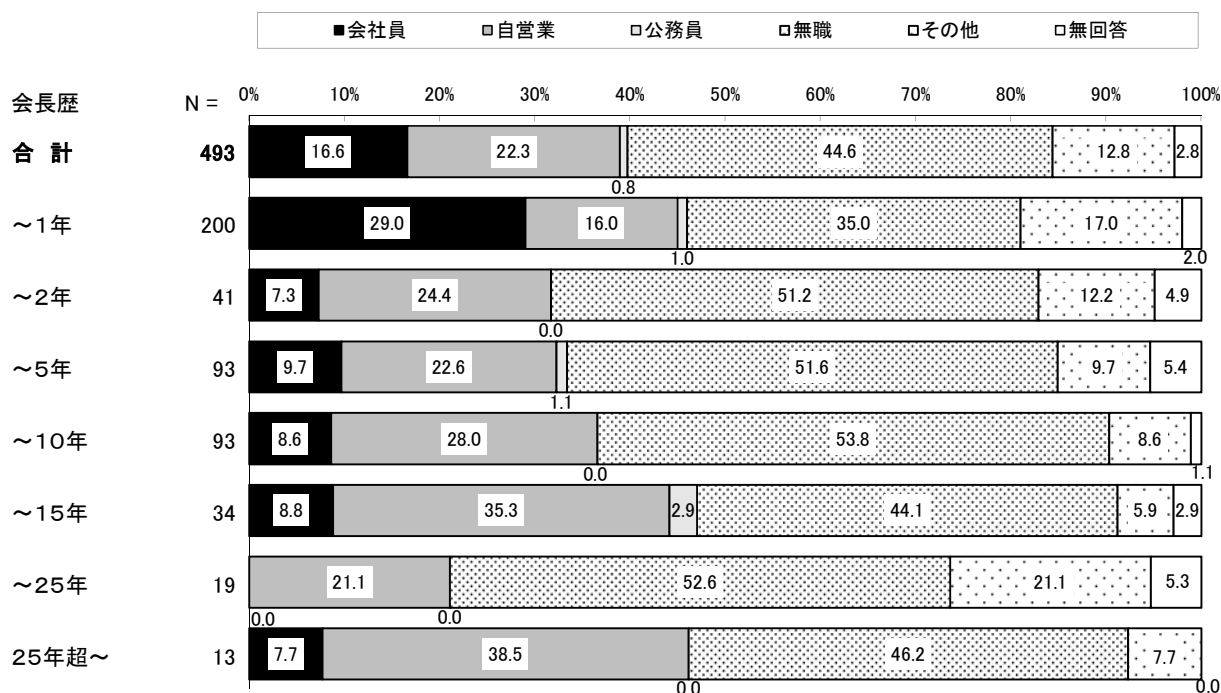
(5) 性別（会長歴別）



	性別			
	調査数	男	女	無回答
合計	493	437	51	5
	100.0%	88.6%	10.3%	1.0%
～1年	200	165	32	3
	100.0%	82.5%	16.0%	1.5%
～2年	41	37	3	1
	100.0%	90.2%	7.3%	2.4%
～5年	93	84	9	-
	100.0%	90.3%	9.7%	-
～10年	93	88	5	-
	100.0%	94.6%	5.4%	-
～15年	34	33	1	-
	100.0%	97.1%	2.9%	-
～25年	19	17	1	1
	100.0%	89.5%	5.3%	5.3%
25年超～	13	13	-	-
	100.0%	100.0%	-	-

◇女性会長の内、およそ6割（32人/51人）が「～1年」の会長となっている。

(6) 会長の職業



	会長の職業						
	調査数	会社員	自営業	公務員	無職	その他	無回答
合計	493	82	110	4	220	63	14
	100.0%	16.6%	22.3%	0.8%	44.6%	12.8%	2.8%
～1年	200	58	32	2	70	34	4
	100.0%	29.0%	16.0%	1.0%	35.0%	17.0%	2.0%
～2年	41	3	10	-	21	5	2
	100.0%	7.3%	24.4%	-	51.2%	12.2%	4.9%
～5年	93	9	21	1	48	9	5
	100.0%	9.7%	22.6%	1.1%	51.6%	9.7%	5.4%
～10年	93	8	26	-	50	8	1
	100.0%	8.6%	28.0%	-	53.8%	8.6%	1.1%
～15年	34	3	12	1	15	2	1
	100.0%	8.8%	35.3%	2.9%	44.1%	5.9%	2.9%
～25年	19	-	4	-	10	4	1
	100.0%	-	21.1%	-	52.6%	21.1%	5.3%
25年超～	13	1	5	-	6	1	-
	100.0%	7.7%	38.5%	-	46.2%	7.7%	-

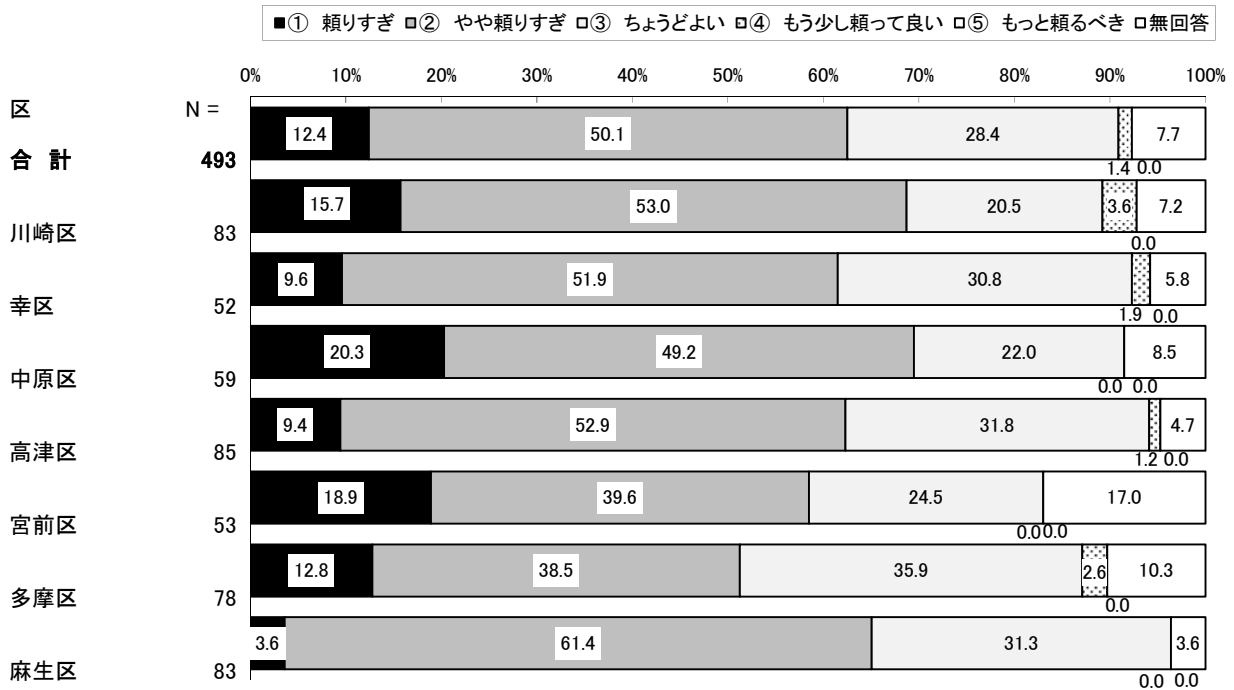
10年前						
調査数	会社員	自営業	公務員	無職	その他	無回答
570	97	162	8	221	59	23
100.0%	17.0%	28.4%	1.4%	38.8%	10.4%	4.0%

◇全体を見ると、「無職」と「自営業」の合計が66.9%となっており、10年前と比べるとほとんど変化がない。

◇「～1年」を見ると、「会社員」(29.0%)が他の会長歴区分と比べると高い。

《3 調査項目1》

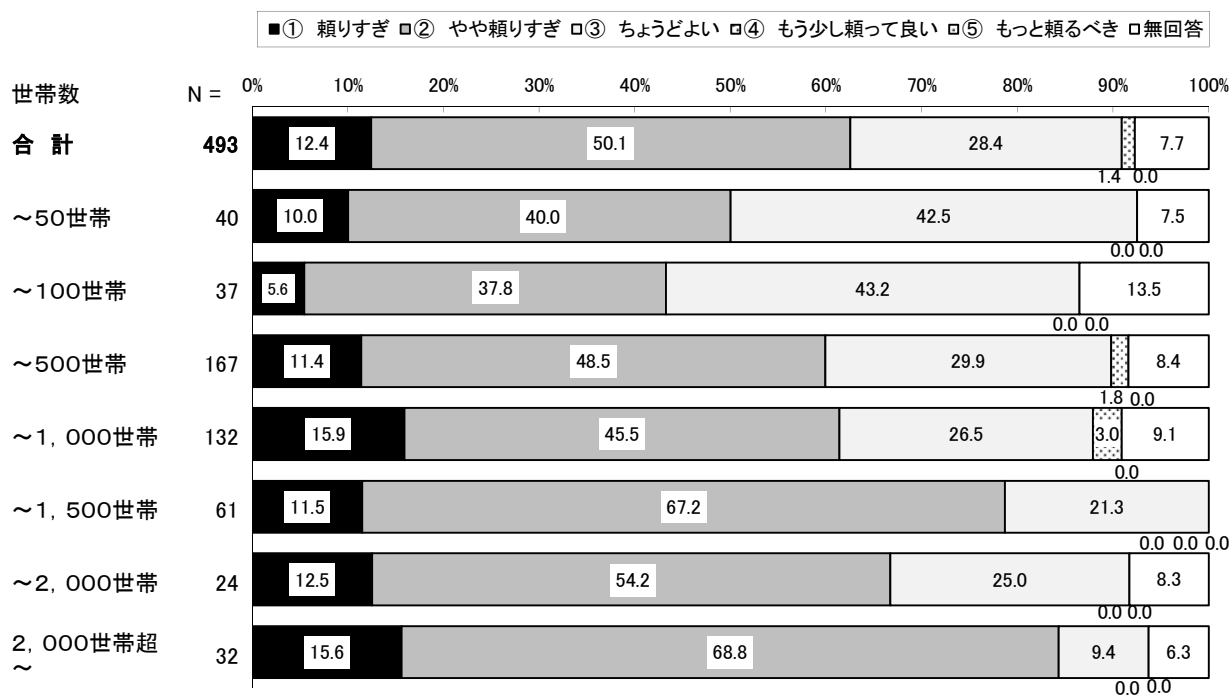
【調査項目1】 1-（1）行政の町内会への依存度（区別）



	1-（1）行政の町内会への依存度						
	調査数	① 頼りすぎ	② やや頼りすぎ	③ ちょうどよい	④ もう少し頼って良い	⑤ もっと頼るべき	無回答
合計	493	61	247	140	7	-	38
	100.0%	12.4%	50.1%	28.4%	1.4%	-	7.7%
川崎区	83	13	44	17	3	-	6
	100.0%	15.7%	53.0%	20.5%	3.6%	-	7.2%
幸区	52	5	27	16	1	-	3
	100.0%	9.6%	51.9%	30.8%	1.9%	-	5.8%
中原区	59	12	29	13	-	-	5
	100.0%	20.3%	49.2%	22.0%	-	-	8.5%
高津区	85	8	45	27	1	-	4
	100.0%	9.4%	52.9%	31.8%	1.2%	-	4.7%
宮前区	53	10	21	13	-	-	9
	100.0%	18.9%	39.6%	24.5%	-	-	17.0%
多摩区	78	10	30	28	2	-	8
	100.0%	12.8%	38.5%	35.9%	2.6%	-	10.3%
麻生区	83	3	51	26	-	-	3
	100.0%	3.6%	61.4%	31.3%	-	-	3.6%

- ◇全体を見ると、「頼り過ぎ」（12.4%）、「やや頼り過ぎ」（50.1%）の合計が62.5%となる。
- ◇「頼り過ぎ」を見ると、中原区（20.3%）が他区と比べると最も高い。
- ◇「ちょうどよい」を見ると、多摩区（35.9%）が他区と比べると最も高い。

【調査項目1】 1-(1) 行政の町内会への依存度（世帯数別）



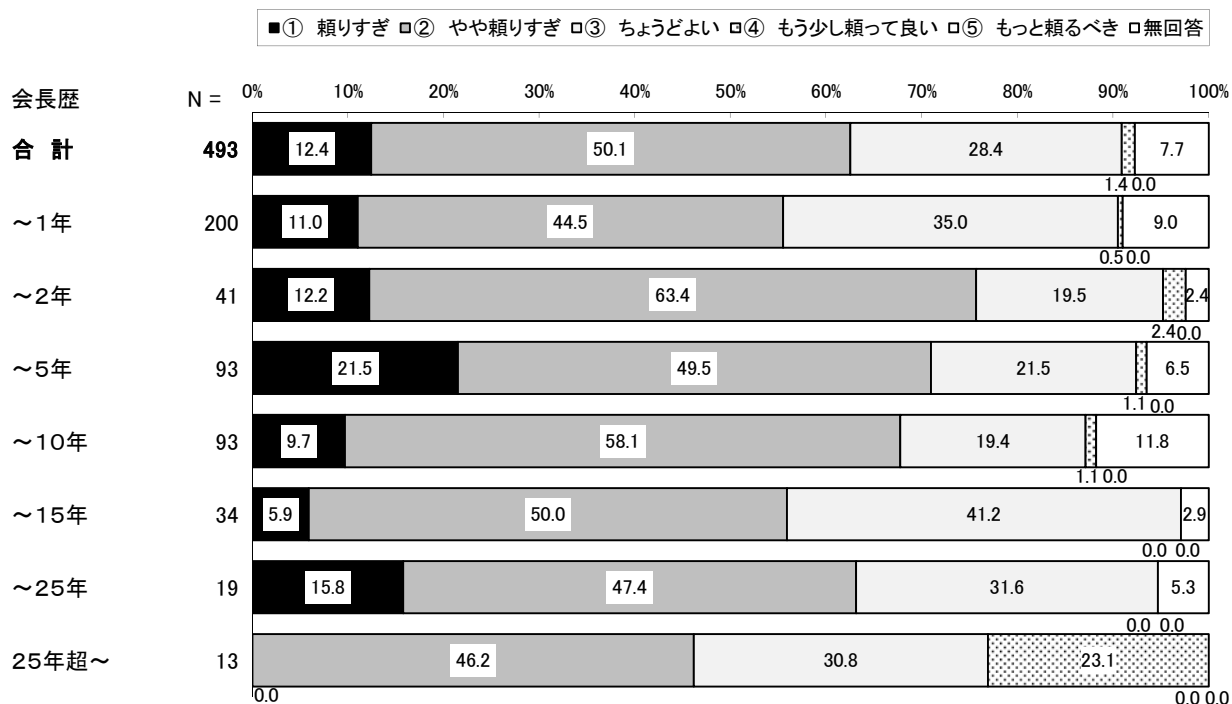
	1-(1) 行政の町内会への依存度						
	調査数	① 頼りすぎ	② やや頼りすぎ	③ ちょうどよい	④ もう少し頼って良い	⑤ もっと頼るべき	無回答
合計	493	61	247	140	7	-	38
	100.0%	12.4%	50.1%	28.4%	1.4%	-	7.7%
～50世帯	40	4	16	17	-	-	3
	100.0%	10.0%	40.0%	42.5%	-	-	7.5%
～100世帯	37	2	14	16	-	-	5
	100.0%	5.4%	37.8%	43.2%	-	-	13.5%
～500世帯	167	19	81	50	3	-	14
	100.0%	11.4%	48.5%	29.9%	1.8%	-	8.4%
～1,000世帯	132	21	60	35	4	-	12
	100.0%	15.9%	45.5%	26.5%	3.0%	-	9.1%
～1,500世帯	61	7	41	13	-	-	-
	100.0%	11.5%	67.2%	21.3%	-	-	-
～2,000世帯	24	3	13	6	-	-	2
	100.0%	12.5%	54.2%	25.0%	-	-	8.3%
2,000世帯超～	32	5	22	3	-	-	2
	100.0%	15.6%	68.8%	9.4%	-	-	6.3%

◇「頼り過ぎ」を見ると、「～1,000世帯」（15.9%）が他の世帯区分と比べると最も高い。

◇「～100世帯」では、「頼り過ぎ」（5.4%）、「やや頼り過ぎ」（37.8%）の合計が43.2%となり、他の世帯区分と比べると両者の合計が最も低い。

◇「2,000世帯超～」では、「頼り過ぎ」（15.6%）、「やや頼り過ぎ」（68.8%）の合計が84.4%となり、他の世帯区分と比べると両者の合計が最も高い。

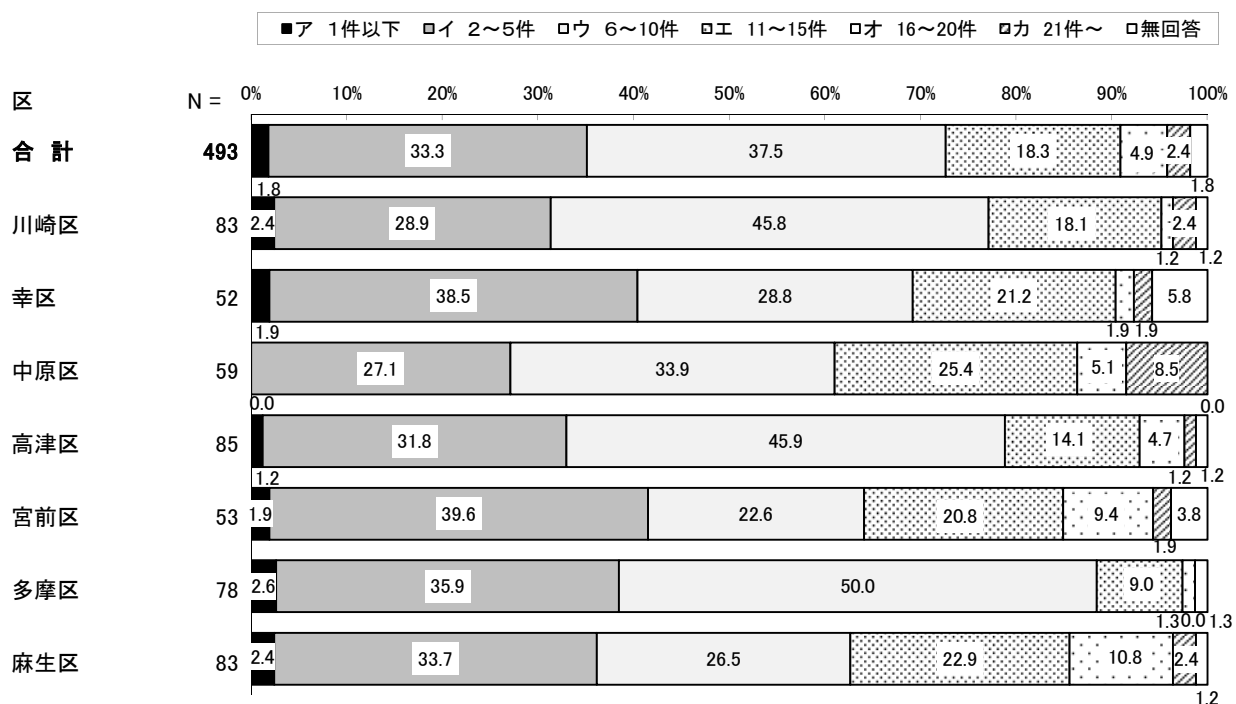
【調査項目 1】 1-（1）行政の町内会への依存度（会長歴別）



	1-（1）行政の町内会への依存度						
	調査数	① 頼りすぎ	② やや頼りすぎ	③ ちょうどよい	④ もう少し頼って良い	⑤ もっと頼るべき	無回答
合計	493	61	247	140	7	-	38
	100.0%	12.4%	50.1%	28.4%	1.4%	-	7.7%
～1年	200	22	89	70	1	-	18
	100.0%	11.0%	44.5%	35.0%	0.5%	-	9.0%
～2年	41	5	26	8	1	-	1
	100.0%	12.2%	63.4%	19.5%	2.4%	-	2.4%
～5年	93	20	46	20	1	-	6
	100.0%	21.5%	49.5%	21.5%	1.1%	-	6.5%
～10年	93	9	54	18	1	-	11
	100.0%	9.7%	58.1%	19.4%	1.1%	-	11.8%
～15年	34	2	17	14	-	-	1
	100.0%	5.9%	50.0%	41.2%	-	-	2.9%
～25年	19	3	9	6	-	-	1
	100.0%	15.8%	47.4%	31.6%	-	-	5.3%
25年超～	13	-	6	4	3	-	-
	100.0%	-	46.2%	30.8%	23.1%	-	-

◇「頼り過ぎ」、「やや頼り過ぎ」の合計割合を見ると、「25年超～」(合計46.2%)が他の世帯区分と比べると最も低く、「～2年」(合計75.6%)が他の世帯区分と比べると最も高い。

【調査項目 1】 1- (2) 1月あたりの行政等からのチラシ等の回覧依頼件数 (区別)

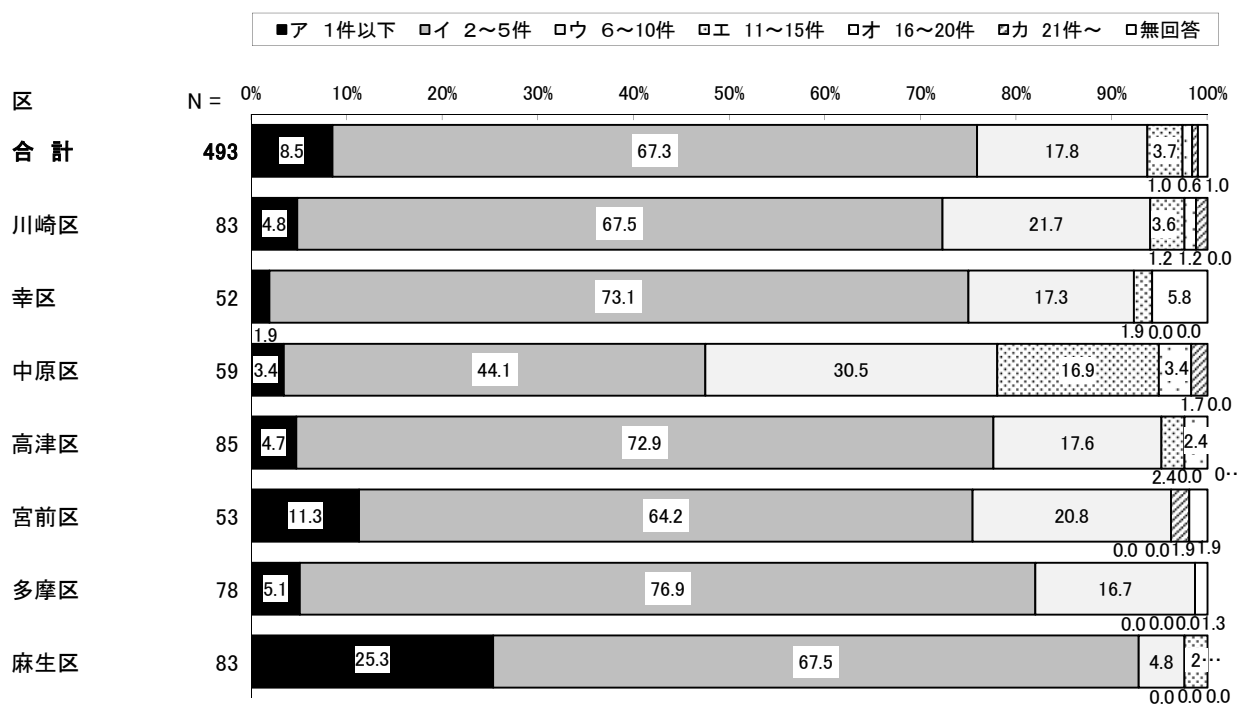


	1- (2) 1月あたりの行政等からのチラシ等の回覧依頼件数							
	調査数	ア 1件以下	イ 2~5件	ウ 6~10件	エ 11~15件	オ 16~20件	カ 21件~	無回答
合計	493	9	164	185	90	24	12	9
	100.0%	1.8%	33.3%	37.5%	18.3%	4.9%	2.4%	1.8%
川崎区	83	2	24	38	15	1	2	1
	100.0%	2.4%	28.9%	45.8%	18.1%	1.2%	2.4%	1.2%
幸区	52	1	20	15	11	1	1	3
	100.0%	1.9%	38.5%	28.8%	21.2%	1.9%	1.9%	5.8%
中原区	59	-	16	20	15	3	5	-
	100.0%	-	27.1%	33.9%	25.4%	5.1%	8.5%	-
高津区	85	1	27	39	12	4	1	1
	100.0%	1.2%	31.8%	45.9%	14.1%	4.7%	1.2%	1.2%
宮前区	53	1	21	12	11	5	1	2
	100.0%	1.9%	39.6%	22.6%	20.8%	9.4%	1.9%	3.8%
多摩区	78	2	28	39	7	1	-	1
	100.0%	2.6%	35.9%	50.0%	9.0%	1.3%	-	1.3%
麻生区	83	2	28	22	19	9	2	1
	100.0%	2.4%	33.7%	26.5%	22.9%	10.8%	2.4%	1.2%

◇全体を見ると、「6~10件 (37.5%)」が最も高く、次いで「2~5件」 (33.3%) となっている。

◇「16~20件」、「21件~」の合計割合を見ると、中原区 (合計13.6%)、宮前区 (合計11.3%)、麻生区 (合計13.2%) が他区と比べると高い。

【調査項目1】 1-（3） 1月あたりの行政等からのポスター等掲示依頼件数（区別）

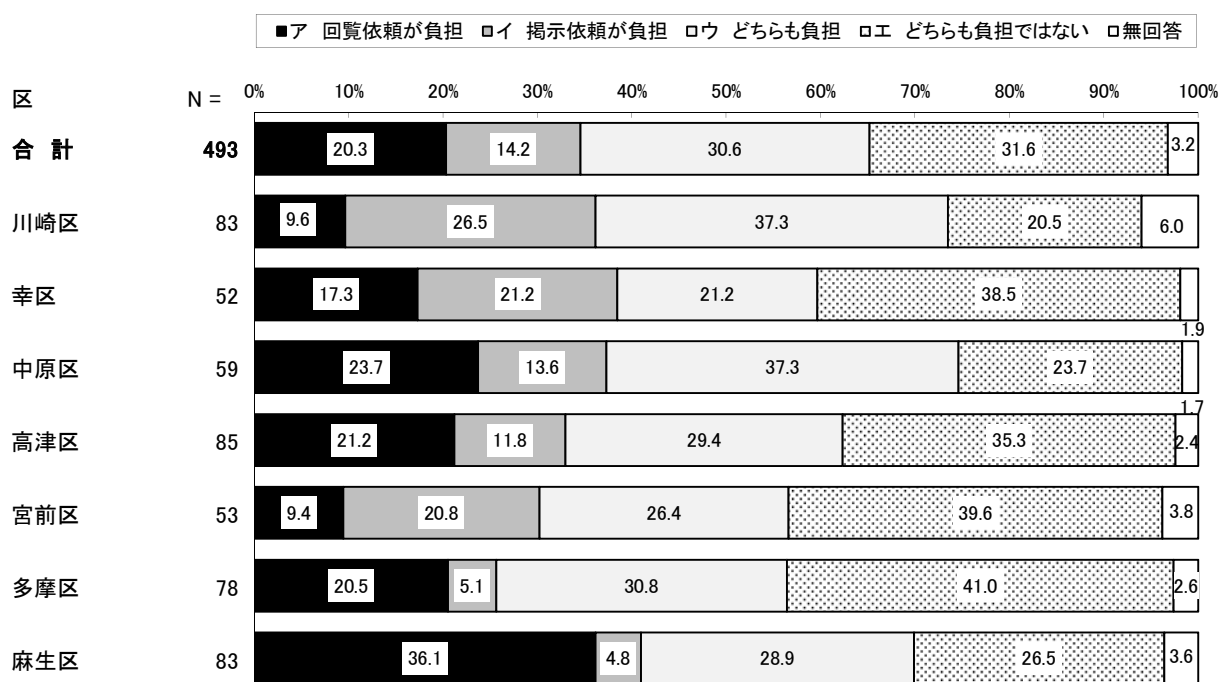


	1-（3）1月あたりの行政等からのポスター等掲示依頼件数							
	調査数	ア 1件以下	イ 2~5件	ウ 6~10件	エ 11~15件	オ 16~20件	カ 21件~	無回答
合計	493	42	332	88	18	5	3	5
	100.0%	8.5%	67.3%	17.8%	3.7%	1.0%	0.6%	1.0%
川崎区	83	4	56	18	3	1	1	-
	100.0%	4.8%	67.5%	21.7%	3.6%	1.2%	1.2%	-
幸区	52	1	38	9	1	-	-	3
	100.0%	1.9%	73.1%	17.3%	1.9%	-	-	5.8%
中原区	59	2	26	18	10	2	1	-
	100.0%	3.4%	44.1%	30.5%	16.9%	3.4%	1.7%	-
高津区	85	4	62	15	2	2	-	-
	100.0%	4.7%	72.9%	17.6%	2.4%	2.4%	-	-
宮前区	53	6	34	11	-	-	1	1
	100.0%	11.3%	64.2%	20.8%	-	-	1.9%	1.9%
多摩区	78	4	60	13	-	-	-	1
	100.0%	5.1%	76.9%	16.7%	-	-	-	1.3%
麻生区	83	21	56	4	2	-	-	-
	100.0%	25.3%	67.5%	4.8%	2.4%	-	-	-

◇全体を見ると、「2~5件」（67.3%）が最も高い。

◇「6~10件」「11~15件」「16~20件」「21件~」の合計割合を見ると、中原区（合計52.5%）となっており、各区の中で最も高い。

【調査項目 1】 1-（4）チラシ等の回覧依頼とポスター等掲示依頼の負担（区別）

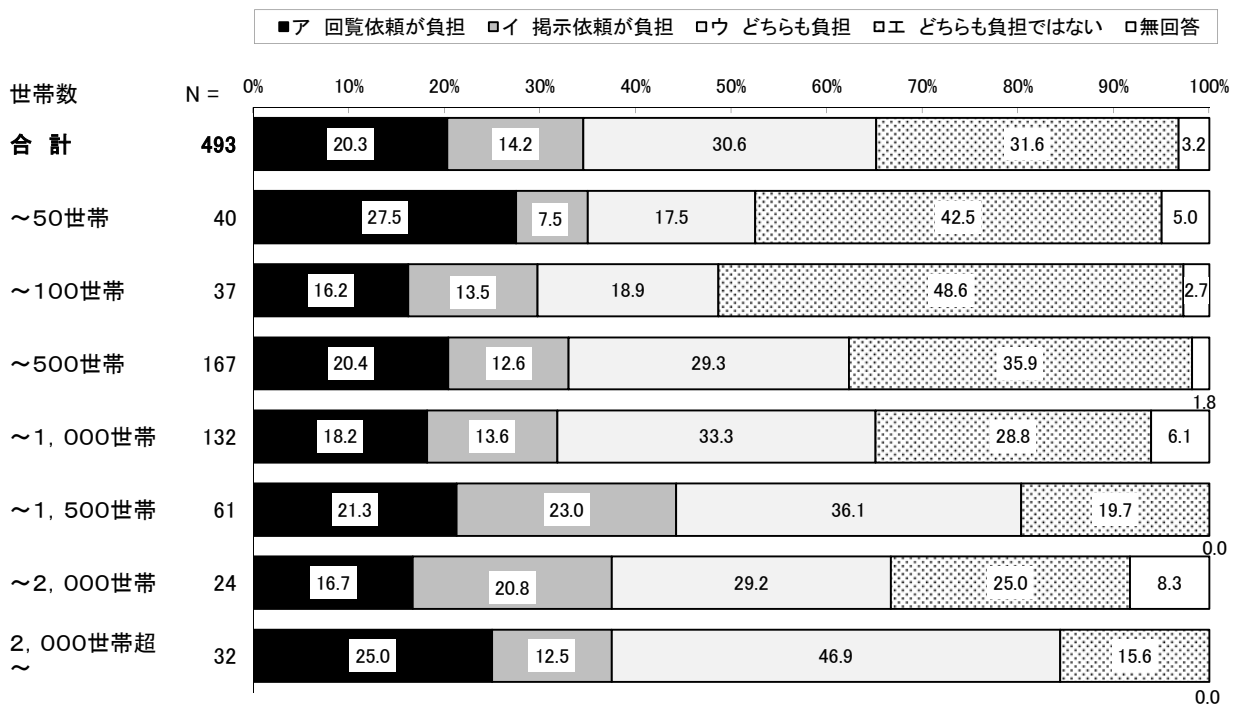


	1-（4）チラシ等の回覧依頼とポスター等掲示依頼の負担					
	調査数	ア 回覧依頼が負担	イ 掲示依頼が負担	ウ どちらも負担	エ どちらも負担ではない	無回答
合計	493	100	70	151	156	16
	100.0%	20.3%	14.2%	30.6%	31.6%	3.2%
川崎区	83	8	22	31	17	5
	100.0%	9.6%	26.5%	37.3%	20.5%	6.0%
幸区	52	9	11	11	20	1
	100.0%	17.3%	21.2%	21.2%	38.5%	1.9%
中原区	59	14	8	22	14	1
	100.0%	23.7%	13.6%	37.3%	23.7%	1.7%
高津区	85	18	10	25	30	2
	100.0%	21.2%	11.8%	29.4%	35.3%	2.4%
宮前区	53	5	11	14	21	2
	100.0%	9.4%	20.8%	26.4%	39.6%	3.8%
多摩区	78	16	4	24	32	2
	100.0%	20.5%	5.1%	30.8%	41.0%	2.6%
麻生区	83	30	4	24	22	3
	100.0%	36.1%	4.8%	28.9%	26.5%	3.6%

◇全体を見ると、「回覧依頼が負担」（20.3%）と「どちらも負担」（30.6%）の合計が約5割、「掲示依頼が負担（14.2%）」と「どちらも負担」（30.6%）の合計が約4割となっている。

◇「回覧依頼が負担」と「どちらも負担」の合計割合を見ると、宮前区（合計35.8%）が最も低く、次いで、幸区（合計38.5%）が低い。

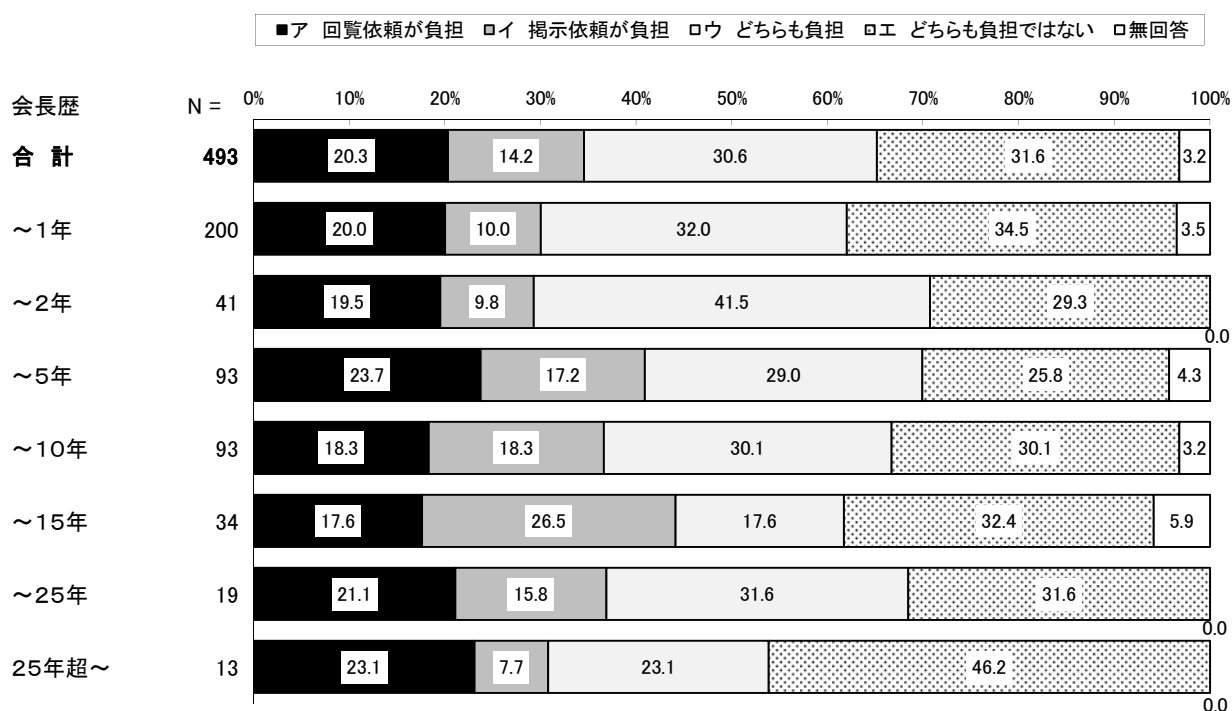
【調査項目 1】 1- (4) チラシ等の回覧依頼とポスター等掲示依頼の負担（世帯数別）



	1-(4) チラシ等の回覧依頼とポスター等掲示依頼の負担					
	調査数	ア 回覧依頼が負担	イ 掲示依頼が負担	ウ どちらも負担	エ どちらも負担ではない	無回答
合計	493	100	70	151	156	16
	100.0%	20.3%	14.2%	30.6%	31.6%	3.2%
～50世帯	40	11	3	7	17	2
	100.0%	27.5%	7.5%	17.5%	42.5%	5.0%
～100世帯	37	6	5	7	18	1
	100.0%	16.2%	13.5%	18.9%	48.6%	2.7%
～500世帯	167	34	21	49	60	3
	100.0%	20.4%	12.6%	29.3%	35.9%	1.8%
～1,000世帯	132	24	18	44	38	8
	100.0%	18.2%	13.6%	33.3%	28.8%	6.1%
～1,500世帯	61	13	14	22	12	-
	100.0%	21.3%	23.0%	36.1%	19.7%	-
～2,000世帯	24	4	5	7	6	2
	100.0%	16.7%	20.8%	29.2%	25.0%	8.3%
2,000世帯超～	32	8	4	15	5	-
	100.0%	25.0%	12.5%	46.9%	15.6%	-

◇ 「どちらも負担ではない」を見ると、「～100世帯」（48.6%）が最も高く、次いで「～50世帯」（42.5%）が高い。

【調査項目 1】 1-（4）チラシ等の回覧依頼とポスター等掲示依頼の負担（会長歴別）

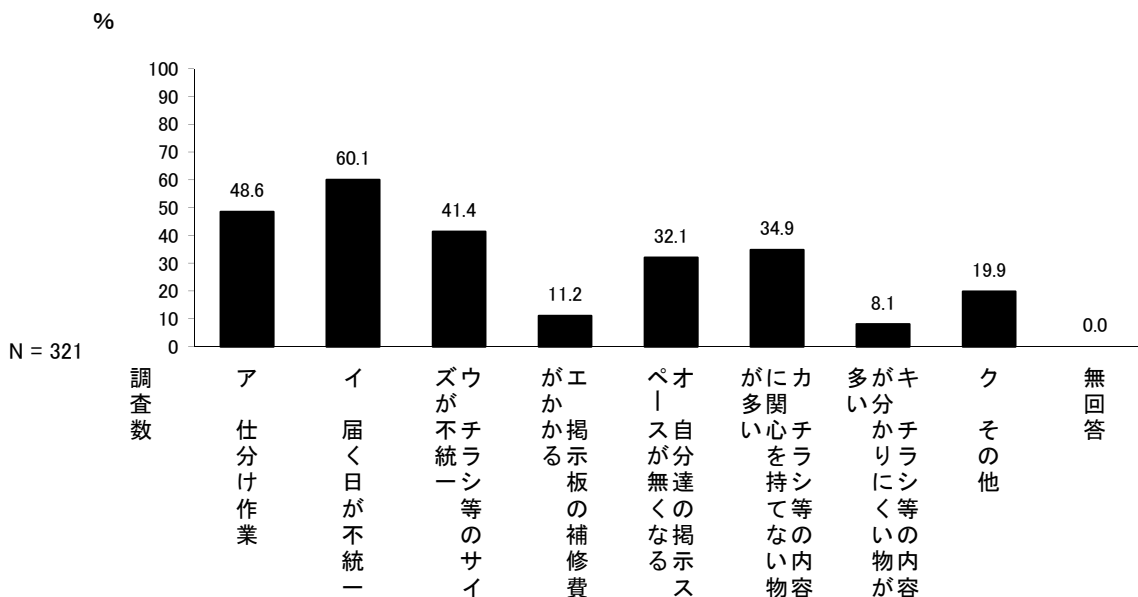


	1-（4）チラシ等の回覧依頼とポスター等掲示依頼の負担					
	調査数	ア 回覧依頼が負担	イ 掲示依頼が負担	ウ どちらも負担	エ どちらも負担ではない	無回答
合計	493	100	70	151	156	16
	100.0%	20.3%	14.2%	30.6%	31.6%	3.2%
～1年	200	40	20	64	69	7
	100.0%	20.0%	10.0%	32.0%	34.5%	3.5%
～2年	41	8	4	17	12	-
	100.0%	19.5%	9.8%	41.5%	29.3%	-
～5年	93	22	16	27	24	4
	100.0%	23.7%	17.2%	29.0%	25.8%	4.3%
～10年	93	17	17	28	28	3
	100.0%	18.3%	18.3%	30.1%	30.1%	3.2%
～15年	34	6	9	6	11	2
	100.0%	17.6%	26.5%	17.6%	32.4%	5.9%
～25年	19	4	3	6	6	-
	100.0%	21.1%	15.8%	31.6%	31.6%	-
25年超～	13	3	1	3	6	-
	100.0%	23.1%	7.7%	23.1%	46.2%	-

◇「回覧が負担」、「掲示板が負担」、「どちらも負担」の合計割合を見ると、「～2年」（合計70.8%）が最も高く、次いで「～5年」（合計69.9%）が高い。

◇「どちらも負担ではない」を見ると、「25年超～」（46.2%）が最も高い。

【調査項目1】 1-（5）チラシ等の回覧依頼とポスター等掲示依頼を負担に感じる点



合 計		321	156	193	133	36	103	112	26	64	-
		100.0%	48.6%	60.1%	41.4%	11.2%	32.1%	34.9%	8.1%	19.9%	-
区	川崎区	61	22	43	34	5	23	22	2	10	-
		100.0%	36.1%	70.5%	55.7%	8.2%	37.7%	36.1%	3.3%	16.4%	-
	幸区	31	15	12	11	6	14	10	4	8	-
		100.0%	48.4%	38.7%	35.5%	19.4%	45.2%	32.3%	12.9%	25.8%	-
	中原区	44	24	29	23	10	20	16	2	11	-
		100.0%	54.5%	65.9%	52.3%	22.7%	45.5%	36.4%	4.5%	25.0%	-
	高津区	53	20	38	21	3	16	12	5	8	-
	100.0%	37.7%	71.7%	39.6%	5.7%	30.2%	22.6%	9.4%	15.1%	-	
宮前区	30	13	16	12	6	16	9	-	4	-	
	100.0%	43.3%	53.3%	40.0%	20.0%	53.3%	30.0%	-	13.3%	-	
多摩区	44	27	25	20	4	7	19	2	7	-	
	100.0%	61.4%	56.8%	45.5%	9.1%	15.9%	43.2%	4.5%	15.9%	-	
麻生区	58	35	30	12	2	7	24	11	16	-	
	100.0%	60.3%	51.7%	20.7%	3.4%	12.1%	41.4%	19.0%	27.6%	-	
世帯数	～50世帯	21	13	10	6	1	2	11	2	5	-
		100.0%	61.9%	47.6%	28.6%	4.8%	9.5%	52.4%	9.5%	23.8%	-
	～100世帯	18	11	7	3	-	2	9	-	5	-
		100.0%	61.1%	38.9%	16.7%	-	11.1%	50.0%	-	27.8%	-
	～500世帯	104	41	64	37	7	30	35	9	24	-
		100.0%	39.4%	61.5%	35.6%	6.7%	28.8%	33.7%	8.7%	23.1%	-
	～1,000世帯	86	44	53	39	10	33	30	10	15	-
	100.0%	51.2%	61.6%	45.3%	11.6%	38.4%	34.9%	11.6%	17.4%	-	
～1,500世帯	49	21	34	28	9	18	18	4	6	-	
	100.0%	42.9%	69.4%	57.1%	18.4%	36.7%	36.7%	8.2%	12.2%	-	
～2,000世帯	16	11	11	6	3	7	4	-	4	-	
	100.0%	68.8%	68.8%	37.5%	18.8%	43.8%	25.0%	-	25.0%	-	
2,000世帯超～	27	15	14	14	6	11	5	1	5	-	
	100.0%	55.6%	51.9%	51.9%	22.2%	40.7%	18.5%	3.7%	18.5%	-	

	調査数	ア 仕 分 け 作 業	イ 届 く 日 が 不 統 一	ズ ウ が チ ラ シ 等 の サ イ ズ が 不 統 一	が エ か か る 掲 示 板 の 補 修 費	ペ オ ー ス 自 分 達 の 掲 示 ス ペ ース が 無 く な る	が に カ 多 関 心 を 持 て な い 物 が 多 い	多 が キ 分 か り チ ラ シ 等 の 内 容 が 多 い	ク そ の 他	無 回 答	
会 長 歴	～1年	124 100.0%	68 54.8%	65 52.4%	42 33.9%	10 8.1%	39 31.5%	45 36.3%	10 8.1%	32 25.8%	-
	～2年	29 100.0%	16 55.2%	20 69.0%	16 55.2%	3 10.3%	11 37.9%	7 24.1%	1 3.4%	3 10.3%	-
	～5年	65 100.0%	29 44.6%	45 69.2%	26 40.0%	9 13.8%	19 29.2%	21 32.3%	6 9.2%	14 21.5%	-
	～10年	62 100.0%	25 40.3%	41 66.1%	27 43.5%	6 9.7%	20 32.3%	25 40.3%	6 9.7%	11 17.7%	-
	～15年	21 100.0%	9 42.9%	12 57.1%	9 42.9%	5 23.8%	6 28.6%	6 28.6%	2 9.5%	2 9.5%	-
	～25年	13 100.0%	6 46.2%	7 53.8%	9 69.2%	3 23.1%	7 53.8%	5 38.5%	1 7.7%	2 15.4%	-
	25年超～	7 100.0%	3 42.9%	3 42.9%	4 57.1%	-	1 14.3%	3 42.9%	-	-	-

◇全体を見ると、「届く日が不統一」(60.1%)が最も高く、次いで、「仕分け作業」(48.6%)、「チラシ等のサイズが不統一」(41.4%)、「チラシ等の内容に関心を持ってない物が多い」(34.9%)の順に高い。

◇区別をみると、川崎区、中原区、高津区、宮前区では「届く日が不統一」の割合が最も高く、幸区、多摩区、麻生区では、「仕分け作業」の割合が最も高い。

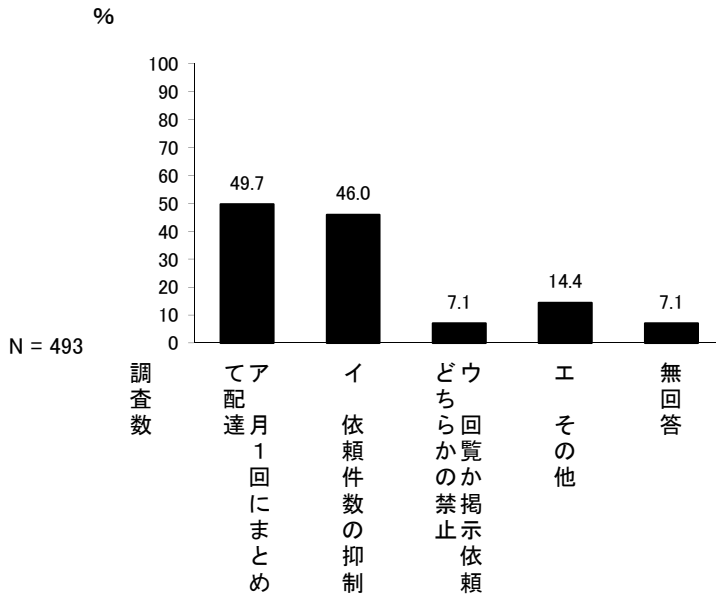
◇宮前区では「自分達の掲示スペースが無くなる」も同率で割合が高い。

◇「チラシ等の内容に関心を持ってない物が多い」を世帯区別に見ると、「～50世帯」(52.4%)、「～100世帯」(50.0%)の順に高い。

【その他意見(抜粋)】

- ・掲示物の両面刷りはやめたほうがいい(川崎区)他多数
- ・掲示のための作業が負担(7ヶ所)…町内を駆け巡る(自転車)。(川崎区)
- ・多数の依頼の対応を判断するのが負担大。(幸区)
- ・掲示板に貼るものは風雨対応のためラミネートしている。A4にしたい。(幸区)
- ・字数の多い内容は皆読まない(中原区)
- ・行政区域外からも送られてくる。(高津区)
- ・(広報物のターゲットの)対象となる町会会員が極めて少ないと思う。(高津区)
- ・老人世帯多数の為、体力的負担が大きい。(宮前区)
- ・他の回覧物が重なると見てくれる人が少なくなる。(宮前区)
- ・心理的な負担。(多摩区)
- ・班長への配布など時間を要する。(多摩区)
- ・数枚届き、後はコピーして回覧してくださいというのがたまにある。やりませんが。(麻生区)
- ・回覧ではなく、全部掲示方式で周知している。(麻生区(マンション自治会))

【調査項目 1】 1-（6）効果的な回覧や掲示依頼に対する負担軽減策



合 計		493	245	227	35	71	35
		100.0%	49.7%	46.0%	7.1%	14.4%	7.1%
区	川崎区	83	44	36	5	9	8
		100.0%	53.0%	43.4%	6.0%	10.8%	9.6%
	幸区	52	31	23	3	5	4
		100.0%	59.6%	44.2%	5.8%	9.6%	7.7%
	中原区	59	24	34	6	8	4
		100.0%	40.7%	57.6%	10.2%	13.6%	6.8%
	高津区	85	37	45	6	12	7
	100.0%	43.5%	52.9%	7.1%	14.1%	8.2%	
宮前区	53	28	24	3	8	4	
	100.0%	52.8%	45.3%	5.7%	15.1%	7.5%	
多摩区	78	38	30	6	14	6	
	100.0%	48.7%	38.5%	7.7%	17.9%	7.7%	
麻生区	83	43	35	6	15	2	
	100.0%	51.8%	42.2%	7.2%	18.1%	2.4%	
世帯数	～50世帯	40	29	11	3	7	1
		100.0%	72.5%	27.5%	7.5%	17.5%	2.5%
	～100世帯	37	17	15	3	8	2
		100.0%	45.9%	40.5%	8.1%	21.6%	5.4%
	～500世帯	167	84	63	12	25	17
		100.0%	50.3%	37.7%	7.2%	15.0%	10.2%
	～1,000世帯	132	60	63	9	19	11
		100.0%	45.5%	47.7%	6.8%	14.4%	8.3%
～1,500世帯	61	33	35	5	5	1	
	100.0%	54.1%	57.4%	8.2%	8.2%	1.6%	
～2,000世帯	24	8	15	3	3	2	
	100.0%	33.3%	62.5%	12.5%	12.5%	8.3%	
2,000世帯超～	32	14	25	-	4	1	
	100.0%	43.8%	78.1%	-	12.5%	3.1%	

	調査数	てア 配達 月 1 回 に ま と め	イ 依 頼 件 数 の 抑 制	ど う ち ら 回 覧 の 禁 止 依 頼	エ そ の 他	無 回 答	
会 長 歴	～1年	200 100.0%	103 51.5%	85 42.5%	16 8.0%	27 13.5%	15 7.5%
	～2年	41 100.0%	18 43.9%	20 48.8%	4 9.8%	6 14.6%	3 7.3%
	～5年	93 100.0%	46 49.5%	44 47.3%	9 9.7%	15 16.1%	7 7.5%
	～10年	93 100.0%	45 48.4%	43 46.2%	3 3.2%	11 11.8%	7 7.5%
	～15年	34 100.0%	15 44.1%	21 61.8%	1 2.9%	8 23.5%	— —
	～25年	19 100.0%	13 68.4%	7 36.8%	1 5.3%	4 21.1%	— —
	25年超～	13 100.0%	5 38.5%	7 53.8%	1 7.7%	— —	3 23.1%

◇全体を見ると、「月に1回にまとめて配達」（49.7%）、「依頼件数の抑制」（46.0%）が他の項目より圧倒的に高い。

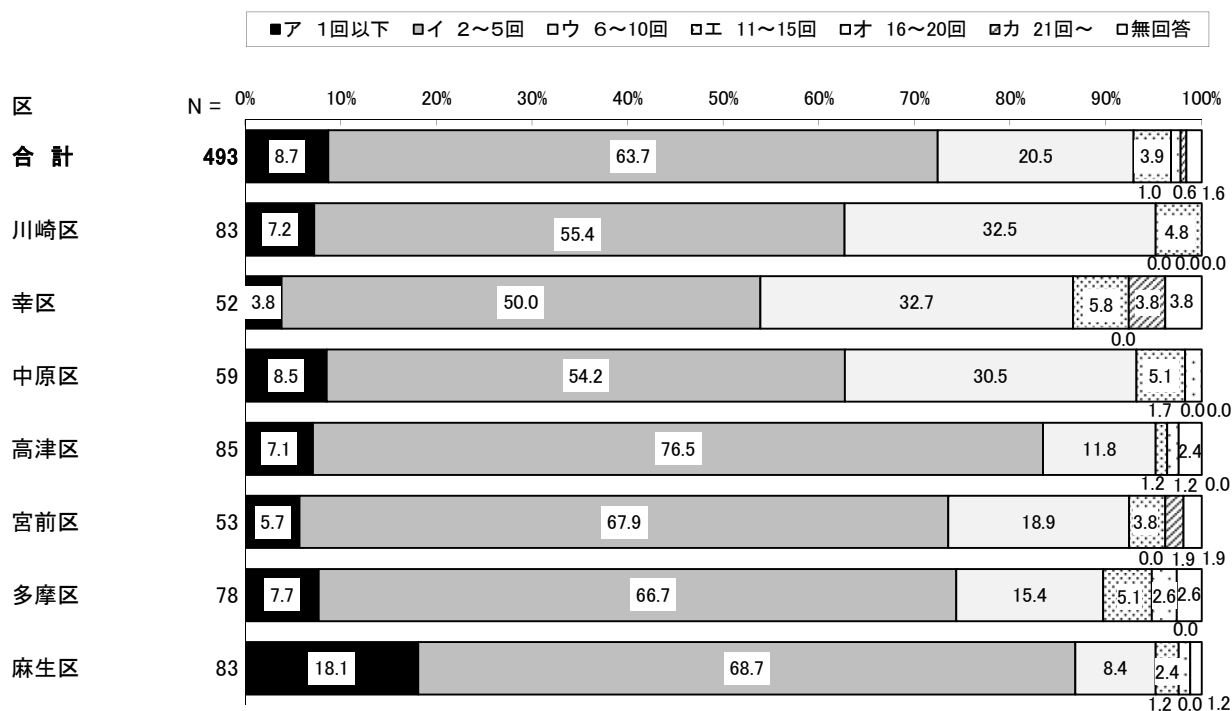
◇区別を見ると、中原区、高津区では「依頼件数の抑制」の割合が区内で最も高い。

◇世帯区分別を見ると、「～1,000世帯」、「～1,500世帯」、「～2,000世帯」、「2,500世帯超～」では、「依頼件数の抑制」の割合が区分内で最も高い。

【その他意見(抜粋)】

- ・月初めに月1回の回覧を行っているために月末までに到着するようにしてほしい。（川崎区）
- ・行政、社会福祉、赤十字、消防、警察の掲示物は区役所の掲示板に！（川崎区）
- ・数ヵ月後のものは回して欲しくない。（幸区）
- ・本当に必要なものに限定する。（幸区）
- ・地域住民の関心事を選別してください。（関心がないと読まない）（中原区）
- ・回覧、掲示物同一のものは片方でいい。（中原区）
- ・今まで通りでよい。（中原区）その他多数
- ・新聞折込、ネット配信。（高津区）
- ・市政、県便りに載せてほしい。（高津区）
- ・必要な回覧物、掲示物を的確な時期に！質の高いものを！（多摩区）
- ・イベント、行事を毎年から隔年に頻度を減らす。（多摩区）
- ・ポスターで、いくつか情報をまとめ、回覧数を減らす（掲示板の整備・補充が必要）。（宮前区）
- ・いつ何が配布されるのか年間のスケジュールがほしい。五月雨式に回覧が届くので精神的に負担。（麻生区）
- ・サイズの統一。形式の統一。趣旨、依頼事項の明確化、起源など形式と統一化するとわかりやすくなる。（麻生区）

【調査項目1】 1-(7) 1月あたりの会長に対する会議等への出席依頼件数（区別）



	1-(7) 1月あたりの会長に対する会議等への出席依頼件数							
	調査数	ア 1回以下	イ 2～5回	ウ 6～10回	エ 11～15回	オ 16～20回	カ 21回～	無回答
合計	493	43	314	101	19	5	3	8
	100.0%	8.7%	63.7%	20.5%	3.9%	1.0%	0.6%	1.6%
川崎区	83	6	46	27	4	-	-	-
	100.0%	7.2%	55.4%	32.5%	4.8%	-	-	-
幸区	52	2	26	17	3	-	2	2
	100.0%	3.8%	50.0%	32.7%	5.8%	-	3.8%	3.8%
中原区	59	5	32	18	3	1	-	-
	100.0%	8.5%	54.2%	30.5%	5.1%	1.7%	-	-
高津区	85	6	65	10	1	1	-	2
	100.0%	7.1%	76.5%	11.8%	1.2%	1.2%	-	2.4%
宮前区	53	3	36	10	2	-	1	1
	100.0%	5.7%	67.9%	18.9%	3.8%	-	1.9%	1.9%
多摩区	78	6	52	12	4	2	-	2
	100.0%	7.7%	66.7%	15.4%	5.1%	2.6%	-	2.6%
麻生区	83	15	57	7	2	1	-	1
	100.0%	18.1%	68.7%	8.4%	2.4%	1.2%	-	1.2%

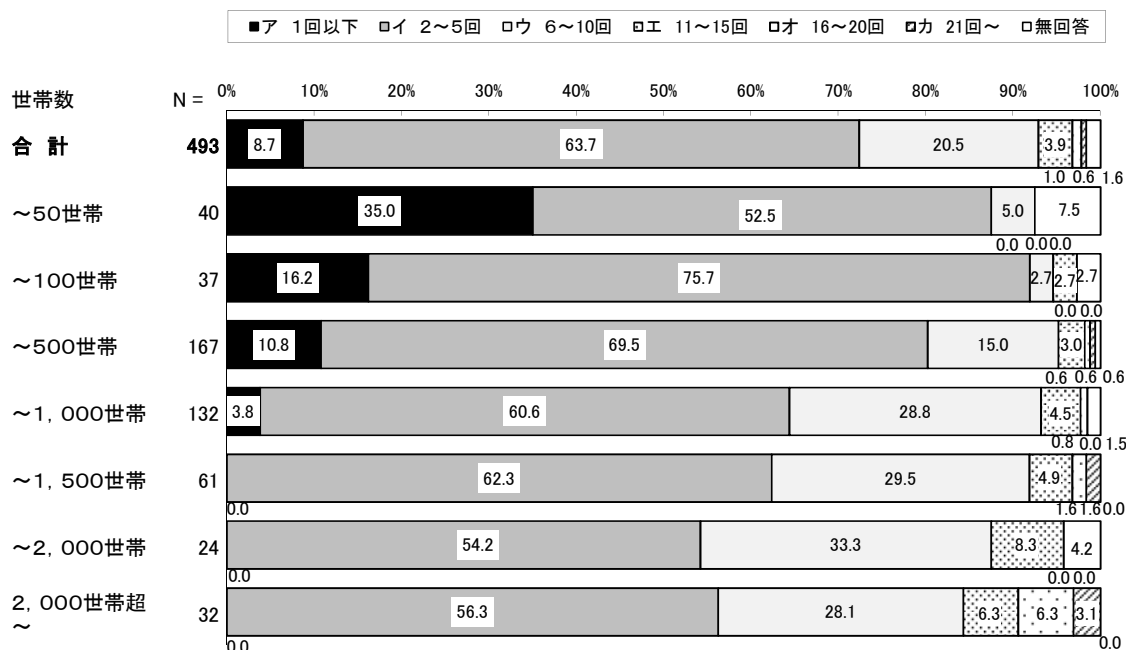
◇全体を見ると、「2～5回」（63.7%）が最も高い。

◇10年前の調査では年間の平均が23回となっており、月およそ2回程度が平均であったが、今回の調査では「2～5回」、「6～10回」が全体の84.2%となることから、10年前より依頼数が増えている。

◇「6～10回」を見ると、川崎区（32.5%）、幸区（32.7%）、中原区（30.5%）がそれぞれ3割を超えており、他区と比べて高い。

◇「1回以下」を見ると、麻生区（18.1%）が他区と比べて高い。

【調査項目1】 1-(7) 1月あたりの会長に対する会議等への出席依頼件数（世帯数別）

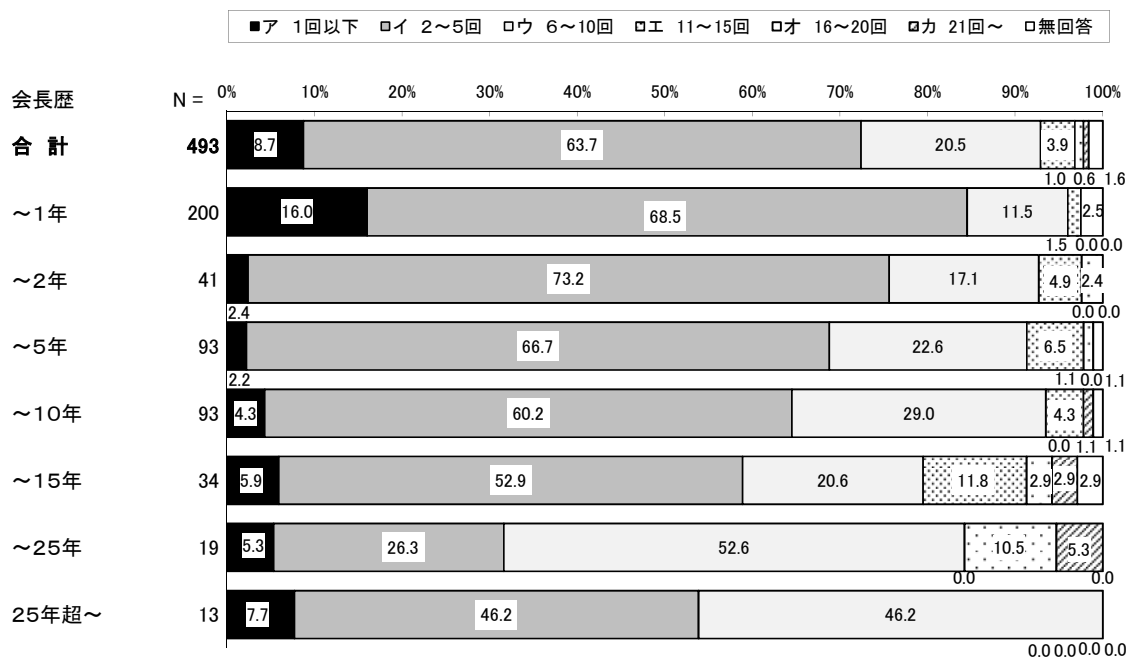


	1-(7) 1月あたりの会長に対する会議等への出席依頼件数							
	調査数	ア 1回以下	イ 2~5回	ウ 6~10回	エ 11~15回	オ 16~20回	カ 21回~	無回答
合計	493	43	314	101	19	5	3	8
	100.0%	8.7%	63.7%	20.5%	3.9%	1.0%	0.6%	1.6%
~50世帯	40	14	21	2	-	-	-	3
	100.0%	35.0%	52.5%	5.0%	-	-	-	7.5%
~100世帯	37	6	28	1	1	-	-	1
	100.0%	16.2%	75.7%	2.7%	2.7%	-	-	2.7%
~500世帯	167	18	116	25	5	1	1	1
	100.0%	10.8%	69.5%	15.0%	3.0%	0.6%	0.6%	0.6%
~1,000世帯	132	5	80	38	6	1	-	2
	100.0%	3.8%	60.6%	28.8%	4.5%	0.8%	-	1.5%
~1,500世帯	61	-	38	18	3	1	1	-
	100.0%	-	62.3%	29.5%	4.9%	1.6%	1.6%	-
~2,000世帯	24	-	13	8	2	-	-	1
	100.0%	-	54.2%	33.3%	8.3%	-	-	4.2%
2,000世帯超~	32	-	18	9	2	2	1	-
	100.0%	-	56.3%	28.1%	6.3%	6.3%	3.1%	-

◇ 「6~10回」を見ると、「~100世帯」（2.7%）が最も低く、次いで「~50世帯」（5.0%）が低い。

◇ 「~1,500世帯」、「~2,000世帯」、「2,000世帯超~」では「1回以下」の回答がない。

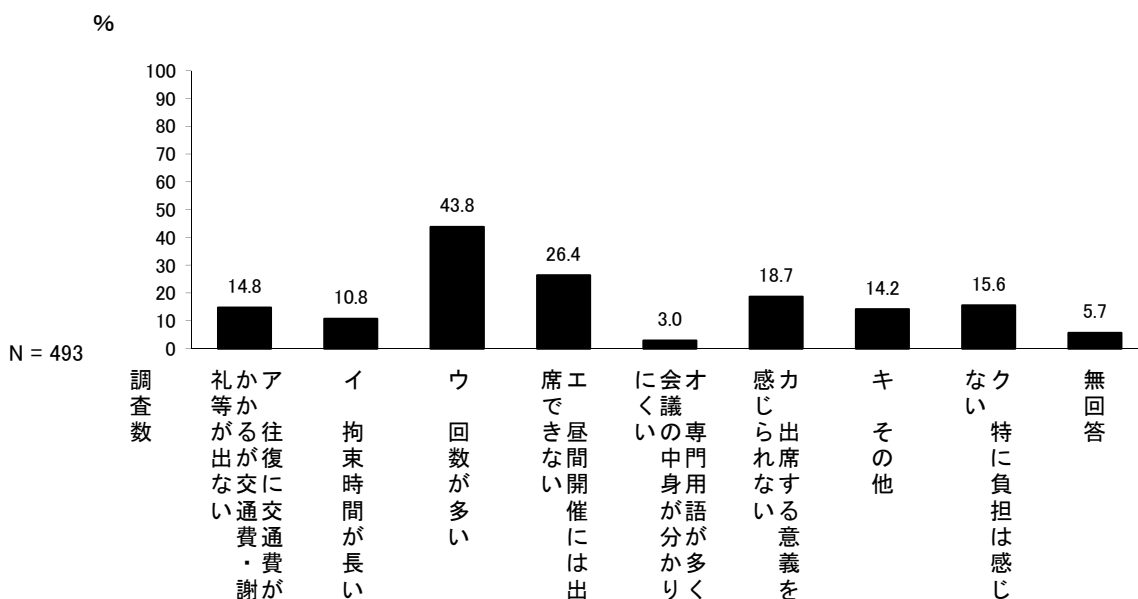
【調査項目1】 1-（7）1月あたりの会長に対する会議等への出席依頼件数（会長歴別）



	1-（7）1月あたりの会長に対する会議等への出席依頼件数							
	調査数	ア 1回以下	イ 2~5回	ウ 6~10回	エ 11~15回	オ 16~20回	カ 21回~	無回答
合計	493	43	314	101	19	5	3	8
	100.0%	8.7%	63.7%	20.5%	3.9%	1.0%	0.6%	1.6%
~1年	200	32	137	23	3	-	-	5
	100.0%	16.0%	68.5%	11.5%	1.5%	-	-	2.5%
~2年	41	1	30	7	2	1	-	-
	100.0%	2.4%	73.2%	17.1%	4.9%	2.4%	-	-
~5年	93	2	62	21	6	1	-	1
	100.0%	2.2%	66.7%	22.6%	6.5%	1.1%	-	1.1%
~10年	93	4	56	27	4	-	1	1
	100.0%	4.3%	60.2%	29.0%	4.3%	-	1.1%	1.1%
~15年	34	2	18	7	4	1	1	1
	100.0%	5.9%	52.9%	20.6%	11.8%	2.9%	2.9%	2.9%
~25年	19	1	5	10	-	2	1	-
	100.0%	5.3%	26.3%	52.6%	-	10.5%	5.3%	-
25年超~	13	1	6	6	-	-	-	-
	100.0%	7.7%	46.2%	46.2%	-	-	-	-

- ◇ 「1回以下」を見ると、「~1年」（16.0%）が最も高い。
- ◇ 「6~10回」を見ると、「~25年」（52.6%）が最も高く、次いで「25年超~」（46.2%）が高い。
- ◇ 「~25年」までは、会長歴区分が上がるほど、6回以上の回数の割合が高くなる。

【調査項目1】 1-(8) 会長に対する会議等への出席依頼を負担に感じる点



合 計		493	73	53	216	130	15	92	70	77	28
		100.0%	14.8%	10.8%	43.8%	26.4%	3.0%	18.7%	14.2%	15.6%	5.7%
区	川崎区	83	20	8	36	13	2	14	8	15	5
		100.0%	24.1%	9.6%	43.4%	15.7%	2.4%	16.9%	9.6%	18.1%	6.0%
	幸区	52	7	6	26	12	2	10	8	11	3
		100.0%	13.5%	11.5%	50.0%	23.1%	3.8%	19.2%	15.4%	21.2%	5.8%
	中原区	59	5	7	32	11	3	11	9	9	1
		100.0%	8.5%	11.9%	54.2%	18.6%	5.1%	18.6%	15.3%	15.3%	1.7%
	高津区	85	13	8	30	28	-	10	10	17	8
	100.0%	15.3%	9.4%	35.3%	32.9%	-	11.8%	11.8%	20.0%	9.4%	
宮前区	53	9	6	27	13	1	10	6	6	3	
	100.0%	17.0%	11.3%	50.9%	24.5%	1.9%	18.9%	11.3%	11.3%	5.7%	
多摩区	78	13	7	31	24	5	22	10	9	3	
	100.0%	16.7%	9.0%	39.7%	30.8%	6.4%	28.2%	12.8%	11.5%	3.8%	
麻生区	83	6	11	34	29	2	15	19	10	5	
	100.0%	7.2%	13.3%	41.0%	34.9%	2.4%	18.1%	22.9%	12.0%	6.0%	
世帯数	~50世帯	40	6	5	9	20	4	9	8	3	3
		100.0%	15.0%	12.5%	22.5%	50.0%	10.0%	22.5%	20.0%	7.5%	7.5%
	~100世帯	37	5	3	7	13	1	7	4	7	5
		100.0%	13.5%	8.1%	18.9%	35.1%	2.7%	18.9%	10.8%	18.9%	13.5%
	~500世帯	167	26	17	75	49	6	38	25	27	8
		100.0%	15.6%	10.2%	44.9%	29.3%	3.6%	22.8%	15.0%	16.2%	4.8%
	~1,000世帯	132	20	10	61	32	3	21	13	22	8
	100.0%	15.2%	7.6%	46.2%	24.2%	2.3%	15.9%	9.8%	16.7%	6.1%	
~1,500世帯	61	13	9	32	6	1	10	10	9	3	
	100.0%	21.3%	14.8%	52.5%	9.8%	1.6%	16.4%	16.4%	14.8%	4.9%	
~2,000世帯	24	1	4	13	8	-	2	4	5	1	
	100.0%	4.2%	16.7%	54.2%	33.3%	-	8.3%	16.7%	20.8%	4.2%	
2,000世帯超	32	2	5	19	2	-	5	6	4	-	
	100.0%	6.3%	15.6%	59.4%	6.3%	-	15.6%	18.8%	12.5%	-	

	調査数	礼かア 等か が往 出復 ないに 交通 費・費 謝が	イ 拘 束 時 間 が 長 い	ウ 回 数 が 多 い	席工 で き な い 昼 間 開 催 に は 出 席 で き な い	に会オ く議の い専 門 身 が 語 分 が 多 り く	感力 じら れ な い 出 席 す る 意 義 を	キ そ の 他	なク い 特 に 負 担 は 感 じ	無 回 答	
会 長 歴	～1年	200 100.0%	20 10.0%	20 10.0%	78 39.0%	81 40.5%	8 4.0%	44 22.0%	31 15.5%	25 12.5%	13 6.5%
	～2年	41 100.0%	5 12.2%	5 12.2%	22 53.7%	10 24.4%	1 2.4%	9 22.0%	6 14.6%	7 17.1%	2 4.9%
	～5年	93 100.0%	16 17.2%	12 12.9%	46 49.5%	15 16.1%	2 2.2%	17 18.3%	17 18.3%	14 15.1%	3 3.2%
	～10年	93 100.0%	18 19.4%	11 11.8%	43 46.2%	17 18.3%	2 2.2%	14 15.1%	12 12.9%	15 16.1%	7 7.5%
	～15年	34 100.0%	6 17.6%	3 8.8%	12 35.3%	4 11.8%	-	5 14.7%	2 5.9%	8 23.5%	2 5.9%
	～25年	19 100.0%	6 31.6%	2 10.5%	7 36.8%	1 5.3%	-	3 15.8%	1 5.3%	4 21.1%	1 5.3%
	25年超～	13 100.0%	2 15.4%	-	8 61.5%	2 15.4%	2 15.4%	-	1 7.7%	4 30.8%	-

◇全体を見ると、「回数が多い」（43.8%）が最も高く、次いで「昼間開催には出席できない」（26.4%）、「出席する意義を感じられない」（18.7%）の順に高い。

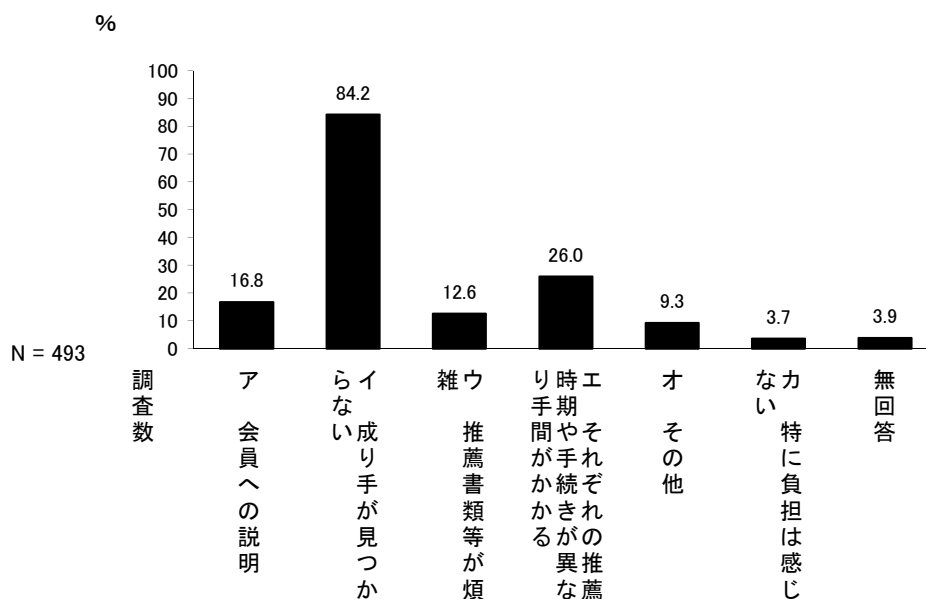
◇「昼間開催には出席できない」を区別に見ると、高津区（32.9%）、多摩区（30.8%）、麻生区（34.9%）は3割を超えており、他区より高い。

◇「～50世帯」、「～100世帯」では「昼間開催には出席できない」が区分内で最も割合が高い。

【その他意見(抜粋)】

- ・仕事の都合上、急な要請に対応できない。（川崎区）
- ・報告事項が多く、協議、意見交換の場が少ない。（川崎区）他多数
- ・夜7時過ぎも大変です・・・。（川崎区）
- ・報告だけが中心の場合メールだけでも良い。（幸区）
- ・短時間の場合出席が必要なのか？他の方法とかないのか？文書とか。（中原区）
- ・平日開催がほとんどです。会社員は町会長になれません。（中原区）
- ・主は違っても出席の面子は同じ。合同に出来るならしてもらいたい。（中原区）
- ・情報伝達会議はネットで済む。集めるな。（高津区）
- ・仕事を休んで出席している。（高津区）
- ・受けた以上はある程度当たり前と思う。（高津区）
- ・当自治会からの交通のアクセスが悪く、開催の時間を考えて欲しい。（宮前区）
- ・行政などの資料、また、責任が取れるような点で回りくどい表現文章が多い。簡単明瞭な文章でやればもっと会議が良くなる。（多摩区）
- ・自治会活動の範囲外の件が多い。（多摩区）
- ・出席すると他の役職の依頼が来る。（多摩区）
- ・会議開催がダブルこともあり、行政の都合で判断することが多すぎる。（多摩区）
- ・区境の地域なので移動時間が大。時間帯によっては大変負担。（麻生区）

【調査項目1】 1-(9) 各種委員の推薦依頼について負担に感じる点



合 計		493	83	415	62	128	46	18	19
		100.0%	16.8%	84.2%	12.6%	26.0%	9.3%	3.7%	3.9%
区	川崎区	83	15	68	14	21	8	5	2
		100.0%	18.1%	81.9%	16.9%	25.3%	9.6%	6.0%	2.4%
	幸区	52	13	44	14	19	6	2	-
		100.0%	25.0%	84.6%	26.9%	36.5%	11.5%	3.8%	-
	中原区	59	9	51	10	18	4	-	1
		100.0%	15.3%	86.4%	16.9%	30.5%	6.8%	-	1.7%
	高津区	85	10	75	4	20	8	5	4
	100.0%	11.8%	88.2%	4.7%	23.5%	9.4%	5.9%	4.7%	
宮前区	53	9	45	3	17	6	1	3	
	100.0%	17.0%	84.9%	5.7%	32.1%	11.3%	1.9%	5.7%	
多摩区	78	13	65	8	16	3	4	5	
	100.0%	16.7%	83.3%	10.3%	20.5%	3.8%	5.1%	6.4%	
麻生区	83	14	67	9	17	11	1	4	
	100.0%	16.9%	80.7%	10.8%	20.5%	13.3%	1.2%	4.8%	
世帯数	~50世帯	40	7	26	4	7	7	3	3
		100.0%	17.5%	65.0%	10.0%	17.5%	17.5%	7.5%	7.5%
	~100世帯	37	4	28	2	5	2	2	5
		100.0%	10.8%	75.7%	5.4%	13.5%	5.4%	5.4%	13.5%
	~500世帯	167	30	145	18	33	14	5	7
		100.0%	18.0%	86.8%	10.8%	19.8%	8.4%	3.0%	4.2%
	~1,000世帯	132	19	116	22	37	14	6	2
	100.0%	14.4%	87.9%	16.7%	28.0%	10.6%	4.5%	1.5%	
~1,500世帯	61	13	51	11	24	5	2	2	
	100.0%	21.3%	83.6%	18.0%	39.3%	8.2%	3.3%	3.3%	
~2,000世帯	24	4	21	1	8	1	-	-	
	100.0%	16.7%	87.5%	4.2%	33.3%	4.2%	-	-	
2,000世帯超	32	6	28	4	14	3	-	-	
	100.0%	18.8%	87.5%	12.5%	43.8%	9.4%	-	-	

	調査数	ア 会員 への 説明	ら イ 成 り 手 が 見 つ か ない	雑 ウ 推 薦 書 類 等 が 煩	り 時 工 手 間 や そ れ が 手 続 き が 異 な る の 推 薦	オ そ の 他	な か い 特 に 負 担 は 感 じ	無 回 答	
会 長 歴	～1年	200 100.0%	35 17.5%	164 82.0%	24 12.0%	42 21.0%	20 10.0%	7 3.5%	14 7.0%
	～2年	41 100.0%	11 26.8%	38 92.7%	3 7.3%	11 26.8%	3 7.3%	1 2.4%	-
	～5年	93 100.0%	13 14.0%	85 91.4%	13 14.0%	23 24.7%	11 11.8%	1 1.1%	1 1.1%
	～10年	93 100.0%	17 18.3%	79 84.9%	12 12.9%	33 35.5%	9 9.7%	3 3.2%	2 2.2%
	～15年	34 100.0%	3 8.8%	28 82.4%	5 14.7%	10 29.4%	-	1 2.9%	1 2.9%
	～25年	19 100.0%	4 21.1%	14 73.7%	3 15.8%	5 26.3%	3 15.8%	1 5.3%	1 5.3%
	25年超～	13 100.0%	-	7 53.8%	2 15.4%	4 30.8%	-	4 30.8%	-

◇全体を見ると、「成り手が見つからない」（84.2%）が圧倒的に高く、次いで「それぞれの推薦時期や手続きが異なり手間がかかる」（26.0%）が高い。

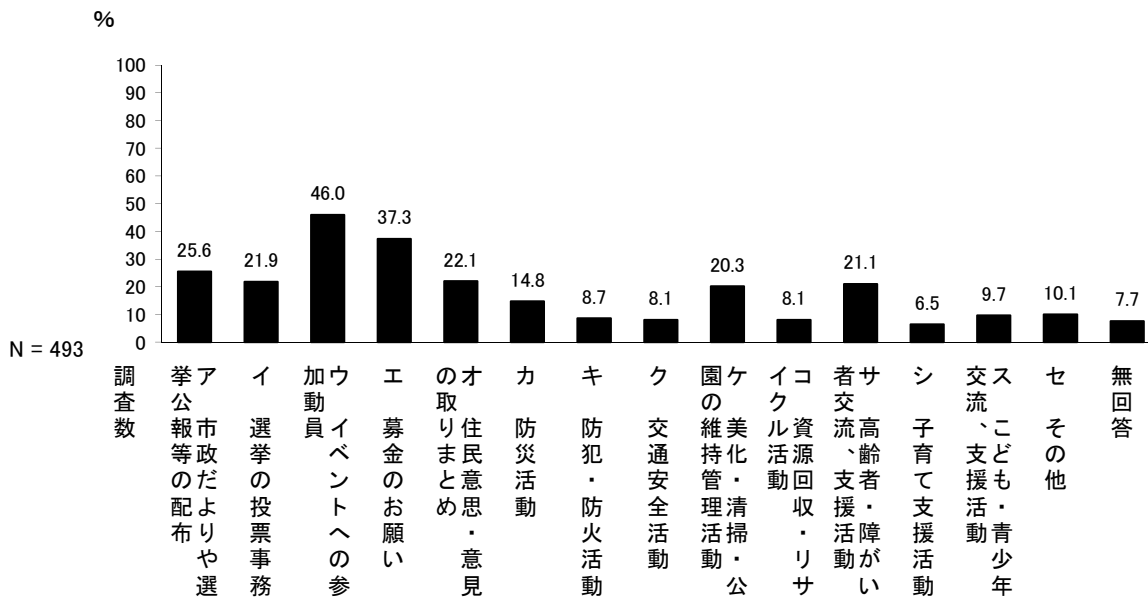
◇「それぞれの推薦時期や手続きが異なり手間がかかる」を世帯区分別に見ると、「2,000世帯超～」(43.8%)が最も高い。

【その他意見(抜粋)】

・土地柄one roomマンションが多く個人住宅は20件程度と少なく、日中はほとんど不在である。町内会組織が成り立たなくなる。行政として至急に対策をお願いしたい。(川崎区)

- ・商業地域においては役員の数、または地域に住んでいない人が多い。(川崎区)
- ・区の仕事を町会の役員に押し付けるだけなのが負担。(川崎区)
- ・行政が見つけてください。人選は行政で。(川崎区)
- ・スポ推等は土日が活動日で出たがらない。(幸区)
- ・委員に対する理解が得られない。存在すら知らない人が多い。(中原区)
- ・謝礼が出る国勢調査員は成り手が多い。スポーツと青少年指導委員を決める時が大変。(高津区)
- ・委員の必要性が不明確。(高津区)
- ・人的つながりに限界を感じます。公募を考えてはどうでしょうか。(高津区)
- ・各委員会の負担経費など不明な点が多い。(高津区)
- ・会員の高齢化(市の条令による委員年齢のハードルが高い)。(宮前区)
- ・各種委員が多い、民生・児童委員以外の活動は特別不要と考えます。(宮前区)
- ・民生委員の負担の大きさは長きに渡り問題視されてきた。改善の姿勢が見られない。変わらなければいけない!!(多摩区)
- ・全体像がわからないので混乱あり。(麻生区)
- ・民生委員の選出については地域の高齢化で町会での推薦は難しくなっていますが、依頼の時に民生委員は忙しいというイメージがあり時間をかけて行政からも「60歳になったら民生委員さんと考えよう」とのキャッチフレーズを広報し浸透させてほしい。いいイメージを考えてほしい。(麻生区)

【調査項目 1】 1- (10) その他の行政と関わりある活動等を負担に感じる点



調査数		493	126	108	227	184	109	73	43	40	100	40	104	32	48	50	38
		100.0%	25.6%	21.9%	46.0%	37.3%	22.1%	14.8%	8.7%	8.1%	20.3%	8.1%	21.1%	6.5%	9.7%	10.1%	7.7%
区	川崎区	83	18	20	43	39	22	16	9	14	19	6	19	7	5	7	4
		100.0%	21.7%	24.1%	51.8%	47.0%	26.5%	19.3%	10.8%	16.9%	22.9%	7.2%	22.9%	8.4%	6.0%	8.4%	4.8%
	幸区	52	16	9	23	28	16	6	5	5	10	10	11	3	6	7	1
		100.0%	30.8%	17.3%	44.2%	53.8%	30.8%	11.5%	9.6%	9.6%	19.2%	19.2%	21.2%	5.8%	11.5%	13.5%	1.9%
	中原区	59	19	13	33	23	13	10	6	4	16	3	12	4	3	6	4
		100.0%	32.2%	22.0%	55.9%	39.0%	22.0%	16.9%	10.2%	6.8%	27.1%	5.1%	20.3%	6.8%	5.1%	10.2%	6.8%
	高津区	85	18	16	41	21	15	10	4	2	15	6	18	5	5	8	5
	100.0%	21.2%	18.8%	48.2%	24.7%	17.6%	11.8%	4.7%	2.4%	17.6%	7.1%	21.2%	5.9%	5.9%	9.4%	5.9%	
宮前区	53	12	8	19	13	7	7	4	5	9	4	10	5	8	4	8	
	100.0%	22.6%	15.1%	35.8%	24.5%	13.2%	13.2%	7.5%	9.4%	17.0%	7.5%	18.9%	9.4%	15.1%	7.5%	15.1%	
多摩区	78	21	17	41	28	19	12	9	8	15	6	18	3	11	9	5	
	100.0%	26.9%	21.8%	52.6%	35.9%	24.4%	15.4%	11.5%	10.3%	19.2%	7.7%	23.1%	3.8%	14.1%	11.5%	6.4%	
麻生区	83	22	25	27	32	17	12	6	2	16	5	16	5	10	9	11	
	100.0%	26.5%	30.1%	32.5%	38.6%	20.5%	14.5%	7.2%	2.4%	19.3%	6.0%	19.3%	6.0%	12.0%	10.8%	13.3%	
世帯数	~50世帯	40	12	5	17	12	6	6	4	2	9	2	3	3	4	6	4
		100.0%	30.0%	12.5%	42.5%	30.0%	15.0%	15.0%	10.0%	5.0%	22.5%	5.0%	7.5%	7.5%	10.0%	15.0%	10.0%
	~100世帯	37	7	8	9	8	8	6	2	2	7	2	3	-	2	6	9
		100.0%	18.9%	21.6%	24.3%	21.6%	21.6%	16.2%	5.4%	5.4%	18.9%	5.4%	8.1%	-	5.4%	16.2%	24.3%
	~500世帯	167	38	37	83	55	36	17	16	13	30	15	34	9	18	17	11
		100.0%	22.8%	22.2%	49.7%	32.9%	21.6%	10.2%	9.6%	7.8%	18.0%	9.0%	20.4%	5.4%	10.8%	10.2%	6.6%
	~1,000世帯	132	33	31	61	58	28	20	10	12	29	11	32	12	14	14	9
	100.0%	25.0%	23.5%	46.2%	43.9%	21.2%	15.2%	7.6%	9.1%	22.0%	8.3%	24.2%	9.1%	10.6%	10.6%	6.8%	
~1,500世帯	61	23	13	32	26	16	10	6	6	14	5	14	4	6	5	2	
	100.0%	37.7%	21.3%	52.5%	42.6%	26.2%	16.4%	9.8%	9.8%	23.0%	8.2%	23.0%	6.6%	9.8%	8.2%	3.3%	
~2,000世帯	24	3	5	13	11	4	6	3	2	6	3	8	2	1	-	2	
	100.0%	12.5%	20.8%	54.2%	45.8%	16.7%	25.0%	12.5%	8.3%	25.0%	12.5%	33.3%	8.3%	4.2%	-	8.3%	
2,000世帯超~	32	10	9	12	14	11	8	2	3	5	2	10	2	3	2	1	
	100.0%	31.3%	28.1%	37.5%	43.8%	34.4%	25.0%	6.3%	9.4%	15.6%	6.3%	31.3%	6.3%	9.4%	6.3%	3.1%	

	調査数	ア 市報 等の 配布	イ 選挙 の 投票 事務	ウ イベント への 参加	エ 募金の お願い	オ 住民 意思・ 意見 の まとめ	カ 防災 活動	キ 防犯・ 防火 活動	ク 交通 安全 活動	ケ 園の 維持 管理 活動	コ 資源 回収 ・リ サ	サ 交流 、高 齢者 ・障 がい 者 支 援 活 動	シ 子育 て支 援 活 動	ス 交流 、支 援 活 動	セ その 他	無 回 答	
会 長 歴	～1年	200	51	44	97	63	39	24	14	9	38	14	32	7	17	21	22
		100.0%	25.5%	22.0%	48.5%	31.5%	19.5%	12.0%	7.0%	4.5%	19.0%	7.0%	16.0%	3.5%	8.5%	10.5%	11.0%
	～2年	41	11	12	24	17	14	4	4	6	8	4	5	3	7	3	1
		100.0%	26.8%	29.3%	58.5%	41.5%	34.1%	9.8%	9.8%	14.6%	19.5%	9.8%	12.2%	7.3%	17.1%	7.3%	2.4%
	～5年	93	30	18	45	33	17	13	10	9	22	8	31	7	12	14	4
		100.0%	32.3%	19.4%	48.4%	35.5%	18.3%	14.0%	10.8%	9.7%	23.7%	8.6%	33.3%	7.5%	12.9%	15.1%	4.3%
	～10年	93	18	19	39	44	28	20	8	7	16	7	26	8	5	5	4
		100.0%	19.4%	20.4%	41.9%	47.3%	30.1%	21.5%	8.6%	7.5%	17.2%	7.5%	28.0%	8.6%	5.4%	5.4%	4.3%
～15年	34	9	8	14	16	6	3	2	2	6	3	2	3	5	4	2	
	100.0%	26.5%	23.5%	41.2%	47.1%	17.6%	8.8%	5.9%	5.9%	17.6%	8.8%	5.9%	8.8%	14.7%	11.8%	5.9%	
～25年	19	5	4	3	7	2	8	5	6	6	2	5	3	2	2	2	
	100.0%	26.3%	21.1%	15.8%	36.8%	10.5%	42.1%	26.3%	31.6%	31.6%	10.5%	26.3%	15.8%	10.5%	10.5%	10.5%	
25年超～	13	2	3	5	4	3	1	-	1	4	2	3	1	-	1	3	
	100.0%	15.4%	23.1%	38.5%	30.8%	23.1%	7.7%	-	7.7%	30.8%	15.4%	23.1%	7.7%	-	7.7%	23.1%	

◇全体を見ると、「イベントへの参加動員」（46.0%）が最も高く、次いで「募金のお願い」（37.3%）、「市政だよりや選挙公報等の配布」（25.6%）、「住民意思・意見の取りまとめ」（22.1%）、「選挙の投票事務」（21.9%）の順に高い。

◇幸区、麻生区では「募金のお願い」がそれぞれ53.8%、38.6%となっており区内で最も高い。

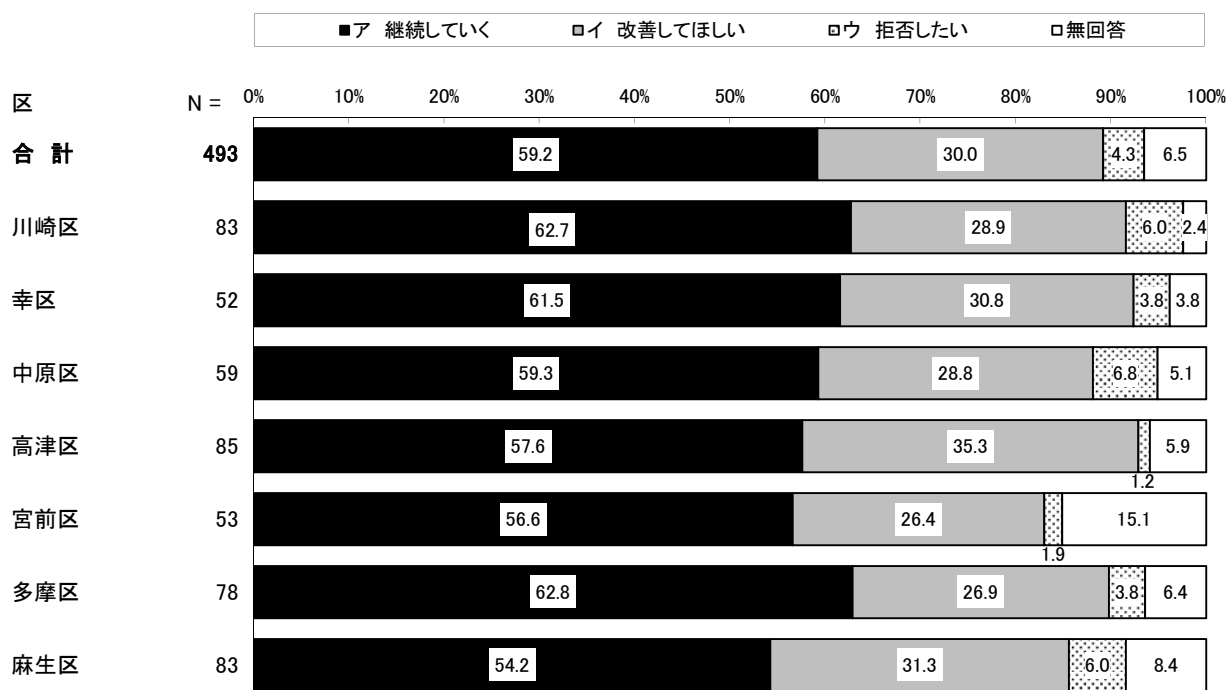
◇「2,000世帯超～」では「募金のお願い」（43.8%）が区分内で最も高い。

◇「～10年」、「～15年」では「募金のお願い」がそれぞれ47.3%、47.1%と区分内で最も高い。

【その他意見(抜粋)】

- ・成り手が見つからない。→全て町会長。（川崎区）
- ・赤十字、社協の募金依頼はどのような規則で来るのか。町会のことより、市・区の仕事として割り振ってくる。（川崎区）
- ・全て負担ですが、当然の活動かと思う。（幸区）他多数
- ・人出し依頼は対応できる人がいないので断る。（幸区）
- ・社会福祉協議会活動。（中原区）
- ・自身は感じないが協力者を探す時。（中原区）
- ・謝礼が出るものについては負担にならない。（高津区）
- ・要援護者のリストには地図プロットがあると分かりやすい。（高津区）
- ・公園の管理を標記されている市営団地では相談窓口、申請窓口が多く、どこかでワンストップの窓口を考えてほしい。（高津区）
- ・出欠が必要なイベントの時出席の場合のみ返信にしてほしい。（多摩区）
- ・定期的なもの。確立されたものはいいが、個別対応が必要なものは負担。（麻生区）
- ・長時間の拘束にも関わらず謝礼が低いと感じた。自治会が「個人情報保護取扱い」の対象となったこと、荷が重過ぎる。（麻生区）

【調査項目 1】 1- (11) 負担が大きいと感じる事業等の継続意思（区別）



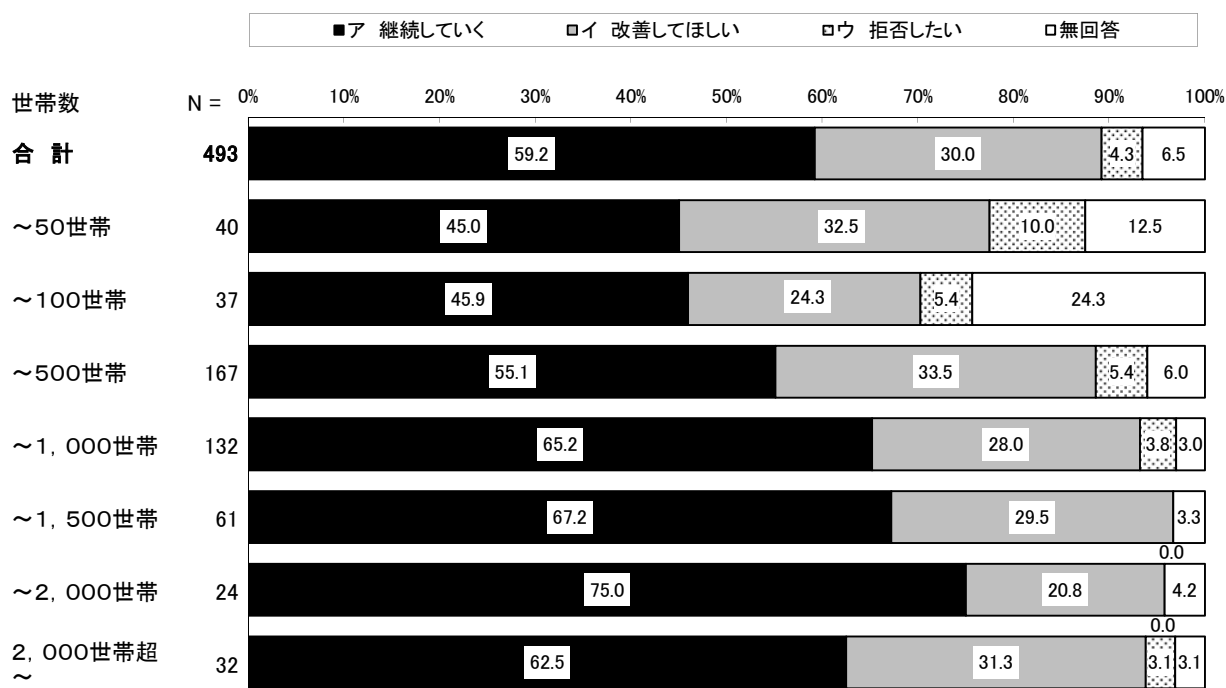
	1-(11)負担が大きいと感じる事業等の継続意思					10年前			
	調査数	ア 継続 していく	イ 改善 してほ しい	ウ 拒否 したい	無回答	調査数	継続して いく	改善して ほしい	拒否し たい
合計	493	292	148	21	32	270	137	145	35
	100.0%	59.2%	30.0%	4.3%	6.5%	100.0%	50.7%	53.7%	13.0%
川崎区	83	52	24	5	2	47	20	21	6
	100.0%	62.7%	28.9%	6.0%	2.4%	100.0%	42.6%	44.7%	12.8%
幸区	52	32	16	2	2	30	17	18	6
	100.0%	61.5%	30.8%	3.8%	3.8%	100.0%	56.7%	60.0%	20.0%
中原区	59	35	17	4	3	36	27	19	2
	100.0%	59.3%	28.8%	6.8%	5.1%	100.0%	75.0%	52.8%	5.6%
高津区	85	49	30	1	5	35	35	26	3
	100.0%	57.6%	35.3%	1.2%	5.9%	100.0%	100.0%	74.3%	8.6%
宮前区	53	30	14	1	8	33	12	15	3
	100.0%	56.6%	26.4%	1.9%	15.1%	100.0%	36.4%	45.5%	9.1%
多摩区	78	49	21	3	5	45	11	25	9
	100.0%	62.8%	26.9%	3.8%	6.4%	100.0%	24.4%	55.6%	20.0%
麻生区	83	45	26	5	7	44	15	21	6
	100.0%	54.2%	31.3%	6.0%	8.4%	100.0%	34.1%	47.7%	13.6%

◇全体を見ると、「継続していく」(59.2%)が最も高く、「拒否したい」(4.3%)が最も低い。

◇10年前と比べると、「改善してほしい」、「拒否したい」の割合が減り、「継続していく」の割合が増えている。

◇「継続していく」を区別に見ると、多摩区(62.8%)が最も高く、次いで川崎区(62.7%)が高い。

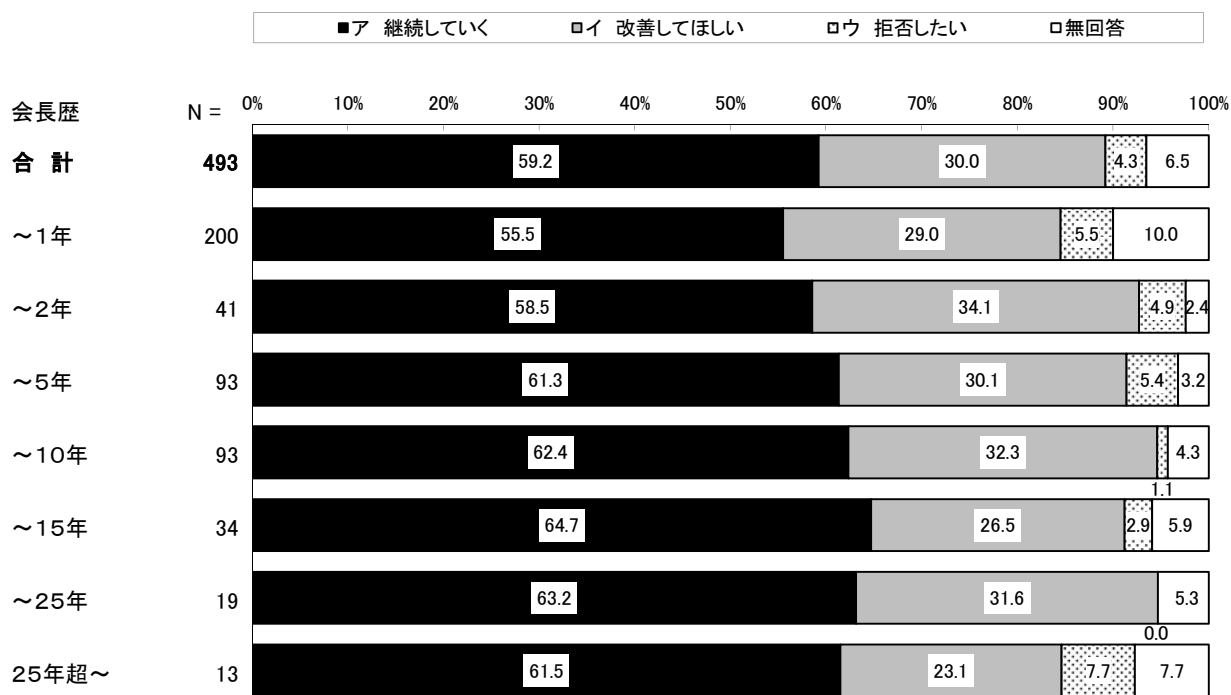
【調査項目 1】 1- (11) 負担が大きいと感じる事業等の継続意思（世帯数）



	1-(11)負担が大きいと感じる事業等の継続意思				
	調査数	ア 継続している	イ 改善してほしい	ウ 拒否したい	無回答
合計	493	292	148	21	32
	100.0%	59.2%	30.0%	4.3%	6.5%
～50世帯	40	18	13	4	5
	100.0%	45.0%	32.5%	10.0%	12.5%
～100世帯	37	17	9	2	9
	100.0%	45.9%	24.3%	5.4%	24.3%
～500世帯	167	92	56	9	10
	100.0%	55.1%	33.5%	5.4%	6.0%
～1,000世帯	132	86	37	5	4
	100.0%	65.2%	28.0%	3.8%	3.0%
～1,500世帯	61	41	18	-	2
	100.0%	67.2%	29.5%	-	3.3%
～2,000世帯	24	18	5	-	1
	100.0%	75.0%	20.8%	-	4.2%
2,000世帯超～	32	20	10	1	1
	100.0%	62.5%	31.3%	3.1%	3.1%

◇ 「継続していく」を見ると、「～50世帯」（45.0%）が最も低く、次いで「～100世帯」（45.9%）が低い。

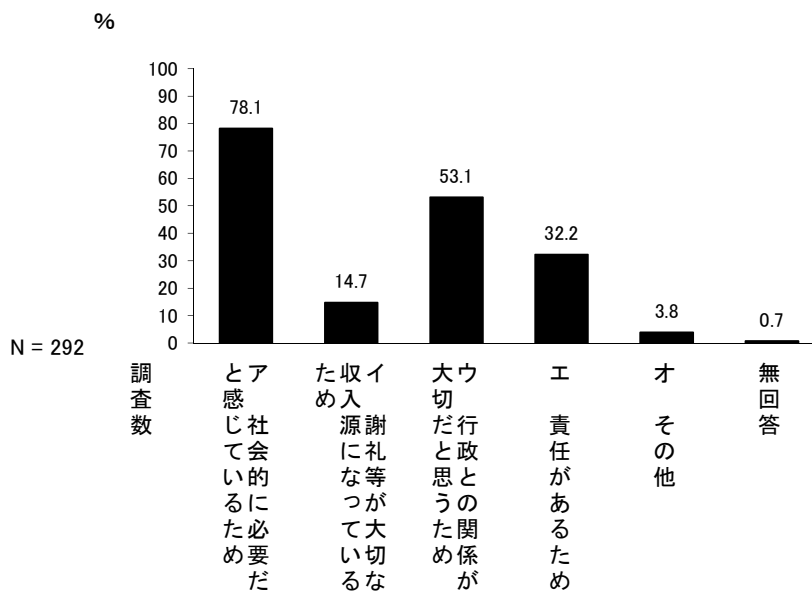
【調査項目 1】 1- (11) 負担が大きいと感じる事業等の継続意思（会長歴別）



	1-(11)負担が大きいと感じる事業等の継続意思				
	調査数	ア 継続している	イ 改善してほしい	ウ 拒否したい	無回答
合計	493	292	148	21	32
	100.0%	59.2%	30.0%	4.3%	6.5%
～1年	200	111	58	11	20
	100.0%	55.5%	29.0%	5.5%	10.0%
～2年	41	24	14	2	1
	100.0%	58.5%	34.1%	4.9%	2.4%
～5年	93	57	28	5	3
	100.0%	61.3%	30.1%	5.4%	3.2%
～10年	93	58	30	1	4
	100.0%	62.4%	32.3%	1.1%	4.3%
～15年	34	22	9	1	2
	100.0%	64.7%	26.5%	2.9%	5.9%
～25年	19	12	6	-	1
	100.0%	63.2%	31.6%	-	5.3%
25年超～	13	8	3	1	1
	100.0%	61.5%	23.1%	7.7%	7.7%

◇会長歴で比べても、全体と大きく変わらない。

【調査項目 1】 1- (12) 負担が大きいと感じる事業を継続する理由



合 計		292	228	43	155	94	11	2
		100.0%	78.1%	14.7%	53.1%	32.2%	3.8%	0.7%
区	川崎区	52	37	11	28	14	-	1
		100.0%	71.2%	21.2%	53.8%	26.9%	-	1.9%
	幸区	32	26	8	22	6	2	-
		100.0%	81.3%	25.0%	68.8%	18.8%	6.3%	-
	中原区	35	28	6	18	16	-	1
		100.0%	80.0%	17.1%	51.4%	45.7%	-	2.9%
	高津区	49	39	5	30	16	2	-
		100.0%	79.6%	10.2%	61.2%	32.7%	4.1%	-
宮前区	30	23	2	12	12	1	-	
	100.0%	76.7%	6.7%	40.0%	40.0%	3.3%	-	
多摩区	49	39	7	21	18	3	-	
	100.0%	79.6%	14.3%	42.9%	36.7%	6.1%	-	
麻生区	45	36	4	24	12	3	-	
	100.0%	80.0%	8.9%	53.3%	26.7%	6.7%	-	
世帯数	～50世帯	18	15	2	6	5	1	-
		100.0%	83.3%	11.1%	33.3%	27.8%	5.6%	-
	～100世帯	17	13	2	8	5	-	-
		100.0%	76.5%	11.8%	47.1%	29.4%	-	-
	～500世帯	92	64	14	49	24	6	-
		100.0%	69.6%	15.2%	53.3%	26.1%	6.5%	-
	～1,000世帯	86	70	17	49	30	3	1
		100.0%	81.4%	19.8%	57.0%	34.9%	3.5%	1.2%
～1,500世帯	41	34	5	23	12	1	1	
	100.0%	82.9%	12.2%	56.1%	29.3%	2.4%	2.4%	
～2,000世帯	18	15	1	8	9	-	-	
	100.0%	83.3%	5.6%	44.4%	50.0%	-	-	
2,000世帯超～	20	17	2	12	9	-	-	
	100.0%	85.0%	10.0%	60.0%	45.0%	-	-	

	調査数	とア 感じ 社会的 に必要 だため	た収 め入 源謝 に礼 な等 つが て大 い切 るな	大ウ 切だ 行政 と思 うの 関係 が	エ 責任 があ るた め	オ その 他	無 回 答	
会長 歴	～1年	111 100.0%	87 78.4%	14 12.6%	55 49.5%	44 39.6%	2 1.8%	- -
	～2年	24 100.0%	19 79.2%	4 16.7%	13 54.2%	6 25.0%	1 4.2%	1 4.2%
	～5年	57 100.0%	43 75.4%	9 15.8%	24 42.1%	17 29.8%	4 7.0%	1 1.8%
	～10年	58 100.0%	45 77.6%	13 22.4%	36 62.1%	18 31.0%	- -	- -
	～15年	22 100.0%	18 81.8%	- -	13 59.1%	3 13.6%	1 4.5%	- -
	～25年	12 100.0%	11 91.7%	2 16.7%	6 50.0%	4 33.3%	1 8.3%	- -
	25年超～	8 100.0%	5 62.5%	1 12.5%	8 100.0%	2 25.0%	2 25.0%	- -

◇全体を見ると、「社会的に必要だと感じているため」（78.1%）が最も高く、次いで「行政との関係が大切だと思うため」（53.1%）の順に高い。

◇宮前区では、「行政との関係が大切だと思うため」と「責任があるため」が40.0%と同じ割合となっている。

◇「社会的に必要だと感じているため」を世帯区分別に見ると、「～500世帯」（69.6%）が最も低い。

◇「行政との関係が大切だと思うため」を会長歴区分別に見ると、「25年超～」（100%）が最も高い。

【その他意見】

- ・町内会・自治会の理念であり意義有る組織であるべきと思う。（幸区）
- ・地域居住者による居住者同志のための活動と認識するため。（幸区）
- ・街づくりは時間のかかる取り組みと思うべし。（高津区）
- ・地域のために必要なことだと思うので出来る範囲でと思う。（高津区）
- ・出来ることに協力していく体制をとっている。強制であっては困る。（多摩区）
- ・行政との仲も大切だが、他の自治会町会との交流が大切だ。人との付き合いが大きくなり助け合うことが重要と思っている。（多摩区）
- ・地元で生活していく上で誰かがやらなくてはいけないと思っているから。（多摩区）
- ・必要と思うものには対応、その他はごめんなさい。（宮前区）
- ・改善の方策が打たれる事を期待しながら。（宮前区）
- ・災害時要援護者支援制度に関しては町会組織と民生委員との関係整備が必要かと思います。（麻生区）
- ・行政頼りだけでなく地域の自主性を育てたい。（麻生区）

【調査項目1】 1-(13) 何をどのように改善して欲しいか。(自由記載) 抜粋

【チラシ回覧等広報依頼関係】

- ・市政日より、県の広報新聞は2ヶ月に1回でも良いのでは。(川崎区)
- ・(ア) 市政日より、選挙公報など町会未加入の方への配布。(川崎区)
- ・これだけは！と住民に知らせることをまとめ(箇条書き)にしてほしい。町連の通達事項、会長より住民へ周知を！はきついです。(幸区)
- ・回覧、掲示物を厳選し負担を減らす※予算消化のためまた成果物発行目的での文書も多い。・会議は実質的なもの、内容のあるものに絞り極力回数を減らす。(幸区)
- ・各機関からの回覧依頼内容の簡素化。回覧物を見る立場として選別するものの目を通せないのが実情と考えます。(幸区)
- ・回覧など色々な部署から発行されているので統一したところからまとめて発信できないか。(高津区)
- ・市政日よりや選挙公報の配布は新聞に折り込む。(高津区)
- ・(〇〇) だよりのオンライン化。掲示化(高津区)
- ・チラシの回覧はやめ、提示のみにする。(宮前区)
- ・広報等の配布、新聞折込は出来ないか？(宮前区)
- ・特に回覧物について、関心がなくても読みたくなるように工夫して頂きたい。(多摩区)
- ・新聞でチラシ配布、またはパソコンでの配布。(麻生区)
- ・例えば役所からの回覧物が複数有る場合1つにまとめて回覧できるよう部署毎調整するなど。(麻生区)
- ・回覧について、学校関連や社会福祉関連はもう少し減らしても良いのではないか。(麻生区)
- ・配布物は統一して送っていただきたい。玄関のチャイムを鳴らさず置いておいてほしい。(麻生区)

【会議出席依頼関係】

- ・毎月何日かを決めて行政などの会議を集中的に開催すれば会議の回数は減少する。出席に値しない会議も多数ある。(川崎区)
- ・会長の定例会を夜間にしてほしい。平日昼間は現役世代では困難。(幸区)
- ・区役所での会合は月2回にまとめて開催してほしい。例えば第二火曜日、第四火曜日終日でもいい。(中原区)
- ・質問も意見も無い様な会議はまとめて一旦審議し、会議の開催日数も減らす。(中原区)
- ・様々な会合があり、別々に行われています。まとめて開催や資料配布で十分なものもある気がします。(宮前区)
- ・社会的に必要だと感じるが、自治会の高齢化が進み自治会活動を担える世代が少なく十分な活動ができない。最も忙しい世代(40~50歳)の人が会長になっても会議への出席が難しい。(麻生区)
- ・平日の昼間という時間ばかりに会議などの出席依頼があるというのは、若くやる気の有る人材の排除につながっている！！(麻生区)
- ・会議の議題が多い場合は内容がない。少ない場合は持ち時間が大。特に総会の類は出席の意味が感じられない。(麻生区)
- ・生活の多様性なので、各々が生活を楽しんでいるので、イベントは少なくしてほしい。(麻生区)

【委員推薦依頼関係】

- ・青少年指導員、スポーツ推進委員とも活動日数が多すぎる。月の参加回数を減らしたい。(幸区)
- ・各種委員の推薦を依頼されるが、簡単には見つからない、市からも人材を見つけてほしい。(中原区)
- ・民生・児童委員の活動内容を50%に絞込みを行い、住民がやりたいと思う様な活動内容を明確に打ち出す事。現状の活動内容では先行き厳しい。(宮前区)
- ・各種委員の場合専門的でもいいが、会長は年数に応じ役員(上級)に自然とならざるを得ず、会長職だけに専念できなくなる。(多摩区)
- ・国勢調査は行政のほうで十分であるのでは？(多摩区)
- ・国勢調査で判明した現役の商業(職務)状況を市或いは国が把握の上各自治会にその一部情報を流してみてはいかが。(多摩区)

【イベント参加依頼関係】

- ・イベント（研修会、講演会なども含む）開催がウィークデイの昼間開催が多いため、参加者は高齢者、主婦に限られているので、若年層、勤労者層へも目を向けた開催とすべきと考える。（川崎区）
- ・行事などを少なくすること。（中原区）
- ・各イベントの動員人数を集めるのに苦労する。（高津区）
- ・地区防災訓練：参加人数の協力依頼。今年は当番ゾーンというところで20名であった。（高津区）
- ・イベントの開催意義不鮮明につき有意義なものに改善すると共に費用負担を望む。（高津区）
- ・自治会内の問題ではありますが、個人的に働いているためほぼ参加不可能。そのためいつも代理の方に依頼。イベントの参加は負担になることもあるため有志で参加を募ってほしい。（高津区）
- ・総会、イベントへの参加依頼が多いので減らしてほしい。（多摩区）
- ・近年では60代70代前半の方でも仕事を持っている人が多いです。町会執行部も高齢化しておりお願いしても断られることが多いです。結局動員に応じてくれる人はいつも同じで一部の人にだけ負担がかかってしまいますので活動を減らしてほしいです。（多摩区）
- ・なかなか参加動員が難しいのでもっと説明してほしい。（麻生区）

【選挙投票事務協力依頼関係】

- ・選挙の手伝いは拘束時間を短くする。事前投票できるところは24時間の日を設けるなどして投票しやすくする。（川崎区）
- ・選挙事務の当日拘束時間が長すぎる（6：30～21：00）2分割を検討すべき。（高津区）
- ・選挙の投票事務は学生バイトでもよいのではないか？経費削減に繋がる。（中原区）
- ・選挙の投票事務は行政で募集してください。（多摩区）
- ・選挙事務の動員について、引き受ける人をなかなか見つけられない。（麻生区）
- ・選挙投票場立会時間の短縮。（麻生区）
- ・選挙投票事務は当日の日曜とその事前投票日と2日間つぶれてしまうので説明日はなくしてもらいたい。当日も拘束時間が長時間にわたるので、半日ずつの交替制などに変更をお願いしたい。（麻生区）

【募金協力依頼関係】

- ・町内会会員における募金（集金）活動の自粛。特に（10/1-12/31）赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金の2度にわたっての募金活動は検討・改善すべきと考えます。（川崎区）
- ・本来募金は任意が原則であり、額の提示はいかがか。集金する人が大変な思いをしている。（川崎区）
- ・赤十字募金は幸区は目標比150%なので目標額を減らし、金額も百円単位にしてほしい（金額もまちまちだと集計が大変）。（幸区）
- ・赤十字募金は中止。赤い羽根歳末助け合いは共同募金で一本化。年一回の募金にしてもらいたい。末端の役員が負担に感じています。（中原区）
- ・募金→PRしなくても戸別集金は町会費以外は廃止しています。募金は別の形で集めたほうがいい。募金商品など。（多摩区）
- ・社協の賛助会員募集（集金を伴う）のお知らせは自治会でした後、手続きなど（登録？）は個人で行う。（麻生区）
- ・人数の少ない町内会なので誰がどのくらい募金したかわからないようにしてほしい。募金は街頭でもしているので、町内会で集めなくても良いと思います。強制も出来ません。（麻生区）

【市からの資金支援関連】

- ・謝礼などを増やしてほしい。（川崎区）
- ・町会を維持するための町会費を頂く努力をしているが、行政は全く支援をしない。町会費がなければ町会は運営できないのに、全く支援をしない。行政の末端組織として動かすなら予算を出すべき。拒否までしないが、町会が行政の下部組織として動く法的な根拠があるのでしょうか。マンションや町会費拒否のマンション経営会社が多く、そのような指導にも行政は全くの支援をしない、そのような状態で色々な依頼をしてるのが理解できない。（川崎区）
- ・金銭的に負担がかかりすぎる。行政としても少し考えてほしい！！市・県議員より活動が多い。政治家は給料を頂くけど、地域の会長は0。活動資金がほしい。（幸区）

【その他(個別的なもの)】

- ・3役(会長・会計・総務など)の交代の人がいないため区として自治会専門の相談室を作るなど具体的な対策をとってほしいです。(幸区)
- ・活動する側が高齢者のため支援できないので専門知識を持った方をお願いしたい。(幸区)
- ・市民のコミュニティ意識の希薄化と近隣相互の関係の希薄化した住民意識の改革(改善)策を構築してください。(幸区)
- ・資源回収場所への分別した回収容器の設置。(幸区)
- ・①役員数の圧縮。②回覧だけにしてほしい③市政だよりを「市」でポスティング(業者に委託)を行う。④広報紙は行政がシルバーセンターを活用して行うべきである。⑤地域に密着した活動に重点をおくべき。市区のイベントは大幅に削減してほしい。⑥町会役員を引き受けてくださる方がいなく配布が難しくなるのではと心配しております。(中原区)
- ・民生委員制度の廃止。社協の取りに来いという姿勢。情報伝達会議の廃止。(高津区)
- ・子ども会役員の受け手がなく存続が危ぶまれる。学校がPTA役員を選任するのと同じ目線で町会子ども会へのご助力があるとありがたい。(高津区)
- ・道路歩道の清掃を行政が定期的実施してほしい。お願いしても遅すぎる。(高津区)
- ・公園管理について一部業者委託化をすべき。(多摩区)
- ・例として防災について、県・市・区が担う分野を一覧形式で常に表示してほしい。(麻生区)

【その他(全体的なもの)】

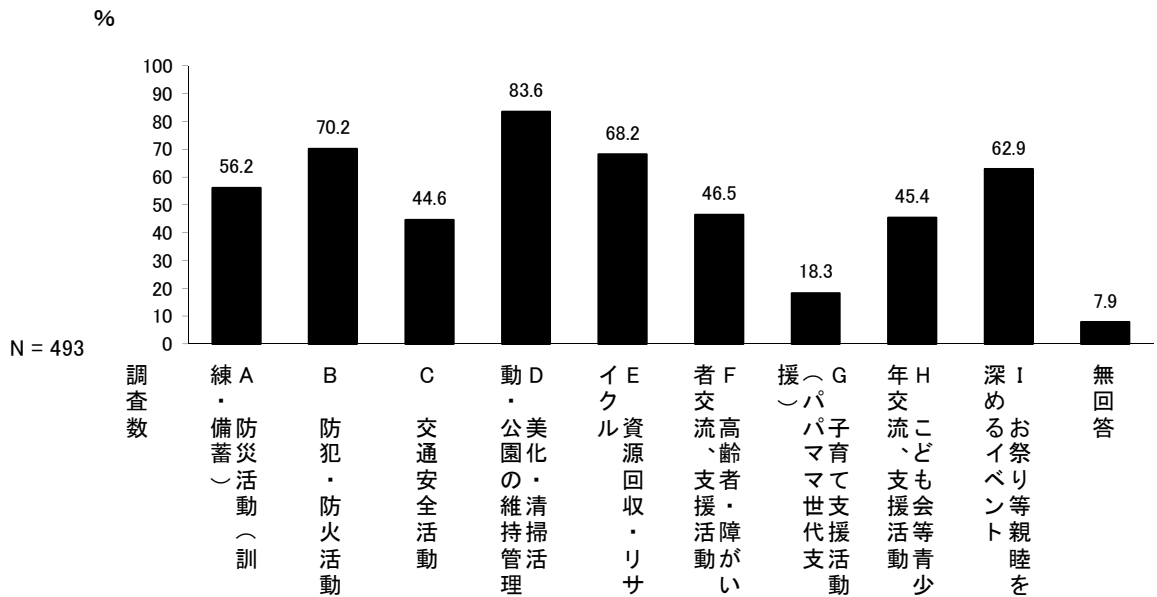
- ・市内には川崎市職員が多数居住していると思う。勤務時間外での自主的活動を指導し、町内会の一員として役に立ってほしい。(川崎区)
- ・行政でやれる行事は行政でやってほしいです。(川崎区)
- ・何もかも町内会でなく、役所も一緒にやってほしい。(川崎区)
- ・会長と行政のつながりでなく、専門部長が出来る体制作りをお願いします。(川崎区)
- ・全て町会を経由で流せばよいものではないと思う。(川崎区)
- ・町内会で行う行事が沢山ある事を分かってほしい。各町内会の役員(定例会)議事・行事報告を見れば負担がわかる。(川崎区)
- ・全て町会に丸投げするのではなく行政でも一部対応。(中原区)
- ・本当は拒否としたいが、必要な部分もあるので「改善」にしました。町会には多くの依頼などが来るが対応しきれない。ボランティアなので出来る人数も少ない中で依頼が多すぎる。(中原区)
- ・当町会、48世帯と少なく、また高齢者が多いため人数を指定されると困る。(中原区)
- ・全て会長に集中しすぎており、会長と役員は行政が考えるほど頻りに接触しておらず会長に伝えれば済むという考えは考え直す必要がある。(中原区)
- ・老人が多く若い人が少なく大変困っています。清掃、美化は少ない若い人の負担になっています。市や国で何とかしてください。(中原区)
- ・町会役員が不足しているので、参加可能な範囲で活動させて欲しい。(高津区)
- ・自由参加など。(高津区)
- ・参加や負担の量について世帯数に比例するよう、どちらかという小規模町会を優遇気味にしてほしい。(高津区)
- ・似たような団体(組織)の統合、役割の明確でない組織(団体)の閉鎖など。(高津区)
- ・高齢者が増えたため、時間を短縮してほしい。(高津区)
- ・町内会に依頼する事項について基準を設けてもらいたい。(高津区)
- ・行政からの強い指導が欲しい。とにかく成り手(担当する者)がいない(高齢の為もある)ので、このままでは何も変わらない。(宮前区)
- ・月1回の役員会で困るため、2ヶ月くらい前に依頼をお願いしたい。(宮前区)
- ・もっと行政が主体性を持って活動すべき。具体的な方向制を出すべきだと考えます。(麻生区)
- ・会長が変わっても町会に理事職がついていること。新人でも理事と成り何も理解できぬまま出席するようなことになるのが疑問です。(多摩区)
- ・他の事業とかぶっている為、統合して欲しい。事業や会議があるが、かぶっている。防犯・防災関係など。(宮前区)

【調査項目1】 1- (14) 拒否したい理由。(自由記載)

- ・時間がない。無料活動に対する給金の支払い願います。行政の縦割りが良くない。横のつながりがない。(川崎区)
- ・町会長としての仕事が多すぎるから。(川崎区)
- ・時間の余裕がない。(川崎区)
- ・団地住民の年齢も高く他の人に頼めない。また、自分も高齢のために外での行動は大変です。団地内の行動は苦しいと思いません。(川崎区)
- ・世帯数が少なく、会社員・子育て世代が多く、成り手が見つからない。またバレーボール、ソフトボール大会などのイベントに参加できる人数もなく民生委員にお世話になる人もいないので委員になることへの説明が難しい。リレーカーニバルには参加しており、必要な手伝いは受益者負担しても良いと思う。(幸区)
- ・平日昼の人出し対応は不可。役員は仕事があり、自治会内部対応が限界で外部への協力は原則不可。出来る項目だけ対応(幸区)
- ・その他にある様に国勢調査の負担は大変で、多くの地域住民から苦情が出ている。もっと簡単に負担にならないように工夫して頂くとか、行政で全てやっていただくとかしてほしい。また、民生委員のなり手がいなく非常に困っている。考えてほしい。(幸区)
- ・町内会員の負担が大きい。(中原区)
- ・拘束時間が長い。専門的過ぎる。(中原区)
- ・ア、市政日より、社協、警察、消防、学校関係のみで各種団体は拒否したい。ウ、イベントにより参加人数が異なるので集めるのが大変。ケ、活動する人たちの年齢が上がり継続が無理。サ、支援者の中には家族が同じ家の上下や隣に住んでいる方でも支援を求めてくるのはおかしい。(中原区)
- ・1年での役員交代と個人情報の弊害から組織としての機能が成立せず、今後も対応が難しいと考えている。(高津区)
- ・投票事務は本来行政の仕事だと思います。募金のお願いは赤十字募金は意義あると思いますが、赤い羽根・年末助け合い募金を自治会がする必要性は疑問です。戦後の混乱期から70年を経て、生活保護・児童手当など国の予算が格段に増加しているのに、自治会が募金を集めることは負担で疑問です。(宮前区)
- ・1、高齢化が進み参加できないことが多い。2、若い人は平日参加できない。(多摩区)
- ・気持ちはあっても物理的に協力が難しいのは拒否せざるを得ない。時間的に余裕がなく個人的には取り組みが厳しい。(多摩区)
- ・要援護者に対する安否確認のボランティアを募集しましたが、十分な人数が集まりませんでした。体制が整いません。・当地区は高齢化率が突出して高い地域です。70や80過ぎが草刈や公園の清掃は厳しいのが現状です。若い人も最近では共働きが多く時間に余裕がありません。(多摩区)
- ・募金はあくまでも自分の意思による。自治会で強制的に払っているのに、更に駅前で募金活動をされている。二重に払わされていることになる。(麻生区)
- ・運動会、バドミントン大会、バレーボール大会など子供を対象にしたイベントは絶対的な人数がいらないため。(麻生区)
- ・高齢者ばかりで移動すら難しくなっている。(麻生区)
- ・募金は自主的にすべき。例えば赤い羽根募金は駅前・商業施設前などいたるところで募金する機会があり、マンションの理事会でも住民に対する働きかけを行う必要性を感じられない。(麻生区)
- ・理事会メンバーが高齢化していて負担。日中留守の家も多く、理事の成り手を探すのもこれら的大変な活動から困難になっている。(麻生区)

《4 調査項目2》

【調査項目2】 1- (1) ①自分の町内会・自治会単独で活動している



合 計		493	277	346	220	412	336	229	90	224	310	39
		100.0%	56.2%	70.2%	44.6%	83.6%	68.2%	46.5%	18.3%	45.4%	62.9%	7.9%
区	川崎区	83	34	60	59	66	62	41	21	43	66	7
		100.0%	41.0%	72.3%	71.1%	79.5%	74.7%	49.4%	25.3%	51.8%	79.5%	8.4%
	幸区	52	33	41	34	45	36	34	15	33	41	2
		100.0%	63.5%	78.8%	65.4%	86.5%	69.2%	65.4%	28.8%	63.5%	78.8%	3.8%
	中原区	59	32	57	27	56	37	34	17	44	45	-
		100.0%	54.2%	96.6%	45.8%	94.9%	62.7%	57.6%	28.8%	74.6%	76.3%	-
	高津区	85	52	61	28	69	55	32	8	34	57	6
	100.0%	61.2%	71.8%	32.9%	81.2%	64.7%	37.6%	9.4%	40.0%	67.1%	7.1%	
宮前区	53	28	32	20	42	33	25	7	25	33	6	
	100.0%	52.8%	60.4%	37.7%	79.2%	62.3%	47.2%	13.2%	47.2%	62.3%	11.3%	
多摩区	78	49	50	29	67	60	28	12	27	37	8	
	100.0%	62.8%	64.1%	37.2%	85.9%	76.9%	35.9%	15.4%	34.6%	47.4%	10.3%	
麻生区	83	49	45	23	67	53	35	10	18	31	10	
	100.0%	59.0%	54.2%	27.7%	80.7%	63.9%	42.2%	12.0%	21.7%	37.3%	12.0%	
世帯数	～50世帯	40	10	13	5	24	20	5	-	-	9	11
		100.0%	25.0%	32.5%	12.5%	60.0%	50.0%	12.5%	-	-	22.5%	27.5%
	～100世帯	37	19	18	7	29	25	4	2	4	11	4
		100.0%	51.4%	48.6%	18.9%	78.4%	67.6%	10.8%	5.4%	10.8%	29.7%	10.8%
	～500世帯	167	91	97	45	132	119	68	17	43	87	15
		100.0%	54.5%	58.1%	26.9%	79.0%	71.3%	40.7%	10.2%	25.7%	52.1%	9.0%
	～1,000世帯	132	76	111	80	117	98	83	34	80	105	4
	100.0%	57.6%	84.1%	60.6%	88.6%	74.2%	62.9%	25.8%	60.6%	79.5%	3.0%	
～1,500世帯	61	40	56	40	57	37	33	13	49	50	3	
	100.0%	65.6%	91.8%	65.6%	93.4%	60.7%	54.1%	21.3%	80.3%	82.0%	4.9%	
～2,000世帯	24	17	21	17	22	17	12	10	18	18	2	
	100.0%	70.8%	87.5%	70.8%	91.7%	70.8%	50.0%	41.7%	75.0%	75.0%	8.3%	
2,000世帯超	32	24	30	26	31	20	24	14	30	30	-	
	100.0%	75.0%	93.8%	81.3%	96.9%	62.5%	75.0%	43.8%	93.8%	93.8%	-	

	調査数	A 練・防 ・備蓄 活動（訓	B 防犯・ 防火活 動	C 交通 安全活 動	D 動・美 化・公 園の維 持管理	E イクル 資源回 収・リ サ	F 者交 流、高 齢者・ 障がい 者支 援活 動	G （パ パ育 マ支 マ支 代支 活支 動活 動	H 年交 流、こ ども 会等 支 援活 動青 少	I 深め るお 祭り 等親 睦を 深 める イ ベン ト	無 回 答	
会長歴	～1年	200 100.0%	109 54.5%	117 58.5%	66 33.0%	164 82.0%	132 66.0%	83 41.5%	28 14.0%	78 39.0%	96 48.0%	21 10.5%
	～2年	41 100.0%	26 63.4%	33 80.5%	21 51.2%	37 90.2%	24 58.5%	20 48.8%	10 24.4%	23 56.1%	32 78.0%	2 4.9%
	～5年	93 100.0%	57 61.3%	73 78.5%	52 55.9%	81 87.1%	66 71.0%	50 53.8%	17 18.3%	41 44.1%	71 76.3%	3 3.2%
	～10年	93 100.0%	48 51.6%	73 78.5%	46 49.5%	80 86.0%	71 76.3%	48 51.6%	20 21.5%	52 55.9%	64 68.8%	8 8.6%
	～15年	34 100.0%	19 55.9%	26 76.5%	18 52.9%	26 76.5%	26 76.5%	14 41.2%	6 17.6%	14 41.2%	22 64.7%	1 2.9%
	～25年	19 100.0%	13 68.4%	16 84.2%	11 57.9%	15 78.9%	9 47.4%	10 52.6%	7 36.8%	12 63.2%	16 84.2%	1 5.3%
	25年超～	13 100.0%	5 38.5%	8 61.5%	6 46.2%	9 69.2%	8 61.5%	4 30.8%	2 15.4%	4 30.8%	9 69.2%	3 23.1%

◇全体を見ると、「美化・清掃活動・公園の維持管理」（83.6%）が最も高く、次いで「防犯・防火活動」（70.2%）、「資源回収・リサイクル」（68.2%）、「お祭り等親睦を深めるイベント」（62.9%）、「防災活動（訓練・備蓄）」（56.2%）の順に高い。

◇区別を見ると、中原区では「防犯・防火活動」（96.6%）が最も高い。

◇「交通安全活動」を区別に見ると、川崎区（79.5%）、幸区（65.4%）の順に他区に差をつけて高い。

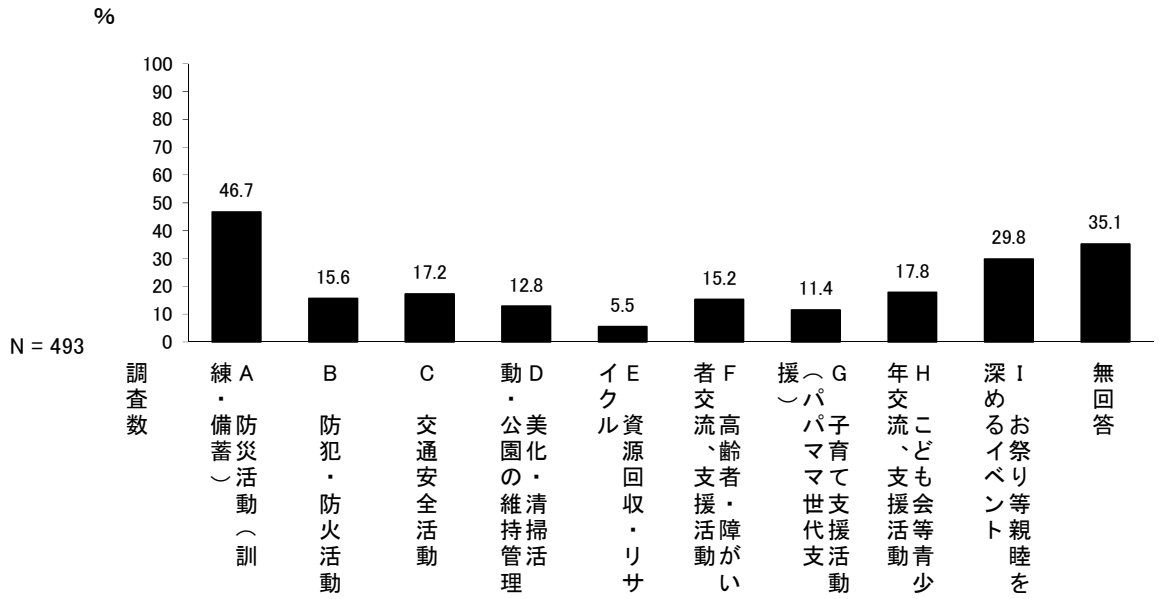
◇「高齢者・障がい者交流、支援活動」を区別に見ると、幸区（65.4%）が他区に差をつけて最も高い。

◇「子ども会等青少年交流、支援活動」を区別に見ると、中原区（74.6%）、幸区（63.5%）の順に他区に差をつけて高い。

世帯	～50世帯	～100世帯	～500世帯	～1,000世帯	～1,500世帯	～2,000世帯	2,000世帯超
活動割合の合計	215.0%	321.6%	418.6%	593.9%	614.8%	633.3%	715.6%

◇世帯別を見ると、各活動の割合を合計していくと、世帯規模が大きくなるほど、割合が高くなる。

【調査項目2】 1-(1) ②近隣の町内会・自治会と連携して活動している



合 計		493	230	77	85	63	27	75	56	88	147	173
		100.0%	46.7%	15.6%	17.2%	12.8%	5.5%	15.2%	11.4%	17.8%	29.8%	35.1%
区	川崎区	83	46	15	16	10	2	15	6	19	24	22
		100.0%	55.4%	18.1%	19.3%	12.0%	2.4%	18.1%	7.2%	22.9%	28.9%	26.5%
	幸区	52	29	15	13	7	3	13	12	17	26	10
		100.0%	55.8%	28.8%	25.0%	13.5%	5.8%	25.0%	23.1%	32.7%	50.0%	19.2%
	中原区	59	37	7	16	7	4	18	24	17	29	9
		100.0%	62.7%	11.9%	27.1%	11.9%	6.8%	30.5%	40.7%	28.8%	49.2%	15.3%
	高津区	85	37	7	10	10	4	8	5	8	19	32
	100.0%	43.5%	8.2%	11.8%	11.8%	4.7%	9.4%	5.9%	9.4%	22.4%	37.6%	
宮前区	53	30	12	17	9	3	13	6	10	12	13	
	100.0%	56.6%	22.6%	32.1%	17.0%	5.7%	24.5%	11.3%	18.9%	22.6%	24.5%	
多摩区	78	29	13	8	7	5	4	1	12	21	39	
	100.0%	37.2%	16.7%	10.3%	9.0%	6.4%	5.1%	1.3%	15.4%	26.9%	50.0%	
麻生区	83	22	8	5	13	6	4	2	5	16	48	
	100.0%	26.5%	9.6%	6.0%	15.7%	7.2%	4.8%	2.4%	6.0%	19.3%	57.8%	
世帯数	~50世帯	40	10	4	3	3	3	1	1	2	6	22
		100.0%	25.0%	10.0%	7.5%	7.5%	7.5%	2.5%	2.5%	5.0%	15.0%	55.0%
	~100世帯	37	12	3	2	5	2	1	1	3	4	21
		100.0%	32.4%	8.1%	5.4%	13.5%	5.4%	2.7%	2.7%	8.1%	10.8%	56.8%
	~500世帯	167	63	27	25	22	7	19	10	25	43	78
		100.0%	37.7%	16.2%	15.0%	13.2%	4.2%	11.4%	6.0%	15.0%	25.7%	46.7%
	~1,000世帯	132	80	25	31	17	11	28	18	28	53	22
	100.0%	60.6%	18.9%	23.5%	12.9%	8.3%	21.2%	13.6%	21.2%	40.2%	16.7%	
~1,500世帯	61	32	13	13	11	2	14	11	18	24	15	
	100.0%	52.5%	21.3%	21.3%	18.0%	3.3%	23.0%	18.0%	29.5%	39.3%	24.6%	
~2,000世帯	24	16	3	4	2	-	6	9	6	10	5	
	100.0%	66.7%	12.5%	16.7%	8.3%	-	25.0%	37.5%	25.0%	41.7%	20.8%	
2,000世帯超	32	17	2	7	3	2	6	6	6	7	10	
	100.0%	53.1%	6.3%	21.9%	9.4%	6.3%	18.8%	18.8%	18.8%	21.9%	31.3%	

	調査数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	無回答	
		練・防 蓄・災 活動 (訓)	防 犯・ 防 火 活 動	交 通 安 全 活 動	動・美 化・公 園の 維 持 掃 活 理	イ ク ル 資 源 回 収 ・ リ サ	者 交 流 、 支 援 活 動 が い	援 (パ パ マ マ 世 代 支 援 活 動)	年 交 流 、 支 援 活 動 等 青 少	深 め る イ ベ ン ト 等 親 睦 を		
会長歴	～1年	200 100.0%	74 37.0%	24 12.0%	26 13.0%	30 15.0%	12 6.0%	21 10.5%	14 7.0%	26 13.0%	47 23.5%	87 43.5%
	～2年	41 100.0%	17 41.5%	4 9.8%	8 19.5%	6 14.6%	4 9.8%	8 19.5%	5 12.2%	6 14.6%	11 26.8%	18 43.9%
	～5年	93 100.0%	52 55.9%	16 17.2%	16 17.2%	8 8.6%	6 6.5%	16 17.2%	12 12.9%	20 21.5%	32 34.4%	20 21.5%
	～10年	93 100.0%	51 54.8%	15 16.1%	18 19.4%	12 12.9%	3 3.2%	16 17.2%	14 15.1%	16 17.2%	30 32.3%	27 29.0%
	～15年	34 100.0%	19 55.9%	7 20.6%	7 20.6%	3 8.8%	- -	6 17.6%	5 14.7%	8 23.5%	13 38.2%	11 32.4%
	～25年	19 100.0%	10 52.6%	7 36.8%	6 31.6%	1 5.3%	2 10.5%	4 21.1%	4 21.1%	8 42.1%	9 47.4%	5 26.3%
	25年超～	13 100.0%	7 53.8%	4 30.8%	4 30.8%	3 23.1%	- -	4 30.8%	2 15.4%	4 30.8%	5 38.5%	5 38.5%

◇全体を見ると、「防災活動（訓練・備蓄）（46.7%）が最も高く、次いで「お祭り等親睦を深めるイベント」（29.8%）、「子ども会等青少年交流、支援活動」（17.8%）、「交通安全活動」（17.2%）の順に高い。

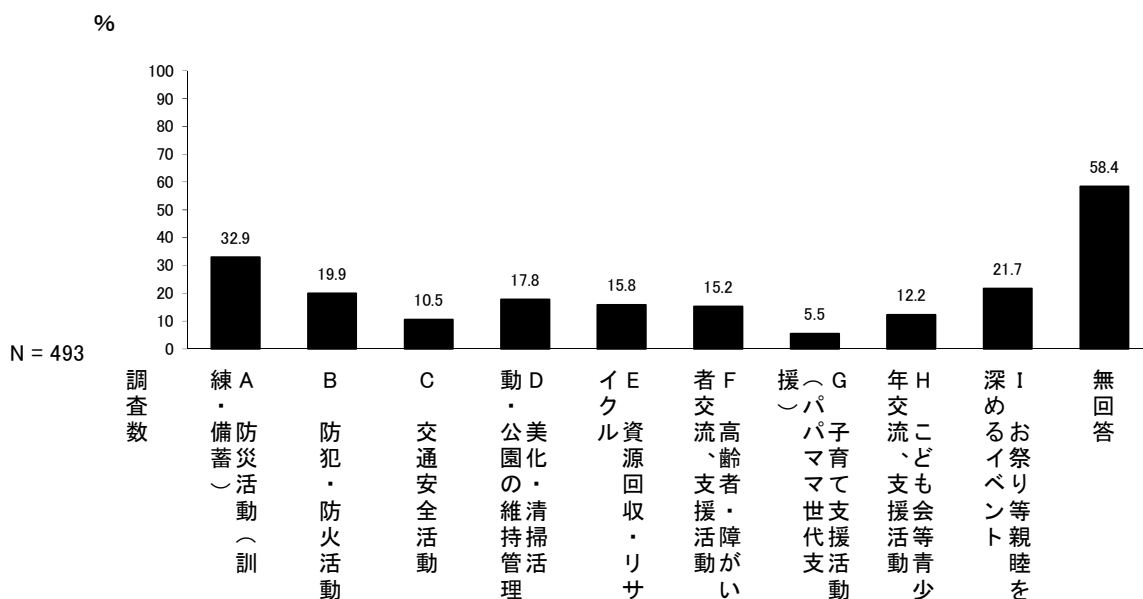
◇「防災活動（訓練・備蓄）」を区別に見ると、麻生区（26.5%）、多摩区（37.2%）の順に低い。

◇中原区では、「高齢者・障害者交流、支援活動」（30.5%）、「子育て支援活動（パパママ世代支援）」（40.7%）が他区より高い。

世帯	～50世帯	～100世帯	～500世帯	～1,000世帯	～1,500世帯	～2,000世帯	2,000世帯超
活動割合の合計	237.5%	245.9%	291.1%	337.1%	350.8%	354.2%	306.6%

◇世帯別を見ると、各活動の割合を合計していくと、「～2,000世帯」までは世帯規模が大きくなるほど、割合が高くなる。

【調査項目2】 1-(1) ③現在の活動を今後さらに力を入れたい



合 計	493	162	98	52	88	78	75	27	60	107	288	
	100.0%	32.9%	19.9%	10.5%	17.8%	15.8%	15.2%	5.5%	12.2%	21.7%	58.4%	
区	川崎区	83	28	19	13	21	15	15	7	15	30	45
		100.0%	33.7%	22.9%	15.7%	25.3%	18.1%	18.1%	8.4%	18.1%	36.1%	54.2%
	幸区	52	19	14	9	12	14	16	5	10	15	24
		100.0%	36.5%	26.9%	17.3%	23.1%	26.9%	30.8%	9.6%	19.2%	28.8%	46.2%
	中原区	59	22	14	5	10	5	5	4	7	11	33
		100.0%	37.3%	23.7%	8.5%	16.9%	8.5%	8.5%	6.8%	11.9%	18.6%	55.9%
	高津区	85	29	19	10	15	17	10	2	10	17	48
	100.0%	34.1%	22.4%	11.8%	17.6%	20.0%	11.8%	2.4%	11.8%	20.0%	56.5%	
宮前区	53	13	5	3	5	3	9	4	7	6	36	
	100.0%	24.5%	9.4%	5.7%	9.4%	5.7%	17.0%	7.5%	13.2%	11.3%	67.9%	
多摩区	78	30	16	7	14	16	12	4	7	18	44	
	100.0%	38.5%	20.5%	9.0%	17.9%	20.5%	15.4%	5.1%	9.0%	23.1%	56.4%	
麻生区	83	21	11	5	11	8	8	1	4	10	58	
	100.0%	25.3%	13.3%	6.0%	13.3%	9.6%	9.6%	1.2%	4.8%	12.0%	69.9%	
世帯数	~50世帯	40	5	-	-	-	1	-	-	-	2	34
		100.0%	12.5%	-	-	-	2.5%	-	-	-	5.0%	85.0%
	~100世帯	37	7	-	1	3	4	1	1	2	-	28
		100.0%	18.9%	-	2.7%	8.1%	10.8%	2.7%	2.7%	5.4%	-	75.7%
	~500世帯	167	48	30	14	34	31	26	8	15	34	101
		100.0%	28.7%	18.0%	8.4%	20.4%	18.6%	15.6%	4.8%	9.0%	20.4%	60.5%
	~1,000世帯	132	48	35	18	33	27	27	10	19	37	69
	100.0%	36.4%	26.5%	13.6%	25.0%	20.5%	20.5%	7.6%	14.4%	28.0%	52.3%	
~1,500世帯	61	28	16	10	11	11	10	5	15	19	30	
	100.0%	45.9%	26.2%	16.4%	18.0%	18.0%	16.4%	8.2%	24.6%	31.1%	49.2%	
~2,000世帯	24	11	8	3	4	2	3	1	2	6	11	
	100.0%	45.8%	33.3%	12.5%	16.7%	8.3%	12.5%	4.2%	8.3%	25.0%	45.8%	
2,000世帯超	32	15	9	6	3	2	8	2	7	9	15	
	100.0%	46.9%	28.1%	18.8%	9.4%	6.3%	25.0%	6.3%	21.9%	28.1%	46.9%	

	調査数	A 防 災 活 動 (訓 練 ・ 備 蓄)	B 防 犯 ・ 防 火 活 動	C 交 通 安 全 活 動	D 美 化 ・ 公 園 の 維 持 管 理	E リ サ ー ス の 回 収	F 高 齢 者 ・ 障 が い 者 交 流 ・ 支 援 活 動	G パ パ マ マ の 支 援 活 動	H こ ど も 会 等 支 援 活 動	I お 祭 り 等 親 睦 を 深 め る イ ベ ン ト	無 回 答	
会 長 歴	～1年	200 100.0%	52 26.0%	26 13.0%	9 4.5%	25 12.5%	25 12.5%	19 9.5%	8 4.0%	18 9.0%	24 12.0%	133 66.5%
	～2年	41 100.0%	14 34.1%	8 19.5%	5 12.2%	6 14.6%	6 14.6%	6 14.6%	4 9.8%	6 14.6%	10 24.4%	24 58.5%
	～5年	93 100.0%	35 37.6%	19 20.4%	10 10.8%	18 19.4%	15 16.1%	18 19.4%	3 3.2%	8 8.6%	28 30.1%	48 51.6%
	～10年	93 100.0%	39 41.9%	25 26.9%	16 17.2%	23 24.7%	19 20.4%	19 20.4%	6 6.5%	16 17.2%	30 32.3%	44 47.3%
	～15年	34 100.0%	13 38.2%	12 35.3%	7 20.6%	8 23.5%	8 23.5%	6 17.6%	2 5.9%	5 14.7%	8 23.5%	19 55.9%
	～25年	19 100.0%	6 31.6%	5 26.3%	3 15.8%	4 21.1%	2 10.5%	3 15.8%	3 15.8%	5 26.3%	3 15.8%	13 68.4%
	25年超～	13 100.0%	3 23.1%	3 23.1%	2 15.4%	4 30.8%	3 23.1%	4 30.8%	1 7.7%	2 15.4%	4 30.8%	7 53.8%

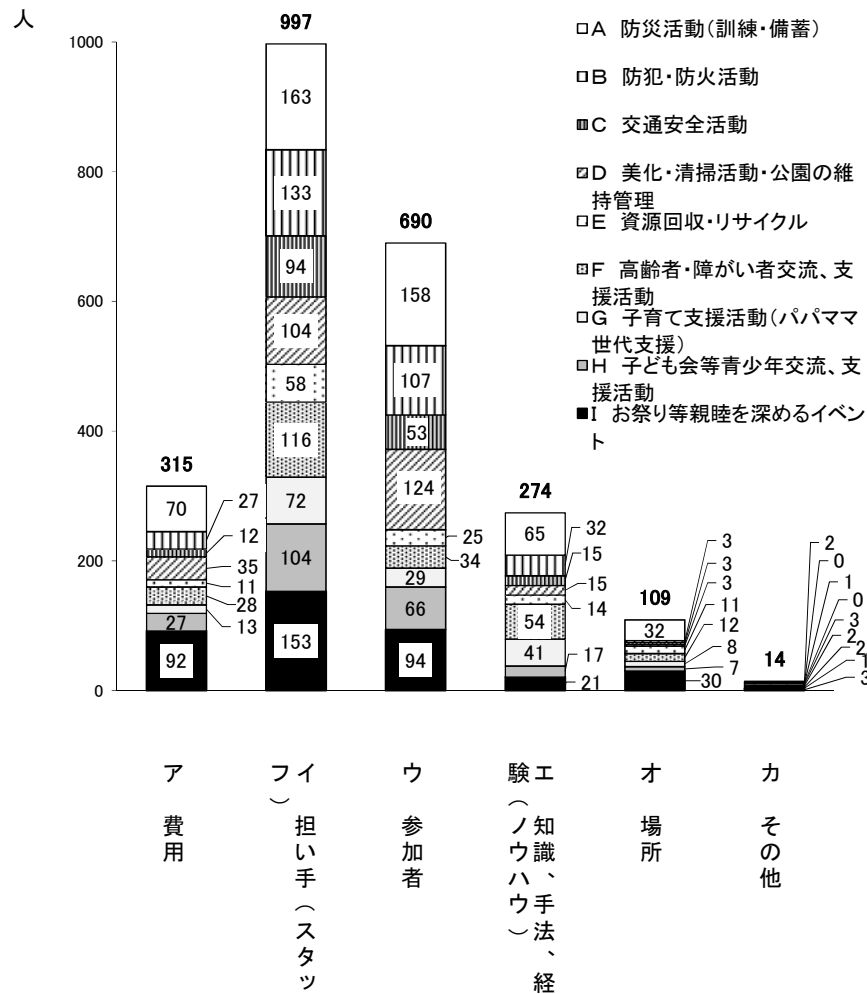
◇全体を見ると、「防災活動（訓練・備蓄）」（32.9%）が最も高く、次いで「お祭り等親睦を深めるイベント」（21.7%）、「防犯・防火活動」（19.9%）、「美化・清掃活動・公園の維持管理」（17.8%）の順に高い。

◇川崎区では「お祭り等親睦を深めるイベント」（36.1%）が最も高い。

◇「高齢者・障がい者交流、支援活動」を区別に見ると、幸区（30.8%）が最も高い。

◇「無回答」を見ると、「～50世帯」（85.0%）、「～100世帯」（75.7%）の順に高い。

【調査項目2】 1-(1) ④活動を進める上で不足する点や問題点



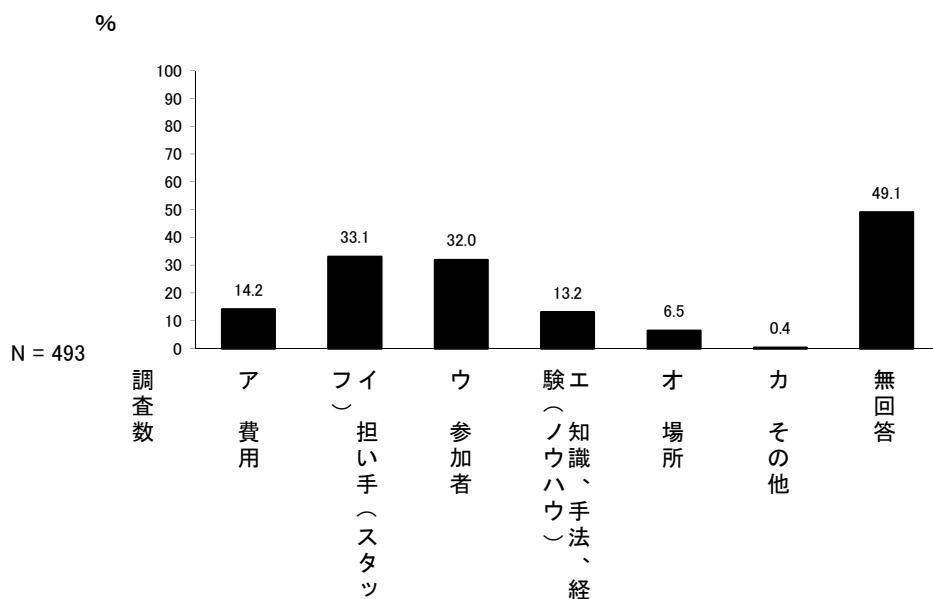
A 防災活動(訓練・備蓄)	70	163	158	65	32	2
B 防犯・防火活動	27	133	107	32	3	-
C 交通安全活動	12	94	53	15	3	1
D 美化・清掃活動・公園の維持管理	35	104	124	15	3	-
E 資源回収・リサイクル	11	58	25	14	11	3
F 高齢者・障がい者交流、支援活動	28	116	34	54	12	2
G 子育て支援活動(パパママ世代支援)	13	72	29	41	8	2
H 子ども会等青少年交流、支援活動	27	104	66	17	7	1
I お祭り等親睦を深めるイベント	92	153	94	21	30	3

◇全体で見ると、「担い手(スタッフ)」の合計が最も高い。

◇「美化・清掃活動・公園の維持管理」を見ると、「参加者」が最も合計が高くなっている。

◇「高齢者・障がい者交流、支援活動」「子育て支援活動(パパママ世代支援)」について見ると、「知識、手法、経験(ノウハウ)」の合計がそれぞれ2番目に高くなっている。

【調査項目2】1-(1)④A 防災活動(訓練・備蓄)



合 計		493	70	163	158	65	32	2	242
		100.0%	14.2%	33.1%	32.0%	13.2%	6.5%	0.4%	49.1%
区	川崎区	83	10	23	29	7	5	-	44
		100.0%	12.0%	27.7%	34.9%	8.4%	6.0%	-	53.0%
	幸区	52	14	22	16	6	1	-	26
		100.0%	26.9%	42.3%	30.8%	11.5%	1.9%	-	50.0%
	中原区	59	12	25	25	10	6	1	21
		100.0%	20.3%	42.4%	42.4%	16.9%	10.2%	1.7%	35.6%
	高津区	85	12	27	28	14	8	1	37
	100.0%	14.1%	31.8%	32.9%	16.5%	9.4%	1.2%	43.5%	
宮前区	53	2	17	19	5	2	-	26	
	100.0%	3.8%	32.1%	35.8%	9.4%	3.8%	-	49.1%	
多摩区	78	14	23	24	10	6	-	39	
	100.0%	17.9%	29.5%	30.8%	12.8%	7.7%	-	50.0%	
麻生区	83	6	26	17	13	4	-	49	
	100.0%	7.2%	31.3%	20.5%	15.7%	4.8%	-	59.0%	
世帯数	~50世帯	40	8	6	6	4	5	-	25
		100.0%	20.0%	15.0%	15.0%	10.0%	12.5%	-	62.5%
	~100世帯	37	3	9	8	3	-	-	25
		100.0%	8.1%	24.3%	21.6%	8.1%	-	-	67.6%
	~500世帯	167	15	56	54	20	11	2	81
		100.0%	9.0%	33.5%	32.3%	12.0%	6.6%	1.2%	48.5%
	~1,000世帯	132	22	54	48	19	11	-	60
	100.0%	16.7%	40.9%	36.4%	14.4%	8.3%	-	45.5%	
~1,500世帯	61	11	22	27	8	1	-	22	
	100.0%	18.0%	36.1%	44.3%	13.1%	1.6%	-	36.1%	
~2,000世帯	24	6	7	6	3	4	-	12	
	100.0%	25.0%	29.2%	25.0%	12.5%	16.7%	-	50.0%	
2,000世帯超	32	5	9	9	8	-	-	17	
	100.0%	15.6%	28.1%	28.1%	25.0%	-	-	53.1%	

調査数 ア費用 タイフ担い手（ス） ウ参加者 経工験（知識、手法、ノウハウ） オ場所 カその他 無回答

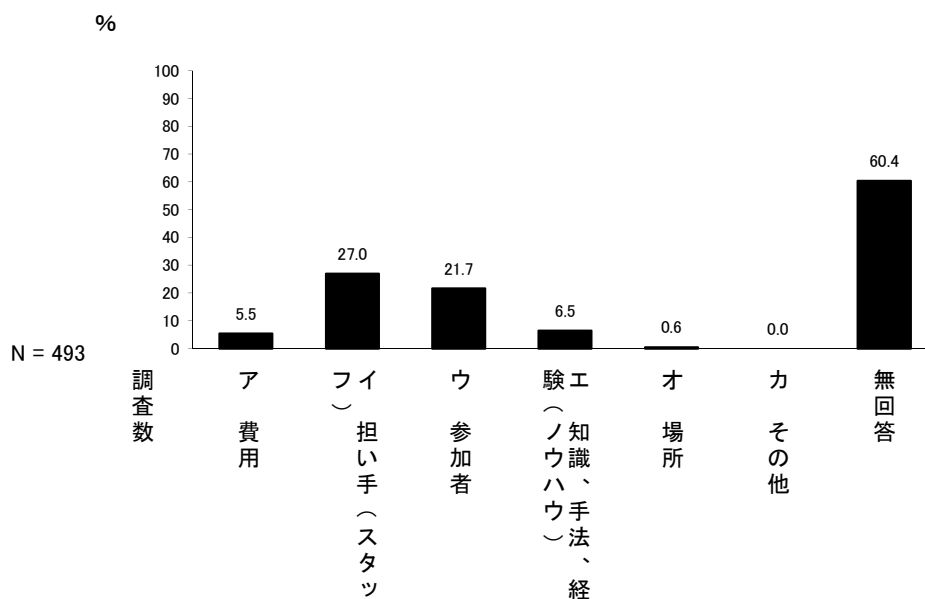
	調査数	ア費用	タイフ担い手（ス）	ウ参加者	経工験（知識、手法、ノウハウ）	オ場所	カその他	無回答
	～1年	200	28	72	61	31	16	2
	100.0%	14.0%	36.0%	30.5%	15.5%	8.0%	1.0%	47.5%
～2年	41	4	9	10	8	4	-	22
	100.0%	9.8%	22.0%	24.4%	19.5%	9.8%	-	53.7%
～5年	93	17	32	34	13	6	-	44
	100.0%	18.3%	34.4%	36.6%	14.0%	6.5%	-	47.3%
～10年	93	11	35	40	8	4	-	40
	100.0%	11.8%	37.6%	43.0%	8.6%	4.3%	-	43.0%
～15年	34	5	11	11	3	1	-	17
	100.0%	14.7%	32.4%	32.4%	8.8%	2.9%	-	50.0%
～25年	19	3	3	-	-	-	-	15
	100.0%	15.8%	15.8%	-	-	-	-	78.9%
25年超～	13	2	1	2	2	1	-	9
	100.0%	15.4%	7.7%	15.4%	15.4%	7.7%	-	69.2%

◇「～50世帯」では「費用」（20%）の割合が最も高い。

【その他意見(抜粋)】

- ・必要性等のコンセプト共有。（中原区）
- ・近隣からの苦情。（高津区）

【調査項目2】 1-(1) ④B 防犯・防火活動



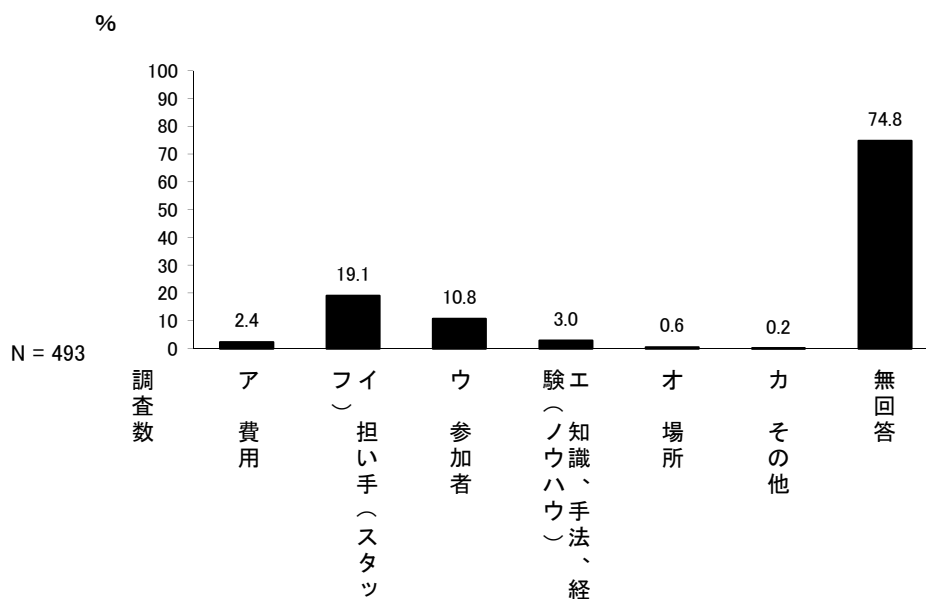
合 計		493	27	133	107	32	3	-	298
		100.0%	5.5%	27.0%	21.7%	6.5%	0.6%	-	60.4%
区	川崎区	83	3	20	15	6	1	-	54
		100.0%	3.6%	24.1%	18.1%	7.2%	1.2%	-	65.1%
	幸区	52	4	16	14	2	-	-	31
		100.0%	7.7%	30.8%	26.9%	3.8%	-	-	59.6%
	中原区	59	5	25	17	3	1	-	28
		100.0%	8.5%	42.4%	28.8%	5.1%	1.7%	-	47.5%
	高津区	85	4	25	18	7	1	-	48
	100.0%	4.7%	29.4%	21.2%	8.2%	1.2%	-	56.5%	
宮前区	53	1	13	12	2	-	-	33	
	100.0%	1.9%	24.5%	22.6%	3.8%	-	-	62.3%	
多摩区	78	5	20	19	6	-	-	43	
	100.0%	6.4%	25.6%	24.4%	7.7%	-	-	55.1%	
麻生区	83	5	14	12	6	-	-	61	
	100.0%	6.0%	16.9%	14.5%	7.2%	-	-	73.5%	
世帯数	~50世帯	40	3	6	4	2	1	-	30
		100.0%	7.5%	15.0%	10.0%	5.0%	2.5%	-	75.0%
	~100世帯	37	-	7	7	1	-	-	27
		100.0%	-	18.9%	18.9%	2.7%	-	-	73.0%
	~500世帯	167	5	44	31	12	1	-	105
		100.0%	3.0%	26.3%	18.6%	7.2%	0.6%	-	62.9%
	~1,000世帯	132	11	44	35	9	1	-	71
	100.0%	8.3%	33.3%	26.5%	6.8%	0.8%	-	53.8%	
~1,500世帯	61	6	17	15	1	-	-	34	
	100.0%	9.8%	27.9%	24.6%	1.6%	-	-	55.7%	
~2,000世帯	24	1	6	9	3	-	-	12	
	100.0%	4.2%	25.0%	37.5%	12.5%	-	-	50.0%	
2,000世帯超~	32	1	9	6	4	-	-	19	
	100.0%	3.1%	28.1%	18.8%	12.5%	-	-	59.4%	

調査数	ア 費用	タイ ツ フ 担 い 手 (ス	ウ 参 加 者	経工 験 知 (ノ ウ ハ ウ 法)	オ 場 所	カ そ の 他	無 回 答
-----	---------	---------------------------------------	------------------	---	-------------	------------------	-------------

会 長 歴	調査数	ア 費用	タイ ツ フ 担 い 手 (ス	ウ 参 加 者	経工 験 知 (ノ ウ ハ ウ 法)	オ 場 所	カ そ の 他	無 回 答
	～1年	200 100.0%	12 6.0%	53 26.5%	44 22.0%	17 8.5%	2 1.0%	-
～2年	41 100.0%	1 2.4%	12 29.3%	8 19.5%	3 7.3%	-	-	25 61.0%
～5年	93 100.0%	5 5.4%	32 34.4%	23 24.7%	7 7.5%	1 1.1%	-	50 53.8%
～10年	93 100.0%	6 6.5%	27 29.0%	22 23.7%	3 3.2%	-	-	50 53.8%
～15年	34 100.0%	2 5.9%	7 20.6%	8 23.5%	1 2.9%	-	-	21 61.8%
～25年	19 100.0%	1 5.3%	1 5.3%	1 5.3%	-	-	-	17 89.5%
25年超～	13 100.0%	-	1 7.7%	1 7.7%	1 7.7%	-	-	11 84.6%

◇「～25年」、「25年超～」では、「無回答」の割合がそれぞれ89.5%、84.6%となっており、他と比べて高い。

【調査項目2】 1-(1) ④C 交通安全活動

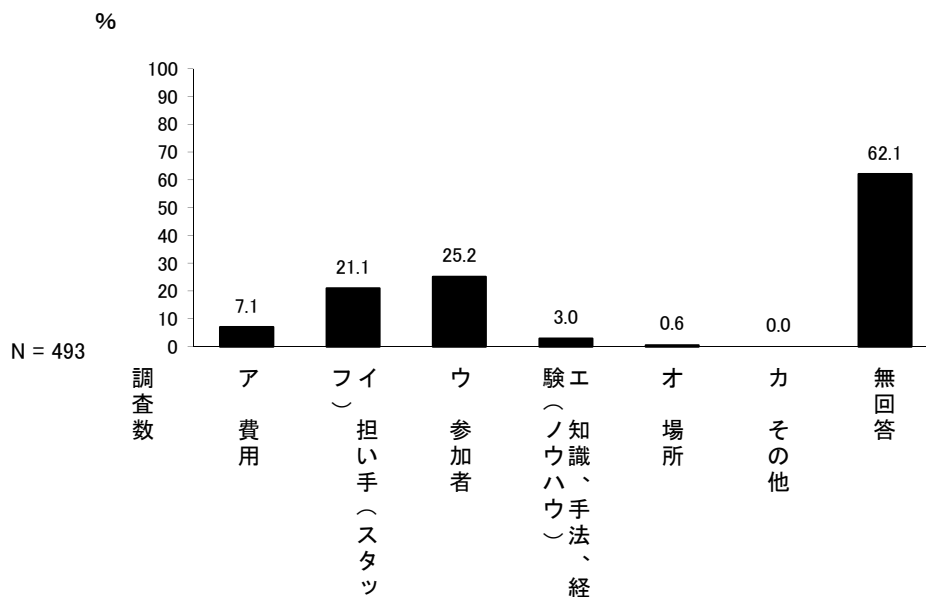


合 計		493	12	94	53	15	3	1	369
		100.0%	2.4%	19.1%	10.8%	3.0%	0.6%	0.2%	74.8%
区	川崎区	83	1	16	14	3	1	-	57
		100.0%	1.2%	19.3%	16.9%	3.6%	1.2%	-	68.7%
	幸区	52	1	13	6	2	-	-	38
		100.0%	1.9%	25.0%	11.5%	3.8%	-	-	73.1%
	中原区	59	3	13	7	2	1	-	44
		100.0%	5.1%	22.0%	11.9%	3.4%	1.7%	-	74.6%
	高津区	85	2	15	5	2	1	-	67
	100.0%	2.4%	17.6%	5.9%	2.4%	1.2%	-	78.8%	
宮前区	53	1	10	7	-	-	1	37	
	100.0%	1.9%	18.9%	13.2%	-	-	1.9%	69.8%	
多摩区	78	2	13	10	2	-	-	58	
	100.0%	2.6%	16.7%	12.8%	2.6%	-	-	74.4%	
麻生区	83	2	14	4	4	-	-	68	
	100.0%	2.4%	16.9%	4.8%	4.8%	-	-	81.9%	
世帯数	~50世帯	40	2	5	3	2	1	-	33
		100.0%	5.0%	12.5%	7.5%	5.0%	2.5%	-	82.5%
	~100世帯	37	-	6	4	-	-	-	30
		100.0%	-	16.2%	10.8%	-	-	-	81.1%
	~500世帯	167	1	27	16	5	1	1	133
		100.0%	0.6%	16.2%	9.6%	3.0%	0.6%	0.6%	79.6%
	~1,000世帯	132	5	27	17	5	1	-	95
	100.0%	3.8%	20.5%	12.9%	3.8%	0.8%	-	72.0%	
~1,500世帯	61	3	15	8	-	-	-	40	
	100.0%	4.9%	24.6%	13.1%	-	-	-	65.6%	
~2,000世帯	24	1	3	2	1	-	-	19	
	100.0%	4.2%	12.5%	8.3%	4.2%	-	-	79.2%	
2,000世帯超~	32	-	11	3	2	-	-	19	
	100.0%	-	34.4%	9.4%	6.3%	-	-	59.4%	

調査数 ア タイ ウ 経工 オ カ 無
費用 ツ フ 参 験 場 そ 回
 担 担 加 (ノ 所 の 答
 手 手 者 ウ ハ 他 無
 (ス () ハ ウ)))

会長歴	~1年	200	7	41	22	7	2	-	149
		100.0%	3.5%	20.5%	11.0%	3.5%	1.0%	-	74.5%
	~2年	41	1	8	3	1	-	-	32
		100.0%	2.4%	19.5%	7.3%	2.4%	-	-	78.0%
	~5年	93	-	18	13	3	1	1	68
		100.0%	-	19.4%	14.0%	3.2%	1.1%	1.1%	73.1%
	~10年	93	2	20	11	3	-	-	65
	100.0%	2.2%	21.5%	11.8%	3.2%	-	-	69.9%	
~15年	34	2	5	4	-	-	-	25	
	100.0%	5.9%	14.7%	11.8%	-	-	-	73.5%	
~25年	19	-	1	-	-	-	-	18	
	100.0%	-	5.3%	-	-	-	-	94.7%	
25年超~	13	-	1	-	1	-	-	12	
	100.0%	-	7.7%	-	7.7%	-	-	92.3%	

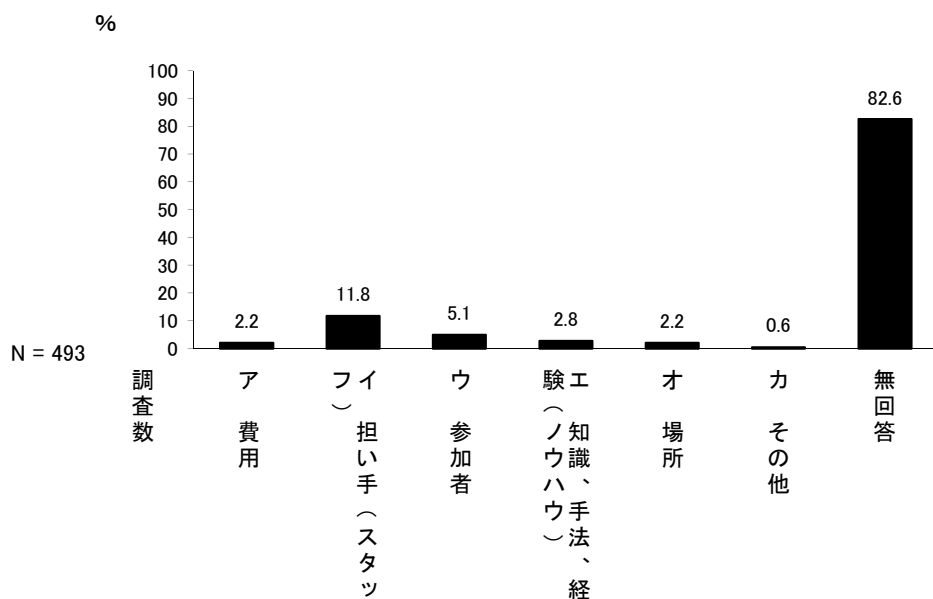
【調査項目2】1-(1)④D 美化・清掃活動・公園の維持管理



合 計		493	35	104	124	15	3	-	306
		100.0%	7.1%	21.1%	25.2%	3.0%	0.6%	-	62.1%
区	川崎区	83	8	17	20	2	1	-	51
		100.0%	9.6%	20.5%	24.1%	2.4%	1.2%	-	61.4%
	幸区	52	6	14	12	2	1	-	33
		100.0%	11.5%	26.9%	23.1%	3.8%	1.9%	-	63.5%
	中原区	59	8	17	21	1	1	-	30
		100.0%	13.6%	28.8%	35.6%	1.7%	1.7%	-	50.8%
	高津区	85	5	18	22	2	-	-	51
	100.0%	5.9%	21.2%	25.9%	2.4%	-	-	60.0%	
宮前区	53	1	10	9	-	-	-	36	
	100.0%	1.9%	18.9%	17.0%	-	-	-	67.9%	
多摩区	78	5	13	19	5	-	-	52	
	100.0%	6.4%	16.7%	24.4%	6.4%	-	-	66.7%	
麻生区	83	2	15	21	3	-	-	53	
	100.0%	2.4%	18.1%	25.3%	3.6%	-	-	63.9%	
世帯数	~50世帯	40	3	2	5	1	-	-	31
		100.0%	7.5%	5.0%	12.5%	2.5%	-	-	77.5%
	~100世帯	37	3	4	10	1	-	-	25
		100.0%	8.1%	10.8%	27.0%	2.7%	-	-	67.6%
	~500世帯	167	5	36	38	6	1	-	108
		100.0%	3.0%	21.6%	22.8%	3.6%	0.6%	-	64.7%
	~1,000世帯	132	13	33	39	6	1	-	76
	100.0%	9.8%	25.0%	29.5%	4.5%	0.8%	-	57.6%	
~1,500世帯	61	9	20	15	1	1	-	31	
	100.0%	14.8%	32.8%	24.6%	1.6%	1.6%	-	50.8%	
~2,000世帯	24	1	3	9	-	-	-	14	
	100.0%	4.2%	12.5%	37.5%	-	-	-	58.3%	
2,000世帯超~	32	1	6	8	-	-	-	21	
	100.0%	3.1%	18.8%	25.0%	-	-	-	65.6%	

会 長 歴	～1年	200	13	45	49	5	1	-	124
		100.0%	6.5%	22.5%	24.5%	2.5%	0.5%	-	62.0%
	～2年	41	4	6	10	2	-	-	27
		100.0%	9.8%	14.6%	24.4%	4.9%	-	-	65.9%
	～5年	93	6	23	30	3	2	-	53
		100.0%	6.5%	24.7%	32.3%	3.2%	2.2%	-	57.0%
	～10年	93	8	19	22	4	-	-	55
		100.0%	8.6%	20.4%	23.7%	4.3%	-	-	59.1%
	～15年	34	3	7	9	-	-	-	21
		100.0%	8.8%	20.6%	26.5%	-	-	-	61.8%
	～25年	19	1	2	2	-	-	-	17
		100.0%	5.3%	10.5%	10.5%	-	-	-	89.5%
	25年超～	13	-	2	2	1	-	-	9
		100.0%	-	15.4%	15.4%	7.7%	-	-	69.2%

【調査項目2】1-(1)④E 資源回収・リサイクル



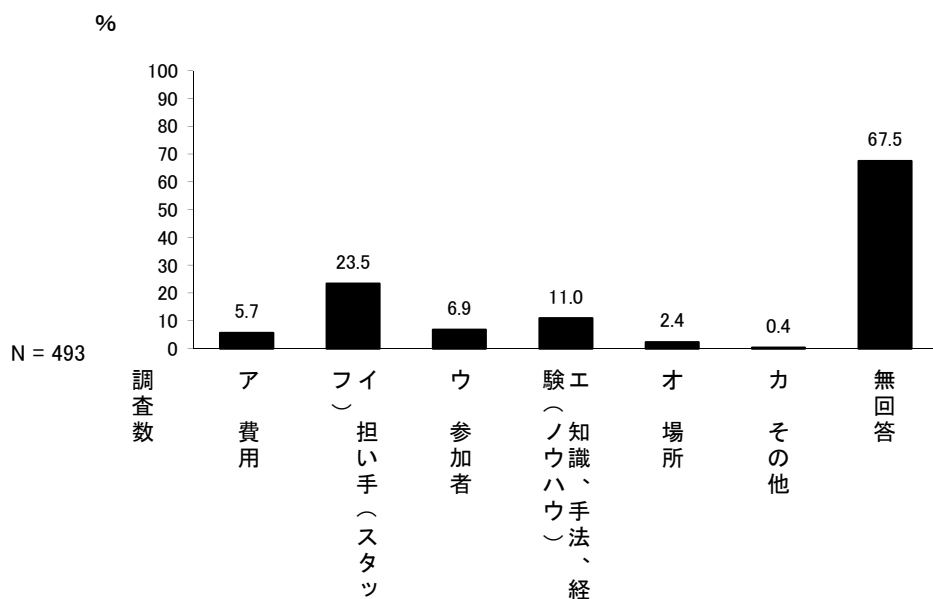
合 計		493	11	58	25	14	11	3	407
		100.0%	2.2%	11.8%	5.1%	2.8%	2.2%	0.6%	82.6%
区	川崎区	83	1	13	9	2	1	-	66
		100.0%	1.2%	15.7%	10.8%	2.4%	1.2%	-	79.5%
	幸区	52	2	8	3	5	-	-	42
		100.0%	3.8%	15.4%	5.8%	9.6%	-	-	80.8%
	中原区	59	3	8	4	1	2	-	47
		100.0%	5.1%	13.6%	6.8%	1.7%	3.4%	-	79.7%
	高津区	85	2	10	4	2	3	-	67
	100.0%	2.4%	11.8%	4.7%	2.4%	3.5%	-	78.8%	
宮前区	53	-	4	2	-	2	1	47	
	100.0%	-	7.5%	3.8%	-	3.8%	1.9%	88.7%	
多摩区	78	2	8	1	2	2	-	67	
	100.0%	2.6%	10.3%	1.3%	2.6%	2.6%	-	85.9%	
麻生区	83	1	7	2	2	1	2	71	
	100.0%	1.2%	8.4%	2.4%	2.4%	1.2%	2.4%	85.5%	
世帯数	~50世帯	40	-	2	1	-	2	-	36
		100.0%	-	5.0%	2.5%	-	5.0%	-	90.0%
	~100世帯	37	1	1	1	-	1	1	32
		100.0%	2.7%	2.7%	2.7%	-	2.7%	2.7%	86.5%
	~500世帯	167	1	22	10	7	3	-	136
		100.0%	0.6%	13.2%	6.0%	4.2%	1.8%	-	81.4%
	~1,000世帯	132	5	19	8	5	3	1	105
	100.0%	3.8%	14.4%	6.1%	3.8%	2.3%	0.8%	79.5%	
~1,500世帯	61	3	10	3	1	1	-	50	
	100.0%	4.9%	16.4%	4.9%	1.6%	1.6%	-	82.0%	
~2,000世帯	24	-	1	2	-	-	-	21	
	100.0%	-	4.2%	8.3%	-	-	-	87.5%	
2,000世帯超	32	1	3	-	1	1	1	27	
	100.0%	3.1%	9.4%	-	3.1%	3.1%	3.1%	84.4%	

会長歴	～1年	200	4	26	12	6	5	2	163
		100.0%	2.0%	13.0%	6.0%	3.0%	2.5%	1.0%	81.5%
	～2年	41	1	5	1	2	-	-	35
		100.0%	2.4%	12.2%	2.4%	4.9%	-	-	85.4%
	～5年	93	3	8	4	2	3	1	78
		100.0%	3.2%	8.6%	4.3%	2.2%	3.2%	1.1%	83.9%
	～10年	93	2	14	7	2	2	-	74
	100.0%	2.2%	15.1%	7.5%	2.2%	2.2%	-	79.6%	
～15年	34	1	4	1	1	1	-	27	
	100.0%	2.9%	11.8%	2.9%	2.9%	2.9%	-	79.4%	
～25年	19	-	-	-	-	-	-	19	
	100.0%	-	-	-	-	-	-	100.0%	
25年超～	13	-	1	-	1	-	-	11	
	100.0%	-	7.7%	-	7.7%	-	-	84.6%	

【その他意見(抜粋)】

- ・住民の問題意識。(麻生区)
- ・ルールを守れない人への対応。(麻生区)

【調査項目2】 1-(1) ④F 高齢者・障がい者交流、支援活動



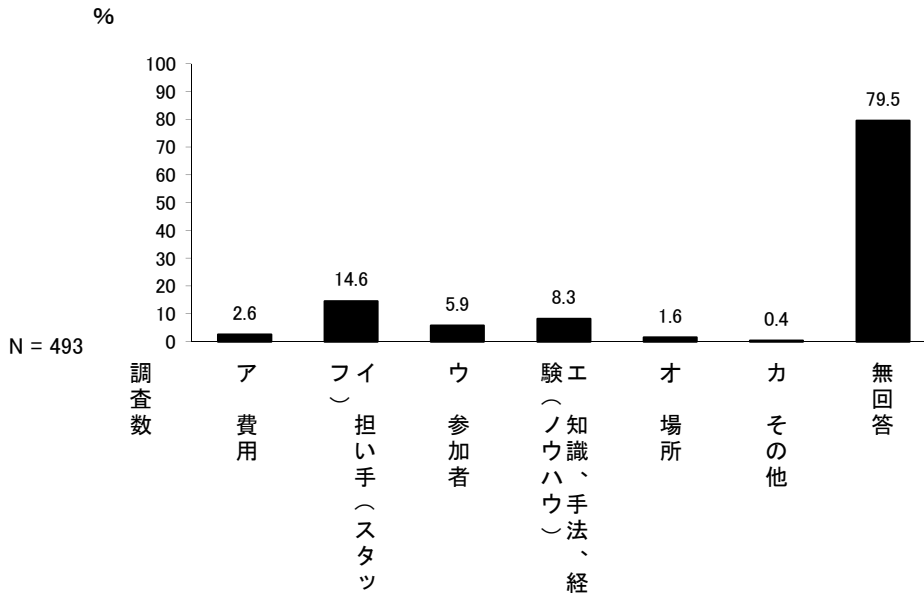
合 計		493	28	116	34	54	12	2	333
		100.0%	5.7%	23.5%	6.9%	11.0%	2.4%	0.4%	67.5%
区	川崎区	83	3	15	9	11	3	-	58
		100.0%	3.6%	18.1%	10.8%	13.3%	3.6%	-	69.9%
	幸区	52	5	15	3	8	3	-	34
		100.0%	9.6%	28.8%	5.8%	15.4%	5.8%	-	65.4%
	中原区	59	4	20	6	3	2	-	33
		100.0%	6.8%	33.9%	10.2%	5.1%	3.4%	-	55.9%
	高津区	85	4	22	3	11	1	-	59
	100.0%	4.7%	25.9%	3.5%	12.9%	1.2%	-	69.4%	
宮前区	53	2	11	2	7	1	-	36	
	100.0%	3.8%	20.8%	3.8%	13.2%	1.9%	-	67.9%	
多摩区	78	6	14	5	6	1	2	55	
	100.0%	7.7%	17.9%	6.4%	7.7%	1.3%	2.6%	70.5%	
麻生区	83	4	19	6	8	1	-	58	
	100.0%	4.8%	22.9%	7.2%	9.6%	1.2%	-	69.9%	
世帯数	~50世帯	40	3	7	5	2	-	-	30
		100.0%	7.5%	17.5%	12.5%	5.0%	-	-	75.0%
	~100世帯	37	-	1	-	1	-	-	35
		100.0%	-	2.7%	-	2.7%	-	-	94.6%
	~500世帯	167	7	41	9	22	4	-	113
		100.0%	4.2%	24.6%	5.4%	13.2%	2.4%	-	67.7%
	~1,000世帯	132	8	36	11	16	7	2	82
	100.0%	6.1%	27.3%	8.3%	12.1%	5.3%	1.5%	62.1%	
~1,500世帯	61	6	16	7	7	-	-	38	
	100.0%	9.8%	26.2%	11.5%	11.5%	-	-	62.3%	
~2,000世帯	24	1	6	1	-	-	-	16	
	100.0%	4.2%	25.0%	4.2%	-	-	-	66.7%	
2,000世帯超	32	3	9	1	6	1	-	19	
	100.0%	9.4%	28.1%	3.1%	18.8%	3.1%	-	59.4%	

会長歴	～1年	200	12	46	10	20	4	-	138
		100.0%	6.0%	23.0%	5.0%	10.0%	2.0%	-	69.0%
	～2年	41	-	11	5	5	1	-	27
		100.0%	-	26.8%	12.2%	12.2%	2.4%	-	65.9%
	～5年	93	9	25	9	12	4	1	58
		100.0%	9.7%	26.9%	9.7%	12.9%	4.3%	1.1%	62.4%
	～10年	93	4	28	8	13	2	1	55
100.0%		4.3%	30.1%	8.6%	14.0%	2.2%	1.1%	59.1%	
～15年	34	2	3	1	-	1	-	29	
	100.0%	5.9%	8.8%	2.9%	-	2.9%	-	85.3%	
～25年	19	1	1	-	2	-	-	15	
	100.0%	5.3%	5.3%	-	10.5%	-	-	78.9%	
25年超～	13	-	2	1	2	-	-	11	
	100.0%	-	15.4%	7.7%	15.4%	-	-	84.6%	

【その他意見(抜粋)】

- ・個人情報 (多摩区)
- ・情報不足 (多摩区)

【調査項目2】1-(1)④G 子育て支援活動（パパママ世代支援）



合 計		493	13	72	29	41	8	2	392
		100.0%	2.6%	14.6%	5.9%	8.3%	1.6%	0.4%	79.5%
区	川崎区	83	3	14	6	11	1	-	62
		100.0%	3.6%	16.9%	7.2%	13.3%	1.2%	-	74.7%
	幸区	52	1	13	3	5	1	-	36
		100.0%	1.9%	25.0%	5.8%	9.6%	1.9%	-	69.2%
	中原区	59	4	14	5	3	2	-	42
		100.0%	6.8%	23.7%	8.5%	5.1%	3.4%	-	71.2%
	高津区	85	2	9	3	7	-	-	71
	100.0%	2.4%	10.6%	3.5%	8.2%	-	-	83.5%	
宮前区	53	-	4	3	5	2	-	44	
	100.0%	-	7.5%	5.7%	9.4%	3.8%	-	83.0%	
多摩区	78	3	10	5	5	1	1	64	
	100.0%	3.8%	12.8%	6.4%	6.4%	1.3%	1.3%	82.1%	
麻生区	83	-	8	4	5	1	1	73	
	100.0%	-	9.6%	4.8%	6.0%	1.2%	1.2%	88.0%	
世帯数	~50世帯	40	2	3	4	1	-	-	33
		100.0%	5.0%	7.5%	10.0%	2.5%	-	-	82.5%
	~100世帯	37	-	1	1	-	-	-	36
		100.0%	-	2.7%	2.7%	-	-	-	97.3%
	~500世帯	167	1	18	7	14	4	-	141
		100.0%	0.6%	10.8%	4.2%	8.4%	2.4%	-	84.4%
	~1,000世帯	132	6	25	12	15	3	2	96
	100.0%	4.5%	18.9%	9.1%	11.4%	2.3%	1.5%	72.7%	
~1,500世帯	61	2	12	2	8	1	-	46	
	100.0%	3.3%	19.7%	3.3%	13.1%	1.6%	-	75.4%	
~2,000世帯	24	-	7	3	-	-	-	16	
	100.0%	-	29.2%	12.5%	-	-	-	66.7%	
2,000世帯超	32	2	6	-	3	-	-	24	
	100.0%	6.3%	18.8%	-	9.4%	-	-	75.0%	

調査数 ア タイ ウ 経工 オ カ 無
 費用 ツ 参加 験 場 そ 回
 手 者 (所 の 答
 (((ノ 他))
 ス ハ ハ ウ))
) ウ ハ)))

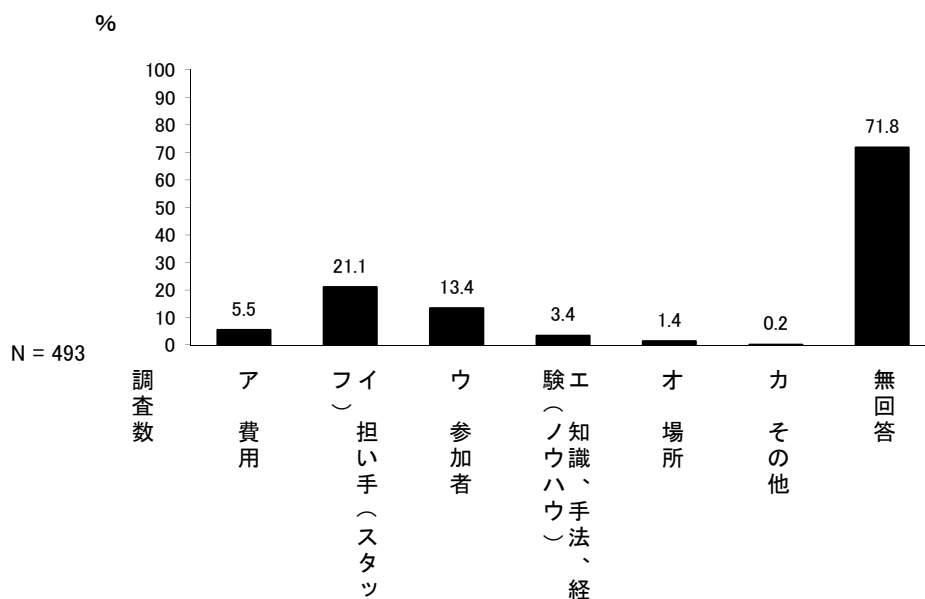
会長歴	~1年	200 100.0%	5 2.5%	29 14.5%	11 5.5%	14 7.0%	1 0.5%	-	164 82.0%
	~2年	41 100.0%	-	6 14.6%	3 7.3%	3 7.3%	1 2.4%	-	34 82.9%
	~5年	93 100.0%	4 4.3%	14 15.1%	5 5.4%	9 9.7%	3 3.2%	1 1.1%	74 79.6%
	~10年	93 100.0%	3 3.2%	19 20.4%	8 8.6%	10 10.8%	3 3.2%	1 1.1%	64 68.8%
	~15年	34 100.0%	-	3 8.8%	2 5.9%	2 5.9%	-	-	28 82.4%
	~25年	19 100.0%	-	1 5.3%	-	2 10.5%	-	-	16 84.2%
	25年超~	13 100.0%	1 7.7%	-	-	1 7.7%	-	-	12 92.3%

◇「担い手（スタッフ）」を世帯区分別に見ると、「~1,000世帯」（18.9%）、「~1,500世帯」（19.7%）、「~2,000世帯」（29.2%）、「2,000世帯超~」（18.8%）で高くなっている。

【その他意見(抜粋)】

・活動そのものがない。（麻生区）

【調査項目2】1-(1)④H こども会等青少年交流、支援活動



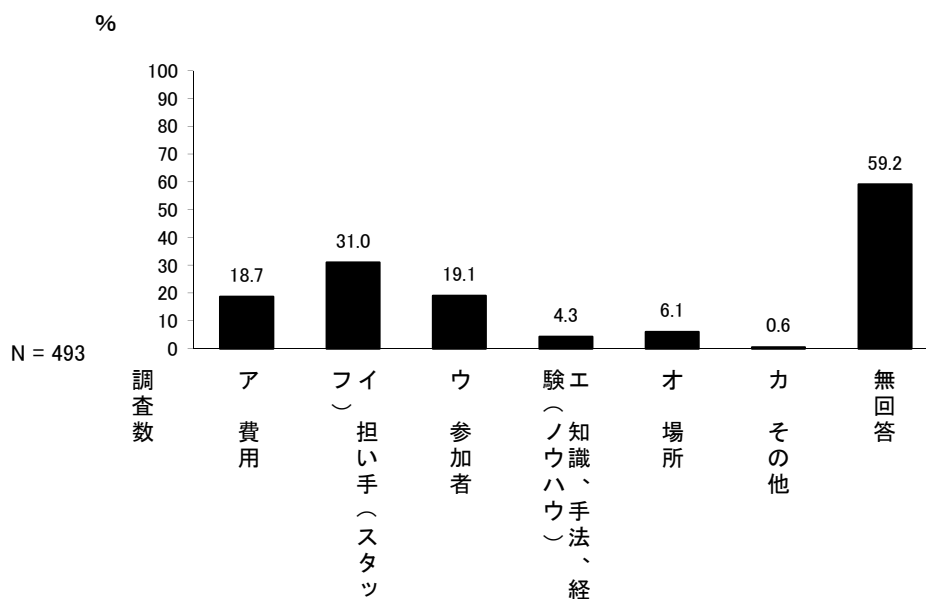
合 計		493	27	104	66	17	7	1	354
		100.0%	5.5%	21.1%	13.4%	3.4%	1.4%	0.2%	71.8%
区	川崎区	83	7	20	12	3	1	-	56
		100.0%	8.4%	24.1%	14.5%	3.6%	1.2%	-	67.5%
	幸区	52	4	17	11	-	1	-	33
		100.0%	7.7%	32.7%	21.2%	-	1.9%	-	63.5%
	中原区	59	7	21	9	4	2	-	33
		100.0%	11.9%	35.6%	15.3%	6.8%	3.4%	-	55.9%
	高津区	85	4	15	8	4	1	-	65
	100.0%	4.7%	17.6%	9.4%	4.7%	1.2%	-	76.5%	
宮前区	53	1	8	11	1	-	1	37	
	100.0%	1.9%	15.1%	20.8%	1.9%	-	1.9%	69.8%	
多摩区	78	3	12	8	2	1	-	60	
	100.0%	3.8%	15.4%	10.3%	2.6%	1.3%	-	76.9%	
麻生区	83	1	11	7	3	1	-	70	
	100.0%	1.2%	13.3%	8.4%	3.6%	1.2%	-	84.3%	
世帯数	~50世帯	40	2	5	4	2	-	-	33
		100.0%	5.0%	12.5%	10.0%	5.0%	-	-	82.5%
	~100世帯	37	1	1	1	-	-	1	34
		100.0%	2.7%	2.7%	2.7%	-	-	2.7%	91.9%
	~500世帯	167	3	27	18	7	4	-	127
		100.0%	1.8%	16.2%	10.8%	4.2%	2.4%	-	76.0%
	~1,000世帯	132	11	37	20	4	2	-	88
	100.0%	8.3%	28.0%	15.2%	3.0%	1.5%	-	66.7%	
~1,500世帯	61	4	16	15	2	-	-	37	
	100.0%	6.6%	26.2%	24.6%	3.3%	-	-	60.7%	
~2,000世帯	24	2	8	2	1	-	-	14	
	100.0%	8.3%	33.3%	8.3%	4.2%	-	-	58.3%	
2,000世帯超	32	4	10	6	1	1	-	21	
	100.0%	12.5%	31.3%	18.8%	3.1%	3.1%	-	65.6%	

調査数	ア 費用	タイ ッフ 担 い 手 (ス	ウ 参 加 者	経工 験 (ノ ウ ハ ウ)	エ 知 識 、 手 法 、	オ 場 所	カ そ の 他	無 回 答
-----	---------	-----------------------------------	------------------	---------------------------------------	---------------------------------	-------------	------------------	-------------

会長歴	～1年	200 100.0%	11 5.5%	42 21.0%	22 11.0%	9 4.5%	1 0.5%	1 0.5%	149 74.5%
	～2年	41 100.0%	1 2.4%	11 26.8%	5 12.2%	1 2.4%	2 4.9%	-	28 68.3%
	～5年	93 100.0%	8 8.6%	20 21.5%	17 18.3%	4 4.3%	3 3.2%	-	61 65.6%
	～10年	93 100.0%	5 5.4%	26 28.0%	16 17.2%	1 1.1%	-	-	59 63.4%
	～15年	34 100.0%	1 2.9%	3 8.8%	4 11.8%	1 2.9%	1 2.9%	-	28 82.4%
	～25年	19 100.0%	-	1 5.3%	1 5.3%	-	-	-	18 94.7%
	25年超～	13 100.0%	1 7.7%	1 7.7%	1 7.7%	1 7.7%	-	-	11 84.6%

◇「担い手（スタッフ）」を世帯区分別に見ると、「～1,000世帯」（28.0%）、「～1,500世帯」（26.2%）、「～2,000世帯」（33.3%）、「2,000世帯超～」（31.3%）で高くなっている。

【調査項目2】1-(1)④I お祭り等親睦を深めるイベント



合 計		493	92	153	94	21	30	3	292
		100.0%	18.7%	31.0%	19.1%	4.3%	6.1%	0.6%	59.2%
区	川崎区	83	17	29	15	5	4	-	51
		100.0%	20.5%	34.9%	18.1%	6.0%	4.8%	-	61.4%
	幸区	52	14	21	15	1	4	1	26
		100.0%	26.9%	40.4%	28.8%	1.9%	7.7%	1.9%	50.0%
	中原区	59	17	24	18	2	7	-	27
		100.0%	28.8%	40.7%	30.5%	3.4%	11.9%	-	45.8%
	高津区	85	13	22	12	2	6	1	51
	100.0%	15.3%	25.9%	14.1%	2.4%	7.1%	1.2%	60.0%	
宮前区	53	6	12	9	2	2	-	37	
	100.0%	11.3%	22.6%	17.0%	3.8%	3.8%	-	69.8%	
多摩区	78	13	21	15	5	5	-	46	
	100.0%	16.7%	26.9%	19.2%	6.4%	6.4%	-	59.0%	
麻生区	83	12	24	10	4	2	1	54	
	100.0%	14.5%	28.9%	12.0%	4.8%	2.4%	1.2%	65.1%	
世帯数	~50世帯	40	7	7	9	3	4	-	27
		100.0%	17.5%	17.5%	22.5%	7.5%	10.0%	-	67.5%
	~100世帯	37	3	2	3	-	-	-	31
		100.0%	8.1%	5.4%	8.1%	-	-	-	83.8%
	~500世帯	167	26	53	26	8	9	2	99
		100.0%	15.6%	31.7%	15.6%	4.8%	5.4%	1.2%	59.3%
	~1,000世帯	132	29	49	31	4	12	1	74
	100.0%	22.0%	37.1%	23.5%	3.0%	9.1%	0.8%	56.1%	
~1,500世帯	61	16	25	14	4	2	-	29	
	100.0%	26.2%	41.0%	23.0%	6.6%	3.3%	-	47.5%	
~2,000世帯	24	5	7	2	1	2	-	14	
	100.0%	20.8%	29.2%	8.3%	4.2%	8.3%	-	58.3%	
2,000世帯超	32	6	10	9	1	1	-	18	
	100.0%	18.8%	31.3%	28.1%	3.1%	3.1%	-	56.3%	

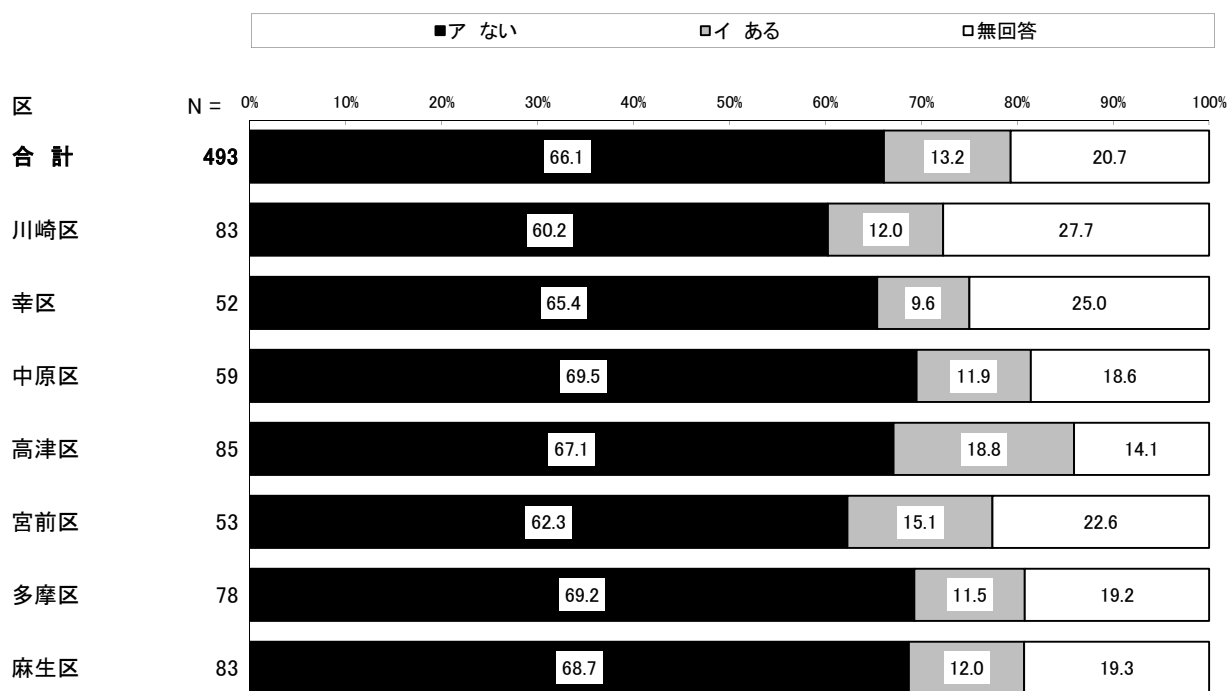
調査数 ア タイ ウ 経工 オ カ 無
 費用 ツ 参加 験 場 そ 回
 (ス 者 (ノ 所 の 答
)) ウ) 他

会長歴	~1年	200	38	69	36	13	11	2	116
		100.0%	19.0%	34.5%	18.0%	6.5%	5.5%	1.0%	58.0%
	~2年	41	9	17	13	1	6	-	18
		100.0%	22.0%	41.5%	31.7%	2.4%	14.6%	-	43.9%
	~5年	93	17	30	18	4	8	-	55
		100.0%	18.3%	32.3%	19.4%	4.3%	8.6%	-	59.1%
	~10年	93	20	24	18	2	2	-	56
		100.0%	21.5%	25.8%	19.4%	2.2%	2.2%	-	60.2%
~15年	34	5	8	6	-	2	-	22	
	100.0%	14.7%	23.5%	17.6%	-	5.9%	-	64.7%	
~25年	19	1	3	1	-	-	-	16	
	100.0%	5.3%	15.8%	5.3%	-	-	-	84.2%	
25年超~	13	2	2	2	1	1	1	9	
	100.0%	15.4%	15.4%	15.4%	7.7%	7.7%	7.7%	69.2%	

【その他意見(抜粋)】

- ・高齢化。(幸区)
- ・近隣からの苦情。(高津区)
- ・時間。(麻生区)

【調査項目2】 1-(2) 今後縮小又は廃止(休止)したい活動(区別)



	1-(2) 今後縮小又は廃止(休止)したい活動			
	調査数	ア ない	イ ある	無回答
合計	493	326	65	102
	100.0%	66.1%	13.2%	20.7%
川崎区	83	50	10	23
	100.0%	60.2%	12.0%	27.7%
幸区	52	34	5	13
	100.0%	65.4%	9.6%	25.0%
中原区	59	41	7	11
	100.0%	69.5%	11.9%	18.6%
高津区	85	57	16	12
	100.0%	67.1%	18.8%	14.1%
宮前区	53	33	8	12
	100.0%	62.3%	15.1%	22.6%
多摩区	78	54	9	15
	100.0%	69.2%	11.5%	19.2%
麻生区	83	57	10	16
	100.0%	68.7%	12.0%	19.3%

◇ 「ない」は中原区(69.5%)が最も高く、「ある」は高津区(18.8%)が最も高い。

「ある」の活動内容と理由(抜粋)

【防災・防犯・防火活動関係】

- ・行き過ぎた防災活動。(中原区)
- ・防犯活動は、メンバーが高齢化のため参加者の減少と危険性を伴う。(中原区)
- ・婦人消防部(高齢者が多い)。(高津区)
- ・防犯研修。人が集まらない。(多摩区)
- ・まちかど消防、防犯連絡所、高齢化などにより対応できない。(多摩区)

【交通安全活動関係】

- ・交通安全週間の手伝い（結果が感じられない）。（川崎区）
- ・交通安全見守り活動、高齢化の為、体力に不安あり。（宮前区）

【美化・清掃・公園の維持管理活動関係】

- ・美化清掃活動。公園の維持管理がスタッフが少なくなり将来が不安。いつまでできるか。（幸区）
- ・清掃活動は正直今のままでは辛いです。（中原区）
- ・公園の清掃は月2回会員が行っているが、参加者が減っています。月1回とも考えています。（宮前区）
- ・役員会で美化活動の縮小が提案され話し合いました。（麻生区）

【資源回収・リサイクル関係】

- ・現在、小中学校のPTAが行っており町会が直接タッチしていない。（中原区）
- ・資源回収。町内で借用するトラックが減り、レンタカー代が負担になってきた（高津区）

【高齢者・障がい者交流、支援活動関係】

- ・高齢者への支援。老人会の方々が自分たちの課題に取り組んでほしい。（多摩区）
- ・高齢者、子育て、個人情報関係で対象者の顔が見えず行動に結びにくい。（多摩区）

【こども会等青少年交流、支援活動関係】

- ・こども会。こどもがいない。（川崎区）
- ・青少年野球、ドッジボール参加者（入部）激減による単独チーム編成不可能。（中原区）
- ・こども会活動は保護者に役員の受け手がいない(保護者のほとんどが仕事をしている)。（高津区）
- ・こども会の活動。行事の時に子供が集まらない。運動会や夏のラジオ体操、盆踊り（塾に通ったりサッカーや野球に自分の好きなことを）。（多摩区）

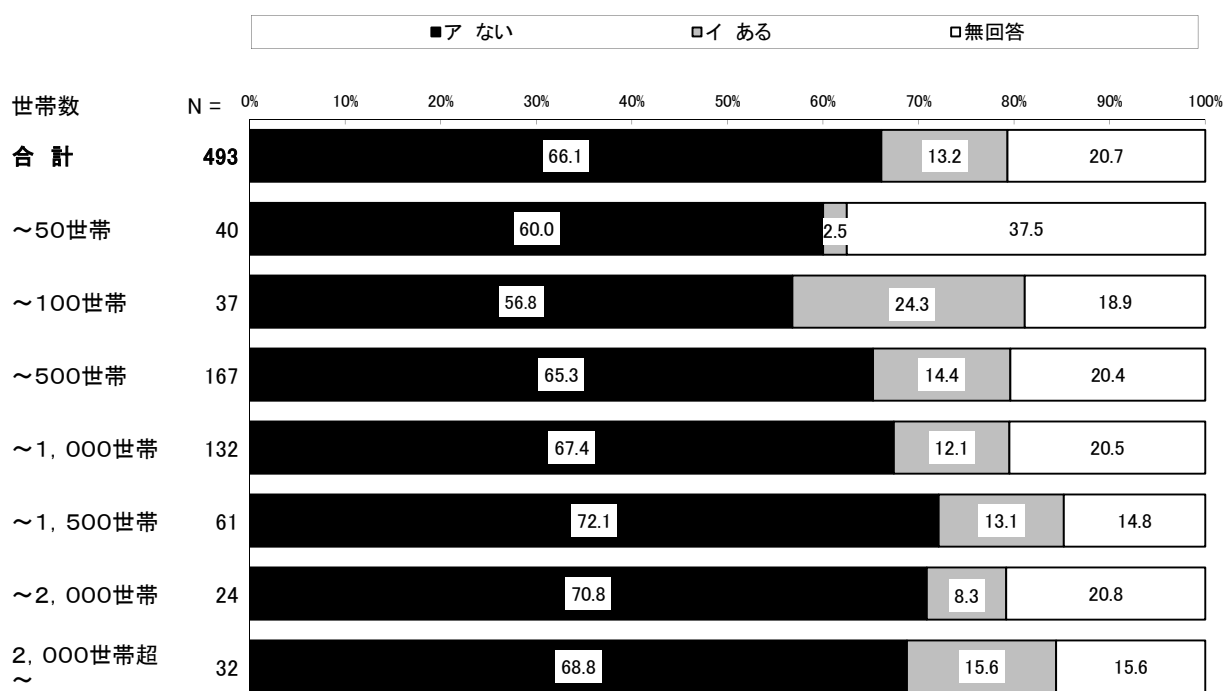
【イベント関係】

- ・毎年10月に運動会を行っていたが、子どもたちの参加が少なく大体同じ人たちだけの参加でオール町内とはなりにくい。（川崎区）
- ・御輿の担い手が居ないので取りやめたいと考えている。高齢者が多く今のところ無理です。（幸区）
- ・行事として毎年レクリエーションを開催しているが参加者・担い手の高齢化もあって今後どうあるべきか検討に入らなければならないと思っている。（幸区）
- ・各種イベント。役員の負担が重い。（中原区）
- ・親子運動会。防災リレーのみ参加しているが、そんな「お付き合い」は意味無いと感じてる。（高津区）
- ・年1回のお花見。スタッフの負担が問題。（高津区）
- ・運動会が年により参加人数の上下があり、このまま続けていいのか悩んでいます。（高津区）
- ・納涼祭がありますが、費用と人員が目いっぱいですから。（高津区）
- ・スポーツ&文化祭。参加者が少ない（宮前区）
- ・盆踊り大会のメンバーが高齢となり参加人数が減少気味です。（麻生区）
- ・夏祭り。高齢化が進み規模縮小したいが、小中学生の期待にも応えたい。（麻生区）
- ・秋から冬にかけて敬老会、クリスマス会、新年会を行っているが、参加者がとても少ない。逆に防災関連の活動をしていないので活動内容に偏りを感じています。（麻生区）

【その他】

- ・不法チラシ、ビラ除去。高津区の住宅地域では見られない。（高津区）
- ・屋外違法広告物除去。件数はほとんどない。（麻生区）

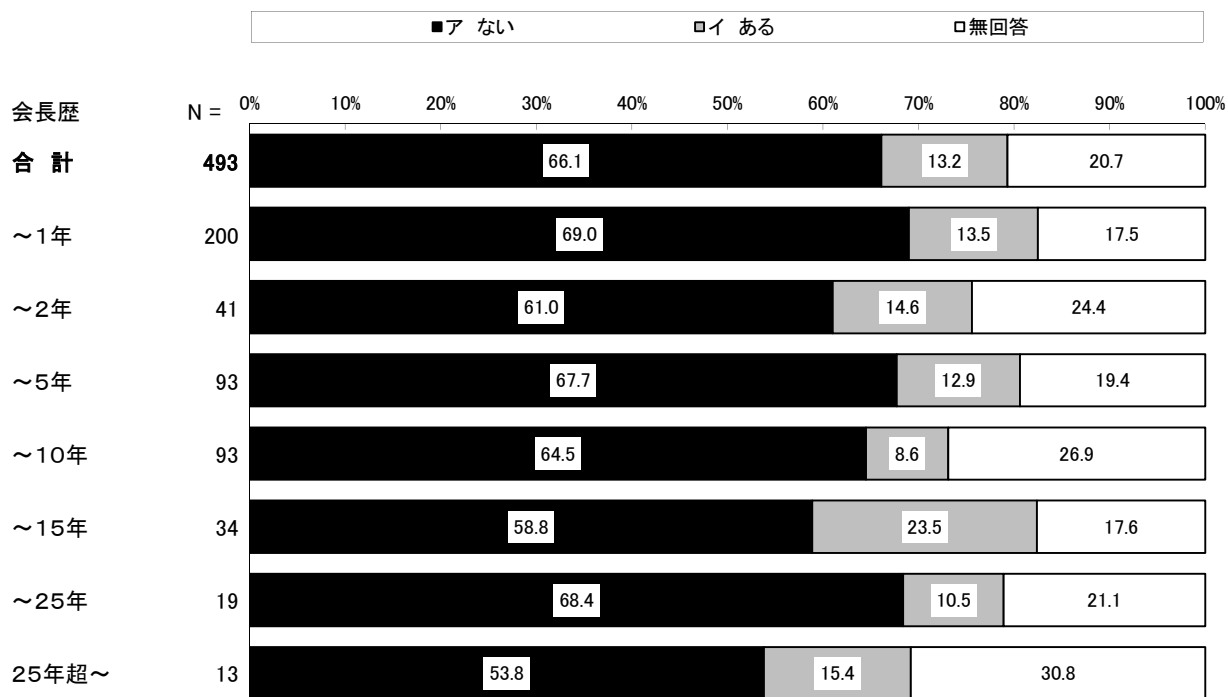
【調査項目2】 1-(2) 今後縮小又は廃止(休止)したい活動(世帯数別)



	1-(2) 今後縮小又は廃止(休止)したい活動			
	調査数	ア ない	イ ある	無回答
合計	493	326	65	102
	100.0%	66.1%	13.2%	20.7%
～50世帯	40	24	1	15
	100.0%	60.0%	2.5%	37.5%
～100世帯	37	21	9	7
	100.0%	56.8%	24.3%	18.9%
～500世帯	167	109	24	34
	100.0%	65.3%	14.4%	20.4%
～1,000世帯	132	89	16	27
	100.0%	67.4%	12.1%	20.5%
～1,500世帯	61	44	8	9
	100.0%	72.1%	13.1%	14.8%
～2,000世帯	24	17	2	5
	100.0%	70.8%	8.3%	20.8%
2,000世帯超～	32	22	5	5
	100.0%	68.8%	15.6%	15.6%

◇ 「ない」は「～1,500世帯」(72.1%)が最も高く、「ある」は「～100世帯」(24.3%)が最も高い。

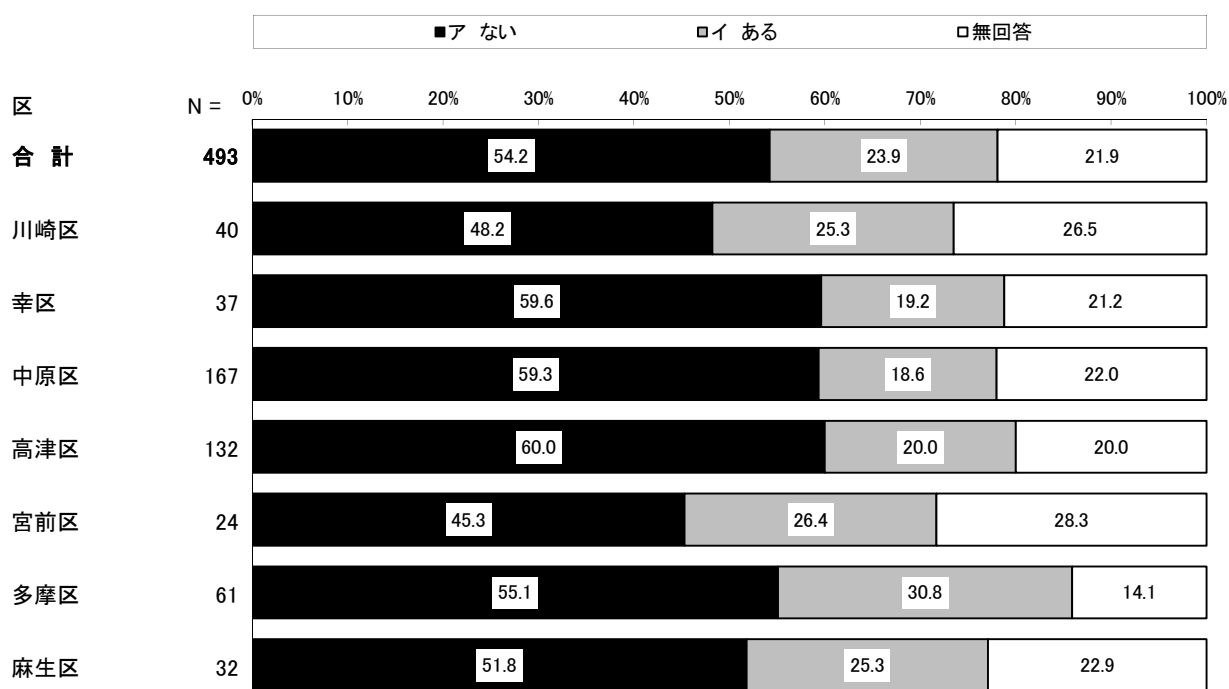
【調査項目2】 1-(2) 今後縮小又は廃止(休止)したい活動(会長歴別)



	1-(2) 今後縮小又は廃止(休止)したい活動			
	調査数	ア ない	イ ある	無回答
合計	493	326	65	102
	100.0%	66.1%	13.2%	20.7%
～1年	200	138	27	35
	100.0%	69.0%	13.5%	17.5%
～2年	41	25	6	10
	100.0%	61.0%	14.6%	24.4%
～5年	93	63	12	18
	100.0%	67.7%	12.9%	19.4%
～10年	93	60	8	25
	100.0%	64.5%	8.6%	26.9%
～15年	34	20	8	6
	100.0%	58.8%	23.5%	17.6%
～25年	19	13	2	4
	100.0%	68.4%	10.5%	21.1%
25年超～	13	7	2	4
	100.0%	53.8%	15.4%	30.8%

◇ 「ない」は「～1年」(69.0%)が最も高く、「ある」は「～15年」(23.5%)が最も高い。

【調査項目 2】 1- (3) 今後具体的に新たに始めたい活動 (区別)



	1-(3) 今後具体的に新たに始めたい活動			
	調査数	A ない	I ある	無回答
合計	493	267	118	108
	100.0%	54.2%	23.9%	21.9%
川崎区	83	40	21	22
	100.0%	48.2%	25.3%	26.5%
幸区	52	31	10	11
	100.0%	59.6%	19.2%	21.2%
中原区	59	35	11	13
	100.0%	59.3%	18.6%	22.0%
高津区	85	51	17	17
	100.0%	60.0%	20.0%	20.0%
宮前区	53	24	14	15
	100.0%	45.3%	26.4%	28.3%
多摩区	78	43	24	11
	100.0%	55.1%	30.8%	14.1%
麻生区	83	43	21	19
	100.0%	51.8%	25.3%	22.9%

◇ 「ある」は多摩区 (30.8%) が最も高い。

ある場合の活動内容と問題点等 (抜粋)

【防災活動】

- ・防災活動と住民とのコミュニティーを推進する場がなく、早急に町内会館を新設したい。(川崎区)
- ・防災訓練の実施。備蓄品ストック、消火器具、備蓄品などの保管場所の確保。(中原区)
- ・防災訓練の活動が必要であるが、適切な指導者がいない。(麻生区)

【防犯活動】

- ・防犯（痴漢、振り込め詐欺）活動。痴漢→夜間パトロール頻度をあげるのは負担が大きい。振り込め詐欺→講演数を増やしたい。（高津区）
- ・防犯活動。カメラの設置などを検討中だが費用の面で難しい。（多摩区）

【高齢者・障がい者交流、支援活動】

- ・休止している敬老会の再開。人材の不足（川崎区）
- ・認知症、介護予防活動。参加者が回を追うごとに少なくなっていく。（川崎区）
- ・特に高齢者の一人暮らしの人たちが気軽に屋外に出てこれるような、交流できる場所があったら（場所と担い手の確保がネック）。（川崎区）
- ・一人暮らし老人給食。婦人会がないので料理できる人と費用。（川崎区）
- ・高齢者のポールウォーキング活動。ポールの費用が高額なため助成金の対象にしてほしい。（幸区）
- ・高齢者支援をする活動家不足。（幸区）
- ・1、高齢者見守り活動：自宅訪問の実施。2、担い手（スタッフ）の確保。（高津区）
- ・地域包括ケアに関して近隣町会との連携をどのように持っていくか。（高津区）
- ・老人クラブ（昨年発足したがボランティア）、現在4～5人でラジオ体操や清掃活動を行っているが、費用全て自前で参加者が少ない。（宮前区）
- ・高齢者支援のためのカフェの開催場所の確保とスタッフの確保。（宮前区）
- ・包括ケアシステムの充実。地域課題の更に徹底した把握と共有化→活動内容の明確化。（多摩区）
- ・高齢者、一人住まいの方の見守り。孤独死を防ぐために居住確認のための名簿を作成したいが、個人情報保護が壁になっている。昨年孤独死が見つかり今後の対応に苦戦しています。（麻生区）

【こども会等青少年交流、支援活動】

- ・子ども関連。高齢者が多いため活動不足。親世代の活動の担い手不足（仕事が忙しい？）（川崎区）
- ・こども会、高齢者の交流など。設立する知識人員不足。（幸区）

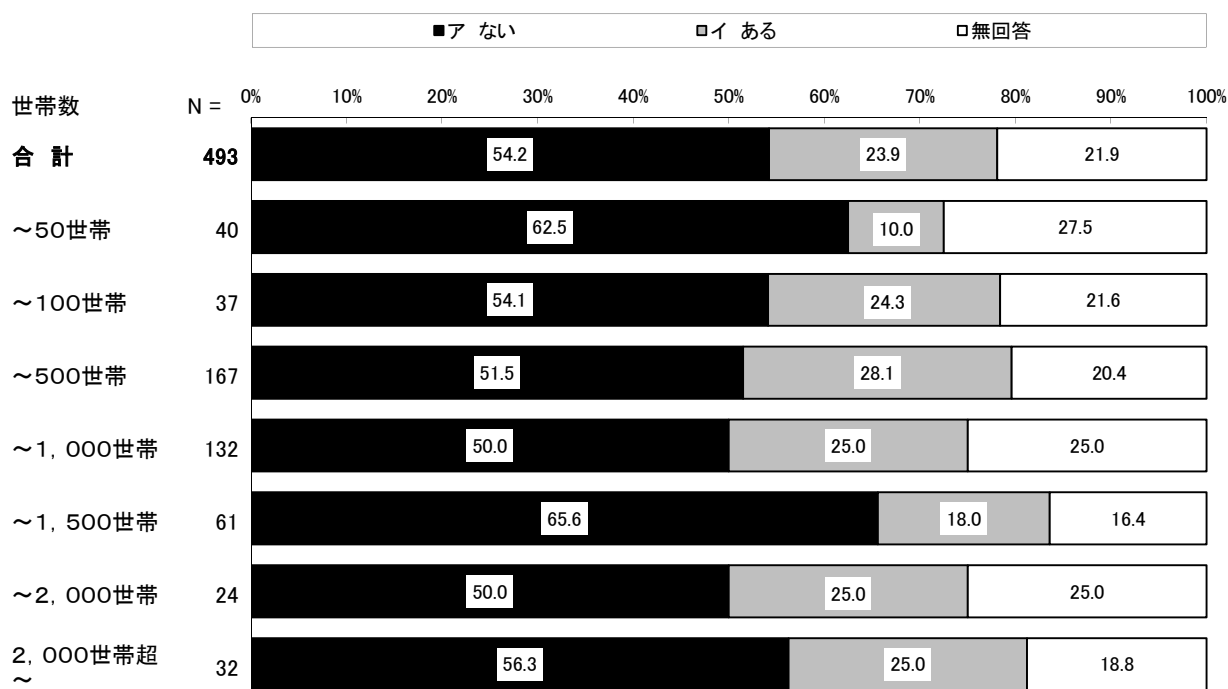
【親睦を深める活動】

- ・公園にキャッチボールする場所を作りたい（近隣の方に承諾を貰うこと）。（川崎区）
- ・幅広い世代が参加できる活動。若い世代が参加できる行事を模索し育む。母親クラブ推進。資金が問題となる。（川崎区）
- ・スポーツ・老人クラブ活動などやりたいが募集しても×。頼んでも×。人集めが困難。（幸区）
- ・交流の場作り。町内の合意、スタッフの成り手。（中原区）
- ・体操教室、文化部を開設したいが、町内会館がないため（会場）なかなか難しい。（中原区）
- ・親睦を深めるイベント。（理由）町会活動への理解と担い手を増したい。（麻生区）

【その他】

- ・町内公報発行。なかなかやる人が出てこない。（中原区）
- ・顔の見える、わかる組織への編成を検討中（高齢のため新しくすることに抵抗がある）。（高津区）
- ・自治会組織の充実に限界が見えて来たので、意識の高いボランティアを求めたい。地域カフェの充実・拡大を図りたい。（宮前区）
- ・町会主催の祭事を進めたい。他の場所を借りることも難しい。（多摩区）
- ・役員や行事の担い手となる人材の発掘活動（進行中だが更に広げてやっていきたい。が進める人材も不足）。（多摩区）
- ・ささえ合い（助け合い）活動。資金不足。中心になって進める人がいない。（多摩区）
- ・組理事さんの役割動機付けを行うような情報マニュアル作り。（多摩区）
- ・近所づきあいの大切さを身にしみているが、我自治会「公園無し」「自治会館なし」など場所のなさに苦戦している。（多摩区）

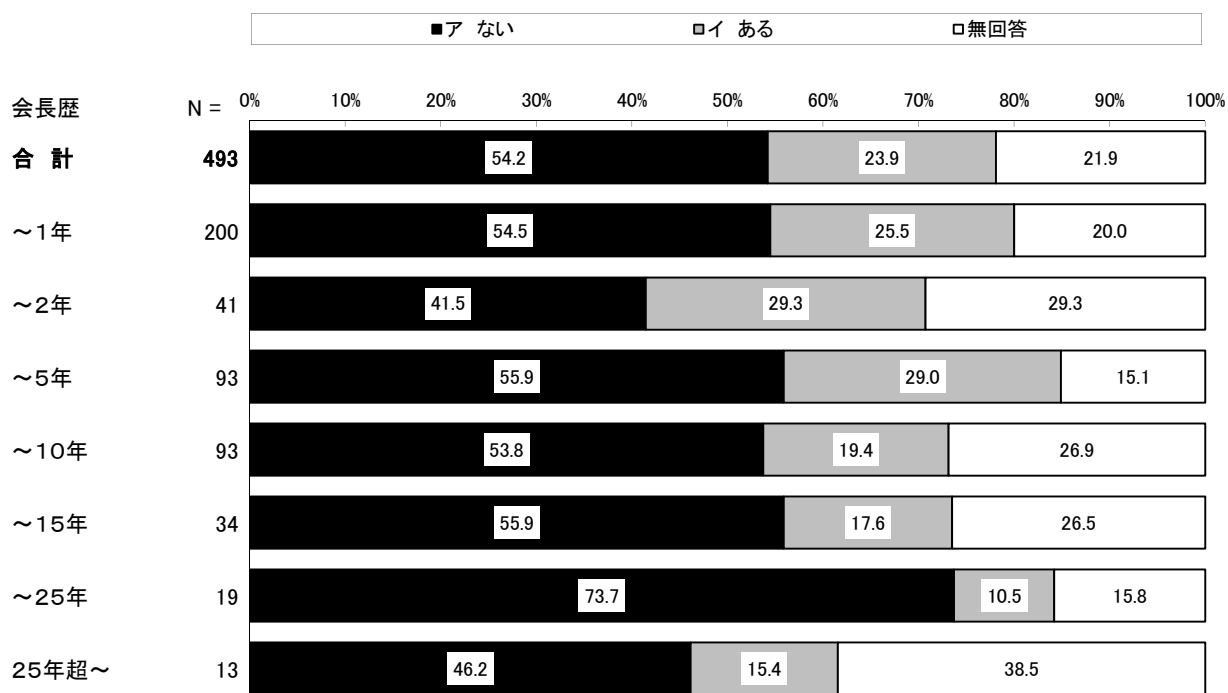
【調査項目2】 1-(3) 今後具体的に新たに始めたい活動（世帯数別）



	1-(3) 今後具体的に新たに始めたい活動			
	調査数	ア ない	イ ある	無回答
合計	493	267	118	108
	100.0%	54.2%	23.9%	21.9%
～50世帯	40	25	4	11
	100.0%	62.5%	10.0%	27.5%
～100世帯	37	20	9	8
	100.0%	54.1%	24.3%	21.6%
～500世帯	167	86	47	34
	100.0%	51.5%	28.1%	20.4%
～1,000世帯	132	66	33	33
	100.0%	50.0%	25.0%	25.0%
～1,500世帯	61	40	11	10
	100.0%	65.6%	18.0%	16.4%
～2,000世帯	24	12	6	6
	100.0%	50.0%	25.0%	25.0%
2,000世帯超～	32	18	8	6
	100.0%	56.3%	25.0%	18.8%

◇ 「ある」は「～500世帯」（65.6%）が最も高い。

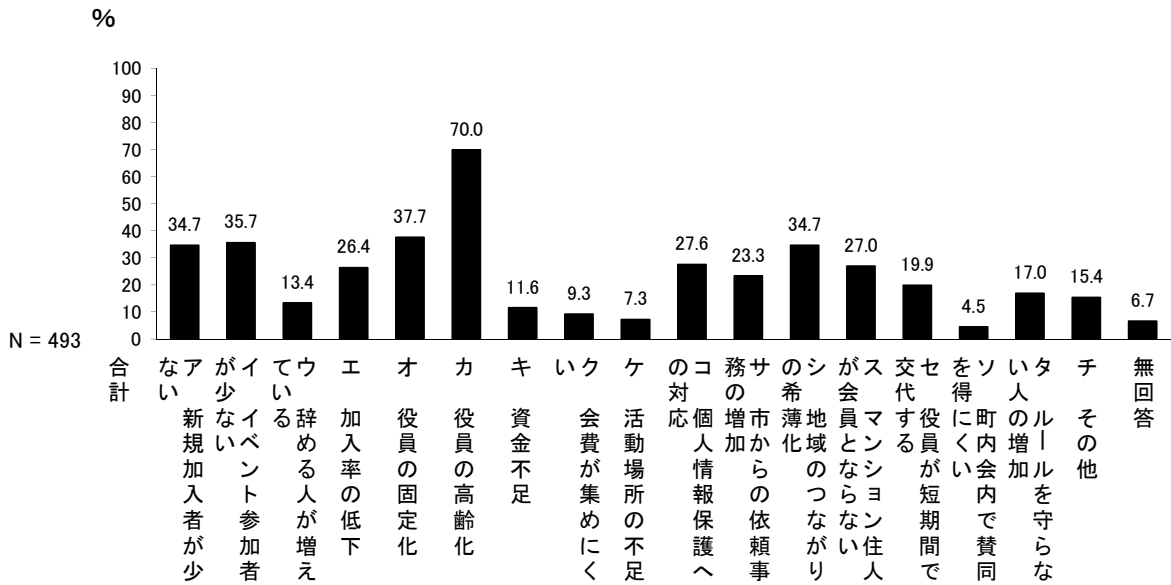
【調査項目2】 1-(3) 今後具体的に新たに始めたい活動（会長歴別）



	1-(3) 今後具体的に新たに始めたい活動			
	調査数	ア ない	イ ある	無回答
合計	493	267	118	108
	100.0%	54.2%	23.9%	21.9%
～1年	200	109	51	40
	100.0%	54.5%	25.5%	20.0%
～2年	41	17	12	12
	100.0%	41.5%	29.3%	29.3%
～5年	93	52	27	14
	100.0%	55.9%	29.0%	15.1%
～10年	93	50	18	25
	100.0%	53.8%	19.4%	26.9%
～15年	34	19	6	9
	100.0%	55.9%	17.6%	26.5%
～25年	19	14	2	3
	100.0%	73.7%	10.5%	15.8%
25年超～	13	6	2	5
	100.0%	46.2%	15.4%	38.5%

◇ 「ある」は「～2年」（29.3%）が最も高い。

【調査項目2】1-(4) その他町内会・自治会運営での問題



	合計	493	171	176	66	130	186	345	57	46	36	136	115	171	133	98	22	84	76	33
		100.0%	34.7%	35.7%	13.4%	26.4%	37.7%	70.0%	11.6%	9.3%	7.3%	27.6%	23.3%	34.7%	27.0%	19.9%	4.5%	17.0%	15.4%	6.7%
区	川崎区	83	52	29	12	45	36	67	13	16	3	17	27	36	34	8	1	12	10	5
		100.0%	62.7%	34.9%	14.5%	54.2%	43.4%	80.7%	15.7%	19.3%	3.6%	20.5%	32.5%	43.4%	41.0%	9.6%	1.2%	14.5%	12.0%	6.0%
	幸区	52	23	16	9	12	30	36	7	5	4	19	13	15	17	7	3	15	8	2
		100.0%	44.2%	30.8%	17.3%	23.1%	57.7%	69.2%	13.5%	9.6%	7.7%	36.5%	25.0%	28.8%	32.7%	13.5%	5.8%	28.8%	15.4%	3.8%
	中原区	59	29	26	10	20	32	51	7	12	6	25	23	29	20	11	7	13	9	1
		100.0%	49.2%	44.1%	16.9%	33.9%	54.2%	86.4%	11.9%	20.3%	10.2%	42.4%	39.0%	49.2%	33.9%	18.6%	11.9%	22.0%	15.3%	1.7%
	高津区	85	23	34	15	18	34	59	7	1	3	21	13	25	22	19	3	13	9	7
	100.0%	27.1%	40.0%	17.6%	21.2%	40.0%	69.4%	8.2%	1.2%	3.5%	24.7%	15.3%	29.4%	25.9%	22.4%	3.5%	15.3%	10.6%	8.2%	
宮前区	53	11	19	5	3	11	33	7	3	3	17	6	11	11	15	2	9	5	6	
	100.0%	20.8%	35.8%	9.4%	5.7%	20.8%	62.3%	13.2%	5.7%	5.7%	32.1%	11.3%	20.8%	20.8%	28.3%	3.8%	17.0%	9.4%	11.3%	
多摩区	78	14	26	3	14	23	52	11	6	10	19	17	29	16	18	6	13	14	4	
	100.0%	17.9%	33.3%	3.8%	17.9%	29.5%	66.7%	14.1%	7.7%	12.8%	24.4%	21.8%	37.2%	20.5%	23.1%	7.7%	16.7%	17.9%	5.1%	
麻生区	83	19	26	12	18	20	47	5	3	7	18	16	26	13	20	-	9	21	8	
	100.0%	22.9%	31.3%	14.5%	21.7%	24.1%	56.6%	6.0%	3.6%	8.4%	21.7%	19.3%	31.3%	15.7%	24.1%	-	10.8%	25.3%	9.6%	
世帯数	~50世帯	40	5	9	-	1	8	20	3	1	4	7	4	11	5	6	3	2	9	6
		100.0%	12.5%	22.5%	-	2.5%	20.0%	50.0%	7.5%	2.5%	10.0%	17.5%	10.0%	27.5%	12.5%	15.0%	7.5%	5.0%	22.5%	15.0%
	~100世帯	37	4	16	3	-	1	23	3	2	1	7	4	12	4	14	1	10	7	3
		100.0%	10.8%	43.2%	8.1%	-	2.7%	62.2%	8.1%	5.4%	2.7%	18.9%	10.8%	32.4%	10.8%	37.8%	2.7%	27.0%	18.9%	8.1%
	~500世帯	167	45	62	20	32	54	106	20	12	8	43	35	47	30	42	7	28	30	14
		100.0%	26.9%	37.1%	12.0%	19.2%	32.3%	63.5%	12.0%	7.2%	4.8%	25.7%	21.0%	28.1%	18.0%	25.1%	4.2%	16.8%	18.0%	8.4%
	~1,000世帯	132	64	50	20	48	67	106	17	16	15	36	38	51	53	24	3	26	16	5
	100.0%	48.5%	37.9%	15.2%	36.4%	50.8%	80.3%	12.9%	12.1%	11.4%	27.3%	28.8%	38.6%	40.2%	18.2%	2.3%	19.7%	12.1%	3.8%	
~1,500世帯	61	27	22	13	26	30	47	7	10	4	23	16	26	19	9	4	14	8	3	
	100.0%	44.3%	36.1%	21.3%	42.6%	49.2%	77.0%	11.5%	16.4%	6.6%	37.7%	26.2%	42.6%	31.1%	14.8%	6.6%	23.0%	13.1%	4.9%	
~2,000世帯	24	9	8	2	7	13	19	1	1	2	7	8	9	9	-	1	1	1	2	
	100.0%	37.5%	33.3%	8.3%	29.2%	54.2%	79.2%	4.2%	4.2%	8.3%	29.2%	33.3%	37.5%	37.5%	-	4.2%	4.2%	4.2%	8.3%	
2,000世帯超~	32	17	9	8	16	13	24	6	4	2	13	10	15	13	3	3	3	5	-	
	100.0%	53.1%	28.1%	25.0%	50.0%	40.6%	75.0%	18.8%	12.5%	6.3%	40.6%	31.3%	46.9%	40.6%	9.4%	9.4%	9.4%	15.6%	-	

無回答
チその他
ない人の増加を
ソを町内会内で
同を得にくく期
セを役員が短期
で交マする間
人が会となら
人が会となら
シの地域のつな
サの希薄化の
事務の増加の依
コ個人の情報保
への対応情報保
ケの活動場所の
足の会費が集め
くい
キ資金不足
カ役員の高齢化
オ役員の固定化
エ加入率の低下
ウ辞める人が増
イイベント参加
者が少ない
アが少ない
少ない新規加入
合計

会長歴	～1年	200	53	68	18	35	53	130	23	17	13	46	46	66	45	59	12	37	39	15
		100.0%	26.5%	34.0%	9.0%	17.5%	26.5%	65.0%	11.5%	8.5%	6.5%	23.0%	23.0%	33.0%	22.5%	29.5%	6.0%	18.5%	19.5%	7.5%
	～2年	41	20	19	8	14	20	29	4	3	5	14	12	20	11	7	1	4	3	3
		100.0%	48.8%	46.3%	19.5%	34.1%	48.8%	70.7%	9.8%	7.3%	12.2%	34.1%	29.3%	48.8%	26.8%	17.1%	2.4%	9.8%	7.3%	7.3%
	～5年	93	29	34	16	29	43	64	15	10	8	38	26	31	24	11	3	21	17	3
		100.0%	31.2%	36.6%	17.2%	31.2%	46.2%	68.8%	16.1%	10.8%	8.6%	40.9%	28.0%	33.3%	25.8%	11.8%	3.2%	22.6%	18.3%	3.2%
	～10年	93	44	30	15	34	43	72	8	8	6	23	19	29	29	13	1	12	13	8
		100.0%	47.3%	32.3%	16.1%	36.6%	46.2%	77.4%	8.6%	8.6%	6.5%	24.7%	20.4%	31.2%	31.2%	14.0%	1.1%	12.9%	14.0%	8.6%
～15年	34	12	13	4	8	14	26	3	5	3	7	4	12	13	5	1	5	2	1	
	100.0%	35.3%	38.2%	11.8%	23.5%	41.2%	76.5%	8.8%	14.7%	8.8%	20.6%	11.8%	35.3%	38.2%	14.7%	2.9%	14.7%	5.9%	2.9%	
～25年	19	10	9	2	8	7	15	2	2	1	5	7	7	10	2	3	4	1	1	
	100.0%	52.6%	47.4%	10.5%	42.1%	36.8%	78.9%	10.5%	10.5%	5.3%	26.3%	36.8%	36.8%	52.6%	10.5%	15.8%	21.1%	5.3%	5.3%	
25年超～	13	3	3	3	2	6	9	2	1	-	3	1	6	1	1	1	1	1	2	
	100.0%	23.1%	23.1%	23.1%	15.4%	46.2%	69.2%	15.4%	7.7%	-	23.1%	7.7%	46.2%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	15.4%	

◇全体を見ると、「役員の高齢化」（70.0%）が他より圧倒的に高く、次いで「役員の固定化」（37.7%）、「イベント参加者が少ない」、「新規加入者が少ない」、「地域のつながりの希薄化」（34.7%同率）の順に高い。

10年前									
合計	役員の高齢化固定化	役員が成り手がいない	人手が足りない	資金不足	ルールを守らない人の増加	加入率の低下	施設の不足	その他	無回答
570	315	324	82	87	123	151	59	30	90
100.0%	55.3%	56.8%	14.4%	15.3%	21.6%	26.5%	10.4%	5.3%	15.8%

◇10年前の調査では「役員の高齢化・固定化」（55.3%）となっており、今回の調査と比較すると、「役員の高齢化」（70.0%）は割合が増え、「役員の固定化」（37.7%）は割合が減っている。

◇10年前の調査では「人手が足りない」（14.4%）だったが、今回の調査では「イベント参加者が少ない」（35.7%）となっており、割合が増えている。

◇区別に見ると、どの区も「役員の高齢化」の割合が最も高いが、特に川崎区（80.7%）、中原区（86.4%）は他区よりも高い。

◇川崎区では、「新規加入者が少ない」（62.7%）が「役員の高齢化」に次いで高い。

◇多摩区、麻生区では「地域のつながりの希薄化」がそれぞれ37.2%、31.3%となっており「役員の高齢化」に次いで高い。

◇「加入率の低下」を区別に見ると、川崎区（54.2%）は他区よりも大幅に高い。

◇「会費が集めにくい」を区別に見ると、中原区（20.3%）、川崎区（19.3%）の順に他区より高い。

◇「マンション住人が会員とならない」を区別に見ると、川崎区（41.0%）は他区よりも高く、麻生区（15.7%）は低い。

◇世帯別に見ると、どの世帯区分も「役員の高齢化」の割合が最も高いが、特に、「～1,000世帯」(80.3%)、「～1,500世帯」(77.0%)「～2,000世帯」(79.2%)、「2,000世帯超～」(75.0%)と他の世帯区分より高い。

◇「～50世帯」では「地域のつながりの希薄化」(27.5%)が、「役員の高齢化」に次いで高い。

◇「～100世帯」、「～500世帯」では「イベント参加者が少ない」がそれぞれ43.2%、37.1%となっており、「役員の高齢化」に次いで高い。

◇「2,000世帯超～」では「新規加入者が少ない」(53.1%)が「役員の高齢化」に次いで高い。

◇「役員の固定化」を世帯区分別に見ると、「～100世帯」(2.7%)、「～50世帯」(20.0%)の順に低い。

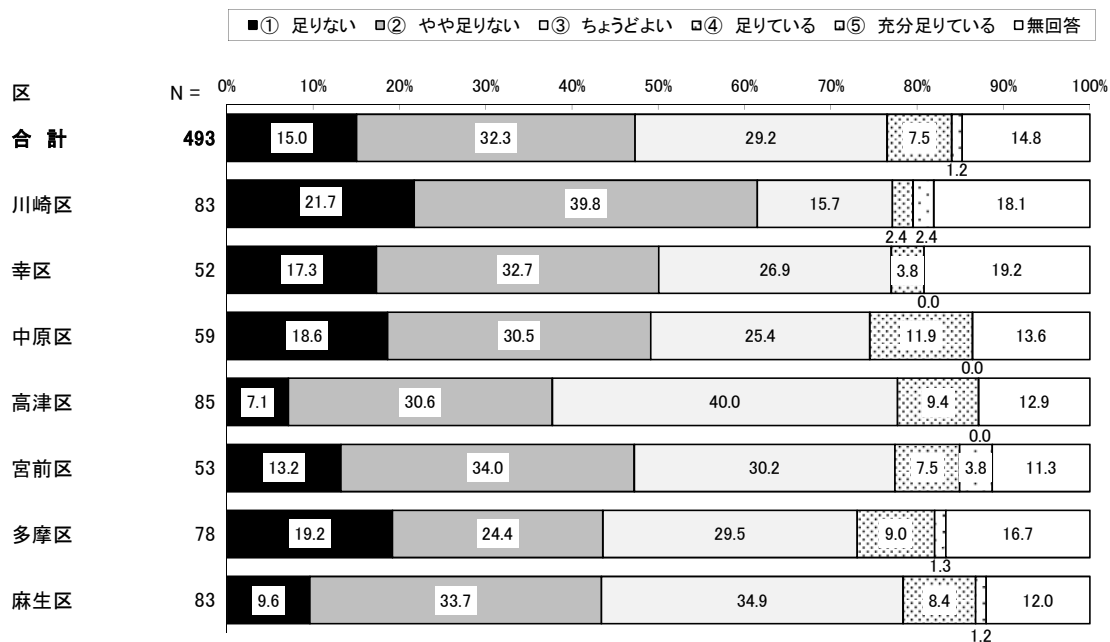
◇「マンション住人が会員とならない」を世帯区分別に見ると、「2,000世帯超～」(40.6%)、「～1,000世帯」(40.2%)、「～2,000世帯」(37.5%)、「～1,500世帯」(31.1%)の順に高い。

◇会長歴別に見ると、どの区分も「役員の高齢化」の割合が最も高い。

【その他意見(抜粋)】

- ・役員になりたがらない。(川崎区)
- ・共働きと高齢者の方が多いため、1人で複数の役を担っている状態です。(川崎区)
- ・町に住んでいる人は町内会に関心が薄い。特にマンションに住んでいる人はなぜ町会に町会費を払うんだというクレームが多くある。そのようなマンションの管理会社は町会費を払わなくてよいという指導もしている。(川崎区)
- ・役員のボランティア精神の維持と無報酬な活動の限界。(川崎区)
- ・賛同するが返事だけ。(幸区)
- ・深く関与したくない人が多い。(幸区)
- ・会員に外国人が増えつつある。(幸区)
- ・必要情報の共有化が出来ない。(幸区)
- ・一部の役員が固定し、新しい役員を育てる手段が難しい。(中原区)
- ・平日昼間活動できる人が少ない。(中原区)
- ・独身者の未加入が多い。(中原区)
- ・高齢化による活動の激減。若い担い手にも頼みにくい環境にある。行政からの圧力で出て行くしかない。(高津区)
- ・役員の成り手不足。女性の働き方の変化、60歳も常勤化により、役員の成り手が不足。働きながら自治会活動ができる体制を作ることが課題。(宮前区)
- ・総会参加率の低さ。(多摩区)
- ・町内会の存在価値が希薄する傾向を感じます。(麻生区)
- ・不在地主への連絡。(麻生区)
- ・賃貸住宅住人の自治会への参加者不足。(麻生区)
- ・役員が1年ごとに交代するようになって数年立ちますが、防災についてなど大事なことが検討されず、参加者の少ないイベントをズルズルと続けている。今年は皆介護や子育てに追われている人ばかりが役員なので例年行っていることをこなすことで手一杯で改善できない。(麻生区)
- ・町内会館がないこと。(麻生区)
- ・特に若い人たちの自治会に対する認識が希薄。(麻生区)
- ・一年輪番制。役員になる人が少ない。(麻生区)
- ・小規模組織なので意志統一は割りとうまく行くが、何かをやる規模でもないのが実情。(麻生区)

【調査項目 2】 2-（1）行政からの町内会・自治会への支援（区別）



	2-（1）行政からの町内会・自治会への支援						
	調査数	① 足りない	② やや足りない	③ ちょうどよい	④ 足りている	⑤ 充分足りている	無回答
合計	493	74	159	144	37	6	73
	100.0%	15.0%	32.3%	29.2%	7.5%	1.2%	14.8%
川崎区	83	18	33	13	2	2	15
	100.0%	21.7%	39.8%	15.7%	2.4%	2.4%	18.1%
幸区	52	9	17	14	2	-	10
	100.0%	17.3%	32.7%	26.9%	3.8%	-	19.2%
中原区	59	11	18	15	7	-	8
	100.0%	18.6%	30.5%	25.4%	11.9%	-	13.6%
高津区	85	6	26	34	8	-	11
	100.0%	7.1%	30.6%	40.0%	9.4%	-	12.9%
宮前区	53	7	18	16	4	2	6
	100.0%	13.2%	34.0%	30.2%	7.5%	3.8%	11.3%
多摩区	78	15	19	23	7	1	13
	100.0%	19.2%	24.4%	29.5%	9.0%	1.3%	16.7%
麻生区	83	8	28	29	7	1	10
	100.0%	9.6%	33.7%	34.9%	8.4%	1.2%	12.0%

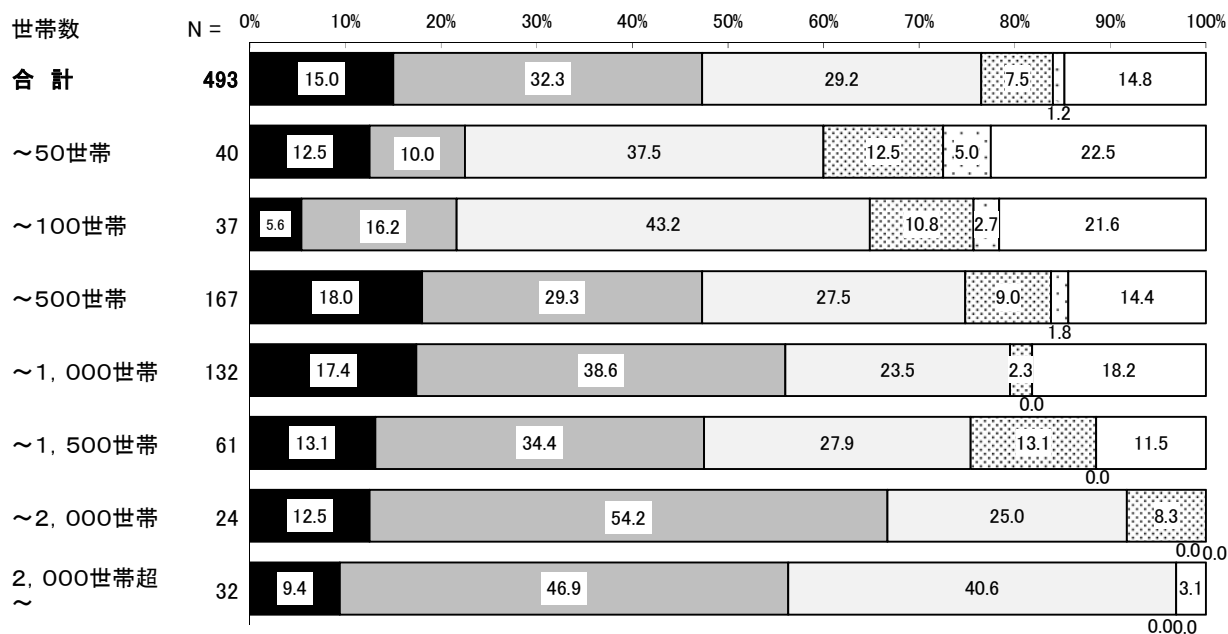
◇全体で見ると、「足りない」（15.0%）、「やや足りない」（32.3%）の合計が47.3%、「ちょうどよい」（29.2%）、「足りている」（7.5%）、「充分足りている」（1.2%）の合計が37.9%となっている。

◇「足りない」、「やや足りない」の合計割合を区別に見ると、川崎区（61.5%）が最も高い。

◇「ちょうどよい」、「足りている」、「充分足りている」の合計割合を区別に見ると、高津区（49.4%）が最も高い。

【調査項目2】2-(1) 行政からの町内会・自治会への支援（世帯数別）

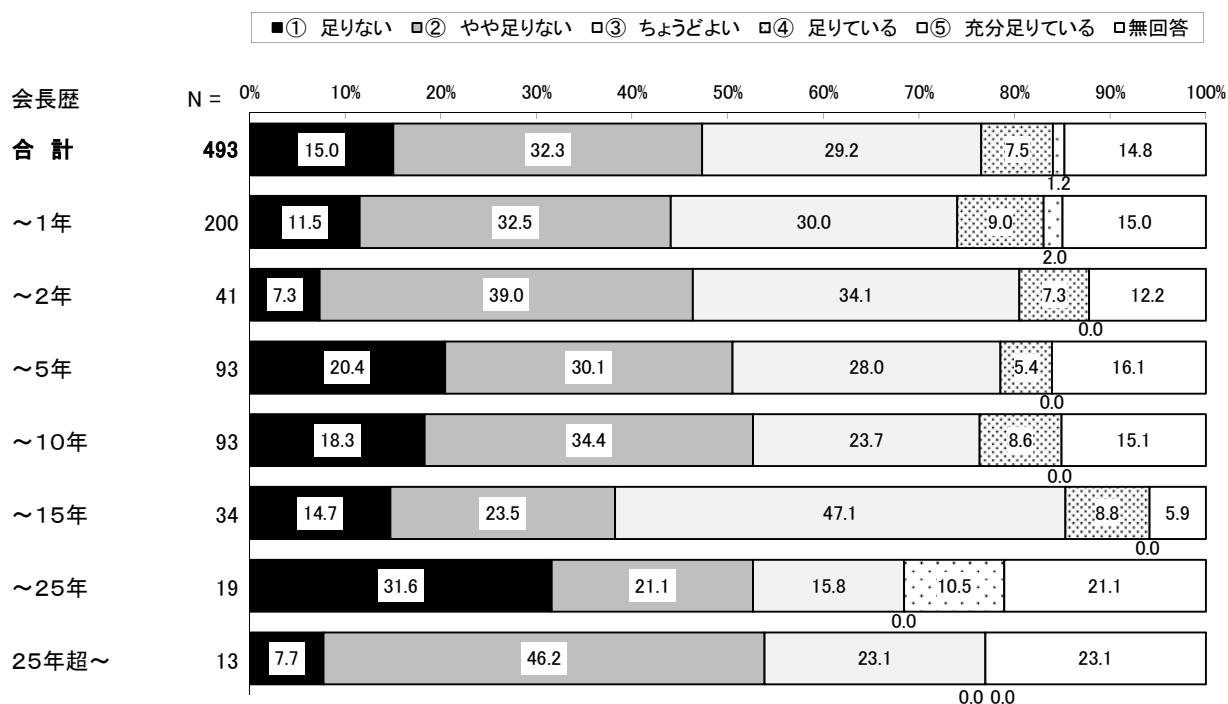
■① 足りない □② やや足りない □③ ちょうどよい □④ 足りている □⑤ 充分足りている □無回答



	2-(1) 行政からの町内会・自治会への支援						
	調査数	① 足りない	② やや足りない	③ ちょうどよい	④ 足りている	⑤ 充分足りている	無回答
合計	493	74	159	144	37	6	73
	100.0%	15.0%	32.3%	29.2%	7.5%	1.2%	14.8%
~50世帯	40	5	4	15	5	2	9
	100.0%	12.5%	10.0%	37.5%	12.5%	5.0%	22.5%
~100世帯	37	2	6	16	4	1	8
	100.0%	5.4%	16.2%	43.2%	10.8%	2.7%	21.6%
~500世帯	167	30	49	46	15	3	24
	100.0%	18.0%	29.3%	27.5%	9.0%	1.8%	14.4%
~1,000世帯	132	23	51	31	3	-	24
	100.0%	17.4%	38.6%	23.5%	2.3%	-	18.2%
~1,500世帯	61	8	21	17	8	-	7
	100.0%	13.1%	34.4%	27.9%	13.1%	-	11.5%
~2,000世帯	24	3	13	6	2	-	-
	100.0%	12.5%	54.2%	25.0%	8.3%	-	-
2,000世帯超~	32	3	15	13	-	-	1
	100.0%	9.4%	46.9%	40.6%	-	-	3.1%

◇「足りない」、「やや足りない」の合計割合を見ると、「~50世帯」（22.5%）、「~100世帯」（21.6%）となっており、他の世帯区分と比べると低い。

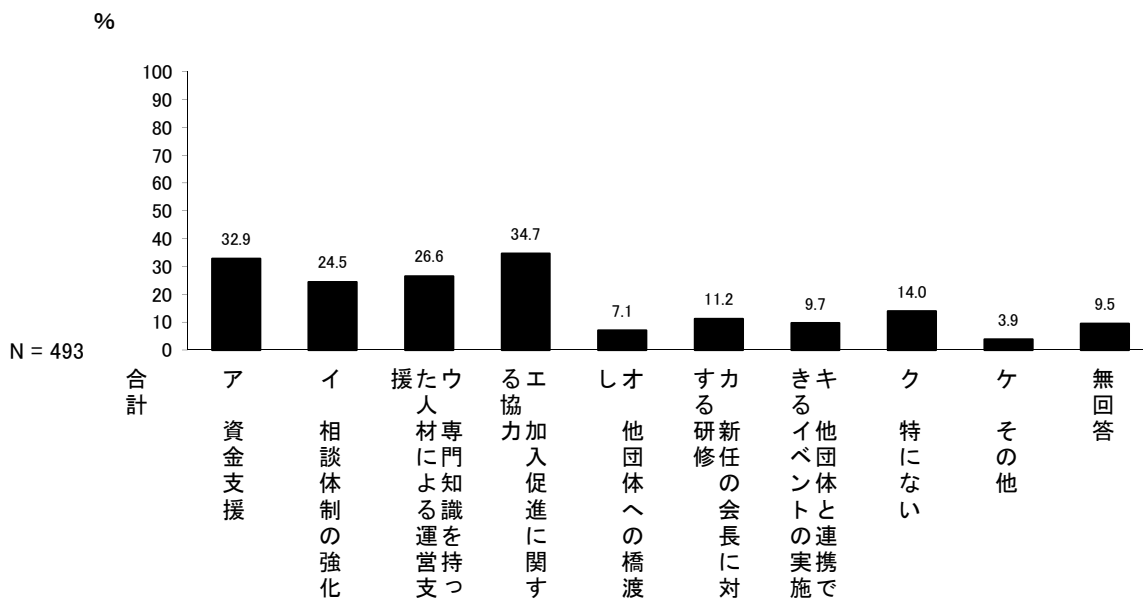
【調査項目2】2-(1) 行政からの町内会・自治会への支援（会長歴別）



	2-(1) 行政からの町内会・自治会への支援						
	調査数	① 足りない	② やや足りない	③ ちょうどよい	④ 足りている	⑤ 充分足りている	無回答
合計	493	74	159	144	37	6	73
	100.0%	15.0%	32.3%	29.2%	7.5%	1.2%	14.8%
～1年	200	23	65	60	18	4	30
	100.0%	11.5%	32.5%	30.0%	9.0%	2.0%	15.0%
～2年	41	3	16	14	3	-	5
	100.0%	7.3%	39.0%	34.1%	7.3%	-	12.2%
～5年	93	19	28	26	5	-	15
	100.0%	20.4%	30.1%	28.0%	5.4%	-	16.1%
～10年	93	17	32	22	8	-	14
	100.0%	18.3%	34.4%	23.7%	8.6%	-	15.1%
～15年	34	5	8	16	3	-	2
	100.0%	14.7%	23.5%	47.1%	8.8%	-	5.9%
～25年	19	6	4	3	-	2	4
	100.0%	31.6%	21.1%	15.8%	-	10.5%	21.1%
25年超～	13	1	6	3	-	-	3
	100.0%	7.7%	46.2%	23.1%	-	-	23.1%

◇「足りない」、「やや足りない」を見ると、「～15年」（38.2%）が他の会長歴区分と比べて割合が低い。

【調査項目2】2-(2) 町内会・自治会への支援の手法や主体



合 計		493	162	121	131	171	35	55	48	69	19	47
		100.0%	32.9%	24.5%	26.6%	34.7%	7.1%	11.2%	9.7%	14.0%	3.9%	9.5%
区	川崎区	83	38	14	17	46	4	14	8	6	3	11
		100.0%	45.8%	16.9%	20.5%	55.4%	4.8%	16.9%	9.6%	7.2%	3.6%	13.3%
	幸区	52	20	13	16	25	3	5	4	5	4	5
		100.0%	38.5%	25.0%	30.8%	48.1%	5.8%	9.6%	7.7%	9.6%	7.7%	9.6%
	中原区	59	22	8	17	25	5	7	7	6	1	2
		100.0%	37.3%	13.6%	28.8%	42.4%	8.5%	11.9%	11.9%	10.2%	1.7%	3.4%
	高津区	85	16	22	20	28	2	10	7	18	1	9
	100.0%	18.8%	25.9%	23.5%	32.9%	2.4%	11.8%	8.2%	21.2%	1.2%	10.6%	
宮前区	53	18	17	16	12	4	3	4	6	1	7	
	100.0%	34.0%	32.1%	30.2%	22.6%	7.5%	5.7%	7.5%	11.3%	1.9%	13.2%	
多摩区	78	29	25	20	13	7	10	12	13	5	7	
	100.0%	37.2%	32.1%	25.6%	16.7%	9.0%	12.8%	15.4%	16.7%	6.4%	9.0%	
麻生区	83	19	22	25	22	10	6	6	15	4	6	
	100.0%	22.9%	26.5%	30.1%	26.5%	12.0%	7.2%	7.2%	18.1%	4.8%	7.2%	
世帯数	～50世帯	40	10	7	7	2	7	4	3	16	2	2
		100.0%	25.0%	17.5%	17.5%	5.0%	17.5%	10.0%	7.5%	40.0%	5.0%	5.0%
	～100世帯	37	7	12	8	1	3	4	4	10	-	6
		100.0%	18.9%	32.4%	21.6%	2.7%	8.1%	10.8%	10.8%	27.0%	-	16.2%
	～500世帯	167	53	48	53	39	12	19	14	19	11	22
		100.0%	31.7%	28.7%	31.7%	23.4%	7.2%	11.4%	8.4%	11.4%	6.6%	13.2%
	～1,000世帯	132	48	30	35	58	6	17	15	12	5	15
	100.0%	36.4%	22.7%	26.5%	43.9%	4.5%	12.9%	11.4%	9.1%	3.8%	11.4%	
～1,500世帯	61	26	13	14	36	4	7	5	5	-	1	
	100.0%	42.6%	21.3%	23.0%	59.0%	6.6%	11.5%	8.2%	8.2%	-	1.6%	
～2,000世帯	24	7	4	8	13	2	1	3	4	1	1	
	100.0%	29.2%	16.7%	33.3%	54.2%	8.3%	4.2%	12.5%	16.7%	4.2%	4.2%	
2,000世帯超～	32	11	7	6	22	1	3	4	3	-	-	
	100.0%	34.4%	21.9%	18.8%	68.8%	3.1%	9.4%	12.5%	9.4%	-	-	

	合計	ア 資金支援	化イ 相談体制の強化	運持ウ 営つた専門 援人材知識 による	すエ る協加 力入促 進に 関	渡オ し他 団体 への 橋	対カ する 新任 の会 長に	実でキ 施き る他 イ団 ベン ト連 携	ク 特 に ない	ケ そ の 他	無 回 答	
会長歴	～1年	200 100.0%	64 32.0%	57 28.5%	57 28.5%	40 20.0%	21 10.5%	24 12.0%	16 8.0%	34 17.0%	7 3.5%	21 10.5%
	～2年	41 100.0%	10 24.4%	8 19.5%	11 26.8%	18 43.9%	4 9.8%	7 17.1%	6 14.6%	4 9.8%	2 4.9%	4 9.8%
	～5年	93 100.0%	33 35.5%	23 24.7%	29 31.2%	38 40.9%	3 3.2%	7 7.5%	7 7.5%	10 10.8%	3 3.2%	8 8.6%
	～10年	93 100.0%	36 38.7%	19 20.4%	25 26.9%	47 50.5%	6 6.5%	9 9.7%	14 15.1%	10 10.8%	2 2.2%	10 10.8%
	～15年	34 100.0%	7 20.6%	7 20.6%	5 14.7%	15 44.1%	1 2.9%	3 8.8%	2 5.9%	7 20.6%	2 5.9%	1 2.9%
	～25年	19 100.0%	7 36.8%	4 21.1%	3 15.8%	7 36.8%	-	3 15.8%	1 5.3%	2 10.5%	2 10.5%	1 5.3%
	25年超～	13 100.0%	5 38.5%	3 23.1%	1 7.7%	6 46.2%	-	2 15.4%	2 15.4%	2 15.4%	1 7.7%	2 15.4%

◇全体を見ると、「加入促進に対する協力」（34.7%）が最も高く、次いで「資金支援」（32.9%）、「専門知識を持った人材による運営支援」（26.6%）、「相談体制の強化」（24.5%）の順に高い。

◇宮前区、多摩区では「資金支援」がそれぞれ34.0%、37.2%となっており区内で最も高く、「相談体制の強化」がそれぞれ32.1%となっており区内で2番目に高い。

◇麻生区では「専門知識を持った人材による運営支援」（30.1%）が最も高い。

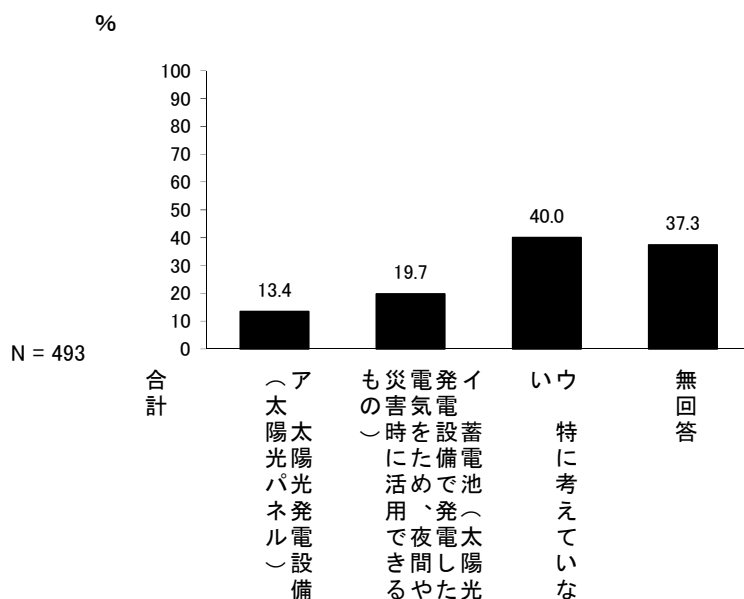
◇世帯別に見ると、「～50世帯」では「特にない」（40.0%）、「～100世帯」では「相談体制の強化」（32.4%）、「～500世帯」では「資金支援」（31.7%）となっておりそれぞれの区分内で最も高く、「～1,000世帯」以降の区分ではいずれも「加入促進に関する協力」が最も高い。

◇「～50世帯」、「～100世帯」では「加入促進に関する協力」がそれぞれ5.0%、2.7%と他の世帯区分と比べて圧倒的に低い。

【その他意見（抜粋）】

- ・会長任期を4年とする規則（川崎区）
- ・清掃活動などをするときの人員の補助（幸区）
- ・最大規模の町内会・自治会という地域住民組織に対する配慮がどこか虚しく感じる時がある。どうかすると他団体と同列で扱うことがあり疑問に感じることもある。ともすると他団体と同じ任意団体とあることで町内会・自治会に入会しなくても良いということになってしまう。（幸区）
- ・新築マンションに対する加入の促進強化と、建設予定の案内説明には来る人が町会加入、会費の話になると返事無し。結局加入しないのが多い。（中原区）
- ・掲示板補修費の援助。（宮前区）
- ・町会のITネットワーク環境構築への専門家の支援。（多摩区）
- ・行政が出てくると何かと条例や規則が出てくるのでほどほどでいいのでは。出過ぎないほうがいい。相談を受けたら出る。（多摩区）
- ・望ましい町内会モデル、役員手当モデル。（麻生区）
- ・自治会活動の維持が難しく他町会・自治会との合併相談。（麻生区）

【調査項目2】3-(1) 防災や環境の観点から会館に導入したい設備



合 計		493	66	97	197	184
		100.0%	13.4%	19.7%	40.0%	37.3%
区	川崎区	83	12	19	42	18
		100.0%	14.5%	22.9%	50.6%	21.7%
	幸区	52	6	9	22	20
		100.0%	11.5%	17.3%	42.3%	38.5%
	中原区	59	13	12	22	21
		100.0%	22.0%	20.3%	37.3%	35.6%
	高津区	85	11	20	30	32
	100.0%	12.9%	23.5%	35.3%	37.6%	
宮前区	53	9	13	26	13	
	100.0%	17.0%	24.5%	49.1%	24.5%	
多摩区	78	8	12	23	42	
	100.0%	10.3%	15.4%	29.5%	53.8%	
麻生区	83	7	12	32	38	
	100.0%	8.4%	14.5%	38.6%	45.8%	
世帯数	～50世帯	40	1	1	11	28
		100.0%	2.5%	2.5%	27.5%	70.0%
	～100世帯	37	1	2	12	23
		100.0%	2.7%	5.4%	32.4%	62.2%
	～500世帯	167	22	36	60	67
		100.0%	13.2%	21.6%	35.9%	40.1%
	～1,000世帯	132	22	26	56	43
	100.0%	16.7%	19.7%	42.4%	32.6%	
～1,500世帯	61	9	19	32	8	
	100.0%	14.8%	31.1%	52.5%	13.1%	
～2,000世帯	24	4	4	10	9	
	100.0%	16.7%	16.7%	41.7%	37.5%	
2,000世帯超～	32	7	9	16	6	
	100.0%	21.9%	28.1%	50.0%	18.8%	

合計	ル備ア （ 太陽 光光 パ発 ネ電 設	用夜し光イ で間た発蓄 きや電電蓄 る災気設電 も害を備池 の時にたで 〜にめ発太 活、電陽	ない 特 に 考 え て い	無 回 答
----	---------------------------------------	---	----------------------------------	-------------

会長歴	～1年	200	26	33	73	87
		100.0%	13.0%	16.5%	36.5%	43.5%
～2年	41	4	8	16	17	
	100.0%	9.8%	19.5%	39.0%	41.5%	
～5年	93	15	17	40	31	
	100.0%	16.1%	18.3%	43.0%	33.3%	
～10年	93	14	26	40	26	
	100.0%	15.1%	28.0%	43.0%	28.0%	
～15年	34	3	7	13	13	
	100.0%	8.8%	20.6%	38.2%	38.2%	
～25年	19	3	4	9	6	
	100.0%	15.8%	21.1%	47.4%	31.6%	
25年超～	13	1	2	6	4	
	100.0%	7.7%	15.4%	46.2%	30.8%	

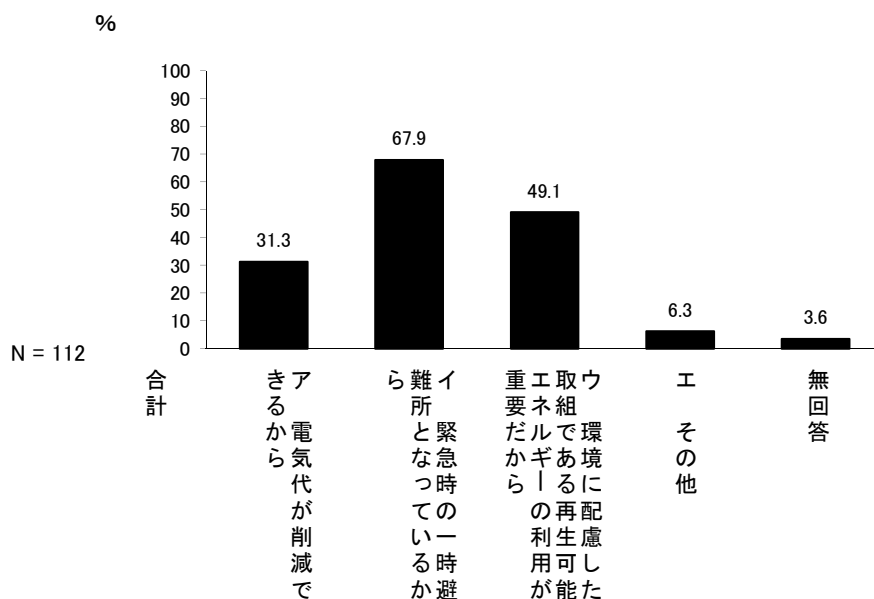
◇全体を見ると、「特に考えていない」（40.0%）が最も高い。

◇「太陽光発電設備（太陽光パネル）」を区別に見ると、中原区（22.0%）が最も高い。

◇「蓄電池（太陽光発電発電設備で発電した電気をため、夜間や災害時に活用できるもの）」を区別に見ると、宮前区（24.5%）が最も高い。

◇「蓄電池（太陽光発電発電設備で発電した電気をため、夜間や災害時に活用できるもの）」を世帯別に見ると、「～1,500世帯」（31.1%）が最も高い。

【調査項目2】3-(2) 設備を導入したい理由



合 計		112	35	76	55	7	4
		100.0%	31.3%	67.9%	49.1%	6.3%	3.6%
区	川崎区	23	6	18	14	-	1
		100.0%	26.1%	78.3%	60.9%	-	4.3%
	幸区	10	3	9	-	1	-
		100.0%	30.0%	90.0%	-	10.0%	-
	中原区	16	8	7	7	1	1
		100.0%	50.0%	43.8%	43.8%	6.3%	6.3%
	高津区	23	8	18	12	-	-
	100.0%	34.8%	78.3%	52.2%	-	-	
宮前区	14	6	10	7	2	1	
	100.0%	42.9%	71.4%	50.0%	14.3%	7.1%	
多摩区	13	2	10	5	1	-	
	100.0%	15.4%	76.9%	38.5%	7.7%	-	
麻生区	13	2	4	10	2	1	
	100.0%	15.4%	30.8%	76.9%	15.4%	7.7%	
世帯数	~50世帯	1	-	1	-	-	-
		100.0%	-	100.0%	-	-	-
	~100世帯	2	1	-	1	-	1
		100.0%	50.0%	-	50.0%	-	50.0%
	~500世帯	40	14	26	22	5	1
		100.0%	35.0%	65.0%	55.0%	12.5%	2.5%
	~1,000世帯	33	11	25	16	1	1
	100.0%	33.3%	75.8%	48.5%	3.0%	3.0%	
~1,500世帯	21	3	17	7	1	-	
	100.0%	14.3%	81.0%	33.3%	4.8%	-	
~2,000世帯	5	1	4	3	-	-	
	100.0%	20.0%	80.0%	60.0%	-	-	
2,000世帯超~	10	5	3	6	-	1	
	100.0%	50.0%	30.0%	60.0%	-	10.0%	

合計	できる電気代が削減	避難場所となつてい	利用できる重要だからの	再生可能エネルギーの	環境に配慮した	その他	無回答
----	-----------	-----------	-------------	------------	---------	-----	-----

会長歴	～1年	40	15	25	22	2	2
		100.0%	37.5%	62.5%	55.0%	5.0%	5.0%
～2年	8	2	5	6	-	-	1
	100.0%	25.0%	62.5%	75.0%	-	-	12.5%
～5年	22	9	15	7	2	-	-
	100.0%	40.9%	68.2%	31.8%	9.1%	-	-
～10年	27	3	20	13	2	-	1
	100.0%	11.1%	74.1%	48.1%	7.4%	-	3.7%
～15年	8	2	6	2	1	-	-
	100.0%	25.0%	75.0%	25.0%	12.5%	-	-
～25年	4	3	3	2	-	-	-
	100.0%	75.0%	75.0%	50.0%	-	-	-
25年超～	3	1	2	3	-	-	-
	100.0%	33.3%	66.7%	100.0%	-	-	-

◇全体を見ると、「緊急時の一時避難場所となっているから」（67.9%）が最も高い。

◇中原区では「電気代が削減できるから」（50.0%）が最も高い。

◇麻生区では「環境に配慮した取組である再生可能エネルギーの利用が重要だから」（76.9%）が最も高い。

【その他意見（抜粋）】

- ・「イザ」のとき役立ったから。（幸区）
- ・緊急時に地域を含めた電源供給が出来ればいい。（中原区）
- ・屋上ががら空きでもったいない。多いに利用すべき。また、雨水も同様。（中原区）
- ・避難所ではないが、高齢者はここに避難して来ると思うから。（宮前区）
- ・市の設置・所有であり、将来ア（太陽光発電設備）、イ（蓄電池）を導入して欲しい。（宮前区）
- ・会館が崖の上なので避難所にはなっていないが、災害時や祭りに利用できた。（麻生区）
- ・自治会の行事などにも利用してみたい。（麻生区）

【調査項目2】4 特色のある（工夫している）活動や事例。（自由記載）抜粋

【防災関係】

- ・防災訓練においては味の素からのAED心肺関係の協力を得て進めています。（川崎区）
- ・津波洪水などによる高所避難所として当町内会は7つの7階建てマンションがあり全てのマンションを有事の際に一時的に入れることを提携している。（川崎区）
- ・今まで、防災活動やイベントは青年部（男子）の協力を得ていたが、今後、女子の支援も必要と考え女子部も結成した。（高津区）
- ・公的機関に頼らない防災訓練（大災害時は公的機関が来ることが無理と考え全て自治会内で出来るようにしようとしている）。（高津区）
- ・暑い夏の行事を止め、9月末頃防災（炊き出し訓練等）訓練に費用をかけ、出来るだけ楽しいものとなるように努めている。（宮前区）
- ・地域8自治会による合同防災訓練（年1回）、すでに7回目となる。3.11の東日本大震災の前に始めて以来継続している。（宮前区）
- ・ハチマキ3色（赤・白・緑）を使って安否確認訓練実施（8年継続中）。（多摩区）
- ・住宅全体の草取り作業終了後に行った防災訓練が良かった。少し疲れた後であったが多数参加してくれた。（麻生区）
- ・当町内会では、都市の課題である安全と安心の街づくりに関しては、独自の取り組みを行っている。自前の消防車を持つ自営消防隊の設置を初め、災害時に住民の水を確保するために、近隣神社に井戸を掘り浄水器を設置。また、「防災マップ」を全戸に配布し、町内会独自に指定した緊急避難所などの周知徹底に務めている。その一貫として、平成15年から地域住民と近隣企業ならびに学校との合同防災訓練を近隣公園で実施している。（麻生区）

【防犯関係】

- ・毎日（月～金の登下校時）の見守り隊の交通整理指導。毎月第3日曜日の防犯パトロール。（中原区）
- ・自治会内の夜間パトロール、毎週火・金曜日実施中（12年間）。（高津区）
- ・〈目に見える防犯活動〉毎月第3土曜日の夜7時から定例役員会を開催し、その日は全員必ず「緑のおまわりさん」のグリーンのベストを着用、帽子、赤色棒（点滅する）をもって（着用）自治会館まで来ます。会議は9時頃終了させ帰りは赤色棒をピカピカさせ防犯を兼ねゴミ箱を見ながら帰ります。（多摩区）

【高齢者・障がい者交流支援関係】

- ・町内会・老人会の交流、共に働くことによって高齢者の安否確認が共有でき、時にひとり暮らしの支援、独居暮らしの支援につなげられることがある（公園掃除、近隣の交流サロン参加など）。（川崎区）
- ・75歳以上の家の安否確認。無事の際は白旗。助けが必要な時は赤旗を表から見えるところにかける。既に2、3回訓練しています。（川崎区）
- ・高齢者の見守り、支えあい活動を5年前から実施し、昨年から行政と連携し、相談などをしながら支えている。（川崎区）
- ・2ヶ月に1度は一人暮らしの高齢者の食事会を行っています。（川崎区）
- ・高齢者の世帯や障害者などを対象に随分前から見守り活動をしている。毎年12月に餅つきをしていて180^{kg}を担ぎ上げ全世帯に引換券を配布している。この時、こども会からサークル活動をしている人や老人クラブでも参加して幅広い世代で行っていて近隣の町内会・自治会とも交流している。（幸区）
- ・高齢者の一人暮らしの見守りとして町内会の下部組織の老人会と連携し活動を実施（地域サロン、食事会、美化清掃、町会活動に参加）。町会事業として敬老の日に祝品を贈呈。（幸区）
- ・老人クラブと連携し、高齢者支援（支え愛事業）の活動を推進し、一定の成果を上げている。民生委員との関係が良好である事も大きい。（幸区）
- ・一人暮らし高齢者食事会、いつも出席者は同じである。認知症絆カフェ参加する人は問題ないが参加しない一人暮らしの人の動向が気になる。（中原区）
- ・民生委員との連携による高齢者の集まりを多くとっている。社協との連携による爽やかサロン月に2回開催。（中原区）

- ・民生委員協議会と連携して最近「よりあい処」を始めた。（中原区）
- ・地域社協に担当者を出し家庭訪問情報を確認する。食事会を設け高齢者の様子を確認する。（中原区）
- ・民生委員が中心になって高齢者の福祉事業の実施。①お茶べり会②ボケ防止麻雀③悪質な売りつけなどの防止（パトロール実施）。（中原区）
- ・「一人ぐらい高齢者訪問」月1度役員が担当して家庭を訪問。大変喜ばれております。またいろいろな場面にぶつかる時もあります（月一度報告会を行っております）。「おしゃべりカフェ」町会会館で3ヶ月に1回年齢問わず参加者増。「ミニデイサービス」町会会館で月1回70歳以上歌、体操、3ヶ月ごとに誕生会を行い皆よろこんでおります。毎月30～35名参加。（中原区）
- ・災害に備えて、障害者だけでなく、高齢者で避難介助が必要な家庭の把握。また、安否確認マグネット（救助、救護の意思表示を行えるように）を全戸に配布している。（中原区）
- ・高齢者見守り連絡会を設置し、地域包括支援センターなどと連絡を取りあい活動をし訪問活動など行っています。老人会の役員を中心に通学・通勤の見守り活動を行い挨拶が出来る町内を心がけています。（高津区）
- ・町会独自のデイサービス（老人会ではなく病弱な会員さんのたまり場）ご近所ネット（高齢者でなかなか家庭で出来ないこと、高いところの照明機器や家具の移動、ゴミ出し、車椅子貸し出し、雨戸の清掃など電話で依頼を受けて派遣する）。（高津区）
- ・一人暮らし高齢者の方などが日常生活の中で困っていることがあればできる範囲で自治会のボランティアにより手助けをしています。（高津区）
- ・①一人暮らし高齢者用に集会場で月2回のカフェを実施。②高齢者認知症予防に集会場にて月4回の健康麻雀を実施。（高津区）
- ・民生委員・児童委員・町内福祉施設等の方々と定期的に情報交換会を開催している。月～土毎朝公園体操。防犯パトロール（月3回）。（宮前区）
- ・高齢1人住いの方々また、子ども達を対象にしたふらっとカフェを開き、社協や民児協の関係した方達と連携等。町内会のイベントを開き、近隣町内会との交流を行っている。日帰り旅行、ボーリング、盆踊り、運動会、もちつき大会、茶和会等。（宮前区）
- ・高齢者訪問までは出来ないが、外観（窓明け・洗濯物干し、電灯点灯）よりの見守り、日中/夜間実施（頻度は少ないが）。民生委員選出できない。認知症の方々への対応は難しいが月1回カフェを実施。地域の中での共同講演会・勉強会（保健福祉センターの指導あり）。（宮前区）
- ・自治会員カードの収集による、独居高齢者・災害時要支援者等の把握と活用。近隣7自治会、福祉施設・学校との連絡会による、高齢者支援等についての地域連携の取り組み。（宮前区）
- ・行政等との協働で町会他団体と協議し活動しているが、高齢者と子育て世代、その中間の世代が交流するにはどのような企画が望まれているか、また関心を持ってもらえるかなかなか難しいというのが実感で課題。（多摩区）
- ・高齢者（75歳以上）敬老祝品と、こども小学校1年生に入学祝い品を渡している。当会館にはカラオケがあり歌う会で利用。また、新年会や行事の時利用している。こども会は4歳頃～小学3年生が入っているが4年生頃から習い事が増えてやめてしまう傾向である。（麻生区）
- ・行政の支援を受け介護予防の会を運営、支えて頂きました。月1回2時間大きな声を出しての歌（童謡唱歌）認知症予防体操、社会との情報窓口として健康や栄養に関する講話、悪徳商法に関する情報など高齢者にとっても好評でした。（麻生区）
- ・月1回会館で開催されている町会の自由交流の場（ふれあいサロンのような会）と年に8回程度開催されている福祉教室（住民が関心を持つようテーマ、トピックスに関する講演会や説明会）。（麻生区）
- ・見守りの会の運営。ボランティアとして「見守り支援者」40数名と高齢者、身障者などの「見守りを必要とする人」で構成し、月2回合同定例会（クレームを含む）と「見守ってほしい側の人」からの都度要請に対する支援活動。（麻生区）
- ・一人暮らしに限らず、高齢者が集まり主催者の自宅を開放しての手作りランチや色々お話ししたり簡単な工作作業をしたりで楽しい半日を過ごし、喜ばれています（現在10人くらいの預かり）。（麻生区）
- ・町会の下部組織として「福コミ」を立ち上げた。見守り訪問、カフェ、挨拶運動など実施。町会員個人個人の地域への意識を高めたいがまだまだ。（麻生区）

【こども会等青少年関係】

- ・こども会の行事に役員が積極的に参加すること。若手の信頼を得ることと将来の町会運営の担い手を育てる。(川崎区)
- ・子ども育成会野球部で人員不足につきほかの町会と混成チームを組んで活動している。(幸区)

【イベント・行事関係】

- ・当町内会は会館の前に広場があり、環境的には恵まれた町会で、お祭り、盆踊り、防災訓練、その他色々な行事を実施しています。3年前から年1回単独で実施している祭り・流しそうめんの行事を取り入れ町会の皆さんに好感を持って参加してもらっています。今後も継続する予定です。(川崎区)
- ・町内会館で高齢者にカラオケ、踊りを行い、近隣公園では幼児から中高生、高齢者が集まって楽しい公園にして中高生の犯罪をなくしたいです。(川崎区)
- ・民生委員、町会、老人会が連携し、高齢者の状況把握を強化。食事会の実施。グランドボール大会、カラオケ大会、カローリング大会、清掃活動(公園や道路)、夏祭り、秋祭り、七五三、お焚き上げ(小学校参加)、お囃子教室、初端午など、高齢者も十分参加できる活動を年間通して行っている。(川崎区)
- ・行事などを写真付きで回覧している。(川崎区)
- ・大型マンションと各行事を合同で行っている。・防災訓練、祭礼、元旦など。(幸区)
- ・地域コミュニティの活性化を図るために商店会の協力を得て朝市の開催、また落語会の開催を行いこども会から老人クラブまで参加協力を得ている。(幸区)
- ・若い世代が多いので子どもが喜ぶ祭り、餅つき、ハロウィンなどのイベントで住民の親睦を図っている。今後高齢者が増えるのでシニアクラブを立ち上げたが、役員が少ないため外部活動は対応しない。(幸区)
- ・今は地域住民の親睦と融和のためのバスツアー、盆踊り、お祭り、もちつき、健康麻雀などを実施して対応しているが、下記のようにいずれは立ち行かなくなるような気がする。町内会は任意団体で何の法的援助がない。一方マンションの管理組合は法的に守られている。この矛盾はどうにもならない。もっと平等に町を守る対策を検討してほしい。特に武蔵小杉は高層マンションが連立し、今後管理組合と町内会がどのように取り組んでいいのか全くわからない。(中原区)
- ・パソコン教室(3回/月)初心者向き。ご飯カフェ(2回/月)高齢者向けにお茶とお菓子でコミュニケーション。(中原区)
- ・一町内会の枠から近隣の町内会との連携が必要と考える。防災は中学校との連合。お祭りは近隣神社(関連の近隣町内会の連合組織が実施済み)。また、遊びの面では散歩の会(各所旧跡めぐり)、太極拳(土日祭)を行っているが、当町会の参加者は6割。他の町会4割で仲良く楽しんでいる。餅つき大会も当町会のこどもも7割、他3割の参加でありそれでよしと思っている。(中原区)
- ・1か月に1回会館開放日を設けて住民同士の交流の場として太極拳、麻雀、囲碁、カラオケなど活動しています。(中原区)
- ・①地域活性化のための行事に町会一丸となって取組み、町会員多数が参加している。納涼盆踊り、祭礼、親子運動会等。②町内会の各行事にこども会の役員の積極的な支援を得るようにしている。また、こども会の活動に資金面、資材などで助成し、こども会運営の支援を積極的に行い相互の活動に大きな力となっている。(高津区)
- ・160世帯しかない町会なので少しでも横のつながりを大切に出来ればと年に2回そうめん流しと餅つきの行事をしている。120~130の方が参加してくれているが、集会所がないので決った方のお宅を借りているが、いつまで続けられるのかとは思っている。けれど出来る限り町会の住民の方が楽しく集まれる機会を大事にしたので皆で相談して工夫していきたい。おかげで割合まとまりの有る町会だと思っている。(高津区)
- ・“グランドカフェ”を月2回実施。高齢者を中心に育児中のママにも気軽にお茶を飲みこれる場。毎回10人くらいの来訪が有る。(多摩区)
- ・コミュニティ強化のための催し物、行事の開催(ex.花見、夏祭り、餅つき大会など)。(麻生区)
- ・今期からマンション住人を対象に「いきいきサロン」を行っている。月1回マンション住人との交流を目的にし、一人暮らしの方や子ども連れなど集まれる場所となればよいと考えている、保健師と連携し講座を開いている。(麻生区)
- ・八町会連合盆踊り大会の実施。(麻生区)

【広報関係】

- ・回覧、掲示板などを使用。特に掲示板は文字を大きくしたり、文字に色をつけたりしながら皆が目につくようにしています。会員に質問をうけたときは相手が納得して頂けるよう努力しています。（川崎区）
- ・町内会活動を会員あてに周知する広報紙の毎月発行。（幸区）
- ・広報紙を年2回発行し全世帯に配布。「見出しと写真」を見ただけで町会行事の内容がわかるようレイアウトを工夫したことで、諸行事への参加増に結びついている。・ゴミの山状態だった公園脇のつつじの緑地帯を周辺に四季折々の花を植え花壇活動を続ける中で一変し不法投棄、ポイ捨てが減少した。（中原区）
- ・広報…隔月ニュース発行、HP1回/月更新。防災…1回/月教育・訓練、近隣4町合同訓練3回/年。井戸保有、毎年水道法に基づく水質調査。町会入会案内（リーフレット）。（高津区）
- ・ホームページを7月から立ち上げました。良好な地域コミュニティを作り上げる為には、様々な情報を発信し、お互いに情報を共有することにより、お互いを知り、理解が深まる。町内会への参加意識が高まり、活動への理解と協力が高まると考えています。若い住民に町内会へ参加していただく為にも、ホームページにて情報を発信して行く予定です。（宮前区）
- ・町内会パンフレットの製作（A3裏表）。新規会員の募集用に作成しています。役員（班長）の任期が1年で変わるため町内会活動を新しい人に説明できない。パンフレットをポスティングすることからコンタクトを始めている。（麻生区）

【運営関係】

- ・現役員と新役員をダブらせて運営しています。（幸区）
- ・町会活動に出来る限り出席参加をしていただくため、年初めに役員会議、理事会議、緑道定期清掃などには年間スケジュール表を作成し配布しております。（中原区）
- ・町会、定例役員会に出席しない・出来ない方が多数いるので2グループに分けて資料の回覧制度を設けている。（高津区）
- ・町会員の意見・相談に応じる対応を実施している。（高津区）
- ・対話をするなど組（町内組織）の編成を検討（顔の見える関係）。（高津区）
- ・班長会、役員会を毎月1回集合して同時に時間差で1日で終了させている。毎月2、3回は大変そうだから。（高津区）
- ・会費を出来る限り少なくして会員のご負担を少なくしている（1世帯1ヶ月100円、単身50円）したがって出費が大きくなる事業は避けている。やりすぎても良くないが、やらなすぎるのはよくない。自治会として最小限の義務は果たす。（多摩区）
- ・未加入の人に町会の一年間の行事、行動の記録をほしい人に渡している。（多摩区）
- ・投書箱、用紙を設置して個人の考え、意見を直接伝えるにくいことなどを文章で出して頂き対応できる内容等に関しては出来る限りの範囲で解決している（月に1回収）。（多摩区）
- ・役員の手不足をカバーするために複数班をまとめてブロックとし、各ブロックからブロック長を出してもらい役員業務の一部担当や協力してもらっている。ブロック長は1年交代。（麻生区）
- ・月初めの役員会合で今までの反省や今後の行事、各連絡事項の話し合い予定の発表また、高齢者が多く現在月初め（第一水曜日）に60歳以上の方を対象の会を作り毎月自己紹介、軽い体操、食事と共にお茶とお菓子で雑談を楽しんで頂いています。（麻生区）

【その他】

- ・日常の暮らしの中でちょっとした困りごと、不安に感じていること、そんな悩みを住民同士でお手伝いして支えあう活動「福祉協力員制度」。（川崎区）
- ・向う3軒両隣り、共に仲良く手を取り合って共に助け合っていくこと。（川崎区）
- ・マンション間での情報交換。女性向けのテーブルコーディネイト講座。（幸区）
- ・近隣マンションと年間活動報告。意見交換会。（幸区）
- ・①町会定例理事会を毎月第一土曜日にしました。②こども会、敬老会は他町会と連携しています。③避難所会議では避難所開設を経験した町会長から講演いただきました。④自主防災訓練では終了後、中学校吹奏楽部の演奏をしていただき野菜販売をし、参加者増加につとめました。⑤選挙事務従事者、国勢調査員は揉め事の原因の一つでした。各組織からの選出方法に切り替えトラブルはなくなりました。⑥理事会議長録を毎月作成し、町会は何を活動しているのかを明確にしました。⑦60～65歳の同級生等を掘り起こしました。（中原区）

・昨年9月よりカフェを始めました。ボランティア希望者も参加者も徐々に増え、一人暮らしの老人や町会での知り合いを増やす目的でやっています。初期投資のお金を行政で支援していただくと助かります。私費で始めました。（中原区）

・周辺地域の将来設計への積極的参加。町内が緑地・風致地区にある事からくる制約に対する正当な権利の主張（生活道路の確保、公園管理に対する苦情、緑地と多摩川河川敷のスロープなどによる連絡）（中原区）

・①災害時の避難場所として1次避難所と2次避難所（本部）を設定している。②家族の年齢、連絡先、避難時に弱者となるかいなかななどを記入して頂く防災名簿が有る。③災害時に救助者への助けとなる「無事ですタオル」を全会員へ配布している。④ホームページの公開。⑤鯉が舞うプロジェクト。⑥囲碁将棋麻雀ゴルフ同好会。⑦会員名簿（2019年更新予定）。⑧近隣の町会との連合会として餅つき、納涼祭、忘年会、公園清掃などの交流。（高津区）

・近隣の町会で連合町会を構成。会長会議、役員会、総会を開催し活発に活動。下部組織に連合青年会、連合婦人会、連合こども会もあり地域交流が充実している。意見交換も盛ん。（高津区）

・ルールを守らないこと（特に不法投棄・小物金属）ゴミ出しがうまく出来ていない時はすぐに回覧し意識してもらう。（高津区）

・地元小学校との交流を通し、生徒と町内会メンバーの顔を知り、安全安心の確保。1年生に対する昔遊びの伝授（老人会とのコミュニケーション）。2年生に対する、さつまいもの種植えから収穫迄を支援し、一緒にイモパーティ。（宮前区）

・高齢者おしゃべりカフェとその他。高齢者医療・買物、バス路線への繋ぎ、その他独自コミュニティバスの運行（月・水・金、8:30～16:00。14本団地周辺活動しています）。（宮前区）

・他自治会との連携は、夏祭り（盆踊り）、運動会、子ども会行事、防災訓練（学校区）。（宮前区）

・①震災等に備え、専門家による防災研修会、消化ホース放水訓練、出張防水講話。②一人暮らしの高齢者訪問。（認知症）カフェの開設、近隣3自治会・区役所と共催で認知症予防講座。③他自治会にまたがる道路の速度制限規制について、3自治会・3教育機関の連名で宮前警察署長に要望書を提出。（宮前区）

・3年前に空き家調査を実施。結果11軒あり、緊急連絡先を確認し早急に対処するよう要望。今後のあり方を話し対処しました。（多摩区）

・当該町会のこれからの考える会（仮称）を発足し少子高齢化時代の変化に対応した町会のあり方を検討していく予定。（多摩区）

・連合町会の運動会や夜警などの事業の際には近隣の小さな世帯の会長と連絡を取り3町会合同で参加をしている。事業終了時には親睦会を行っています。（多摩区）

・助け合いのお礼に地域通貨「たま」を使っている。毎月の掃除に50たま、役員・班長会議に100たまを差し上げている。その「たま」は自治会費の1か月分として自治会が主催するイベントの費用として使用できる。効果として①支え合いが醸成してきた。②全てに対して参加者が増えた。③子どもから大人まで顔見知りが増え明るくなった感じがする。（多摩区）

・町会加入に対する対応に関して、班長と役員とで加入依頼に訪問している。町内会13班の班編成の中で隣組的な組織を作り安否確認をしている。（多摩区）

・私の自治会は16箇所の階段があり、その階段から1人ずつ役員（理事担当）が出て1年毎に交代する。1か月に1回役員理事会を開催し、団地内の会員家族の行動を互いの共通情報としている。一ヶ月毎に状況は変化しているので大切だと思っている。また、60歳以上の高齢者に特定のシニアクラブを結成して活動している。その結果として高齢者がいきいきとしているシニアクラブでは毎月1回会食をひらいて会員の無事を確認している。（多摩区）

・①世帯情報収集（収集率92%）で域内の事情把握→子ども世帯アンケート→ニーズ把握（災害時支援ニーズ対応）→一時避難所での子ども保護の仕組みづくり→訓練②季節ごとのイベント→絆作り（花見、子ども花火大会、祭り）。③公園管理（5月つつじ剪定、7月9月定期清掃、9-12月毎日葉っぱはき）。④防災訓練（年2回）。（多摩区）

・高齢者だけでなく全世代型の集まりを今年の4月から始めた。地域見守り支援センター、地域包括、民生委員などが毎回参加し高齢者から子ども達まで楽しんでいる。（麻生区）

・皆で花苗をプランターに植えています。（麻生区）

・近隣の自治会会長に声をかけ、自治会長連絡会を立ち上げ、さまざまな問題について協議している。（麻生区）

《5 調査項目3》

【調査項目3】その他、町内会・自治会と行政のあり方について（自由記載）抜粋

【加入促進・啓発関係】

- ・町会参加について住民に対する宣伝を活発化して頂きたい。特に若手男性の参加が見込まれるような行事の運営などご教示願いたい。（川崎区）
- ・住民は町内会と行政が一体と考えている。何か問題があると町内会へ問い合わせることが多い。会員組織である事を説明しても理解してくれない。行政から町内会を通じた連絡が多いためと思われる。行政は住民は必ず町内会に加入する手続きを取ってほしい。（川崎区）
- ・会員数の減少による町内会自体の存続に危機感があるため、転入者に行政から加入アピールしてほしい。（川崎区）
- ・戸建・集合住宅を問わず建築申請を受理する部署の方にお願ひしますが、申請者に町会加入の必要性を強く要求してください。出来れば認可条件の中に町会加入を入れてほしい。（幸区）
- ・賃貸居住者を含め、その地域に住む世帯は町内会・自治会に必ず加入させる施策が必要。（中原区）

【行政依頼全般】

- ・役員の高齢化、役員の成り手がいない、町会に入会しにくいために町会費の減少。この先町会が成り立っていかなくなるのではと心配しています。その割には町会に対して行政などより依頼される案件が多い。このことを行政はどのように考えているのか。（川崎区）
- ・町内会・行政は互いに協力し合う必要はあります（絶対に）。ですが、近年は町会役員がどこでも高齢化しております（若い人は仕事を理由に成り手がいない）。行政から依頼があると高齢の役員にばかり負担がかかります。軽減できることがあったら行政の方でやっていただけたらと思ひますが…。（多摩区）
- ・武蔵野市は自治会がありません。自治会を前提としない住民サービスを行っている全国で唯一の都市です。ノウハウを一度参考してみてください。自治会に入っている人は当地区で約60%です。40%もの住民が入っていない状況で様々な仕事が自治会を通して行われているのは住民の負担を考えると公平ではないと思ひます。自治会を通さずに出来ることもあると思ひますので。行政が直接責任を持ってやるべきことはやっていただけたら幸いです。たとえばポスターの掲示や広報紙や選挙公報の配布、ごみ収集に関すること、国勢調査、公園の清掃などです。班長や役員、会長の負担が重いため自治会を抜ける人がいます。来年度の会長も決まらず解散・休会も検討しています。行政から下りてくる仕事は最小限にしたいです。また拒否する自由もあつてしかるべきだと思ひます。※国勢調査は臨時の公務員を雇ったらいかがでしょうか。※道路や公園などの公共の場所の清掃・維持管理にもっと予算を増やしてください。人員も必要です。（多摩区）

【個人情報関連】

- ・個人情報保護法、マンションのセキュリティの問題があり、隣に誰が何歳くらいの人が住んでいるのかなど、町内会としていざいざいときに必要な情報が得られない。このことを行政から情報を出せないか。大震災などが起きた時に問題になると思ひます。マンションなどが入会しないことも多くそのような時に支援の対象からもれるのではないかと。（高津区）
- ・今後高齢者対応に立ち入ると個人情報保護が大きな障害となる。町内会レベルでの対応は難しいことであり、役所サイドでの立ち位置を変えていかないと前進的な体制を作れないのでは。（多摩区）

【資金支援関連】

- ・行政は町内会のことが良く理解できていない。時給または金銭の支払いを願ひます。依頼推薦人は無給では働いてくれません。（川崎区）
- ・町会で若い人を行事などに参加していただくため、また当町会でも紹介をしたくホームページを始めようと動き始めています。とにかく資金が足りず行政で負担を援助して頂けたら嬉しいです。画期的な取り組みになるのではと思ひています。（中原区）
- ・高額な防災機器などの購入や研修などには大勢の方を参加させたいが、予算がありません。世帯数に応じた補助金の配分をお願いします。（多摩区）
- ・若い人達にも地域内の繋がりや楽しさ、大切さを感じてもらうため町会主催のイベントに助成金をお願いしたい。ただし、芋掘会など物を獲得するような活動には助成不可とすべきと考えます。（麻生区）

【既存の制度関連】

・ 1、地域包括システムの具体的実施目標と対策が見えない。2、民生委員の負担を軽減し、行政での業務へ移行してほしい（高齢者増加）。（川崎区）

・ 現在要援護者の同意を得ない限り外に名簿情報を提供できない。個人情報など難しい面はあるが、要援護者こそ避難方法を想定し防災訓練の折などに名簿を活用できるように行政で検討してほしい。（中原区）

・ 町内会・自治会でのケアシステム（繋がる・連携する）意識には温度差があります。行政がバックアップし、共に進めて行くことが大切だと思います。行政はその地域に合った特性を活かしながら連携作業を誘致していただければ有り難いです。（宮前区）

・ 地域包括ケアシステムの構築は各地域の特性などによって取り組み方は違って来る。ただ、取り組んでほしいかどうか掛け声だけでは進まない。当自治会は91世帯の小さな規模のため色々取り組みたいが財政難である。せめて1戸あたり1000円/年間助成金を出してほしい。（多摩区）

・ 災害時の要介護者の申請を行政は引き受け、実際は自治会に委ねられているが、当自治会は実際にそのような時に援助できる人手や人材もないので実行力のない自治会には引き受けをしないでいただきたい。依頼者は災害時に援助して頂けるとほとんどの人が思っている。自治会としては委ねられているが援助は出来ないと申し伝えている。（麻生区）

・ 町内会館の耐震診断を自主的に行った。S61年以降の建物でも現在の基準でよいとして出なかったのが耐震工事をすることにした。会館は災害時の拠点として重要であるので、自主的にリニューアル工事を合わせてやるとしたが、今の市の補助基準では十分な補助が受けられない。建築年数で区切った補助基準ではこういうこともおきます。自助、共助と言いつつ地域の拠点が潰れてしまっただうにもならないと思いませんか？（麻生区）

【他団体関連】

・ 社協、町連の親睦の場を作っていただきたいと思います。例えばスポーツ大会（ボーリング大会、ソフトボール大会）などで汗をかいて昼食弁当を食べ交流することも大切だと思います。（川崎区）

・ 区内に警察署、消防署が2ヶ所ずつあり、それぞれ地域割が異なっております。それによって我々地区連合町内会において町内会ごとに管轄範囲がバラバラになっている。非常に活動しにくさを感じております。今後も協働のパートナーと認識しているのならば両署の地域割りについて真剣に考えていただきたいです。（川崎区）

・ 区社協と地区社協の機関紙は「各戸配布」からお届け作業軽減に向けて「回覧」へ改める。高齢化、人手不足の社会情勢下、ご近所支えあい事業の支えあいの多面化を図ることを町内会連合会と社会福祉協会の密なる情報交換が支援の柱になることを望む。（幸区）

・ 地区社会福祉協議会の役割があるのだろうが、本来目的でない運営に費やしていると感じる。（中原区）

【マンション関連】

・ マンションができてから今年でちょうど10年。自治会が発足してから7年。管理組合との力関係に問題が多い。新規マンション販売会社には任意と言えども管理組合と自治会はペア・同時発足が好ましいです（行政指導を）。私のマンション防災訓練（これは全戸対象でやるべきで自治会会長＝自主防会長ではこんな形になるのです）はそんな自治会の仕事と言って管理組合は知らん！です（幸区）

・ 現状、町内会役員の成り手が大幅に不足、役員の高齢化が進んでおり、このままでは存続が難しい。若い方は現役で参加難しく、意見や要望は出してくれるが、ボランティア的労力の提供には消極的な方が多い。この傾向は今後益々進むと思われ、特に高層マンションについては管理組合を自立させて自治会組織を促進させる指導を強化し積極的に地域に参加する方向を行政として指導することを望む。（中原区）

・ マンション自治会は管理組合とは仕事内容が重複することが多い。管理組合として行政との連携を強化して欲しい。（川崎区）

【町内会・自治会統廃合】

・ 高齢社会に伴い近隣町会・自治会の統廃合をして体制改革をしていきたい。（多摩区）

・ 小中学校にクラス替えがある様に、町会エリアも適度の再編をして限界集落化して活力の落ちている町会、世帯数の大小の是正などを図ると助成金の多寡など町会格差が少なくなるのでは。人材確保にも広域化は一つの望みの鍵となると思います。（多摩区）

【行政への意見・要望】

- ・行政との関係において、窓口を統一してほしい（一本化）。現在、地域振興課が中心となっているようであるが、多くの部署から通知などが届いている状況である。窓口は一本にした方が行政と町内会・自治会の関係が密になると考える。（川崎区）
- ・行政の担当者が1～2年で変わるケースがあり対応が違う場合がある。（中原区）
- ・①年に1回でいいから町会理事会に区役所職員が出席してください。コミュニケーションが取れます。②上記でスライドプロジェクターなどを貸し出し使用して説明するともっといい。③掲示板は公費で半額負担願います。ほとんどが行政によるものです。④土曜日・日曜日・夜間の開催にした方がいい。幅広い人材が集まります。（中原区）
- ・町会に協力してもらいたいなら、たまには出向いて説明をしてくれてもいいのではないのでしょうか。いつも呼び出されるばかりなのは一体？各町会とはいいません。ある程度でまとまった地区町連くらいへは。（中原区）
- ・行政の方が町会・自治会のイベントに出向き、生の姿を見てアドバイスをいただけると良いと思う（行政の負担が増大してしまうけれど）。（高津区）
- ・役所内での連携が取れていないことが多い。（高津区）
- ・町内会から行政への手続きや相談などを一元的に扱うところがほしい。役所毎に立場があるので難しいかもしれないが町会の申請には規則に捕われず、柔軟な対応がほしい（防災用具の設置）。（高津区）
- ・行政等のスタッフの人事異動を考えると良好な人間関係になっても交代するとまた、新人を初めから教えるようになる。異動のサイクルを少し長くしてほしい。特に窓口にはベテランの方、年齢的には高齢者でもいいから考えてくれるとありがたいです。（多摩区）
- ・区の行政とは、コミュニケーションがよくとれるが、市の役所は他人事のような態度や言葉を言われる方がいて、嫌な気持ち・悲しいと思えた。改善をお願いします。（宮前区）

【その他】

- ・ここ数年で居住地が毎年急速に変化してきている。毎回行政とも話し合いはしておりますが、若者の一人住まいが多くなり、しかも定住ではなく1～2年で変わる地域では一般的町内会と同じようなことでは成り立たないので、行政としてもこのような地区の考えも研究する必要があるのではないかと思います。私は何年も前より区役所には話しをしているのですが未だに変わりはありません。（川崎区）
- ・市長の車座集会の開催を考えれば、それぞれの担当窓口の職員の方々はそれを見習うべきではないでしょうか。逃げず、ためらわず、積極的に。特に防災、福祉、防犯、防火、生活環境など。民生委員、児童委員の適格要件の文章は検討すべきと考えます。依頼すべき人に「者」呼ばわりはないと思います。敬称を使うべき。（川崎区）
- ・母親クラブが消滅し、こども会が事実上機能しなくなり、今度は近い将来町内会の存続が危ぶまれてくるのは時間の問題であります。一刻も早く対策を建てなければなりません。町内会だけでは無理であり、区市で考えていかなければなりません。（川崎区）
- ・特にありませんが、町内会、行政ともに離れず寄り過ぎずの状態が良いと思う。要求ばかり強くていけない。それぞれの立場を考えて協働することが必要。（川崎区）
- ・町会役員への成り手不足。非会員の無関心など教育的援助。（川崎区）
- ・他団体のようにある種の活動に特化しているものではなく地域コミュニティの雄として全方向型の活動をしている町内会・自治会は行政と連携し日常生活に多く関わり、地域包括ケアシステムの主要な役割を担う組織として、その地域に住まうものは全て入会することの必要性を訴えていただきたい。しかし会長になったら態度が大きくなる人や町内会・自治会側の運営のあり方も問われますが・・・。（幸区）
- ・”協働”の新しいあり方、仕組みづくりに市が取り組んでおり「小さな単位」での組織・仕組みの構築を是非実現してほしい。区民会議に2期参加したがテーマのマンネリ化やメンバー（一部）の力不足から物足りない結果に終わっており改革のメスを入れ、再生を図ってほしい。（幸区）
- ・284世帯の自治会であり自治会の区分としては小さく町内会同様の負担を求められることに無理がある。自治会でまとまって対応するなどの枠組みの作り直しも必要だと思います。市としても考慮してもらえるようお願いします。（幸区）

・住民（子ども、老人）に役に立たねば自治会役員の負担は不可。役所の成果作りの協力は迷惑。役所は自治会の要望に正直に出来ること出来ないことを答えてください。門前払いする対応の役所であれば協力負担も出来ない。役所や相談に乗ってくれる窓口と内容を広げるべき。（幸区）

・どの町内会も同じと考えられますが、高齢化に伴い益々成り手がなくなる。若い方は生活のための仕事で成り手にはならない。アパート、賃貸マンションの方々には町内会に加入されず協力もされない。その反面盆踊り、お祭り等には子どもたちが参加してくるため断れない。数少ない高齢者の負担は益々重荷となっていく。いずれはどうなるのか、町会のあり方が崩壊していくのではないかと憂慮される。町内会と管理組合、そして行政のあり方を根本から見直して欲しい。行政だけの問題ではないと思う。（中原区）

・①当地区においては都市化と少子高齢化が進み、従来の町内会活動の継続は限界に来ている。組織を大幅に縮小し、隣組程度の町会にすべきだと感ずる、市・区が主催するイベントに参加できる体力がないのが現状である。②自治法により町会の加入は任意である。行政の出先機関ではない。③小規模マンションの住人は町会には無関心（チェーン店も）。④市区の重要なパートナーとして業務遂行困難となっている、従来と大きく変わった。⑤自治会の役員の高齢化、固定化（役員の成り手がいない、関心がない）に伴い「自治会」の維持が難しくなっている。⑥高齢化が進む中、広域町内の要支援者に対するケアが要員不足で行き届かない。⑦行政からの通達やセミナーなどは一方的である、今多くの町会が抱えている多くの問題を取り上げた広報やセミナーなどの開催を希望する。⑧このたびのアンケート集計結果を公開し、更に行政の改善計画を伺いたい。⑨町会役員の負担になっている広報紙などの配布については、以前市議会で取り上げられていたが、その後の進展が見られない、この機会に改善がなされることを強く要望する。（中原区）

・役所内で仕事の奪い合いやっているように思える。もっともっと効率化しなければ町会にそっぽ向かれるのでは…。町会長同士の話でこの会合には出るが、この会合には出ない。の話しが出ている。区民祭は必要なのか？それよりも自分の町内会を大切にしたい。小学生の登下校の見守り、礼儀挨拶を厳しく町内会で教えたい。（中原区）

・会議での決定事項で地域性のあるものについては町内会議の場で説明などの開催を希望いたします。（中原区）

・行政として言うて欲しくないこと。数年前民生委員の方が行政に我々の地位はどのくらいですかと聞いたら区長クラスですとの回答があり、それ以来民生委員の中で広まり、町会の行事に我々町会長より上だからと言って清掃活動などのいわゆる汚れ活動には協力しなくなりましたので、行政の方は言動に気を付けていただきたいです。（中原区）

・行政からの情報を得てから町会が活動ができます。（中原区）

・今後町内会運営は成り立たなくなると思う。区や市も頼らない方法を考えていくようにする方法も考えるようにした方がいい。（中原区）

・「行政も町内会も頑張っている、それに多くの人が少しずつ力を貸そう」というPRを国を挙げて継続的にやってほしい。（高津区）

・行政の下請けという感じが否めない。住民から行政に寄せられた細かな苦情を町内会に振ってくることもあるので困ることがある。（高津区）

・負担軽減策など必要ないと考える。それよりも町会・自治会のパワーが強くなればよりしっかりした街づくりが出来る。そのために町会・自治会と行政の連携をすることが重要だ。いかに町会・自治会がパワーアップできるようにするためのプロジェクトを各区毎に設置して検討してください。（高津区）

・町内会などは行政の下請けではないということを理解して頂ければ幸いです。（高津区）

・行政から町内会への依頼事項をなくした上で対等な関係で地域課題の解決に当たるべきと思います。旧態依然で時代に合わない活動をしている町内会もあり、地域住民の福祉の向上のため、何が出来るかを考えるなど町内会側の努力ももっと必要かと思えます。（高津区）

・アンケートで表現しきれない部分があります。一度個別に問題点など対話の機会を個別に持ってほしい。（高津区）

・町会と行政がもっと密な連携を取れる体制が必要である。（高津区）

・現在、自治会館は自治会の負担で設置していますが、土地借地のため、複数の近隣の自治会が共同で使用できる市の公園の一部に会館を設置してもらいたい。公園法で出来ない聞いていますが、この辺を検討してもらいたい。（高津区）

・このようなアンケートで町会運営の実質を知って頂けることはありがたいです。全ては記せませんが、文面以外の方式でも現場を知っていただけたらと希望いたします。（高津区）

・自治会は世界的には日本だけの珍しい団体で、行政は頼り過ぎだと思っています。自治会に代わって行政が行えば膨大なコストがかかります。例えば、ゴミ集積所は自治会で維持していますが、個人宅に収集することになれば、10倍程度行政のコスト増になると思います。一方、自治会は会員の高齢化に加え、現役世代も専業主婦が減るなどの担い手不足もあり、自治会の存続自体が近い将来は危ういと感じています。（宮前区）

・高齢者訪問、認知症カフェなどは行政のほうでなるべくやっていただきたい。町内会は会員の加入率を高めるために地域の一体感、魅力作り、連携などなどにまずは力を集中していきたい。（多摩区）

・町会・自治会がなくなったらどうなるのだろうか？担い手不足、後継者不足は周辺でも問題になっている深刻な問題だ。特に都市部は何においても無関心な人が多い。マンションの住人はほとんどが挨拶を交わさない状況を良く見受けられる。他人とあまり交わりたくないという意識が強い。これは選挙での無党派層が圧倒的に多いのと軌を一にする社会問題である。このような中で、安全・安心。住みやすい町づくりに微力を尽くしてくれている町会・自治会は虚しい感じを持つ。単に「町会に入ろう！」などのスローガンでは人は動かない。現状の町会活動には不十分な点、不満などもあると思われるが担い手が多くなれば（40代、50代、60代もっと若くても）活動内容はもっとアクティブになると思う。このような問題意識を持っていない、または克服している町会もあると思うが、やはり今後同じような問題が発生するのではないか。私の町会の問題であり愚考であります。（多摩区）

・町内会と行政の関係は他国にない綿密で丁寧なものだと思います。ただ、現実に皆の喜びや幸せに寄与しているかという微妙です。一人よがりにならず市民の声を聞いて頑張ってください。（多摩区）

・行政の職員も地元に戻ればいい悪いは別にして町会・自治会の会員となりそれなりに専門的な件で知恵を出してくれていると思うので、協力してもらえれば幸いです。行政の下請け機関ではないという役員・町内会・自治会が増えてきているし、また色んな点で行政から町内会任せが増えているのでこれ以上増えたら新しい方々は割り切り方が早いので自分のためにならないものは捨てていくと思う。困るのは住民です。この点はこれから対応していく方法が大事。要は行政と町会・自治会が4分割の力配分で良いと思う。（多摩区）

・当自治会は任期が1年で会長と会計が班長を兼務する体制をとっているが、正直一昔前と違い今は子育てしながら共働きの世帯が多く、順番で役員を受けないといけない状況で精神的にも負担が多すぎます。現在のように行政が自治会にさまざまな事柄を求めるのであれば、回覧物を月1回にまとめるとか、アンケートなどはネットでも回答できるようにするなどもっと時代に見合ったものにしていかないと自治会制度は成り立たないと思う。いつまでも昔のやり方ではダメです。会議も出席しても意義を感じられないものが多い。自治会への依存度が高いとは決して思いませんが、やり方に問題があり負担を感じているのだと思います。（多摩区）

・大きな自治会と小さな自治会では分けて考えたほうがいいのか？（多摩区）

・行政が先行し行動を取らないほうが良いと思う。防災、高齢者対策など住民が甘えてしまっているように思う。（多摩区）

・①ケアシステム・・・子ども（アンケートによるニーズ把握の結果、平時のケア不要。有事対応システムのみ実施）。②後継者（役員、協力者）の発見。任命については順番ではダメで適任者の発見が課題。会合を持つことでコミュニケーションを多く取る必要あり。コミュニケーションの場所がない。小規模自治会では会館をもてない。支援策を乞う。（多摩区）

・勤める人の年齢が上がっており、女性の就労も増えている。そのため、地域活動ができる年齢も上がることとなっている。元気で働ける人が地域活動に回ってこない。夜とか休日の活動ができる体制（行政も）がほしい。（多摩区）

・町内会、自治会の地域社会における在立価値が、地域住民に深く認識される方向性を持ちたい。少子化、高齢化、個人情報、都市の心的不安定化を緩和するために行政との双方のコミュニケーションを深めてまいりたい。（麻生区）

・近隣市町との接触できるよう行政の指導でエリアマネジメントをすすめていけることを希望したい。（麻生区）

・新任町会長、自治会長に対する研修を充実させて、行政からの町会・自治会に対する期待・要望と町会自治会に属した際の会員のメリットを会長に納得してもらえれば、以降の活動がもっとスムーズになると考えます。また、特色有る町会活動事例集でもまとめればいい活動指針になると思います。（麻生区）

単純集計表

区							
調査数	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
493	83	52	59	85	53	78	83
100.0%	16.8%	10.5%	12.0%	17.2%	10.8%	15.8%	16.8%

世帯数							
調査数	～50世帯	～100世帯	～500世帯	～1,000世帯	～1,500世帯	～2,000世帯	2,000世帯超～
493	40	37	167	132	61	24	32
100.0%	8.1%	7.5%	33.9%	26.8%	12.4%	4.9%	6.5%

会長歴							
調査数	～1年	～2年	～5年	～10年	～15年	～25年	25年超～
493	200	41	93	93	34	19	13
100.0%	40.6%	8.3%	18.9%	18.9%	6.9%	3.9%	2.6%

会長の年齢					
調査数	60歳未満	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
493	51	126	237	64	15
100.0%	10.3%	25.6%	48.1%	13.0%	3.0%

性別			
調査数	男	女	無回答
493	437	51	5
100.0%	88.6%	10.3%	1.0%

会長の職業						
調査数	会社員	自営業	公務員	無職	その他	無回答
493	82	110	4	220	63	14
100.0%	16.6%	22.3%	0.8%	44.6%	12.8%	2.8%

(1)行政の町内会への依存度						
調査数	① 頼りすぎ	② やや頼りすぎ	③ ちょうどよい	④ もう少し頼って良い	⑤ もっと頼るべき	無回答
493	61	247	140	7	-	38
100.0%	12.4%	50.1%	28.4%	1.4%	-	7.7%

(2)1月あたりの行政等からのチラシ等の回覧依頼件数							
調査数	ア 1件以下	イ 2~5件	ウ 6~10件	エ 11~15件	オ 16~20件	カ 21件~	無回答
493	9	164	185	90	24	12	9
100.0%	1.8%	33.3%	37.5%	18.3%	4.9%	2.4%	1.8%

(3)1月あたりの行政等からのポスター等掲示依頼件数							
調査数	ア 1件以下	イ 2~5件	ウ 6~10件	エ 11~15件	オ 16~20件	カ 21件~	無回答
493	42	332	88	18	5	3	5
100.0%	8.5%	67.3%	17.8%	3.7%	1.0%	0.6%	1.0%

(4)チラシ等の回覧以来とポスター等掲示依頼の負担					
調査数	ア 回覧依頼が負担	イ 掲示依頼が負担	ウ どちらも負担	エ どちらも負担ではない	無回答
493	100	70	151	156	16
100.0%	20.3%	14.2%	30.6%	31.6%	3.2%

(5)チラシ等の回覧以来とポスター等掲示依頼を負担に感じる点									
調査数	ア 仕分け作業	イ 届く日が不統一	ウ チラシ等のサイズが不統一	エ 掲示板の補修費がかかる	オ 自分達の掲示スペースがなくなる	カ チラシ等の内容に関心を持っていない物が多い	キ チラシ等の内容が分かりにくい物が多い	ク その他	無回答
321	156	193	133	36	103	112	26	64	-
100.0%	48.6%	60.1%	41.4%	11.2%	32.1%	34.9%	8.1%	19.9%	-

(6)効果的な回覧や掲示依頼に対する負担軽減策					
調査数	ア 月1回にまとめて配達	イ 依頼件数の抑制	ウ 回覧か掲示依頼どちらかの禁止	エ その他	無回答
493	245	227	35	71	35
100.0%	49.7%	46.0%	7.1%	14.4%	7.1%

(7)1月あたりの会長に対する会議等への出席依頼件数							
調査数	ア 1回以下	イ 2~5回	ウ 6~10回	エ 11~15回	オ 16~20回	カ 21回~	無回答
493	43	314	101	19	5	3	8
100.0%	8.7%	63.7%	20.5%	3.9%	1.0%	0.6%	1.6%

(8)会長に対する会議等への出席依頼を負担に感じる点									
調査数	ア 往復に交通費がかかるが交通費・謝礼等が出ない	イ 拘束時間が長い	ウ 回数が多い	エ 昼間開催には出席できない	オ 専門用語が多く会議の中身が分かりにくい	カ 出席する意義を感じられない	キ その他	ク 特に負担は感じない	無回答
493	73	53	216	130	15	92	70	77	28
100.0%	14.8%	10.8%	43.8%	26.4%	3.0%	18.7%	14.2%	15.6%	5.7%

(9)各種委員の推薦依頼について負担に感じる点							
調査数	ア 会員への説明	イ 成り手が見つからない	ウ 推薦書類等が煩雑	エ それぞれの推薦時期や手続きが異なり手間がかかる	オ その他	カ 特に負担は感じない	無回答
493	83	415	62	128	46	18	19
100.0%	16.8%	84.2%	12.6%	26.0%	9.3%	3.7%	3.9%

(10)その他の行政と関わりある活動等を負担に感じる点									
調査数	ア 市政だよりや選挙公報等の配布	イ 選挙の投票事務	ウ イベントへの参加動員	エ 募金のお願い	オ 住民意思・意見の取りまとめ	カ 防災活動	キ 防犯・防火活動	ク 交通安全活動	ケ 美化・清掃・公園の維持管理活動
493	126	108	227	184	109	73	43	40	100
100.0%	25.6%	21.9%	46.0%	37.3%	22.1%	14.8%	8.7%	8.1%	20.3%

(10)その他の行政と関わりある活動等を負担に感じる点						
調査数	コ 資源回収・リサイクル活動	サ 高齢者・障がい者交流、支援活動	シ 子育て支援活動	ス こども・青少年交流、支援活動	セ その他	無回答
493	40	104	32	48	50	38
100.0%	8.1%	21.1%	6.5%	9.7%	10.1%	7.7%

(11)負担が大きいと感じる事業等の継続意思				
調査数	ア 継続していく	イ 改善してほしい	ウ 拒否したい	無回答
493	292	148	21	32
100.0%	59.2%	30.0%	4.3%	6.5%

(12)負担が大きいと感じる事業を継続する理由						
調査数	ア 社会的に必要なだと感じているため	イ 謝礼等が大切な収入源になっているため	ウ 行政との関係が大切だと思うため	エ 責任があるため	オ その他	無回答
292	228	43	155	94	11	2
100.0%	78.1%	14.7%	53.1%	32.2%	3.8%	0.7%

(1)①自分の町内会・自治会単独で活動している									
調査数	A 防災活動(訓練・備蓄)	B 防犯・防火活動	C 交通安全活動	D 美化・清掃活動・公園の維持管理	E 資源回収・リサイクル	F 高齢者・障がい者交流、支援活動	G 子育て支援活動(パパママ世代支援)	H 子ども会等青少年交流、支援活動	I お祭り等親睦を深めるイベント
493	277	346	220	412	336	229	90	224	310
100.0%	56.2%	70.2%	44.6%	83.6%	68.2%	46.5%	18.3%	45.4%	62.9%

(1)①自分の町内会・自治会単独で活動している	
調査数	無回答
493	39
100.0%	7.9%

(1)②近隣の町内会・自治会と連携して活動している									
調査数	A 防災活動(訓練・備蓄)	B 防犯・防火活動	C 交通安全活動	D 美化・清掃活動・公園の維持管理	E 資源回収・リサイクル	F 高齢者・障がい者交流、支援活動	G 子育て支援活動(パパママ世代支援)	H 子ども会等青少年交流、支援活動	I お祭り等親睦を深めるイベント
493 100.0%	230 46.7%	77 15.6%	85 17.2%	63 12.8%	27 5.5%	75 15.2%	56 11.4%	88 17.8%	147 29.8%

(1)②近隣の町内会・自治会と連携して活動している	
調査数	無回答
493 100.0%	173 35.1%

(1)③現在の活動を今後さらに力を入れたい									
調査数	A 防災活動(訓練・備蓄)	B 防犯・防火活動	C 交通安全活動	D 美化・清掃活動・公園の維持管理	E 資源回収・リサイクル	F 高齢者・障がい者交流、支援活動	G 子育て支援活動(パパママ世代支援)	H 子ども会等青少年交流、支援活動	I お祭り等親睦を深めるイベント
493 100.0%	162 32.9%	98 19.9%	52 10.5%	88 17.8%	78 15.8%	75 15.2%	27 5.5%	60 12.2%	107 21.7%

(1)③現在の活動を今後さらに力を入れたい	
調査数	無回答
493 100.0%	288 58.4%

(1)④A 防災活動(訓練・備蓄)							
調査数	ア 費用	イ 担い手(スタッフ)	ウ 参加者	エ 知識、手法、経験(ノウハウ)	オ 場所	カ その他	無回答
493 100.0%	70 14.2%	163 33.1%	158 32.0%	65 13.2%	32 6.5%	2 0.4%	242 49.1%

(1)④B 防犯・防火活動							
調査数	ア 費用	イ 担い手(スタッフ)	ウ 参加者	エ 知識、手法、経験(ノウハウ)	オ 場所	カ その他	無回答
493 100.0%	27 5.5%	133 27.0%	107 21.7%	32 6.5%	3 0.6%	-	298 60.4%

(1)④C 交通安全活動							
調査数	ア 費用	イ 担い手(スタッフ)	ウ 参加者	エ 知識、手法、経験(ノウハウ)	オ 場所	カ その他	無回答
493 100.0%	12 2.4%	94 19.1%	53 10.8%	15 3.0%	3 0.6%	1 0.2%	369 74.8%

(1)④D 美化・清掃活動・公園の維持管理

調査数	ア 費用	イ 担い手 (スタッフ)	ウ 参加者	エ 知識、 手法、経験 (ノウハウ)	オ 場所	カ その他	無回答
493	35	104	124	15	3	-	306
100.0%	7.1%	21.1%	25.2%	3.0%	0.6%	-	62.1%

(1)④E 資源回収・リサイクル

調査数	ア 費用	イ 担い手 (スタッフ)	ウ 参加者	エ 知識、 手法、経験 (ノウハウ)	オ 場所	カ その他	無回答
493	11	58	25	14	11	3	407
100.0%	2.2%	11.8%	5.1%	2.8%	2.2%	0.6%	82.6%

(1)④F 高齢者・障がい者交流、支援活動

調査数	ア 費用	イ 担い手 (スタッフ)	ウ 参加者	エ 知識、 手法、経験 (ノウハウ)	オ 場所	カ その他	無回答
493	28	116	34	54	12	2	333
100.0%	5.7%	23.5%	6.9%	11.0%	2.4%	0.4%	67.5%

(1)④G 子育て支援活動(パパママ世代支援)

調査数	ア 費用	イ 担い手 (スタッフ)	ウ 参加者	エ 知識、 手法、経験 (ノウハウ)	オ 場所	カ その他	無回答
493	13	72	29	41	8	2	392
100.0%	2.6%	14.6%	5.9%	8.3%	1.6%	0.4%	79.5%

(1)④H 子ども会等青少年交流、支援活動

調査数	ア 費用	イ 担い手 (スタッフ)	ウ 参加者	エ 知識、 手法、経験 (ノウハウ)	オ 場所	カ その他	無回答
493	27	104	66	17	7	1	354
100.0%	5.5%	21.1%	13.4%	3.4%	1.4%	0.2%	71.8%

(1)④I お祭り等親睦を深めるイベント

調査数	ア 費用	イ 担い手 (スタッフ)	ウ 参加者	エ 知識、 手法、経験 (ノウハウ)	オ 場所	カ その他	無回答
493	92	153	94	21	30	3	292
100.0%	18.7%	31.0%	19.1%	4.3%	6.1%	0.6%	59.2%

(2)今後縮小又は廃止(休止)したい活動

調査数	ア ない	イ ある	無回答
493	326	65	102
100.0%	66.1%	13.2%	20.7%

(3)今後具体的に新たに始めたい活動

調査数	ア ない	イ ある	無回答
493	267	118	108
100.0%	54.2%	23.9%	21.9%

(4)その他町内会・自治会運営での問題									
調査数	ア 新規加入者が少ない	イ イベント参加者が少ない	ウ 辞める人が増えている	エ 加入率の低下	オ 役員の固定化	カ 役員の高齢化	キ 資金不足	ク 会費が集めにくい	ケ 活動場所の不足
493	171	176	66	130	186	345	57	46	36
100.0%	34.7%	35.7%	13.4%	26.4%	37.7%	70.0%	11.6%	9.3%	7.3%

(4)その他町内会・自治会運営での問題									
調査数	コ 個人情報保護への対応	サ 市からの依頼事務の増加	シ 地域のつながりの希薄化	ス マンション住人が会員とならない	セ 役員が短期間で交代する	ソ 町内会内で賛同を得にくい	タ ルールを守らない人の増加	チ その他	無回答
493	136	115	171	133	98	22	84	76	33
100.0%	27.6%	23.3%	34.7%	27.0%	19.9%	4.5%	17.0%	15.4%	6.7%

(1)行政からの町内会・自治会への支援						
調査数	① 足りない	② やや足りない	③ ちょうどよい	④ 足りている	⑤ 充分足りている	無回答
493	74	159	144	37	6	73
100.0%	15.0%	32.3%	29.2%	7.5%	1.2%	14.8%

(2)町内会・自治会への支援の手法や主体									
調査数	ア 資金支援	イ 相談体制の強化	ウ 専門知識を持った人材による運営支援	エ 加入促進に関する協力	オ 他団体への橋渡し	カ 新任の会長に対する研修	キ 他団体と連携できるイベントの実施	ク 特にない	ケ その他
493	162	121	131	171	35	55	48	69	19
100.0%	32.9%	24.5%	26.6%	34.7%	7.1%	11.2%	9.7%	14.0%	3.9%

(2)町内会・自治会への支援の手法や主体	
調査数	無回答
493	47
100.0%	9.5%

(1)防災や環境の観点から会館に導入したい設備				
調査数	ア 太陽光発電設備(太陽光パネル)	イ 蓄電池(太陽光発電設備で発電した電気をため、夜間や災害時に活用できるもの)	ウ 特に考えていない	無回答
493	66	97	197	184
100.0%	13.4%	19.7%	40.0%	37.3%

(2)設備を導入したい理由					
調査数	ア 電気代が削減できるから	イ 緊急時の一時避難所となっているから	ウ 環境に配慮した取組である再生可能エネルギーの利用が重要だから	エ その他	無回答
112	35	76	55	7	4
100.0%	31.3%	67.9%	49.1%	6.3%	3.6%

平成29年度町内会・自治会アンケート調査（川崎市）

基準日 平成29年 12月 1日

区名	区	町内会・自治会名					会長名	
会長の年齢	歳	会長の性別	男女	会長の職業	ア 会社員 エ 無職	イ 自営業 オ その他()	ウ 公務員	

【調査項目1】

1 町内会・自治会は行政の重要なパートナーであり、行政施策を進めていく上で、町内会・自治会の皆様のお力添えは欠かせないものと考えておりますが、行政からの依頼事務に対する感じ方について伺います。該当するものに○をお付けください。

(1) 行政の町内会への依存度についてどのように感じますか。(一つに○)

①頼り過ぎ ②やや頼り過ぎ ③ちょうどよい ④もう少し頼って良い ⑤もっと頼るべき

--	--	--	--	--

(2) 行政等(社会福祉協議会、警察、学校含む)からのチラシ等の回覧依頼件数は、月におよそ何件程度ありますか。(一つに○)

ア 1件以下	イ 2～5件	ウ 6～10件	エ 11～15件	オ 16～20件	カ 21件～
--------	--------	---------	----------	----------	--------

(3) 行政等からのポスター等掲示依頼件数は、月におよそ何件程度ありますか。(一つに○)

ア 1件以下	イ 2～5件	ウ 6～10件	エ 11～15件	オ 16～20件	カ 21件～
--------	--------	---------	----------	----------	--------

(4) チラシ等の回覧依頼とポスター等掲示依頼についてどのように感じますか。(一つに○)

ア 回覧依頼が負担	イ 掲示依頼が負担	ウ どちらも負担	エ どちらも負担ではない
-----------	-----------	----------	--------------

(5) 上記(4)でア・イ・ウと答えた方にお伺いします。どのような点が負担に感じますか。(複数可)

ア 仕分け作業	イ 届く日が不統一	ウ チラシ等のサイズが不統一
エ 掲示板の補修費がかかる	オ 自分達の掲示スペースが無くなる	
カ チラシ等の内容に関心を持ってない物が多い	キ チラシ等の内容が分かりにくい物が多い	
ク その他()		

(6) 回覧や掲示依頼に対する負担軽減策について、どのような策が効果的だと考えますか。(複数可)

ア 月1回にまとめて配達	イ 依頼件数の抑制	ウ 回覧か掲示依頼どちらかの禁止
エ その他()		

(7) 会長に対する会議等への出席依頼についてお伺いします。月におよそ何件程度ありますか。(一つに○)

ア 1回以下	イ 2～5回	ウ 6～10回	エ 11～15回	オ 16～20回	カ 21回～
--------	--------	---------	----------	----------	--------

(8) 会長に対する会議等への出席依頼について、どのような点が負担に感じますか。(複数可)

ア 往復に交通費がかかるが交通費・謝礼等が出ない	イ 拘束時間が長い
ウ 回数が多い	エ 昼間開催には出席できない
オ 専門用語が多く会議の中身が分かりにくい	カ 出席する意義を感じられない
キ その他 ()	
ク 特に負担は感じない	

(9) 各種委員(民生委員・児童委員、スポーツ推進委員、国勢調査員、青少年指導員、美化推進委員、廃棄物減量指導員等)の推薦依頼について、どのような点が負担と感じますか。(複数可)

ア 会員への説明	イ 成り手が見つからない	ウ 推薦書類等が煩雑
エ それぞれ推薦時期や手続きが異なり手間がかかる		
オ その他 ()		
カ 特に負担は感じない		

(10) その他の行政と関わりある活動等について、どのような活動等に負担を感じますか。(複数可)

ア 市政だよりや選挙公報等の配布	イ 選挙の投票事務	
ウ イベントへの参加動員	エ 募金のお願い	オ 住民意思・意見の取りまとめ
カ 防災活動	キ 防犯・防火活動	ク 交通安全活動
ケ 美化・清掃・公園の維持管理活動	コ 資源回収・リサイクル活動	
サ 高齢者・障がい者交流、支援活動	シ 子育て支援活動	
ス こども・青少年交流、支援活動		
セ その他 ()		

(11) 負担が大きいと感じる事業等について、今後どのようにしたいとお考えですか。(一つに○)

ア 継続していく →(12)にお進みください。	
イ 改善してほしい →(13)にお進みください。	ウ 拒否したい →(14)にお進みください。

(12) 「ア 継続していく」とお答えいただいた方に伺います。継続していただける理由は何ですか。

(複数可)

ア 社会的に必要だと感じているため	イ 謝礼等が大切な収入源になっているため
ウ 行政との関係が大切だと思うため	エ 責任があるため
オ その他 ()	

(13) 「イ 改善してほしい」とお答えいただいた方に伺います。具体的に何をどのように改善して欲しいと感じますか。

(14) 「ウ 拒否したい」とお答えいただいた方に伺います。拒否したい理由は何ですか。

【調査項目2】

1 町内会・自治会の活動と、活動を進める上での問題点についてお伺いします。

(1) 次の表の項目①～③について当てはまるものに○をお付けください。(複数可、取り組んでいない活動は○を付けないでください) また、活動上の問題点や課題について、下の選択肢 ----->の中から選んで、④の欄に御記入ください。(複数可)

	①自分の町内会・自治会単独で活動している	②近隣の町内会・自治会と連携して活動している	③現在の活動を今後さらに力を入れたい	④活動を進める上で不足する点や問題点
【例】●●活動	○		○	ア、イ、オ
A 防災活動 (訓練・備蓄)				
B 防犯・防火活動				
C 交通安全活動				
D 美化・清掃活動・公園の維持管理				
E 資源回収・リサイクル				
F 高齢者・障がい者交流、支援活動				
G 子育て支援活動 (パパママ世代支援)				
H こども会等青少年交流、支援活動				
I お祭り等親睦を深めるイベント				

【選択肢】

ア 費用 イ 担い手 (スタッフ) ウ 参加者 エ 知識、手法、経験 (ノウハウ)
オ 場所 カ その他 ()

(2) 今後、縮小又は廃止 (休止) したい活動はありますか。理由と併せて教えてください。

ア ない イ ある (活動内容と理由) _____)

(3) 今後、具体的に新たに活動したいことはありますか。また、活動を始めると問題点や課題等があれば併せて教えてください。

ア ない イ ある (活動内容と問題点等) _____)

(4) その他町内会・自治会を運営する中で、何が問題だと感じていますか。(複数可)

ア 新規加入者が少ない イ イベント参加者が少ない ウ 辞める人が増えている
エ 加入率の低下 オ 役員の固定化 カ 役員の高齢化
キ 資金不足 ク 会費が集めにくい ケ 活動場所の不足
コ 個人情報保護への対応 サ 市からの依頼事務の増加 シ 地域のつながりの希薄化
ス マンション住人が会員とならない セ 役員が短期間で交代する
ソ 町内会内で賛同を得にくい タ ルールを守らない人の増加
チ その他 ()

2 町内会・自治会に対する支援についてお伺いします。該当するものに○をお付けください。

(1) 行政からの町内会・自治会への支援についてどのように感じますか。(一つに○)

①足りない ②やや足りない ③ちょうどよい ④足りている ⑤充分足りている

(2) 町内会・自治会へ支援については今後、様々な手法や主体によることが考えられますが、どのような支援が望ましいですか。(複数可)

ア 資金支援	イ 相談体制の強化	ウ 専門知識を持った人材による運営支援
エ 加入促進に関する協力	オ 他団体への橋渡し	
カ 新任の会長に対する研修	キ 他団体と連携できるイベントの実施	
ク 特にない	ケ その他()	

3 町内会・自治会会館がある団体にお聞きします。該当するものに○をお付けください。

(1) 防災や環境の観点から会館に、次の設備等を導入したいと考えていますか。(複数可)

ア 太陽光発電設備 (太陽光パネル)
イ 蓄電池 (太陽光発電設備で発電した電気をため、夜間や災害時に活用できるもの)
ウ 特に考えていない

(2) 上記(1)で導入したいと考えている場合、その理由は何でしょうか。(複数可)

ア 電気代が削減できるから	イ 緊急時の一時避難所となっているから
ウ 環境に配慮した取組である再生可能エネルギーの利用が重要だから	
エ その他()	

4 町内会・自治会の運営方法や、活動課題に対する解決方法等で、特色のある(工夫している)活動や事例があればお聞かせください。(一人暮らし高齢者訪問、認知症カフェ、他団体等との連携等)

【調査項目3】

その他、町内会・自治会と行政のあり方について、御意見、御要望があればお聞かせください。

アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。

大変お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて平成30年1月16日(火)までに御返送ください。